

# 2024 年 報

ANNUAL REPORT of  
SEIREI YOKOHAMA HOSPITAL



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

**聖隷横浜病院**  
SEIREI YOKOHAMA HOSPITAL



2024 年度聖隷横浜病院年報  
Seirei Yokohama Hospital

ANNUAL REPORT  
2024

【病院理念】

私たちは、隣人愛の精神のもと、  
安全で良質な医療を提供し、地域に貢献し続けます

# 目 次

|                      |    |                         |     |
|----------------------|----|-------------------------|-----|
| 2024年度年報発行にあたって      | 1  | 栄養課                     | 84  |
| 聖隷横浜病院               | 2  | リハビリテーション課              | 85  |
| 病院沿革                 | 4  | 臨床工学室                   | 86  |
| 現況                   | 6  | 放射線課                    | 87  |
| 施設基準                 | 7  | 医師臨床研修委員会               | 89  |
| 施設配置図                | 8  | 医療ガス設備安全委員会             | 90  |
| 主な器械備品               | 9  | 衛生委員会                   | 91  |
| 組織図                  | 10 | 栄養委員会                   | 92  |
| 委員会・運営会議             | 11 | 化学療法委員会                 | 93  |
| 医師職員数内訳              | 12 | 感染対策委員会                 | 94  |
| 職員別・区分別職員数           | 12 | 緩和ケア委員会                 | 95  |
| 病棟構成                 | 13 | 救急委員会                   | 96  |
| 病院統計                 | 14 | クリニカルパス委員会              | 97  |
| 地域連携・患者支援センター        | 28 | 血液浄化センター委員会             | 98  |
| 医療の質管理室              | 30 | 研修委員会                   | 99  |
| 診療支援室                | 32 | 減免・無料低額診療委員会            | 100 |
| 腎臓・高血圧内科             | 33 | 広報委員会                   | 100 |
| アレルギー内科              | 34 | 購入委員会                   | 101 |
| 呼吸器内科                | 36 | NST委員会                  | 102 |
| 消化器内科                | 37 | 褥瘡対策委員会                 | 103 |
| 内分泌・糖尿病内科            | 38 | 役割分担推進委員会               | 104 |
| 膠原病・リウマチ内科           | 39 | 個人情報管理委員会               | 105 |
| 心血管センター内科・心血管センター外科  | 41 | 診療情報管理委員会               | 106 |
| 脳血管内治療科・脳神経外科        | 42 | 図書委員会                   | 107 |
| 外科・消化器外科             | 43 | 診療報酬適正化委員会              | 107 |
| 乳腺科（乳腺センター）          | 44 | 接遇委員会                   | 108 |
| 呼吸器外科                | 45 | 病院安全管理委員会               | 109 |
| 整形外科・関節外科            | 46 | 防災委員会                   | 110 |
| 泌尿器科                 | 47 | 安全運転委員会                 | 110 |
| 麻酔科・ペインクリニック・緩和ケア    | 49 | 薬事（治験）委員会               | 111 |
| 小児科                  | 51 | 輸血療法委員会                 | 112 |
| 放射線診断科               | 52 | 臨床検査適正化委員会              | 113 |
| 救急科（ER）／キズ・やけど外来     | 54 | 倫理・臨床研究審査委員会            | 114 |
| 漢方科                  | 56 | 医療の質改善委員会               | 116 |
| リハビリテーション科           | 57 | 特定行為管理委員会               | 117 |
| 病理診断科                | 58 | 外来運営会議                  | 118 |
| 総合診療科                | 60 | 手術室運営委員会                | 119 |
| 内科                   | 61 | セーフティマネージャー運営会議         | 120 |
| ドック・健診科              | 62 | 糖尿病療養運営会議               | 121 |
| 看護管理室                | 63 | ボランティア運営会議              | 122 |
| 血液浄化センター看護室          | 65 | リハビリテーション課運営会議          | 122 |
| 手術室・中央材料室            | 66 | ドック・健診室運営会議             | 123 |
| 外来                   | 67 | 地域連携・患者支援センター運営会議       | 123 |
| 画像診断・内視鏡センター         | 68 | 病床管理センター                | 124 |
| B3病棟                 | 69 | 内視鏡センター運営委員会            | 125 |
| 東1病棟（回復期リハビリテーション病棟） | 70 | 膠原病・リウマチ内科運営会議          | 126 |
| 東2病棟                 | 71 | 乳腺センター運営会議              | 127 |
| 東3病棟                 | 72 | 緩和ケア病棟運営委員会             | 128 |
| 東4病棟                 | 73 | 情報システム運営会議              | 129 |
| 西1病棟                 | 74 | 整形外科運営会議                | 130 |
| 西2病棟                 | 75 | 教育・症例検討・講演会実績・市民公開講座    | 131 |
| 西3病棟                 | 76 | 2024年度 学術業績 講演会・学会発表    | 132 |
| 急性期ケアユニット            | 77 | 2024年度 学術業績 その他（院外活動など） | 141 |
| SCU                  | 78 | 2024年度 学術業績 著書論文        | 144 |
| 看護相談室                | 79 | 第22回 聖隷横浜病院 病院学会        | 147 |
| せいらい訪問看護ステーション横浜     | 80 |                         |     |
| 薬剤課                  | 82 |                         |     |
| 検査課                  | 83 |                         |     |

## 2024年度年報発行にあたって

聖隷横浜病院 病院長 大内 基史

2024年度は、地域の皆さまや関係機関、医療に関わるすべての方々に支えられながら、地域医療の一翼を担いより良い医療が提供できるよう、職員一同日々業務に励むことができました。

当院は、地域に必要とされる医療を継続的に提供し、患者さま一人ひとりのニーズに寄り添った、多様で質の高いサービスの実現に取り組んでいます。「治療から療養まで」をつなぐケアミックス医療の向上と拡大のため、急性期ケアユニットや脳卒中ケアユニットの高度医療を充実させ、救命と機能回復の最大化を目指しています。

また、救急の受入実績が年間4,600件以上と年々増加しており、地域の最後の砦として重要な役割を果たしています。今後も、受入体制の見直しや地域の連携強化、ICTを活用した情報共有システムの導入を検討し、迅速・適切な救急対応に取り組んでいきます。

医師や看護師、薬剤師、放射線技師、栄養士、リハビリスタッフなど、多職種連携を強化し、患者さま一人ひとりの状態や背景に応じた最適な医療の提供を実施してきました。今後は、職員個々の専門性向上のために職員教育も充実させていきます。

さらに、予防医療の推進にも取りくみ、院内健診の強みを活かした検査・診断・治療を提供する体制を整えました。また、健康情報の発信や啓発活動を積極的に行い、健康意識の向上も図っています。

これらの取り組みは、職員全員の努力と協力が無くては実現できません。安全な医療の提供を最優先に、自己研鑽と連携を深め、職員一丸となって「地域に選ばれ続ける病院づくり」を進めてまいります。

最後に、本年報を当院の成長の経過記録としてご覧いただければ幸いです。

# 聖隷横浜病院

2024年度は、診療報酬のマイナス改定、医師の働き方改革の新制度施行、物価高と人件費の高騰など、病院経営は極めて厳しい一年であった。特に、人事院勧告による人件費の増加が診療報酬上の増収を大きく上回り、経営を圧迫した。

しかし、このような状況下においても、病床管理センターが中心となり、入院患者の確保を最優先課題として取り組み、開院以来過去最高の入院患者数を達成した。また、病病・病診連携においては、地域に開かれた顔の見える医療機関を目指し、積極的に開業医への訪問を重ね、過去最高の紹介数を獲得した。さらに、救急車の積極的な受け入れ体制の構築や、救急隊からの意見を取り入れる仕組みをつくり、前年度を上回る救急車の受け入れを実現した。

経営的には依然として厳しい状況ではあるが、各種の指標が前年度を上回る結果を残せたことは、病院が一丸となって前に進む体制を構築できた証である。

次年度は、地域社会に貢献する医療機関として更なる発展を遂げながら、収益と費用のバランスをとり、生産性を向上させ、多様な人材の確保、救急医療体制のさらなる充実、各医療機関との連携強化、地域の健診業務拡大に注力する。併せて、関東地区事業団施設との連携を強化し、地域から愛され続ける病院づくりを職員と共に推進していく。

## 1. 安全で良質な医療の提供

### (ア)医療安全管理体制および感染管理体制の充実

依然として新型コロナウイルス感染症のアウトブレイクが発生する状況下ではあったが、感染対策を徹底し、日常診療を継続するとともに、入院患者を積極的に受け入れた。また、転倒・転落を減少させる取り組みとして、転倒軽減マットの導入に加え、外部講師を招聘し、職員全体の転倒・転落対策意識の向上を図った。

### (イ)救急診療体制の強化と充実

横浜市内の救急隊向けに、救急フォーラムの開催や訪問活動を継続的に実施した。また、横浜市救急隊傷病者情報共有システムの実証実験にも参加した。さらに、日々の救急車応需詳細を確認し、問題事例については病院管理者間で共有し、個別に対応することで、病院全体の救急車受け入れ意識の強化に努めた。結果、4,690件（昨年：4,484件）の救急搬送を受け入れた。

### (ウ)ドック・健診事業の充実

新規受診者の獲得に向け、WEB予約システムを導入および常勤の女性医師を配置した。また、衛生委員会と連携し、職員ドックの実施率向上にも注力した。その結果、延べ受診者数は116%増加、売上は124%増加を記録した。

### (エ)外来診療科体制の充実

消化器内科では、初診外来枠の増加と直来患者の受け入れ体制強化により、迅速な診断・治療を可能にするとともに、内視鏡検査の実施枠拡大により、早期発見・早期治療を推進した。また、脳神経外科では、認知症に対する新たな治療を開始し、患者様のQOL向上に貢献した。さらに、通院心大血管リハビリテーションの対象範囲を拡大し、より多くの患者様がリハビリテーションを受けられる体制を整えた。

## 2. 多様な人材確保と育成

耳鼻科の常勤確保に向けた取り組みを行い、2025年度には常勤医師の確保が出来た。

## 3. 資源を最大限に活用した健全な経営の実践

診療部と協働で各科の特徴に応じた指標と行動計画を策定し、取り組みを推進した。人件費率単月56.1%を目指し、収入確保、費用削減に取り組んだが、物価上昇、人件費の高騰により費用過多となった。一方で、看護師不足により、入院基本料の変更を余儀なくされたが入院患者の確保については予算を達成した。

## 4. 最適な環境づくりの推進

電子カルテの更新を滞りなく完了させ、日々の診療業務を円滑に進めることができた。また、職員の働きやすい環境整備として、病児保育を開始し、子育て世代の職員が安心して働ける体制を構築した。さらに、院内レストランを再開し、職員の福利厚生を充実させた。加えて、慣例にとらわれない業務手順の見直しやスリム化の一環として、一括同意書を導入し、業務効率化を図った。

## 5. 地域包括ケアシステムの構築と推進

### (ア) 地域完結型医療の実践

入院患者の積極的な受入れにより、急性期ケアユニット、脳卒中ケアユニット、地域包括ケア病棟は90%を超える稼働率となった。また、回復期病棟、緩和ケア病棟、一般病棟については80%後半となった。

### (イ) 地域連携及び広報活動の強化

紹介状に対する即日返信を推進し、即日返信率99.9%を達成した。また、病院長をはじめ各診療科医師と協働でクリニック訪問を行った。これらの取り組みにより、病・診連携強化を図り、紹介件数は11,407件(昨年：10,071件)となった。併せて、市民公開講座を対面で4回、医療従事者向け講演会5回実施し病院の情報や魅力の発信を強化した。

## <地域における公益的な取り組み>

低所得者に対し広く事業を実施し、国が定める基準12.1%であった。

### 【数値実績】

|       | 予算      | 実績      | 対予算    | 対前年    |
|-------|---------|---------|--------|--------|
| 外来患者数 | 595名    | 575.8名  | 96.8%  | 102.2% |
| 外来単価  | 19,033円 | 18,488円 | 97.1%  | 99.6%  |
| 入院患者数 | 318名    | 327.8名  | 103.1% | 106.9% |
| 入院単価  | 58,059円 | 55,530円 | 95.6%  | 98.7%  |
| 病床稼働率 | 87.1%   | 88.9%   | 102.1% | 105.3% |
| 職員数   | 791.1名  | 792.3名  | 100.1% | 101.5% |

## 病 院 沿 革

- 2003年（平成15年） 3月 国立横浜東病院から経営移譲を受け「社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷横浜病院」開院  
井澤豊春初代病院長 就任  
診療科：内科、外科、整形外科、泌尿器科、小児科、脳神経外科、産婦人科（2014年閉科）、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、麻酔科、精神科（2007年閉科）  
医療法開設許可病床 350床（一般病床300床・療養病床50床）  
稼働病床 一般病床150床（東2、東3、東4病棟）  
4月 稼働病床 一般病床200床（東3、東4、西2、西3病棟）  
8月 1.5T-MRI導入  
9月 内科を総合診療内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓・高血圧内科に専門分化  
12月 血液浄化センター開設
- 2004年（平成16年） 4月 医師臨床研修制度開始  
稼働病床 一般病床250床（西1病棟開棟）  
8月 看護師宿舎「フェリーチェせいれい」（地上4階、30部屋）新設  
10月 内分泌・糖尿病内科開設
- 2005年（平成17年） 1月 オーダリングシステム導入  
横浜市二次救急輪番病院参加
- 2006年（平成18年） 2月 64列マルチスライスCT装置導入  
6月 一般病棟入院基本料7：1取得  
8月 療養病床50床返還
- 2007年（平成19年） 4月 岩崎滋樹第二代病院長就任、井澤豊春名誉院長就任  
内視鏡センター開設  
7月 医師ジョブシェア制度導入  
9月 血液内科開設（2010年閉科）  
10月 耳センター開設
- 2008年（平成20年） 3月 院内保育施設「ひだまり保育園」開設  
4月 消化器外科開設  
7月 DPC制度導入  
呼吸器外科開設  
10月 脳血管内治療科（2012年閉科）  
周産期科開設（2010閉科）  
臨床検査科開設  
稼働病床 一般病床276床（東2病棟開棟）  
12月 日本医療機能評価機構「病院機能評価Ver.5.0」認定
- 2009年（平成21年） 7月 病理診断科開設  
5月 横浜市の要請により「新型インフルエンザ発熱外来」設置
- 2010年（平成22年） 4月 形成外科開設（2012年閉科）  
横浜市二次救急拠点病院事業参加（横浜市二次救急拠点病院B）  
横浜市脳血管疾患救急医療体制参加医療機関  
横浜市外傷（整形外科）救急医療体制参加医療機関  
10月 256スライスCT導入  
稼働病床数 一般病床300床  
11月 日本経済新聞社主催「2010年につけい子育て支援大賞」受賞

● 概要・統計 ●

|               |     |  |
|---------------|-----|--|
| 2011年（平成23年）  | 5月  | 横浜市の要請により、東日本大震災被災地に医師、看護師派遣   |
|               | 10月 | 神奈川県主催「第5回かながわ子ども・子育て支援大賞」受賞   |
|               | 12月 | 病院ボランティア活動開始   |
| 2012年（平成24年）  | 2月  | 横浜市心疾患救急医療体制参加   |
|               | 4月  | 脳卒中科（脳血管内治療科閉科）<br>リハビリテーション科開設  |
| 2013年（平成25年）  | 3月  | サポートドクター制度導入   |
|               | 4月  | NPO法人卒後臨床研修評価機構 認定病院   |
|               | 12月 | 日本医療機能評価機構 病院機能評価 「一般病院2 機能種別別版評価項目<br>3rdG：ver.1.0」認定                           |
| 2014年（平成26年）  | 6月  | 3.0T-MRI更新   |
|               | 10月 | せいい訪問看護ステーション横浜を聖隷横浜病院へ事業移管  |
| 2015年（平成27年）  | 1月  | 林泰広第三代病院長就任  |
|               | 4月  | 形成外科、心臓血管センター内科開設  |
|               | 5月  | 地域包括ケア病棟開設（東4病棟51床）  |
| 2016年（平成28年）  | 1月  | リウマチ・膠原病センター 開設<br>脳血管センター 開設  |
|               | 4月  | 画像・診断センター 開設<br>心臓血管外科開設<br>横浜市営バス「聖隷横浜病院循環」運行開始                                 |
|               | 6月  | 新外来棟建築工事 起工式   |
| 2017年（平成29年）  | 2月  | NPO法人卒後臨床研修評価機構 認定病院   |
|               | 4月  | ドック・健診室 開設   |
|               | 5月  | 電子カルテシステム 導入・稼働開始  |
|               | 7月  | ハイケアユニット（HCU）開設（8床）  |
| 2018年（平成30年度） | 4月  | 乳腺センター開設   |
|               | 8月  | 脳卒中ケアユニット（SCU）開設（6床）   |
| 2019年（令和元年）   | 7月  | A棟（新外来棟）外来診療開始   |
| 2020年（令和2年）   | 2月  | 横浜市病院輪番制   |
|               | 7月  | 東1病棟開設 一般病床338床稼働  |
|               | 8月  | B3病棟開設 一般病床358床稼働 回復期リハビリテーション病棟入院料6取得   |
|               | 9月  | 緩和ケア病棟入院料2取得   |
| 2021年（令和3年）   | 1月  | 回復期リハビリテーション病棟入院料3取得   |
|               | 3月  | 地域包括ケア病棟60床に増床 一般病床367床稼働  |
|               | 4月  | アレルギー内科開設  |
|               | 5月  | 回復期リハビリテーション病棟入院料1取得   |
|               | 10月 | 脳卒中ケアユニット（SCU）9床に増床  |
| 2022年（令和4年）   | 4月  | 心臓血管センター開設<br>リウマチ・膠原病センターから「膠原病・リウマチセンター」へ名称変更<br>リウマチ・膠原病内科から「膠原病・リウマチ内科」へ名称変更 |
|               | 10月 | 大内基史第四代病院長就任   |
|               | 12月 | X線TV装置更新   |
| 2023年（令和5年）   | 3月  | 64列CT更新  |
|               | 4月  | 漢方科、呼吸器内科 間質性肺炎外来 開設   |
|               | 12月 | 256スライスDual Energy CT導入  |

## 現況

2024年4月1日現在

|              |   |
|--------------|---|
| <b>開設者</b>   | 社会福祉法人 聖隷福祉事業団  |
| <b>病院名</b>   | 聖隷横浜病院  |
| <b>所在地</b>   | 〒240-8521<br>神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町215<br>TEL (045) 715-3111<br>FAX (045) 715-3387   |
| <b>開院日</b>   | 2003年3月1日   |
| <b>理事長</b>   | 青木 善治   |
| <b>病院長</b>   | 大内 基史   |
| <b>副院長</b>   | 野澤 聡志<br>芦田 和博  |
| <b>院長補佐</b>  | 波多野 孝史<br>平野 進<br>永井 啓之   |
| <b>総看護部長</b> | 兼子 友里   |
| <b>事務長</b>   | 山本 功二   |
| <b>病院事業</b>  | 無料低額診療施設事業  |
| <b>病床数</b>   | 許可病床 (367床：一般)、<br>稼働病床 (367床：一般、急性期ケアユニット、脳卒中ケアユニット、回復期リハビリテーション病棟、緩和ケア病棟地域包括ケア病棟含む)   |
| <b>常勤職員</b>  | 698名 (2025年4月1日時点)  |
| <b>認定施設</b>  | 保険医療機関<br>労災保険指定医療機関<br>結核指定医療機関<br>生活保護法指定医療機関<br>被爆者一般疾病指定医療機関<br>更生医療指定医療機関<br>育成医療指定医療機関<br>母子保健法指定養育医療機関<br>特定疾患治療取扱病院<br>臨床研修病院 (基幹型)<br>公害医療指定医療機関<br>救急告示病院<br>小児慢性医療指定医療病院<br>労災保険二次健診等給付医療機関<br>DPC対象病院<br>外来対応医療機関 (神奈川県)<br>新型コロナウイルス感染症 重点医療機関協力病院 (最大8床) (神奈川モデル医療機関) |
| <b>学会認定</b>  | 日本内科学会認定医制度教育関連病院<br>日本消化器病学会関連施設<br>日本消化器学会認定施設<br>日本消化器内視鏡学会指導施設<br>日本消化管学会胃腸科指導施設<br>日本胆道学会認定指導医制度指導施設<br>日本大腸肛門病学会関連施設<br>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設<br>日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設<br>日本呼吸器内視鏡学会認定施設<br>日本呼吸器学会関連施設<br>日本糖尿病学会認定教育施設<br>日本リウマチ学会教育施設認定施設                                 |

日本外科学会外科専門医制度修練施設  
日本脳神経血管内治療学会研修施設  
脳神経外科学会認定施設  
脳卒中学会認定施設  
一次脳卒中センター (PSC) 認定施設  
日本整形外科学会専門医制度研修施設  
日本眼科学会専門医制度研修施設  
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設  
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関  
日本麻酔科学会麻酔科認定病院  
日本救急医学会救急科専門医指定施設  
日本病理学会研修認定施設B  
日本がん治療認定医機構認定研修施設  
特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構認定  
日本栄養療法推進協議会NST稼働施設認定  
日本静脈結腸栄養学会NST稼働施設認定  
マンモグラフィ検診施設画像認定施設  
日本認知症学会教育施設  
日本乳癌学会関連施設  
National Clinical Database  
日本病院総合診療医学認定施設  
日本診療放射線技師会医療被ばく低減施設認定  
日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設認定  
日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設認定  
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構規則規定 関連施設  
日本専門医機構 専門研修基幹施設 (内科領域)

## 標榜科目

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、  
内分泌・糖尿病内科、皮膚科、アレルギー科、リウマチ科、  
小児科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、  
泌尿器科、脳神経外科、整形外科、形成外科、眼科、  
耳鼻咽喉科、婦人科、漢方内科、リハビリテーション科、  
放射線診断科、麻酔科、ペインクリニック外科、病理診断科、  
臨床検査科、救急科、神経内科 (計30科)

## 診療科目

総合内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓・高血圧内科、  
内分泌・糖尿病内科、心臓血管センター内科、  
心臓血管センター外科、膠原病・リウマチ内科、  
アレルギー内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、  
脳神経外科、脳血管内治療科、整形外科、関節外科、  
形成外科、乳腺科、麻酔科 (ペインクリニック)、  
耳鼻咽喉科、婦人科、漢方内科、眼科、皮膚科、泌尿器科、  
総合診療科、救急科、放射線診断科、リハビリテーション科、  
臨床検査科、病理診断科、ドック・健診科、  
神経内科 (計34科)

## 救急医療

横浜市病院輪番制  
横浜市脳血管疾患救急医療体制参加医療機関  
横浜市外傷 (整形外科) 救急医療体制参加医療機関  
横浜市急性心疾患救急医療体制参加医療機関

## 災害医療

神奈川県災害協力病院

# 施設基準

2024年4月1日現在

## 基本診療料の施設基準

情報通信機器を用いた診療に係る基準  
 初診料注14 医療情報取得加算  
 外来診療料注10 医療情報取得加算  
 医療DX推進体制整備加算  
 急性期一般入院料2  
 臨床研修病院入院診療加算（基幹型）  
 救急医療管理加算  
 超急性期脳卒中加算  
 診療録管理体制加算1  
 医師事務作業補助体制加算1 15対1  
 25対1急性期看護補助体制加算（看護補助者5割以上）  
 25対1急性期看護補助体制加算 急性期看護補助体制充実加算1  
 看護職員夜間12対1配置加算1  
 療養環境加算  
 重症者等療養環境特別加算  
 栄養サポートチーム加算  
 医療安全対策加算1  
 医療安全対策地域連携加算1  
 感染対策向上加算1  
 褥瘡ハイリスク患者ケア加算  
 呼吸ケアチーム加算  
 術後疼痛管理チーム加算  
 後発医薬品使用体制加算1  
 病棟薬剤業務実施加算1  
 病棟薬剤業務実施加算2  
 データ提出加算2  
 データ提出加算4  
 入退院支援加算1  
 入退院支援加算 入院時支援加算  
 認知症ケア加算2  
 せん妄ハイリスク患者ケア加算  
 排尿自立支援加算  
 地域医療体制確保加算  
 ハイケアユニット入院医療管理料1  
 脳卒中ケアユニット入院医療管理料  
 脳卒中ケアユニット入院医療管理料注3 早期栄養介入管理加算  
 回復期リハビリテーション病棟入院料1  
 地域包括ケア病棟入院料2  
 地域包括ケア病棟入院料注3 看護職員配置加算  
 地域包括ケア病棟入院料注5 看護補助体制充実加算1  
 緩和ケア病棟入院料2

## 食事療養

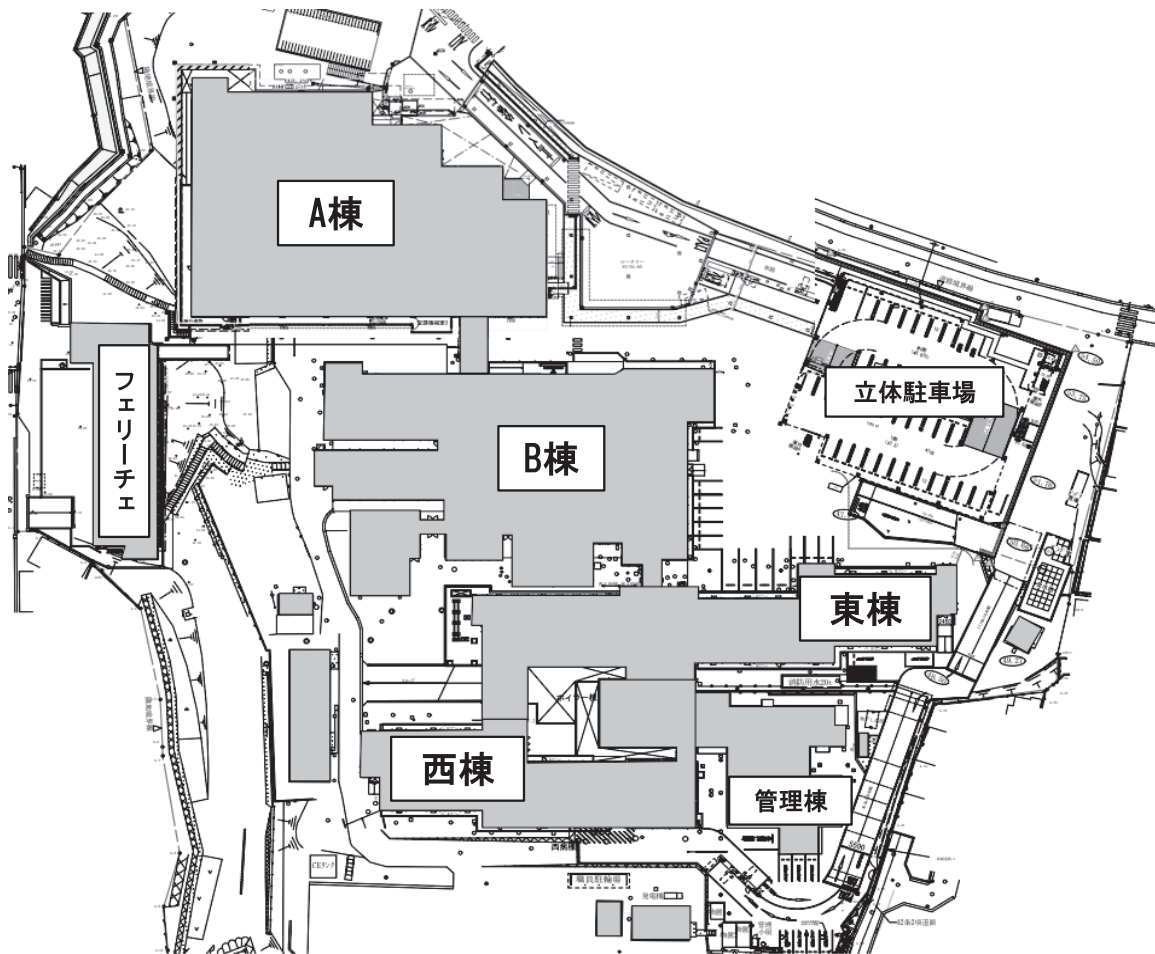
入院時食事療養Ⅰ・入院時生活療養Ⅰ

## 特掲診療料の施設基準

外来栄養食事指導料注2  
 心臓ペースメーカー指導管理料 遠隔モニタリング加算  
 糖尿病合併症管理料  
 がん性疼痛緩和指導管理料  
 がん患者指導管理料Ⅰ  
 がん患者指導管理料ロ  
 がん患者指導管理料ニ  
 糖尿病透析予防指導管理料  
 二次性骨折予防継続管理料1  
 二次性骨折予防継続管理料2  
 二次性骨折予防継続管理料3  
 アレルギー性鼻炎免疫療法治療管理料  
 下肢創傷処置管理料  
 慢性腎臓病透析予防指導管理料  
 小児科外来診療料  
 院内トリアージ実施料  
 夜間休日救急搬送医学管理料  
 救急搬送看護体制加算1  
 外来腫瘍化学療法診療料1  
 連携充実加算  
 ニコチン依存症管理料  
 がん治療連携指導料  
 外来排尿自立指導料  
 薬剤管理指導料  
 医療機器安全管理料1

在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料  
 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料  
 遺伝学的検査  
 BRCA1/2 遺伝子検査  
 検体検査管理加算（Ⅰ）・（Ⅱ）  
 遺伝カウンセリング加算  
 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算  
 植込型心電図検査  
 時間内歩行試験  
 ヘッドアップティルト試験  
 神経学的検査  
 小児食物アレルギー負荷検査  
 センチネルリンパ節生検片側（2単独法）  
 CT透視下気管支鏡検査加算  
 画像診断管理加算2  
 CT撮影（64列以上マルチスライス）注8 共同利用施設  
 MRI撮影（3テスラ以上）  
 冠動脈CT撮影加算  
 大腸CT撮影加算  
 心臓MRI撮影加算  
 乳房MRI撮影加算  
 抗悪性腫瘍処方管理加算  
 一般名処方加算  
 外来化学療法加算1  
 無菌製剤処理科  
 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  
 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）  
 廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）  
 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）  
 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）  
 リハビリテーション初期加算および早期リハビリテーション加算  
 がん患者リハビリテーション料  
 静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）  
 人工腎臓1  
 人工腎臓 導入期加算1  
 下肢末梢動脈疾患指導管理加算  
 ストーマ合併症加算  
 骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る。））  
 椎間板内酵素注入療法  
 脊髄刺激装置植込術又は脊髄刺激装置交換術  
 緑内障手術 流出路再建術（眼内法）  
 乳がんセンチネルリンパ節加算1  
 乳がんセンチネルリンパ節加算2  
 内視鏡による縫合術・閉鎖術  
 経皮的冠動脈形成術  
 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）  
 経皮的冠動脈ステント留置術  
 ペースメーカー移植術、ペースメーカー交換術  
 植込型心電図記録計移植術  
 植込型心電図記録計摘出術  
 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）  
 経皮的下肢動脈形成術  
 内視鏡的逆流防止粘膜切除術  
 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術  
 医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術  
 手術の通則の16に掲げる手術（胃瘻造）  
 輸血管管理料Ⅱ  
 輸血適正使用加算  
 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算  
 胃瘻造設時嚥下機能評価加算  
 麻酔管理料（Ⅰ）  
 麻酔管理料（Ⅱ）  
 病理診断管理加算1  
 悪性腫瘍病理組織標本加算  
 ミスマッチ修復タンパク免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製  
 看護職員処遇改善評価料41  
 外来ベースアップ評価料（Ⅰ）  
 入院ベースアップ評価料63

# 施設配置図



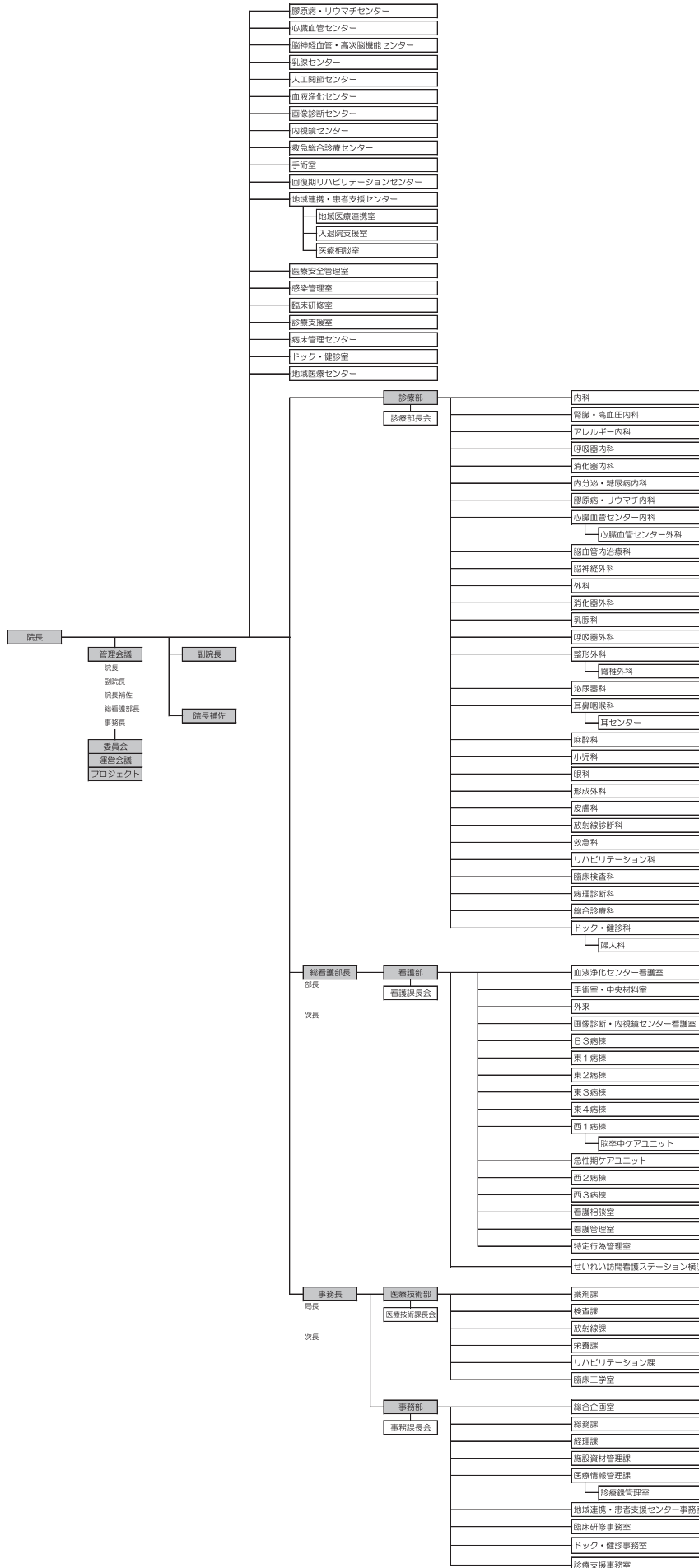
|     |  |                                    |                                |                                |   |         |
|-----|--|------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|---|---------|
| 4F  | 血液浄化センター<br>医局<br>研修医室<br>大会議室           |                                    | 東4病棟<br>地域包括ケア病棟               |                                | 事務長室<br>総務課<br>経理課<br>総合企画室                     |         |
| 3F  | 外来<br>検査課<br>化学療法室<br>ドック・健診室<br>食堂      | B3病棟<br>緩和ケア病棟                     | 東3病棟                           | 西3病棟                           |   |         |
| 2F  | 正面受付<br>外来<br>地域連携<br>・患者支援センター<br>中央採血室 | 薬剤部<br>リハビリテーション課<br>医療情報管理課<br>売店 | 東2病棟                           | 西2病棟                           | せいいい訪問看護<br>ステーション                              |         |
| 1F  | 救急室<br>画像診断センター<br>内視鏡センター               | MRI・CT                             | 東1病棟<br>回復期<br>リハビリテーショ<br>ン病棟 | 西1病棟<br>急性期ケアユニット<br>脳卒中ケアユニット | ひだまり保育園   |         |
| B1F | 手術室・中央材料室<br>病理診断科                       |                                    | 栄養課                            | 霊安室・解剖室                        | 総看護部長室<br>看護部管理室<br>医療安全管理室<br>臨床工学室<br>施設資材管理課 |         |
|     | A棟                                       | B棟                                 | 東棟                             | 西棟                             | 管理棟   | フェリーチェ棟 |

# 主な器械備品

| 機器名                 | 数  | メーカー名               | 機種名   |
|---------------------|----|---------------------|---|
| MRI                 | 2  | フィリップス              | Ingenia 3.0T、Ingenia Elition 3.0T                           |
| 160列超高精細マルチスライスCT   | 1  | キャノン                | Aquilion Precision  |
| 128列256マルチスライスCT    | 1  | フィリップス              | SpectralCT7500  |
| 64列マルチスライスCT        | 1  | フィリップス              | IncisiveCT  |
| 乳房X線装置              | 2  | キャノン、シーメンス          | PeruruDIGITAL、MAMMOMAT Revelation                           |
| FPDシステム             | 1  | コニカ                 | AeroDR  |
| X線TVシステム            | 2  | 島津、キャノン             | SONIALVISION G4、DREX-UI80/09                                |
| 血管撮影装置              | 2  | フィリップス              | AlluraClarity FD10、FD20/15                                  |
| X線撮影装置              | 3  | 島津                  | RADSPEED PRO  |
| 移動式X線撮影装置           | 3  | シーメンス、島津            | MOBILETT XP Hybrid、Mobile Art Evolution                     |
| 外科用X線撮影装置           | 2  | シーメンス、GE            | Cios Select、OEC One CFD                                     |
| 超音波診断装置             | 11 | キャノン                | Xario100G、Xario200G、Aplio400、Aplio500、Aplio a Verifia、viamo |
| 超音波診断装置             | 7  | GE                  | LOGIQ P9、Versana Active、Venue50、VscanExtend、VscanAir        |
| 超音波診断装置             | 3  | 富士フィルム、フィリップス       | ARIETTA 65LE、iVizAir、CX50                                   |
| 生化学自動分析装置           | 2  | ベックマン・コールター         | AU5810、DxC700 AU  |
| 全自動尿中有形成成分分析装置      | 1  | シスメックス              | UF-1000i  |
| 多項目自動血球分析装置         | 1  | シスメックス              | XR-1500   |
| 全自動血液凝固測定装置         | 1  | シスメックス              | CN-3000   |
| 血液ガス分析装置            | 2  | シーメンス               | RAPIDPOINT500   |
| 血液培養分析装置            | 1  | BD                  | バクテックFX   |
| 全自動輸血検査システム         | 1  | オーソ                 | オーソビジョン   |
| 自動染色装置              | 1  | ロシュ                 | ベンタナ ベンチマークULTRA  |
| 脳波計                 | 1  | 日本光電                | NeurofaxEEG-1250  |
| 筋電図計                | 1  | 日本光電                | Neuropack S3  |
| 心電計                 | 8  | 日本光電、フクダ電子          | ECG-2550、ECG-2450、FCP-8600                                  |
| 睡眠ポリグラフィ装置          | 1  | 日本光電                | PSG-1100  |
| 血圧脈波検査装置            | 2  | フクダコーリン             | BP-203RPE III   |
| 肺運動負荷モニタリングシステム     | 1  | ミナト医科学              | エアロモニタAE-310S   |
| 肺運動負荷試験用エルゴメータ      | 1  | 三菱                  | ストレングスエルゴ8V2  |
| 外科手術用内視鏡システム        | 3  | オリンパス               | VISERA、VISERA ELITE II、VISERA ELITE III                     |
| 耳鼻咽喉科内視鏡システム        | 1  | オリンパス               | VISERA  |
| 耳鼻咽喉科NBI内視鏡システム     | 1  | オリンパス               | VISERA ELITE  |
| 消化器内視鏡システム          | 3  | オリンパス               | EVIS X1、EVIS LUCERA ELITE                                   |
| 超音波手術装置             | 3  | オリンパス、ストライカー        | USG400、ソノペットIQ  |
| 手術用顕微鏡              | 3  | カールツァイス、ライカ         | OPMI PENTERO900、M844-F40、M525-OH4                           |
| 炭酸ガスレーザー            | 1  | モリタ製作所              | レザウインII   |
| 白内障手術装置             | 1  | アルコン                | センチュリオンビジョンシステム   |
| 高周波手術装置             | 11 | アムコ、メドトロニック、オリンパス   | VI03、Valley lab FT10、ESG-400、ICC-200・300、CMC-V 他            |
| マイクロ波手術装置           | 1  | アルフレッサファーマ          | マイクロターゼ AZM-550   |
| 高周波熱凝固装置            | 1  | トップ                 | TLG-20  |
| 成人用人工呼吸器            | 8  | ドレーゲル、レスメド          | Evita V300、V600、アストラル150、AirCurveTJ                         |
| 搬送用人工呼吸器            | 4  | 日本光電、ドレーゲル、スミスメディカル | HAMILTON-C1、Oxylog 3000 プラス、パラバックプラス                        |
| 臨床用ポリグラフ            | 2  | 日本光電                | RMC-5000  |
| 人工腎臓（透析）装置          | 21 | 日機装、JMS             | DCG-03、DBG-03、DBB-100NX、DCS-100NX、GC-110N                   |
| 血液浄化装置              | 1  | 川澄化学                | KM-9000   |
| 多人数用透析液供給装置         | 1  | 日機装                 | DAB-30NX  |
| 透析液溶解装置             | 2  | 東亜 DKK              | AHI-502、BHI-502   |
| 逆浸透圧精製水製造装置         | 2  | 日機装、ダイセンメンブレン       | DRO-NX、VCR-20   |
| 体外式ペースメーカー          | 4  | バイオトロニック            | REOCOR S  |
| 除細動器                | 12 | フィジオ、フクダ電子、フィリップス   | LP20e、DFM100、ハートスタートMRx                                     |
| 経皮的心肺補助装置           | 2  | テルモ                 | キャピオックス遠心ポンプコントローラーSP-200                                   |
| 大動脈内バルーンポンプ         | 1  | ゼオン                 | ZUIRYU  |
| 心臓カテーテル用3Dマッピングシステム | 1  | アボット                | エンサイトX  |
| 3次元眼底像撮影装置          | 1  | トプコン                | DRI OCT Triton  |
| 眼軸長測定装置             | 1  | カールツァイス             | IOL マスター700   |
| 高圧蒸気滅菌器             | 3  | 三浦工業                | RX-32FVW、RH-16EHW   |
| 低温プラズマ滅菌器           | 1  | ジョンソン&ジョンソン         | STERRAD100NX  |
| 無侵襲混合血酸素飽和度監視システム   | 2  | メドトロニック             | INVOS 5100C   |
| ナビゲーションシステム         | 1  | メドトロニック             | ステルスステーションS7  |
| 術中神経モニタリング装置        | 1  | 日本光電                | ニューロマスターG1  |
| 近赤外線治療器             | 1  | 東京医研                | スーパーライザーPX  |
| 血管内焼灼用高周波治療器        | 1  | コヴィディエン             | ClosureRFG  |

# 組織図

2025年4月1日現在



## 委員会・運営会議

2024年4月1日付（順不同）

| 委員会名称 | 開催日         | 構成人数 |             |       |     |       |
|-------|-------------|------|-------------|-------|-----|-------|
|       |             | 診療部  | 看護部<br>訪問看護 | 医療技術部 | 事務部 | 外部・顧問 |
| 管理会議  | 毎月 第1・3週火曜日 | 7    | 5           | —     | 4   | —     |
| 診療部長会 | 毎月 第4週水曜日   | 28   | 1           | —     | 6   | —     |
| 全体課長会 | 毎月 最終週月曜日   | 1    | 21          | 6     | 10  | —     |

## 《委員会》

|                             |            |    |    |   |   |   |
|-----------------------------|------------|----|----|---|---|---|
| 医師臨床研修委員会<br>※医師卒後臨床研修管理委員会 | 毎月 第2週水曜日  | 17 | 1  | 1 | 4 | — |
| 医療ガス設備安全委員会                 | 年1回        | 1  | 1  | 2 | 2 | — |
| 衛生委員会                       | 毎月 第1週水曜日  | 2  | 2  | 6 | 4 | — |
| 栄養委員会                       | 年5回 第4週木曜日 | 1  | 1  | 2 | 1 | — |
| 化学療法委員会                     | 毎月 第2週火曜日  | 6  | 5  | 5 | 1 | — |
| 感染対策委員会                     | 毎月 第4週水曜日  | 7  | 4  | 8 | 3 | — |
| 緩和ケア委員会                     | 毎月 第2週月曜日  | 2  | 4  | 4 | 1 | — |
| 救急委員会                       | 毎月 第4週月曜日  | 6  | 4  | 4 | 3 | — |
| クリニカルパス委員会                  | 毎月 第3週月曜日  | 2  | 5  | 5 | 1 | — |
| 血液浄化センター委員会                 | 毎月 第2週火曜日  | 5  | 3  | 2 | 1 | — |
| 研修委員会                       | 毎月 第4週火曜日  | —  | 6  | 5 | 3 | — |
| 減免・無料低額診療委員会                | 毎月 第2週火曜日  | —  | 1  | — | 4 | — |
| 購入委員会                       | 毎月 第4週木曜日  | —  | 1  | 1 | 4 | — |
| 広報委員会                       | 毎月 第2週金曜日  | 1  | 5  | 6 | 5 | — |
| RST（呼吸ケアサポートチーム）委員会         | 毎月 第1週火曜日  | 2  | 2  | 5 | — | — |
| NST（栄養サポートチーム）委員会           | 年5回 第4週木曜日 | 2  | 2  | 5 | — | — |
| 褥瘡対策委員会                     | 偶数月 第4週水曜日 | 2  | 3  | 3 | — | — |
| 看護褥瘡予防委員会                   | 毎月 第1週木曜日  | —  | 16 | — | — | — |
| 役割分担推進委員会                   | 毎月 第3週木曜日  | 2  | 3  | 6 | 3 | — |
| 診療情報管理（個人情報管理）委員会           | 毎月 第2週木曜日  | 2  | 1  | 3 | 6 | — |
| 診療報酬適正化委員会                  | 毎月 第4週金曜日  | 2  | 1  | 3 | 3 | — |
| 接遇委員会                       | 毎月 第2週金曜日  | 2  | 4  | 6 | 4 | — |
| 図書委員会                       | 隔月         | 1  | 3  | — | 3 | — |
| 病院安全管理（医療事故調査）委員会           | 毎月 第3週水曜日  | 7  | 3  | 6 | 3 | — |
| 医療機器安全管理委員会                 | 毎月 第3週水曜日  | 1  | 1  | 5 | — | — |
| 防災委員会                       | 奇数月 第2週火曜日 | 2  | 12 | 6 | 8 | — |
| 安全運転委員会                     |            |    |    |   |   |   |
| 薬事（治験）委員会                   | 偶数月 第4週火曜日 | 10 | 2  | 5 | 2 | — |
| 輸血療法委員会                     | 奇数月 第4週金曜日 | 2  | 2  | 4 | 1 | — |
| 臨床検査適正化委員会                  | 偶数月 第4週金曜日 | 2  | 1  | 3 | 1 | — |
| 倫理・臨床研究審査委員会                | 毎月 第3週火曜日  | 1  | 3  | 1 | 4 | 2 |
| 医療の質改善委員会                   | 偶数月 第3週月曜日 | 1  | 2  | 2 | 2 | — |
| 特定行為管理委員会                   | 随時         | 6  | 5  | 1 | 3 | — |
| 特定行為小委員会                    | 毎月 第1週金曜日  | 1  | 6  | — | — | — |
| 排尿ケア（排尿ケアチーム）               | 毎月 第3金曜日   | 1  | 7  | 2 | — | — |

## 《運営会議》

|                   |            |    |     |     |     |   |
|-------------------|------------|----|-----|-----|-----|---|
| 外来運営会議            | 毎月 第1週木曜日  | 3  | 5   | 3   | 7   | — |
| 手術室運営会議           | 毎月 第1週水曜日  | 11 | 4   | 4   | 1   | — |
| リハビリテーション課運営会議    | 奇数月 第4週水曜日 | 4  | 4   | 4   | 1   | — |
| セーフティマネージャー運営会議   | 隔月 最終週月曜日  | 1  | 職場長 | 職場長 | 職場長 | — |
| 糖尿病療養運営会議         | 毎月 第1週金曜日  | 2  | 4   | 5   | —   | — |
| 情報システム運営会議        | 毎月 第3金曜日   | 1  | 3   | 6   | 4   | — |
| ボランティア運営会議        | 奇数月 最終週月曜日 | —  | 2   | —   | 2   | — |
| ドック・健診室運営会議       | 年4回 第4週水曜日 | 3  | 3   | 4   | 5   | — |
| 地域連携・患者支援センター運営会議 | 毎月 第3週木曜日  | 5  | 3   | 1   | 6   | — |
| 病床管理センター運営会議      | 毎月 第4週水曜日  | 2  | 5   | —   | 4   | — |
| 内視鏡センター運営会議       | 偶数月 第1週金曜日 | 3  | 3   | 3   | 2   | — |
| 脳血管センター運営会議       | 毎月 第3週水曜日  | 2  | 3   | 5   | 3   | — |
| 膠原病・リウマチセンター運営会議  | 随時         | 2  | 3   | 3   | 5   | — |
| 乳腺センター運営会議        | 毎月 第4週火曜日  | 1  | 3   | 2   | 5   | — |
| 緩和ケア病棟運営会議        | 随時         | 1  | 4   | 3   | 4   | — |
| 整形外科              | 毎月 第1週金曜日  | 4  | 5   | 1   | 1   | — |

## 《プロジェクト》

|                |    |   |   |   |   |   |
|----------------|----|---|---|---|---|---|
| 医師・医療従事者の働き方改革 | 随時 | 7 | 3 | 6 | 3 | — |
| 心臓血管外科診療拡大     | 随時 | 3 | 3 | 7 | 3 | — |

## 《多職種連携チーム》

|                         |          |   |    |   |   |   |
|-------------------------|----------|---|----|---|---|---|
| OLS（骨粗しょう症リエゾンサービス）運営会議 | 毎月 第1金曜日 | 4 | 5  | 6 | 4 | — |
| そらまめチーム（透析予防診療チーム）      | 毎月 第4水曜日 | 1 | 7  | 5 | — | — |
| 摂食嚥下機能療法チーム             | 不定期      | 1 | 3  | 4 | — | — |
| 認知症ケアチーム                | 毎週 木曜日   | — | 12 | — | — | — |
| ハートケアサポートチーム            | 毎月 第3月曜日 | 3 | 13 | 6 | — | — |
| 身体拘束最小化チーム              | 毎月 第2火曜日 | 1 | 2  | 1 | 1 | — |

## 医師職員数内訳

(2024年4月1日現在 単位：人)

| 診療科等       | 常勤医師 | 非常勤医師 | 合計    |
|------------|------|-------|-------|
| 院長         | 1    | 0.00  | 1.00  |
| 消化器内科      | 3    | 0.10  | 3.10  |
| 内分泌・糖尿病内科  | 1    | 0.90  | 1.90  |
| 呼吸器内科      | 1    | 1.20  | 2.20  |
| アレルギー内科    | 1.00 | 0.00  | 1.00  |
| 腎臓・高血圧内科   | 2.88 | 0.60  | 3.48  |
| 救急科        | 1    | 2.20  | 3.20  |
| 脳神経外科      | 1    | 1.175 | 2.175 |
| 脳血管内治療科    | 0    | 0.10  | 0.10  |
| 小児科        | 1    | 0.25  | 1.25  |
| 外科         | 4.8  | 0.00  | 4.80  |
| 乳腺科        | 1    | 0.725 | 1.73  |
| 消化器外科      | 1    | 0.00  | 1.00  |
| 整形外科       | 6.85 | 0.05  | 6.90  |
| 関節外科       | 1    | 0.00  | 1.00  |
| 呼吸器外科      | 1    | 0.00  | 1.00  |
| 皮膚科        | 0    | 0.80  | 0.80  |
| 泌尿器科       | 1    | 0.60  | 1.60  |
| 眼科         | 3    | 0.40  | 3.40  |
| 耳鼻咽喉科      | 0    | 1.85  | 1.85  |
| 麻酔科        | 6.4  | 5.20  | 11.60 |
| 放射線診断科     | 2    | 1.925 | 3.925 |
| 病理診断科      | 1    | 0.00  | 1.00  |
| 形成外科       | 0    | 0.40  | 0.40  |
| 心臓血管センター内科 | 5    | 0.65  | 5.65  |
| 心臓血管センター外科 | 2    | 0.30  | 2.30  |
| 膠原病・リウマチ内科 | 2.65 | 0.30  | 2.95  |
| 総合診療科      | 1    | 0.90  | 1.90  |
| 初期研修医      | 10   | 0.00  | 10.00 |
| リハビリテーション科 | 1    | 0.00  | 1.00  |
| 合計         | 64   | 20.63 | 84.21 |

## 職員別・区分別職員数

(2024年4月1日現在 単位：人)

| 部門名   | 職名      | 区分  |      |       |         | 合計  |
|-------|---------|-----|------|-------|---------|-----|
|       |         | 正職員 | 地区限定 | エルダー職 | パート・非常勤 |     |
| 診療部   | 医師      | 62  | 0    | 0     | 127     | 189 |
|       | 初期研修医   | 10  | 0    | 0     | 0       | 10  |
| 看護部   | 助産師     | 0   | 0    | 0     | 1       | 1   |
|       | 看護師     | 300 | 16   | 1     | 21      | 338 |
|       | 准看護師    | 0   | 0    | 1     | 1       | 2   |
|       | 看護助手    | 0   | 30   | 3     | 16      | 49  |
|       | 救急救命士   | 7   | 0    | 0     | 0       | 7   |
|       | 事務職     | 1   | 8    | 0     | 1       | 10  |
| 医療技術部 | 薬剤師     | 21  | 0    | 0     | 0       | 21  |
|       | 薬剤事務    | 0   | 4    | 0     | 0       | 4   |
|       | 臨床検査技師  | 19  | 3    | 0     | 1       | 23  |
|       | 検査事務    | 0   | 1    | 0     | 0       | 1   |
|       | 診療放射線技師 | 21  | 0    | 0     | 0       | 21  |
|       | 放射線事務   | 0   | 1    | 0     | 2       | 3   |
|       | 理学療法士   | 31  | 0    | 0     | 1       | 32  |
|       | 作業療法士   | 16  | 0    | 0     | 0       | 16  |
|       | 言語聴覚士   | 4   | 0    | 0     | 1       | 5   |
|       | 臨床工学技士  | 21  | 0    | 0     | 0       | 21  |
|       | 管理栄養士   | 10  | 0    | 0     | 0       | 10  |
|       | 調理師     | 1   | 2    | 0     | 0       | 3   |
|       | 調理助手    | 0   | 0    | 0     | 14      | 14  |
| 事務部   | 看護師     | 7   | 1    | 0     | 0       | 8   |
|       | 事務職     | 30  | 49   | 1     | 15      | 95  |
|       | 施設員     | 3   | 0    | 0     | 0       | 3   |
|       | 医療相談員   | 5   | 2    | 0     | 0       | 6   |
|       | 視能訓練士   | 3   | 0    | 0     | 0       | 3   |
| 訪問看護  | 看護師     | 6   | 0    | 0     | 2       | 8   |
|       | 理学療法士   | 0   | 0    | 0     | 1       | 1   |
|       | 作業療法士   | 1   | 0    | 0     | 0       | 1   |
|       | 事務職     | 0   | 1    | 0     | 0       | 1   |
| 合計    | 579     | 118 | 6    | 204   | 906     |     |

## 病 棟 構 成

| 建物  | 階 | 名称                             | 病床数          | 主な診療科                                  | 入院料   |
|-----|---|--------------------------------|--------------|--|---|
| 東棟  | 4 | 東4病棟                           | 60           | 総合診療科、内分泌・糖尿病内科                        | 地域包括ケア病棟入院料2                                      |
|     | 3 | 東3病棟                           | 52           | 消化器内科、外科（消化器、一般）、泌尿器科                  | 急性期一般入院料1   |
|     | 2 | 東2病棟                           | 53           | 呼吸器内科、呼吸器外科、眼科、乳腺科                     | 急性期一般入院料1   |
|     | 1 | 東1病棟                           | 38           | 整形外科、脳神経外科                             | 回復期リハビリテーション病棟入院料1                                |
| 西棟  | 3 | 西3病棟                           | 46           | 心臓血管センター内科、腎臓・高血圧内科<br>救急科             | 急性期一般入院料1   |
|     | 2 | 西2病棟                           | 47           | 整形外科、耳鼻咽喉科、麻酔科<br>リウマチ・膠原病内科、内分泌・糖尿病内科 | 急性期一般入院料1   |
|     | 1 | 西1病棟<br>急性期ケアユニット<br>脳卒中ケアユニット | 34<br>8<br>9 | 脳神経外科                                  | 急性期一般入院料1<br>ハイケアユニット入院医療管理料1<br>脳卒中ケアユニット入院医療管理料 |
| B棟  | 3 | B3病棟                           | 20           | 麻酔科                                    | 緩和ケア病棟入院料2  |
| 合 計 |   |                                | 367          |  |   |

# 病 院 統 計

年度別月別入院延べ患者数

(単位：人)

| 年度   | 月 | 4月    | 5月     | 6月    | 7月     | 8月     | 9月    | 10月    | 11月   | 12月   | 1月     | 2月    | 3月     | 年間      |
|------|---|-------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|---------|
| 2020 |   | 6,564 | 5,611  | 5,791 | 6,571  | 6,986  | 6,676 | 7,296  | 7,450 | 8,173 | 8,667  | 8,525 | 9,524  | 87,834  |
| 2021 |   | 8,714 | 8,726  | 8,780 | 8,770  | 9,218  | 9,363 | 9,372  | 9,338 | 9,823 | 9,833  | 9,009 | 10,314 | 111,260 |
| 2022 |   | 9,646 | 8,684  | 9,268 | 9,029  | 8,288  | 8,415 | 9,325  | 9,184 | 8,874 | 9,051  | 8,977 | 9,606  | 108,347 |
| 2023 |   | 8,864 | 8,535  | 8,844 | 9,147  | 9,922  | 9,485 | 8,975  | 8,937 | 9,871 | 9,968  | 9,689 | 9,994  | 112,231 |
| 2024 |   | 9,759 | 10,077 | 9,610 | 10,295 | 10,419 | 9,564 | 10,116 | 9,551 | 9,742 | 10,511 | 9,520 | 10,470 | 119,634 |

年度別月別1日平均入院患者数

(単位：人)

| 年度   | 月 | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 平均    |
|------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2020 |   | 218.8 | 181.0 | 193.0 | 212.0 | 225.4 | 222.5 | 235.4 | 248.3 | 263.6 | 279.6 | 304.5 | 307.2 | 240.9 |
| 2021 |   | 290.5 | 281.5 | 292.7 | 282.9 | 297.4 | 312.1 | 302.3 | 311.3 | 316.9 | 317.2 | 321.8 | 332.7 | 304.9 |
| 2022 |   | 321.5 | 280.1 | 308.9 | 291.3 | 267.4 | 280.5 | 300.8 | 306.1 | 286.3 | 292.0 | 320.6 | 309.9 | 297.1 |
| 2023 |   | 295.5 | 275.3 | 294.8 | 295.1 | 320.1 | 316.2 | 289.5 | 297.9 | 318.4 | 321.5 | 334.1 | 322.4 | 306.7 |
| 2024 |   | 325.3 | 325.1 | 320.3 | 332.1 | 336.1 | 318.8 | 326.3 | 318.4 | 314.3 | 339.1 | 340.0 | 337.7 | 327.8 |

年度別月別外来延べ患者数

(単位：人)

| 年度   | 月 | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 年間      |
|------|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 2020 |   | 10,068 | 9,161  | 11,077 | 11,722 | 10,734 | 11,155 | 12,131 | 11,053 | 12,077 | 10,824 | 10,294 | 12,830 | 133,126 |
| 2021 |   | 12,060 | 11,163 | 12,498 | 12,170 | 12,294 | 12,444 | 12,705 | 12,685 | 12,829 | 12,231 | 11,078 | 13,881 | 148,038 |
| 2022 |   | 12,579 | 12,168 | 13,421 | 13,114 | 13,252 | 12,860 | 12,554 | 12,597 | 13,266 | 12,388 | 11,724 | 13,780 | 153,703 |
| 2023 |   | 12,209 | 12,341 | 13,323 | 12,372 | 12,666 | 11,973 | 12,855 | 12,479 | 12,827 | 12,400 | 11,772 | 12,471 | 149,688 |
| 2024 |   | 12,613 | 12,621 | 12,297 | 13,234 | 12,321 | 12,308 | 13,688 | 12,802 | 13,456 | 12,873 | 11,827 | 12,847 | 152,887 |

年度別月別1日平均外来患者数

(単位：人)

| 年度   | 月 | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 平均    |
|------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2020 |   | 437.7 | 458.1 | 461.5 | 509.7 | 487.9 | 507.0 | 505.5 | 526.3 | 549.0 | 515.4 | 514.7 | 513.2 | 498.8 |
| 2021 |   | 524.3 | 558.2 | 520.8 | 553.2 | 534.5 | 565.6 | 552.4 | 576.6 | 583.1 | 582.4 | 553.9 | 578.4 | 557.0 |
| 2022 |   | 571.8 | 579.4 | 559.2 | 596.1 | 552.2 | 584.5 | 570.6 | 572.6 | 603.0 | 589.9 | 586.2 | 574.2 | 578.3 |
| 2023 |   | 555.0 | 561.0 | 555.1 | 562.4 | 527.8 | 570.1 | 558.9 | 567.2 | 583.0 | 590.5 | 560.6 | 566.9 | 563.2 |
| 2024 |   | 548.4 | 548.7 | 559.0 | 551.4 | 535.7 | 586.1 | 570.3 | 609.6 | 611.6 | 613.0 | 591.4 | 584.0 | 575.8 |

## 年度別診療科別外来延べ患者数

(単位：人)

| 診療科        | 年度 | 2020   | 2021   | 2022   | 2023   | 2024   |
|------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 内科         |    | 3,863  | 3,412  | 3,486  | 2,990  | 3,005  |
| 呼吸器内科      |    | 6,050  | 6,748  | 6,487  | 7,525  | 8,697  |
| 消化器内科      |    | 9,126  | 8,756  | 9,897  | 9,075  | 8,663  |
| 腎臓・高血圧内科   |    | 1,865  | 3,151  | 3,781  | 4,326  | 4,412  |
| 内分泌・糖尿病内科  |    | 5,161  | 6,066  | 6,583  | 7,116  | 7,161  |
| 血液浄化       |    | 6,365  | 5,837  | 7,020  | 7,944  | 6,735  |
| 乳腺科        |    | 3,268  | 4,017  | 4,524  | 4,522  | 4,355  |
| 脳神経外科      |    | 9,688  | 9,725  | 8,663  | 7,958  | 7,415  |
| 小児科        |    | 2,333  | 2,347  | 2,811  | 3,435  | 3,503  |
| 外科         |    | 6,098  | 6,229  | 6,289  | 6,470  | 6,926  |
| 呼吸器外科      |    | 2,476  | 2,609  | 2,596  | 2,294  | 2,287  |
| 形成外科       |    | 1,148  | 1,083  | 1,236  | 1,217  | 1,275  |
| 整形外科       |    | 10,844 | 14,289 | 16,679 | 14,471 | 15,253 |
| 皮膚科        |    | 4,484  | 4,396  | 2,134  | 2,275  | 3,531  |
| 泌尿器科       |    | 4,775  | 6,669  | 7,199  | 7,487  | 7,976  |
| 眼科         |    | 8,336  | 9,299  | 9,299  | 8,676  | 9,138  |
| 耳鼻咽喉科      |    | 12,259 | 13,358 | 12,550 | 9,869  | 8,042  |
| 心臓血管センター内科 |    | 14,714 | 14,862 | 15,129 | 15,221 | 16,460 |
| 膠原病・リウマチ内科 |    | 8,693  | 10,009 | 10,890 | 10,560 | 10,183 |
| 総合診療科      |    | 992    | 963    | 977    | 2,106  | 3,127  |
| 放射線科       |    | 2,275  | 2,083  | 2,069  | 2,708  | 3,447  |
| リハビリテーション科 |    | —      | —      | —      | —      | 30     |
| 麻酔科        |    | 4,469  | 4,978  | 5,212  | 4,873  | 5,045  |
| 救急科        |    | 3,844  | 5,120  | 5,330  | 2,364  | 2,319  |
| アレルギー内科    |    | —      | 2,032  | 2,862  | 3,987  | 3,518  |
| 遺伝子診療科     |    | —      | —      | —      | 1      | 0      |
| 婦人科        |    | —      | —      | —      | 65     | 132    |
| 漢方科        |    | —      | —      | —      | 151    | 252    |

## 年度別診療科別1日平均外来患者数

(単位：人)

| 診療科        | 年度 | 2020  | 2021  | 2022  | 2023  | 2024  |
|------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 内科         |    | 14.5  | 12.8  | 13.1  | 11.2  | 11.3  |
| 呼吸器内科      |    | 22.7  | 25.4  | 24.4  | 28.3  | 32.7  |
| 消化器内科      |    | 34.2  | 32.9  | 37.2  | 34.1  | 32.6  |
| 腎臓・高血圧内科   |    | 7.0   | 11.9  | 14.2  | 16.3  | 16.6  |
| 内分泌・糖尿病内科  |    | 19.3  | 22.8  | 24.7  | 26.8  | 26.9  |
| 血液浄化       |    | 23.8  | 22.0  | 26.4  | 29.9  | 25.3  |
| 乳腺科        |    | 12.2  | 15.1  | 17.0  | 17.0  | 16.4  |
| 脳神経外科      |    | 36.3  | 36.6  | 32.6  | 29.9  | 27.9  |
| 小児科        |    | 8.7   | 8.8   | 10.6  | 12.9  | 13.2  |
| 外科         |    | 22.8  | 23.4  | 23.6  | 24.4  | 26.0  |
| 呼吸器外科      |    | 9.3   | 9.8   | 9.8   | 8.6   | 8.6   |
| 形成外科       |    | 4.3   | 4.1   | 4.6   | 4.6   | 4.8   |
| 整形外科       |    | 40.6  | 53.8  | 62.7  | 54.5  | 57.3  |
| 皮膚科        |    | 16.8  | 16.5  | 8.0   | 8.6   | 13.3  |
| 泌尿器科       |    | 17.9  | 25.1  | 27.1  | 28.2  | 30.0  |
| 眼科         |    | 31.2  | 34.9  | 35.0  | 32.6  | 34.4  |
| 耳鼻咽喉科      |    | 45.9  | 50.2  | 47.2  | 37.1  | 30.2  |
| 心臓血管センター内科 |    | 55.1  | 55.9  | 56.9  | 57.3  | 61.9  |
| 膠原病・リウマチ内科 |    | 32.6  | 37.7  | 40.9  | 39.7  | 38.3  |
| 総合診療科      |    | 3.7   | 3.6   | 3.7   | 7.9   | 11.8  |
| 放射線科       |    | 8.5   | 7.8   | 7.8   | 10.2  | 13.0  |
| リハビリテーション科 |    | —     | —     | —     | —     | 0.1   |
| 麻酔科        |    | 16.7  | 18.7  | 19.6  | 18.3  | 19.0  |
| 救急科        |    | 14.4  | 19.4  | 20.0  | 8.9   | 8.7   |
| アレルギー内科    |    | —     | 7.6   | 10.8  | 15.0  | 13.2  |
| 遺伝子診療科     |    | —     | —     | —     | 0.0   | 0.0   |
| 婦人科        |    | —     | —     | —     | 0.2   | 0.5   |
| 漢方科        |    | —     | —     | —     | 0.6   | 0.9   |
| 合計         |    | 498.8 | 557.0 | 578.3 | 563.2 | 574.8 |

年度別診療科別入院延べ患者数

(単位：人)

| 診療科        | 年度 | 2020   | 2021   | 2022   | 2023   | 2024   |
|------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 内科         |    | 218    | 0      | 0      | 0      | 8,397  |
| 呼吸器内科      |    | 3,567  | 4,748  | 3,718  | 3,727  | 4,106  |
| 消化器内科      |    | 7,064  | 5,476  | 6,384  | 6,408  | 5,491  |
| 腎臓・高血圧内科   |    | 138    | 2,354  | 3,408  | 3,029  | 3,799  |
| 内分泌・糖尿病内科  |    | 2,625  | 3,122  | 2,261  | 1,962  | 2,645  |
| 乳腺科        |    | 838    | 633    | 978    | 891    | 502    |
| 脳神経外科      |    | 17,737 | 19,531 | 14,933 | 10,565 | 10,714 |
| 外科         |    | 10,347 | 11,818 | 13,032 | 14,030 | 14,280 |
| 呼吸器外科      |    | 3,572  | 6,573  | 5,191  | 2,357  | 2,696  |
| 整形外科       |    | 18,163 | 24,788 | 27,375 | 30,087 | 30,131 |
| 泌尿器科       |    | 199    | 1,720  | 1,883  | 2,417  | 2,712  |
| 眼科         |    | 416    | 616    | 478    | 921    | 718    |
| 耳鼻咽喉科      |    | 2,052  | 2,607  | 2,245  | 186    | 0      |
| 心臓血管センター内科 |    | 9,248  | 10,682 | 10,620 | 11,532 | 12,395 |
| 膠原病・リウマチ内科 |    | 3,000  | 3,649  | 3,700  | 3,143  | 1,695  |
| 総合診療科      |    | 2,328  | 3,255  | 2,261  | 6,384  | 3,479  |
| リハビリテーション科 |    | —      | —      | —      | 4,798  | 5,885  |
| 麻酔科        |    | 2,418  | 6,241  | 6,293  | 6,521  | 6,553  |
| 救急科        |    | 5,120  | 3,217  | 3,309  | 3,001  | 3,278  |
| アレルギー内科    |    | —      | 230    | 278    | 272    | 158    |

年度別診療科別入院患者数：1日平均

(単位：人)

| 診療科        | 年度 | 2020  | 2021  | 2022  | 2023  | 2024  |
|------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 内科         |    | 0.6   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 23.0  |
| 呼吸器内科      |    | 9.8   | 13.0  | 10.2  | 10.2  | 11.2  |
| 消化器内科      |    | 19.4  | 15.0  | 17.5  | 17.5  | 15.0  |
| 腎臓・高血圧内科   |    | 0.4   | 6.5   | 9.4   | 8.3   | 10.4  |
| 内分泌・糖尿病内科  |    | 7.2   | 8.6   | 6.2   | 5.4   | 7.2   |
| 乳腺科        |    | 2.3   | 1.7   | 2.7   | 2.4   | 1.4   |
| 脳神経外科      |    | 48.6  | 53.5  | 40.9  | 28.9  | 29.4  |
| 外科         |    | 28.3  | 32.3  | 35.7  | 38.4  | 39.1  |
| 呼吸器外科      |    | 9.8   | 18.0  | 14.2  | 6.4   | 7.4   |
| 整形外科       |    | 49.8  | 68.0  | 75.1  | 82.3  | 82.6  |
| 泌尿器科       |    | 0.5   | 4.7   | 5.2   | 6.6   | 7.4   |
| 眼科         |    | 1.1   | 1.7   | 1.3   | 2.5   | 2.0   |
| 耳鼻咽喉科      |    | 5.6   | 7.1   | 6.1   | 0.5   | 0.0   |
| 心臓血管センター内科 |    | 25.3  | 29.3  | 29.2  | 31.5  | 34.0  |
| 膠原病・リウマチ内科 |    | 8.2   | 10.0  | 10.2  | 8.6   | 4.6   |
| 総合診療科      |    | 6.4   | 8.9   | 6.2   | 17.4  | 9.5   |
| リハビリテーション科 |    | —     | —     | —     | 13    | 16.1  |
| 麻酔科        |    | 6.6   | 17.1  | 17.2  | 17.8  | 18.0  |
| 救急科        |    | 10.7  | 8.8   | 9.1   | 8.2   | 9.0   |
| アレルギー内科    |    | —     | 0.6   | 0.8   | 0.7   | 0.4   |
| 合計         |    | 240.9 | 304.9 | 297.1 | 306.7 | 327.8 |

## 年度別診療科別入院患者数

(単位：人)

| 診療科        | 年度 | 2020  | 2021  | 2022  | 2023  | 2024  |
|------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 内科         |    | 0.5   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 17.4  |
| 呼吸器内科      |    | 13.4  | 14.2  | 10.2  | 8.9   | 11.3  |
| 消化器内科      |    | 44.4  | 41.2  | 45.3  | 44.1  | 43.1  |
| 腎臓・高血圧内科   |    | 0.5   | 8.5   | 10.3  | 12.1  | 15.4  |
| 内分泌・糖尿病内科  |    | 5.5   | 5.5   | 4.3   | 5.8   | 7.6   |
| 乳腺科        |    | 8.3   | 7.2   | 9.2   | 8.1   | 5.4   |
| 脳神経外科      |    | 56.3  | 53.6  | 36.0  | 38.5  | 40.8  |
| 外科         |    | 42.3  | 43.8  | 47.6  | 48.5  | 56.3  |
| 呼吸器外科      |    | 13.1  | 22.3  | 15.8  | 10.8  | 10.1  |
| 整形外科       |    | 49.3  | 57.8  | 70.7  | 74.1  | 79.8  |
| 泌尿器科       |    | 1.5   | 10.4  | 12.1  | 13.1  | 15.2  |
| 眼科         |    | 14.8  | 16.5  | 14.8  | 22.2  | 22.3  |
| 耳鼻咽喉科      |    | 26.5  | 31.1  | 29.2  | 2.9   | 0.0   |
| 心臓血管センター内科 |    | 75.8  | 78.6  | 74.7  | 84.3  | 80.8  |
| 膠原病・リウマチ内科 |    | 13.4  | 14.8  | 17.1  | 13.9  | 10.3  |
| 総合診療科      |    | 9.0   | 7.7   | 5.8   | 17.0  | 17.3  |
| リハビリテーション科 |    | —     | —     | —     | 0.4   | 0.7   |
| 麻酔科        |    | 9.8   | 23.1  | 25.3  | 25.8  | 20.5  |
| 救急科        |    | 17.5  | 22.3  | 22.0  | 29.3  | 27.3  |
| アレルギー内科    |    | —     | 3.1   | 2.8   | 6.3   | 2.6   |
| 合計         |    | 401.9 | 461.3 | 452.8 | 466.1 | 484.3 |

## 年度別診療科別退院患者数

(単位：人)

| 診療科        | 年度 | 2020  | 2021  | 2022  | 2023  | 2024  |
|------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 内科         |    | 0.8   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 22.8  |
| 呼吸器内科      |    | 13.4  | 16.3  | 10.3  | 10.2  | 13.1  |
| 消化器内科      |    | 43.7  | 41.3  | 46.0  | 43.6  | 42.6  |
| 腎臓・高血圧内科   |    | 0.3   | 7.9   | 11.2  | 11.8  | 14.8  |
| 内分泌・糖尿病内科  |    | 5.8   | 7.4   | 5.3   | 6.4   | 7.6   |
| 乳腺科        |    | 8.0   | 6.9   | 9.1   | 8.1   | 5.4   |
| 脳神経外科      |    | 53.9  | 51.5  | 37.6  | 33.3  | 32.3  |
| 外科         |    | 44.3  | 45.2  | 47.9  | 52.3  | 56.5  |
| 呼吸器外科      |    | 13.3  | 21.8  | 17.8  | 10.8  | 10.8  |
| 整形外科       |    | 46.8  | 57.8  | 70.2  | 75.3  | 82.9  |
| 泌尿器科       |    | 1.7   | 12.1  | 12.6  | 14.6  | 16.3  |
| 眼科         |    | 14.7  | 16.4  | 14.7  | 22.0  | 22.4  |
| 耳鼻咽喉科      |    | 26.3  | 31.8  | 29.8  | 3.2   | 0.0   |
| 心臓血管センター内科 |    | 75.8  | 75.1  | 74.1  | 83.2  | 76.8  |
| 膠原病・リウマチ内科 |    | 13.8  | 15.4  | 17.4  | 13.8  | 11.0  |
| 総合診療科      |    | 9.3   | 10.4  | 7.6   | 19.1  | 14.0  |
| リハビリテーション科 |    | —     | —     | —     | 4.4   | 6.1   |
| 麻酔科        |    | 9.7   | 27.5  | 28.2  | 31.0  | 26.7  |
| 救急科        |    | 13.9  | 12.3  | 13.5  | 16.5  | 17.8  |
| アレルギー内科    |    | —     | 2.8   | 2.4   | 6.3   | 2.4   |
| 合計         |    | 395.5 | 459.8 | 455.7 | 465.7 | 482.3 |

年度別平均在院日数：診療科別

(単位：日)

| 診療科        | 年度 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023  | 2024  |
|------------|----|------|------|------|-------|-------|
| 内科         |    | 4.1  | 0.0  | 0.0  | 0.0   | 34.2  |
| 呼吸器内科      |    | 21.9 | 26.3 | 30.1 | 33.4  | 28.2  |
| 消化器内科      |    | 12.5 | 10.1 | 10.6 | 11.2  | 9.8   |
| 腎臓・高血圧内科   |    | 4.4  | 24.6 | 26.2 | 20.8  | 19.7  |
| 内分泌・糖尿病内科  |    | 40.2 | 39.6 | 42.9 | 26.8  | 28.9  |
| 乳腺科        |    | 8.8  | 6.5  | 8.2  | 8.5   | 6.5   |
| 脳神経外科      |    | 25.9 | 30.2 | 33.8 | 24.1  | 23.8  |
| 外科         |    | 19.1 | 21.4 | 22.0 | 22.4  | 20.4  |
| 呼吸器外科      |    | 21.9 | 24.6 | 24.9 | 17.2  | 22.4  |
| 整形外科       |    | 30.5 | 35.0 | 31.5 | 32.6  | 30.2  |
| 泌尿器科       |    | 3.6  | 12.2 | 12.0 | 13.8  | 13.3  |
| 眼科         |    | 1.5  | 2.2  | 1.9  | 2.5   | 1.8   |
| 耳鼻咽喉科      |    | 5.5  | 6.0  | 5.4  | 4.0   | 0.0   |
| 心臓血管センター内科 |    | 9.3  | 10.6 | 10.9 | 10.6  | 12.2  |
| 膠原病・リウマチ内科 |    | 17.7 | 19.2 | 17.7 | 18.6  | 12.7  |
| 総合診療科      |    | 20.8 | 29.0 | 28.1 | 29.7  | 18.1  |
| リハビリテーション科 |    | —    | —    | —    | 190.0 | 160.7 |
| 麻酔科        |    | 20.4 | 19.6 | 18.8 | 18.2  | 22.3  |
| 救急科        |    | 21.1 | 15.0 | 15.1 | 10.3  | 11.7  |
| アレルギー内科    |    | —    | 5.9  | 8.5  | 2.5   | 3.7   |
| 全科         |    | 17.4 | 19.1 | 18.9 | 19.1  | 19.7  |

年度別平均在院日数：病棟別

(単位：日)

| 診療科       | 年度 | 2020  | 2021  | 2022  | 2023  | 2024  |
|-----------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 東1病棟      |    | 142.3 | 148.2 | 126.8 | 132.8 | 122.9 |
| 東2病棟      |    | 13.1  | 17.2  | 19.1  | 16.9  | 18.3  |
| 東3病棟      |    | 14.0  | 13.6  | 13.6  | 14.0  | 13.2  |
| 東4病棟      |    | 35.3  | 39.3  | 32.3  | 24.6  | 23.5  |
| 西1病棟      |    | 20.7  | 19.9  | 21.2  | 22.4  | 19.4  |
| 西2病棟      |    | 17.7  | 18.8  | 17.7  | 24.4  | 25.7  |
| 西3病棟      |    | 10.5  | 10.5  | 12.3  | 11.2  | 13.1  |
| 急性期ケアユニット |    | 11.8  | 17.0  | 12.3  | 17.6  | 19.2  |
| 脳卒中ケアユニット |    | 18.7  | 18.8  | 23.8  | 23.9  | 20.7  |
| B3病棟      |    | 26.9  | 19.9  | 19.0  | 18.1  | 23.2  |
| 全病棟       |    | 17.4  | 19.1  | 18.9  | 19.1  | 19.7  |

年度別病床利用率

(単位：%)

| 診療科           | 年度 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|---------------|----|------|------|------|------|------|
| 東1病棟 (38)     |    | 55.7 | 85.6 | 78.8 | 82.4 | 88.1 |
| 東2病棟 (53)     |    | 37.8 | 44.5 | 48.8 | 54.3 | 63.8 |
| 東3病棟 (52)     |    | 74.9 | 87.3 | 90.0 | 91.5 | 95.1 |
| 東4病棟 (60)     |    | 66.9 | 92.8 | 81.3 | 82.0 | 91.7 |
| 西1病棟 (34)     |    | 79.5 | 82.2 | 82.4 | 85.8 | 96.4 |
| 西2病棟 (47)     |    | 93.9 | 99.1 | 97.4 | 97.3 | 96.6 |
| 西3病棟 (46)     |    | 70.5 | 90.1 | 87.8 | 93.0 | 97.2 |
| 急性期ケアユニット (8) |    | 72.7 | 82.0 | 73.4 | 88.7 | 95.3 |
| 脳卒中ケアユニット (9) |    | 99.7 | 98.9 | 93.7 | 95.5 | 91.1 |
| B3病棟 (20)     |    | 59.2 | 82.2 | 80.7 | 82.1 | 86.9 |
| 全病棟 (367)     |    | 70.2 | 83.1 | 80.7 | 83.6 | 89.3 |

年度別死亡数

(単位：人)

| 区分  | 年度 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|-----|----|------|------|------|------|------|
| 死亡数 |    | 268  | 480  | 440  | 474  | 524  |

年度別解剖件数

(単位：人)

| 区分  | 年度 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|-----|----|------|------|------|------|------|
| 解剖数 |    | 3    | 4    | 5    | 7    | 3    |

年度別救急車受入れ件数

(単位：件)

| 診療科      | 年度 | 2020  | 2021  | 2022  | 2023  | 2024  |
|----------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 救急車受入れ件数 |    | 3,814 | 4,544 | 4,072 | 4,469 | 4,690 |

年度別診療科別手術件数：(手術室実施)

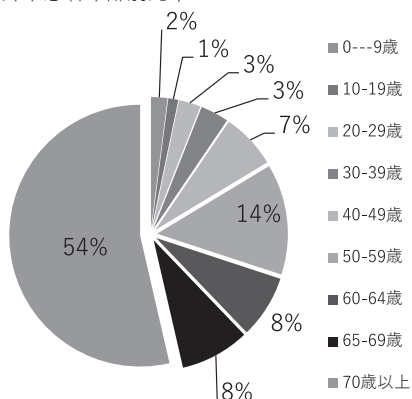
(単位：件)

| 診療科        | 年度 | 2020  | 2021  | 2022  | 2023  | 2024  |
|------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 腎臓・高血圧内科   |    | 8     | 22    | 34    | 36    | 36    |
| 脳神経外科      |    | 111   | 91    | 53    | 51    | 61    |
| 外科         |    | 346   | 332   | 357   | 352   | 334   |
| 呼吸器外科      |    | 52    | 83    | 58    | 56    | 54    |
| 整形外科       |    | 446   | 638   | 808   | 773   | 871   |
| 泌尿器科       |    | 12    | 109   | 124   | 114   | 134   |
| 眼科         |    | 178   | 193   | 181   | 266   | 270   |
| 耳鼻咽喉科      |    | 160   | 197   | 215   | 31    | 0     |
| 乳腺科        |    | 59    | 63    | 80    | 66    | 50    |
| 心臓血管センター内科 |    | 0     | 7     | 50    | 67    | 73    |
| 麻酔科        |    | 4     | 6     | 4     | 8     | 4     |
| 合計         |    | 1,376 | 1,741 | 1,964 | 1,820 | 1,887 |

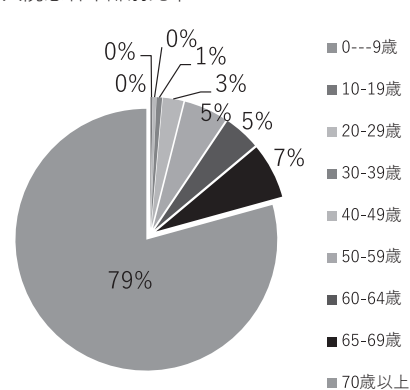
2024年度患者年齢別比率 (単位：%)

|        | 外来    | 入院    |
|--------|-------|-------|
| 0---9歳 | 2.0%  | 0.0%  |
| 10-19歳 | 1.2%  | 0.3%  |
| 20-29歳 | 2.7%  | 0.4%  |
| 30-39歳 | 3.5%  | 0.7%  |
| 40-49歳 | 6.9%  | 2.6%  |
| 50-59歳 | 13.7% | 5.5%  |
| 60-64歳 | 7.8%  | 4.5%  |
| 65-69歳 | 8.6%  | 6.8%  |
| 70歳以上  | 53.6% | 79.3% |

外来患者年齢別比率



入院患者年齢別比率



2024年度地区別比率

(単位：%)

| 地区 | 横浜市保土ヶ谷区 | 横浜市南区 | 横浜市西区 | 横浜市戸塚区 | 横浜市旭区 | 横浜市中区 | 横浜市港南区 | 横浜市神奈川区 | 横浜市磯子区 | 横浜市泉区 |
|----|----------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|---------|--------|-------|
| 比率 | 34.1%    | 29.9% | 12.9% | 3.5%   | 2.6%  | 3.9%  | 2.5%   | 1.6%    | 1.9%   | 0.4%  |

| 地区 | 横浜市港北区 | 横浜市瀬谷区 | 横浜市都筑区 | 横浜市緑区 | 横浜市青葉区 | 横浜市金沢区 | 横浜市鶴見区 | 横浜市栄区 | 市外   | 県外   |
|----|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|------|------|
| 比率 | 0.6%   | 0.3%   | 0.2%   | 0.4%  | 0.2%   | 0.5%   | 0.4%   | 0.3%  | 2.2% | 1.8% |

年度別紹介件数：診療科別

(単位：件)

| 診療科        | 年度 | 2019  | 2020  | 2021  | 2022  | 2023  | 2024  |
|------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 内科         |    | 139   | 35    | 27    | 59    | 54    | 231   |
| 呼吸器内科      |    | 455   | 375   | 420   | 389   | 494   | 599   |
| 消化器内科      |    | 939   | 891   | 862   | 936   | 895   | 939   |
| 腎臓・高血圧内科   |    | 251   | 93    | 184   | 196   | 226   | 201   |
| 内分泌・糖尿病内科  |    | 51    | 35    | 106   | 94    | 117   | 152   |
| 脳神経外科      |    | 359   | 295   | 322   | 321   | 243   | 322   |
| 小児科        |    | 33    | 10    | 8     | 11    | 15    | 37    |
| 外科         |    | 200   | 248   | 250   | 281   | 335   | 430   |
| 呼吸器外科      |    | 151   | 121   | 214   | 175   | 112   | 141   |
| 形成外科       |    | 36    | 46    | 44    | 92    | 94    | 89    |
| 整形外科       |    | 575   | 648   | 872   | 1,093 | 990   | 1,114 |
| 皮膚科        |    | 80    | 107   | 96    | 64    | 68    | 89    |
| 泌尿器科       |    | 217   | 319   | 365   | 329   | 363   | 396   |
| 眼科         |    | 186   | 154   | 210   | 216   | 187   | 187   |
| 耳鼻咽喉科      |    | 646   | 552   | 610   | 638   | 217   | 181   |
| 乳腺科        |    | 208   | 171   | 173   | 208   | 153   | 98    |
| 心臓血管センター内科 |    | 1,377 | 1,235 | 1,300 | 1,270 | 1,375 | 1,267 |
| 膠原病・リウマチ内科 |    | 279   | 254   | 290   | 409   | 353   | 328   |
| 総合診療科      |    | 109   | 104   | 93    | 71    | 201   | 370   |
| ドック・健診科    |    | —     | —     | —     | —     | —     | —     |
| リハビリテーション科 |    | —     | —     | —     | —     | 6     | 10    |
| 放射線診断科     |    | 2,208 | 2,275 | 2,083 | 2,070 | 2,710 | 3,449 |
| 麻酔科        |    | 107   | 271   | 629   | 742   | 654   | 581   |
| アレルギー内科    |    | —     | —     | 221   | 39    | 54    | 46    |
| 救急科        |    | 103   | 114   | 108   | 116   | 154   | 150   |
| 漢方科        |    | —     | —     | —     | —     | 1     | 0     |

年度別紹介件数：即日入院件数

(単位：件)

| 診療科        | 年度 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|------------|----|------|------|------|------|------|------|
| 総合内科       |    | 14   | 5    | 1    | 1    | 2    | 182  |
| 呼吸器内科      |    | 52   | 49   | 53   | 39   | 32   | 49   |
| 消化器内科      |    | 141  | 123  | 99   | 113  | 117  | 106  |
| 腎臓・高血圧内科   |    | 44   | 1    | 22   | 34   | 37   | 31   |
| 内分泌・糖尿病内科  |    | 34   | 3    | 8    | 5    | 8    | 16   |
| 脳神経外科      |    | 95   | 66   | 83   | 72   | 62   | 86   |
| 小児科        |    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    |
| 外科         |    | 75   | 80   | 99   | 114  | 125  | 151  |
| 呼吸器外科      |    | 58   | 50   | 134  | 85   | 30   | 25   |
| 形成外科       |    | 0    | 0    | 0    | 0    | 1    | 0    |
| 整形外科       |    | 83   | 119  | 120  | 126  | 152  | 135  |
| 皮膚科        |    | 1    | 0    | 1    | 2    | 0    | 1    |
| 泌尿器科       |    | 1    | 5    | 16   | 22   | 25   | 25   |
| 眼科         |    | 1    | 1    | 1    | 1    | 2    | 0    |
| 耳鼻咽喉科      |    | 54   | 58   | 79   | 60   | 0    | 0    |
| 乳腺科        |    | 4    | 1    | 0    | 1    | 4    | 0    |
| 心臓血管センター内科 |    | 170  | 154  | 179  | 154  | 215  | 216  |
| 膠原病・リウマチ内科 |    | 23   | 22   | 19   | 43   | 43   | 18   |
| 総合診療科      |    | 85   | 92   | 75   | 51   | 141  | 101  |
| リハビリテーション科 |    | —    | —    | —    | —    | 3    | 7    |
| 麻酔科        |    | 13   | 65   | 120  | 129  | 174  | 133  |
| アレルギー内科    |    | —    | —    | 6    | 0    | 2    | 0    |
| 救急科        |    | 47   | 64   | 63   | 61   | 100  | 94   |
| 漢方科        |    | —    | —    | —    | —    | 0    | 0    |

年度別処方せん枚数、薬剤指導件数など

| 項目        |             | 2023    | 2024    |
|-----------|-------------|---------|---------|
| 外来        | 院内処方箋枚数     | 1,660   | 1,762   |
|           | 院外処方箋枚数     | 77,591  | 78,803  |
|           | 注射箋枚数       | 22,647  | 22,842  |
| 入院        | 処方箋枚数       | 57,429  | 61,762  |
|           | 注射箋枚数       | 112,699 | 127,785 |
| 薬剤管理指導    | 薬剤管理指導料1    | 1,959   | 1,539   |
|           | 薬剤管理指導料2    | 4,366   | 4,125   |
|           | 薬剤管理指導料<合計> | 6,325   | 5,664   |
|           | 退院時薬剤情報提供料  | 2,716   | 2,459   |
| 病棟薬剤業務    | 病棟薬剤業務実施加算1 | 12,338  | 13,084  |
|           | 病棟薬剤業務実施加算2 | 2,142   | 2,290   |
| 外来抗癌剤調製件数 |             | 991     | 906     |
| 入院抗癌剤調製件数 |             | 135     | 125     |
| TDM解析報告件数 |             | 194     | 256     |

年度別臨床検査件数

| 検査件数  | 2019年度    | 2020年度    | 2021年度    | 2022年度    | 2023年度    | 2024年度    |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 外来採血  | 38,462    | 31,443    | 36,258    | 38,823    | 39,272    | 40,932    |
| 検体検査  | 1,580,305 | 1,269,653 | 1,481,477 | 1,523,117 | 1,581,983 | 1,684,236 |
| 生理検査  | 14,300    | 13,238    | 15,458    | 16,681    | 17,714    | 18,471    |
| 超音波検査 | 8,107     | 9,412     | 10,128    | 10,863    | 10,924    | 11,324    |
| 耳鼻科検査 | 7,463     | 6,456     | 7,692     | 8,243     | 6,869     | 5,947     |
| 輸血検査  | 3,057     | 2,410     | 2,822     | 3,238     | 3,323     | 3,424     |

## 年度別画像診断検査件数

|       |       | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 一般撮影  | 胸部・腹部 | 1,754  | 1,956  | 1,949  | 1,994  | 2,136  |
|       | 骨     | 1,056  | 1,224  | 1,197  | 1,152  | 1,229  |
|       | マンマ軟線 | 127    | 148    | 167    | 186    | 206    |
|       | ポータブル | 566    | 670    | 687    | 698    | 794    |
|       | 骨塩定量  | 53     | 69     | 95     | 107    | 148    |
|       | 小計    | 3,556  | 4,067  | 4,095  | 4,137  | 4,513  |
| 造影    | GI    | 42     | 47     | 52     | 58     | 63     |
|       | 注腸    | 6      | 3      | 6      | 5      | 5      |
|       | ブロック  | 11     | 9      | 10     | 9      | 9      |
|       | TVその他 | 69     | 76     | 72     | 61     | 55     |
|       | 小計    | 128    | 135    | 140    | 133    | 132    |
| CT    | 件数    | 1,742  | 1,831  | 1,618  | 1,637  | 1,798  |
|       | 造影率   | 18.00% | 16.6%  | 20.8%  | 21.0%  | 20.2%  |
| MRI   | 件数    | 531    | 549    | 530    | 513    | 517    |
|       | 造影率   | 5.10%  | 5.0%   | 5.2%   | 5.4%   | 5.1%   |
| ANGIO | 循環器   | 54     | 54     | 54     | 55     | 48     |
|       | 頭頸部   | 17     | 18     | 12     | 12     | 10     |
|       | 体幹部   | 2      | 1      | 1      | 1      | 2      |
|       | 四肢    | 4      | 0      | 1      | 1      | 0      |
|       | 小計    | 77     | 73     | 68     | 69     | 60     |

2024年4月1日から2025年3月31日までの退院サマリ完成分5787名の中で、悪性新生物による退院患者827名の発生部位 / 世代別 / 性別別件数

|                                 | 件数  | 00-19 |   | 20-29 |   | 30-39 |   | 40-49 |    | 50-59 |    | 60-64 |    | 65-69 |     | 70-74 |    | 75-79 |     | 80- |     |
|---------------------------------|-----|-------|---|-------|---|-------|---|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|-----|-----|-----|
|                                 |     | 男     | 女 | 男     | 女 | 男     | 女 | 男     | 女  | 男     | 女  | 男     | 女  | 男     | 女   | 男     | 女  | 男     | 女   | 男   | 女   |
| C00 口唇の悪性新生物<腫瘍>                | 1   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     |       |    |       |     |     | 1   |
| C02 舌のその他及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>       | 1   |       |   |       |   |       |   |       |    | 1     |    |       |    |       |     |       |    |       |     |     |     |
| C03 歯肉の悪性新生物<腫瘍>                | 1   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     |       |    |       |     |     | 1   |
| C04 口(腔)底の悪性新生物<腫瘍>             | 1   |       |   |       |   |       |   |       |    |       | 1  |       |    |       |     |       |    |       |     |     |     |
| C06 その他及び部位不明の口腔の悪性新生物<腫瘍>      | 2   |       |   |       |   |       |   |       |    | 1     |    |       |    |       |     |       |    |       | 1   |     |     |
| C07 耳下腺の悪性新生物<腫瘍>               | 1   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     |       |    |       |     |     | 1   |
| C10 中咽頭の悪性新生物<腫瘍>               | 3   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     |       |    |       |     |     | 1   |
| C11 鼻<上>咽頭の悪性新生物<腫瘍>            | 4   |       |   |       |   |       |   |       |    | 1     |    |       |    |       | 2   |       |    |       |     |     | 1   |
| C13 下咽頭の悪性新生物<腫瘍>               | 7   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     |       |    |       |     |     |     |
| C15 食道の悪性新生物<腫瘍>                | 22  |       |   |       |   |       |   |       |    | 3     | 2  | 3     | 1  |       |     |       |    |       | 2   |     | 5   |
| C16 胃の悪性新生物<腫瘍>                 | 81  |       |   |       |   |       |   |       |    | 3     | 3  | 1     | 4  | 3     | 3   | 8     | 2  | 10    | 3   | 28  | 16  |
| C17 小腸の悪性新生物<腫瘍>                | 1   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     |       |    |       |     |     | 1   |
| C18 結腸の悪性新生物<腫瘍>                | 174 |       |   |       |   |       |   | 2     | 5  | 7     | 6  | 7     | 2  | 20    | 6   | 28    | 10 | 17    | 18  | 22  | 24  |
| C19 直腸S状結腸移行部の悪性新生物<腫瘍>         | 2   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    | 1     |     |       |    |       |     |     | 1   |
| C20 直腸の悪性新生物<腫瘍>                | 32  |       |   |       |   |       |   |       |    | 1     | 3  | 2     |    |       | 2   | 4     | 1  | 4     | 1   | 6   | 8   |
| C22 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>           | 24  |       |   |       |   |       |   |       |    | 1     |    | 1     |    | 2     |     |       |    | 3     |     | 14  | 3   |
| C23 胆のう<嚢>の悪性新生物<腫瘍>            | 8   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       | 1  | 1     | 1   | 2     | 1  | 1     | 2   |     | 1   |
| C24 その他及び部位不明の胆道の悪性新生物<腫瘍>      | 15  |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    | 2     | 2   | 2     |    | 5     | 2   | 3   | 1   |
| C25 脾の悪性新生物<腫瘍>                 | 55  |       |   |       |   |       |   |       |    | 2     |    | 2     | 1  | 7     | 1   | 10    | 3  | 4     | 5   | 5   | 15  |
| C34 気管支および肺の悪性新生物<腫瘍>           | 77  |       |   |       |   |       |   | 1     | 1  | 1     | 3  | 1     | 3  | 1     | 3   | 6     | 4  | 5     | 6   | 26  | 20  |
| C41 その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍> | 2   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     |       |    |       |     |     | 2   |
| C44 皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>            | 1   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     |       |    |       |     |     |     |
| C45 中皮腫                         | 3   |       |   |       |   |       |   |       |    | 1     |    |       |    |       | 1   |       |    |       |     |     |     |
| C50 乳房の悪性新生物<腫瘍>                | 94  |       |   |       |   |       |   | 3     |    | 15    |    |       | 10 | 5     | 14  |       |    |       | 8   |     | 15  |
| C52 喉の悪性新生物<腫瘍>                 | 1   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     |       |    |       |     |     |     |
| C53 子宮頸部の悪性新生物<腫瘍>              | 1   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       | 1  |       |     |       |    |       |     |     |     |
| C54 子宮体の悪性新生物<腫瘍>               | 4   |       |   |       |   |       |   |       |    | 1     |    |       |    |       |     |       |    |       | 2   |     | 1   |
| C56 卵巣の悪性新生物<腫瘍>                | 4   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    | 1     |     |       |    |       |     |     | 3   |
| C57 その他及び部位不明の女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>   | 2   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     |       |    |       |     |     | 1   |
| C61 前立腺の悪性新生物<腫瘍>               | 73  |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    | 6     | 1  | 8     | 18  | 20    |    |       |     |     | 21  |
| C62 精巣<睾丸>の悪性新生物<腫瘍>            | 2   |       |   |       |   |       |   |       |    | 1     |    |       |    |       | 1   |       |    |       |     |     |     |
| C64 腎盂を除く腎の悪性新生物<腫瘍>            | 8   |       |   |       |   |       |   |       |    | 1     |    |       |    | 2     |     | 1     | 1  | 1     |     |     | 2   |
| C65 腎盂の悪性新生物<腫瘍>                | 2   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     |       |    |       |     |     | 1   |
| C66 尿管の悪性新生物<腫瘍>                | 4   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       | 1   |       |    |       |     |     | 2   |
| C67 膀胱の悪性新生物<腫瘍>                | 38  |       |   |       |   |       |   |       |    | 3     | 2  |       |    | 2     |     | 5     | 1  | 5     | 3   | 11  | 6   |
| C71 咽の悪性新生物<腫瘍>                 | 7   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     | 3     |    | 1     |     |     | 2   |
| C73 甲状腺の悪性新生物<腫瘍>               | 1   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     |       |    |       |     |     | 1   |
| C78 呼吸器および消化器の結発性悪性新生物<腫瘍>      | 36  |       |   |       |   |       |   |       |    | 1     |    | 2     | 1  | 2     | 3   | 9     | 2  | 5     | 5   | 2   | 4   |
| C79 その他の部位及び部位不明の結発性悪性新生物<腫瘍>   | 10  |       |   |       |   |       |   |       |    | 1     |    |       |    |       |     | 2     | 1  | 1     | 1   | 3   | 3   |
| C80 部位が明示されていない悪性新生物<腫瘍>        | 9   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       | 1   | 1     | 1  | 1     | 1   | 3   | 2   |
| C83 非ろく濾>胞性リンパ腫                 | 2   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     |       |    |       |     |     |     |
| C85 非ホジキンリンパ腫のその他及び詳細不明の型       | 7   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     |       |    |       | 1   |     | 1   |
| C90 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物<腫瘍>      | 2   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     |       |    |       |     |     | 3   |
| C91 リンパ性白血病                     | 2   |       |   |       |   |       |   |       |    |       |    |       |    |       |     |       |    |       |     |     | 2   |
| (合計)                            | 827 | 0     | 0 | 0     | 0 | 2     | 3 | 3     | 20 | 40    | 28 | 24    | 51 | 29    | 100 | 40    | 94 | 62    | 163 | 141 | 141 |

疾病（大分類）別・診療科別・性別 退院患者数

集計期間：2024/04/01～2025/03/31

|  | 合計    | 内科  | 呼吸器内科 | 消化器内科 | 腎臓・<br>高血圧内科 | 内分泌・<br>糖尿病内科 | 脳神経<br>外科 | 外科  | 呼吸器外科 | 整形外科 | 泌尿器科 | 眼科  | 乳腺科 | 心臓血管<br>センター内科 | 腫瘍病・<br>リウマチ内科 | 総合診療科 | リハビリテー<br>ション科 | 麻酔科 | アレルギー<br>内科 | 救急科 |
|--|-------|-----|-------|-------|--------------|---------------|-----------|-----|-------|------|------|-----|-----|----------------|----------------|-------|----------------|-----|-------------|-----|
| 合計                                     | 2,930 | 127 | 101   | 297   | 95           | 50            | 195       | 390 | 72    | 348  | 137  | 108 |     | 542            | 32             | 86    | 41             | 179 | 6           | 124 |
| 男                                      | 2,857 | 146 | 56    | 214   | 82           | 41            | 192       | 288 | 58    | 647  | 59   | 161 |     | 380            | 100            | 82    | 32             | 141 | 23          | 90  |
| 女                                      | 75    | 1   | 5     | 9     | 7            | 5             | 2         | 8   | 7     |      |      |     |     | 1              | 2              | 12    |                | 1   |             | 15  |
| 01：感染症及び寄生虫症                           | 83    | 2   | 6     | 16    | 8            | 1             | 1         | 16  | 15    |      | 2    |     | 1   | 2              | 1              | 7     |                | 1   |             | 4   |
| 02：新生物<腫瘍>                             | 503   | 8   | 4     | 84    | 1            |               | 5         | 118 | 13    |      | 89   |     | 64  | 1              |                | 1     |                | 178 |             | 1   |
| 03：血液及び造血器の疾患並びに<br>免疫機構の障害            | 373   | 5   | 5     | 42    | 1            |               | 4         | 81  | 14    |      | 18   |     |     |                |                | 1     |                | 137 |             | 1   |
| 04：内分泌、栄養及び代謝疾患                        | 8     |     |       |       | 1            |               | 1         |     |       |      |      |     |     | 3              | 1              |       |                |     |             | 1   |
| 05：精神及び行動の障害                           | 10    | 1   | 1     |       |              |               |           | 2   |       |      |      |     |     | 4              |                |       |                |     |             | 1   |
| 06：神経系の疾患                              | 62    | 1   | 1     | 5     | 32           | 1             | 1         | 2   |       |      |      |     |     | 5              | 1              | 5     |                |     |             | 9   |
| 07：眼及び付属器の疾患                           | 57    | 5   | 1     | 2     | 4            | 20            |           |     | 1     |      |      |     |     | 5              | 1              | 11    |                |     |             | 7   |
| 08：耳及び乳様突起の疾患                          | 25    | 5   | 2     |       | 2            | 5             | 3         |     | 1     |      |      |     |     |                |                | 2     |                |     |             | 7   |
| 09：循環器系の疾患                             | 14    | 6   |       |       | 2            | 2             | 1         |     |       |      |      |     |     |                |                | 1     |                |     |             | 3   |
| 10：呼吸器系の疾患                             | 49    | 14  | 1     | 1     | 1            |               | 15        | 2   |       | 8    |      |     |     |                |                | 2     | 2              |     |             | 1   |
| 11：消化器系の疾患                             | 51    | 22  | 1     | 1     | 2            |               | 8         | 2   |       | 3    |      |     |     | 1              | 1              | 3     | 2              |     |             | 2   |
| 12：皮膚及び皮下組織の疾患                         | 109   | 1   |       |       |              |               |           |     |       |      |      | 108 |     |                |                |       |                |     |             |     |
| 13：筋骨格系及び結合組織の疾患                       | 161   |     |       |       |              |               |           |     |       |      | 161  |     |     |                |                |       |                |     |             |     |
| 14：腎尿路生殖器系の疾患                          | 7     |     |       |       |              |               | 2         |     |       |      |      |     |     |                |                |       |                |     |             | 3   |
| 15：先天奇形、変形及び染色体異常                      | 16    |     |       |       | 1            |               | 10        |     |       |      |      |     |     |                |                |       |                |     |             | 4   |
| 16：皮膚及び皮下組織の疾患                         | 677   | 16  | 3     | 1     | 4            | 2             | 116       |     |       |      |      |     |     | 495            |                | 4     | 34             |     |             | 2   |
| 17：先天奇形、変形及び染色体異常                      | 527   | 23  | 2     | 1     | 6            | 2             | 129       | 1   | 3     |      |      |     |     | 331            |                | 2     | 27             |     |             |     |
| 18：症状、徴候及び異常臨床所見・異常<br>検査所見で他に分類されないもの | 247   | 26  | 82    | 4     | 7            | 1             | 4         | 9   | 44    |      |      |     |     | 6              | 6              | 29    |                |     |             | 2   |
| 19：損傷、中毒及びその他の外因<br>の影響                | 166   | 12  | 36    | 5     | 7            | 6             |           | 2   | 18    |      |      |     |     | 11             | 12             | 26    |                |     |             | 10  |
| 20：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 419   |     |       | 187   | 2            | 1             |           | 222 |       |      |      |     |     | 1              | 2              | 1     |                |     |             | 21  |
| 21：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 305   | 3   |       | 134   | 3            |               |           | 159 |       |      |      |     |     | 2              | 2              | 2     |                |     |             | 3   |
| 22：特殊目的用コード                            | 21    |     |       |       | 2            |               | 2         |     |       | 5    |      |     |     | 2              |                | 8     |                |     |             | 1   |
| 23：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 28    | 2   |       |       | 2            | 2             | 4         |     |       | 6    |      |     |     | 1              | 5              | 2     |                |     |             | 4   |
| 24：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 185   | 31  |       |       | 1            | 1             | 7         | 1   | 108   |      |      |     |     | 6              | 16             | 4     | 1              |     |             | 9   |
| 25：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 358   | 42  |       |       | 3            | 1             | 8         | 8   | 218   | 1    |      |     |     | 4              | 73             | 2     | 1              | 3   |             | 2   |
| 26：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 123   | 4   | 1     | 1     | 58           |               | 5         | 5   |       | 45   |      |     |     | 5              | 1              |       |                |     |             | 3   |
| 27：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 119   | 4   | 3     | 5     | 41           | 2             | 3         | 3   | 1     | 37   |      |     |     | 3              | 1              | 8     |                |     |             | 11  |
| 28：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 2     |     |       |       |              |               | 1         |     | 1     |      |      |     |     |                |                |       |                |     |             |     |
| 29：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 3     |     |       |       | 1            |               |           |     |       |      |      |     |     | 2              |                |       |                |     |             |     |
| 30：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 48    | 3   | 3     | 4     | 1            | 1             | 1         | 6   | 2     | 2    |      |     |     | 9              | 1              | 6     |                |     |             | 9   |
| 31：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 49    | 5   | 1     | 5     | 1            | 5             | 8         | 3   | 1     | 1    |      |     |     | 7              | 1              | 7     |                |     |             | 4   |
| 32：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 325   | 16  | 1     | 3     | 2            | 1             | 43        | 4   | 3     | 227  | 1    |     |     | 4              | 4              | 3     | 3              |     |             | 16  |
| 33：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 506   | 12  |       |       |              |               | 31        | 3   | 6     | 418  |      |     |     | 6              | 3              | 1     | 2              |     |             | 17  |
| 34：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 8     |     |       |       | 1            |               | 1         | 3   |       |      |      |     |     | 3              |                |       |                |     |             |     |
| 35：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 5     |     |       |       |              |               |           | 3   |       |      |      |     |     |                |                |       |                |     |             |     |
| 36：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 37    | 1   | 1     | 1     |              | 1             |           | 2   |       |      |      |     |     | 1              | 2              | 11    |                |     |             | 17  |
| 37：健康状態に影響を及ぼす要因<br>及び保健サービスの利用        | 26    | 2   | 2     | 1     | 1            |               | 1         | 1   |       |      |      |     |     | 1              | 1              | 7     |                |     |             | 12  |

2024年4月から2025年3月までの退院サマリ完成分5787名を対象としたものである。

疾病（大分類）別・年齢階層別・性別 退院患者数

集計期間：2024/04/01～2025/03/31

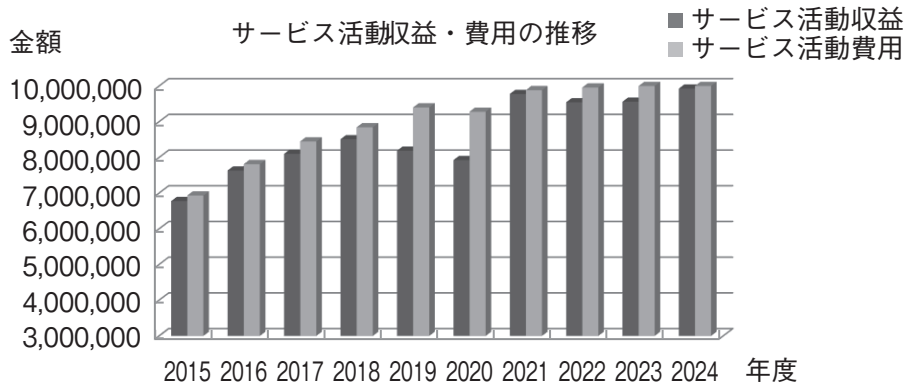
|                                    | 合計    | 年齢階層 |     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |     |  |  |  |
|------------------------------------|-------|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|--|--|--|
|                                    |       | 0～4  | 5～9 | 10～14 | 15～19 | 20～29 | 30～39 | 40～49 | 50～59 | 60～64 | 65～69 | 70～74 | 75～79 | 80～84 | 85～89 | 90～ |  |  |  |
| 合計                                 | 2,930 | 2    | 6   | 5     | 16    | 43    | 54    | 139   | 315   | 209   | 253   | 400   | 510   | 438   | 339   | 206 |  |  |  |
| 男                                  | 2,857 | 2    | 3   | 5     | 11    | 46    | 55    | 109   | 217   | 145   | 215   | 307   | 394   | 495   | 432   | 421 |  |  |  |
| 女                                  | 75    |      |     |       | 5     | 2     | 4     | 5     | 1     | 2     | 2     | 19    | 16    | 7     | 8     | 8   |  |  |  |
| 01：感染症及び寄生虫症                       | 83    |      |     |       | 3     | 8     | 1     | 9     | 5     | 6     | 7     | 7     | 6     | 8     | 6     | 17  |  |  |  |
| 02：新生物＜腫瘍＞                         | 503   |      |     |       |       |       | 2     | 4     | 34    | 29    | 51    | 109   | 104   | 89    | 63    | 18  |  |  |  |
| 女                                  | 373   |      |     |       |       |       | 3     | 22    | 42    | 25    | 31    | 41    | 66    | 60    | 46    | 37  |  |  |  |
| 03：血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害            | 8     |      |     |       |       |       |       |       |       |       | 1     | 1     | 4     | 2     |       |     |  |  |  |
| 男                                  | 10    |      |     |       |       |       | 1     |       |       |       | 1     |       | 1     | 1     | 1     | 5   |  |  |  |
| 女                                  | 62    |      |     |       |       |       |       | 12    | 6     | 4     | 3     | 6     | 10    | 8     | 9     | 3   |  |  |  |
| 04：内分泌、栄養及び代謝疾患                    | 57    |      |     |       | 1     | 1     | 1     | 1     | 8     | 3     | 1     | 8     | 4     | 11    | 10    | 9   |  |  |  |
| 男                                  | 25    |      |     |       | 3     | 1     | 1     | 1     | 3     | 3     | 1     | 1     | 4     | 3     | 4     | 1   |  |  |  |
| 女                                  | 14    |      |     |       | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |       |       |       |       | 5     | 3     | 2   |  |  |  |
| 05：精神及び行動の障害                       | 49    |      |     |       |       |       | 1     | 4     | 4     | 2     | 3     | 6     | 12    | 5     | 10    | 1   |  |  |  |
| 男                                  | 51    |      |     |       |       |       | 1     | 4     | 2     | 4     | 9     | 5     | 8     | 12    | 5     | 1   |  |  |  |
| 女                                  | 109   |      |     |       |       |       |       | 3     | 8     | 2     | 3     | 20    | 31    | 22    | 19    | 1   |  |  |  |
| 07：眼及び付属器の疾患                       | 161   |      |     |       |       |       |       |       | 2     | 5     | 5     | 29    | 29    | 40    | 40    | 11  |  |  |  |
| 女                                  | 7     |      |     |       |       |       |       | 1     | 1     | 1     | 1     | 2     | 1     | 1     |       |     |  |  |  |
| 08：耳及び乳様突起の疾患                      | 16    |      |     |       |       |       | 3     | 2     | 1     |       |       | 3     | 1     | 5     |       |     |  |  |  |
| 男                                  | 677   |      |     |       |       |       | 2     | 33    | 103   | 61    | 68    | 83    | 117   | 101   | 73    | 34  |  |  |  |
| 女                                  | 527   |      |     |       |       |       | 4     | 20    | 23    | 22    | 43    | 74    | 85    | 87    | 81    | 88  |  |  |  |
| 09：循環器系の疾患                         | 247   |      |     |       | 4     | 4     | 8     | 4     | 15    | 7     | 10    | 21    | 39    | 48    | 46    | 41  |  |  |  |
| 男                                  | 166   |      |     | 2     | 1     | 5     | 2     | 8     | 8     | 2     | 7     | 17    | 10    | 24    | 36    | 44  |  |  |  |
| 女                                  | 419   |      |     |       | 2     | 6     | 13    | 30    | 65    | 48    | 44    | 50    | 65    | 57    | 24    | 15  |  |  |  |
| 11：消化器系の疾患                         | 305   |      |     |       |       | 4     | 11    | 14    | 32    | 22    | 23    | 31    | 38    | 53    | 50    | 27  |  |  |  |
| 男                                  | 21    |      |     |       |       | 1     | 2     | 3     | 2     | 1     | 1     | 1     | 2     | 1     | 2     | 5   |  |  |  |
| 女                                  | 28    |      |     |       |       |       | 3     | 1     | 2     | 1     | 2     | 4     | 3     | 6     | 5     | 1   |  |  |  |
| 12：皮膚及び皮下組織の疾患                     | 185   |      |     |       |       |       | 6     | 5     | 16    | 15    | 19    | 24    | 29    | 28    | 21    | 16  |  |  |  |
| 13：筋骨格系及び結合組織の疾患                   | 358   |      |     |       | 2     | 6     | 6     | 9     | 36    | 26    | 39    | 35    | 59    | 62    | 42    | 36  |  |  |  |
| 男                                  | 123   |      |     |       | 2     | 2     | 2     | 4     | 12    | 12    | 11    | 17    | 18    | 16    | 20    | 9   |  |  |  |
| 女                                  | 119   |      |     |       |       | 9     | 3     | 5     | 10    | 2     | 8     | 6     | 19    | 23    | 9     | 25  |  |  |  |
| 17：先天奇形、変形及び染色体異常                  | 2     |      |     |       |       |       |       |       | 1     |       |       |       | 1     |       |       |     |  |  |  |
| 男                                  | 3     |      |     |       |       |       |       | 1     |       |       |       | 1     |       |       |       | 1   |  |  |  |
| 女                                  | 48    |      |     |       | 1     | 3     | 2     | 2     | 2     | 1     | 6     | 8     | 5     | 5     | 8     | 5   |  |  |  |
| 18：症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 49    |      |     |       |       |       |       |       | 3     | 6     | 4     | 3     | 5     | 8     | 11    | 9   |  |  |  |
| 19：損傷、中毒及びその他の外因の影響                | 325   |      |     | 6     | 2     | 8     | 12    | 11    | 41    | 20    | 27    | 30    | 43    | 36    | 21    | 41  |  |  |  |
| 男                                  | 506   |      |     | 2     | 3     | 3     | 4     | 10    | 39    | 21    | 34    | 41    | 59    | 84    | 83    | 94  |  |  |  |
| 女                                  | 8     |      |     |       |       |       |       |       | 1     | 1     | 2     | 1     | 2     |       | 1     |     |  |  |  |
| 21：健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用        | 5     |      |     |       |       |       |       |       | 1     |       | 1     |       | 1     | 2     |       |     |  |  |  |
| 男                                  | 37    |      |     |       |       |       |       | 1     | 1     | 1     |       | 1     | 7     | 9     | 10    | 8   |  |  |  |
| 女                                  | 26    |      |     |       |       |       |       |       | 2     |       | 2     |       | 4     | 4     | 4     | 14  |  |  |  |

2024年4月から2025年3月までの退院サマリ完成分5787名を対象としたものである。

財務統計ハイライト

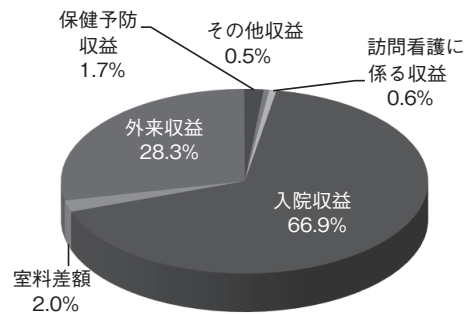
○サービス活動収益・費用の推移（内部取引控除前）

| 年度   | サービス活動収益（千円） | 対前年比   | サービス活動費用（千円） | 対前年比   |
|------|--------------|--------|--------------|--------|
| 2015 | 6,777,159    | 121.7% | 6,931,513    | 114.9% |
| 2016 | 7,632,739    | 112.6% | 7,809,810    | 112.7% |
| 2017 | 8,100,126    | 106.1% | 8,446,671    | 108.2% |
| 2018 | 8,509,516    | 105.1% | 8,843,764    | 104.7% |
| 2019 | 8,188,301    | 96.2%  | 9,399,903    | 106.3% |
| 2020 | 7,925,349    | 96.8%  | 9,279,004    | 98.7%  |
| 2021 | 9,777,513    | 123.4% | 9,884,629    | 106.5% |
| 2022 | 9,543,292    | 97.6%  | 9,958,992    | 100.8% |
| 2023 | 9,561,917    | 100.2% | 10,149,262   | 101.9% |
| 2024 | 9,928,109    | 103.8% | 10,511,906   | 103.6% |

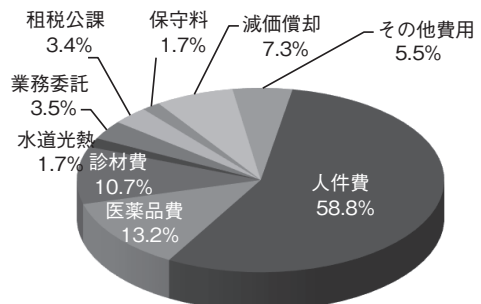


○サービス活動収益・費用の内訳（2024年度）

|           | サービス活動収益（千円） | 占有率   |
|-----------|--------------|-------|
| 入院収益      | 6,637,018    | 66.9% |
| 室料差額      | 200,530      | 2.0%  |
| 外来収益      | 2,811,180    | 28.3% |
| 保健予防収益    | 167,553      | 1.7%  |
| その他収益     | 48,724       | 0.5%  |
| 訪問看護に係る収益 | 63,104       | 0.6%  |
| 合計        | 9,928,109    | 100%  |



|          | サービス活動費用（千円） | 対医収比   |
|----------|--------------|--------|
| 人件費      | 5,835,781    | 58.8%  |
| 医薬品費     | 1,312,529    | 13.2%  |
| 診療・療養材料費 | 1,060,917    | 10.7%  |
| 水道光熱費    | 168,028      | 1.7%   |
| 業務委託費    | 350,318      | 3.5%   |
| 租税公課     | 333,381      | 3.4%   |
| 保守料      | 172,584      | 1.7%   |
| 減価償却費    | 727,776      | 7.3%   |
| その他費用    | 550,593      | 5.5%   |
| 合計       | 10,511,906   | 105.9% |



|            |          |       |
|------------|----------|-------|
| サービス活動増減差額 | -583,797 | -5.9% |
|------------|----------|-------|

※2015年度より 新社会福祉法人会計基準へ移行

## 地域連携・患者支援センター

職場長：山田 秀裕

### 人員構成

地域連携室 7名  
医療相談室 7名  
入退院支援室 5名

### 業務内容

#### 地域連携室

- ①地域医療機関・患者からの受診・入院相談
- ②診療情報提供書管理・返書管理
- ③地域医療機関や地域住民向けセミナーや医療講座開催
- ④地域医療機関や多職種との連携会実施と訪問活動

#### 医療相談室

- ①医療費や退院後の生活、介護・福祉制度利用など医療に関する相談
- ②無料低額診療事業に関する相談

#### 入退院支援室

- ①入院支援：多職種による入院前オリエンテーションや面談の実施
- ②退院支援：入院前や入院早期より、退院に向けた意思決定支援と療養先への退院調整

### 2024年度総括

#### ◎地域連携室

- ・6月5日 第6回 聖隷横浜病院 地域連携のつどい開催（5年ぶりに開催）

#### 【市民健康講話】

- ・10月4日 「あなたの骨は大丈夫？ ～知っておこう骨粗しょう症のはなし～」
- ・3月7日 「今からできる誤嚥予防」

#### 【その他活動】

- ・年2回 「救急フォーラム」開催（オンライン1回・出張1回）

- ・年8回 各救急隊訪問実施（搬送症例についての報告・検討）
- ・年3回 医療機関向けオンライン病診連携会・講演会・webセミナー開催
- ・9月14日 保土ヶ谷区疾病予防・救急医療講演会～健康寿命を延ばすために～
- ・院内多職種連携OLS（骨粗鬆症リエゾンサービス）活動
- ・新入職医師・診療科を中心とした医師会・地域医療機関への訪問活動
- ・診療情報提供書即日返信（受診日当日医師作成の返信）の徹底
- ・地域開業医へアンケート実施、結果より直通電話回線増設およびコールシーケンサー導入

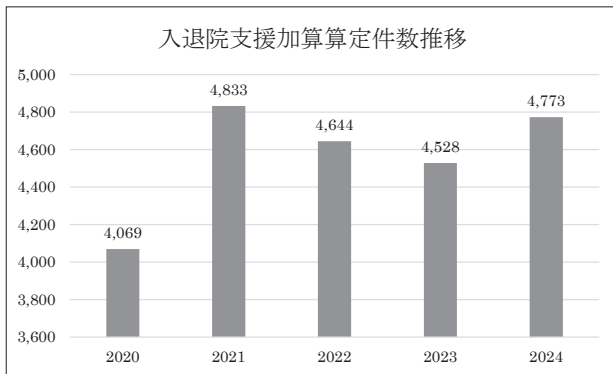
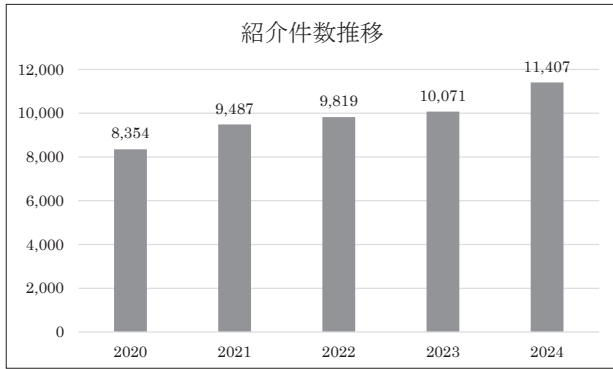
#### ◎医療相談室

- ・医療福祉相談、退院支援、無料低額診療事業、医療安全等

#### ◎入退院支援室

- ・病床管理センターメンバー（退院支援専従看護師、当センター課長）
- ・看護部 在宅療養支援委員会メンバー（入退院支援専従看護師、当センター課長）
- ・地域包括ケア病棟を中心とした在宅サポート入院や転院の相談、受入調整
- ・転院調整システム「CAREBOOK」を通じた転院相談体制強化
- ・緩和ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟への受入体制構築
- ・退院支援担当者による連携機関訪問活動

実績



## 医療の質管理室

責任者：野澤 聡志

### 人員構成

医師 2名  
 看護師 4名  
 医療安全管理者1名、感染管理認定看護師1名、  
 クリティカルケア特定認定看護師1名、  
 特定看護師（血糖コントロール関連）1名  
 事務 1名

### 【医療安全管理室】

#### 業務内容

病院安全管理委員会で用いられる資料作成ならびにその他委員会の運営

- 医療安全対策に関する日常活動
- 医療事故発生時の指示、指導など
- 医療安全に関する職員への教育、研修の実施
- そのほか、医療安全体制の構築および対応策の検討、策定

#### 2024年度総括

- ▶病院安全管理委員会、セーフティマネジャー運営会議、診療部セーフティマネジャー会議内で報告事例の共有
- ▶重点施策達成のためのワーキンググループ活動（セーフティマネージャとの連携）継続
- ▶医薬品、医療機器、職場環境安全ラウンドの実施と情報共有
- ▶職員医療安全研修  
 《e-learning形式》
  - ・第1回職員医療安全研修【患者誤認】受講率：100%
  - ・医薬品セミナー【当院のせん妄ケアアルゴリズムについて】受講率：93.9%
 《対面形式》
  - ・多職種参加型の医療安全セミナー「転倒転落」

をテーマに実施

- ▶院内医療安全管理指針・医療安全マニュアルの整備
- ▶「安全管理情報」の発行：年間12部発行、「医療安全標語応募」を継続
- ▶医療安全地域連携加算Ⅰ相互ラウンドの実施
  - ・JCHO横浜保土ヶ谷中央病院、育生会横浜病院との相互ラウンド実施

### 【感染対策室】

#### 業務内容

患者、家族および面会者を含む訪問者や全職員を医療関連感染から守るため、感染防止対策活動を通じて安全で質の高い医療を提供する。

- 感染管理の分野において感染防止対策を実践し、指導及び教育を行う
- 職業感染（針刺しや感染症の曝露）の現状把握とその対応を行う
- 患者が安全で安心できる療養生活を送るための、環境調整を行う

#### 2024年度総括

- ▶新型コロナウイルス感染症対応  
 職員の就業制限、復帰の確認  
 院内発生時の対応や接触者の確認
- ▶インフルエンザ流行の対応
- ▶感染症発生届提出対応
- ▶感染対策勉強会開催 e-learning
  - ・災害時の感染対策
  - ・耐性菌つukらない ふやさない ひろげない～CRE～
  - ・「院内培養」はじめました！～血液培養とは～
- ▶針刺し事例の状況確認、対策指導 2024年度針刺し15件・粘膜曝露4件
- ▶感染対策向上加算1算定；地域連携カンファレンス企画
- ▶高齢者施設など感染症対策向上加算に関する講義
- ▶保土ヶ谷地域ケアプラザせいれい健康講座担当；手指衛生について
- ▶全入職者へのオリエンテーション実施

## 【早期患者対応室】

### 業務内容

- 予期しない急変発症低減を目的に病棟ラウンド  
重症患者や早期警告スコア（NEWS）における急変リスクがある患者に対し病棟をラウンドし、急な変化がないか、治療方針や急変時における家族の意向などを現場で情報共有する。  
急性期ケアユニットや脳卒中ケアユニットは、午前・午後には必ずラウンドを実施。
- スタッフ教育 ～気づき力向上～  
特定行為を実施しながらアセスメント内容を他職種へ伝達し共有。  
RRSに必要な知識と技術についてRRS研修を開催し、翌年にはフォローアップ研修も開催。  
毎週金曜日に救急救命士をメンバーに加えともに病棟ラウンドを開始。
- 特定行為実践者の体制整備とサポート  
各特定看護師者の現状と課題を確認し、医師 - 看護師間での情報共有が促進され臨床教育を充実させる。

### 2024年度総括

- ▶ 特定行為に関しては、特定行為管理委員会の記事参照。

## 診療支援室

室長：野澤 聡志

### 人員構成

医師 1名  
 看護師 1名  
 医師事務作業補助者 37名（うち派遣職員 17名）

### 業務内容

- リウマチ・膠原病内科、乳腺外科の診療支援（オーダーリング代行入力、診察記事入力代行、各種統計処理など）
- 外来診察における診療支援（書類準備、検査結果確認など）
- 麻酔科、リウマチ・膠原病内科、消化器内科の問診入力代行
- 新任医師への外来診療の事務的支援
- 術前検査などのスケジュールリングやオーダーリングの入力代行
- 検査予約と変更の代行（画像・内視鏡・生理検査、定期受診）
- RIやPETなどの院外特殊検査・治療の予約代行
- 血液浄化センターにおける定期検査オーダーの入力代行
- 証明書、診断書、退院サマリの作成支援（一部入院中から作成）
- 手術症例登録（一般社団法人NCD）
- 学会関係のデータ入力（整形外科、心臓血管センター内科、脳血管センター）
- 認知症スケールの実施（長谷川式簡易知能評価スケール、ミニメンタルステート検査（MMSE））
- 脳神経外科のカンファレンス記録入力代行
- 病理診断科への専任診療支援
- 緩和ケア病棟紹介状の入力代行
- クリニカルパスの終了処理代行
- 内視鏡画像CDR出力
- 糖尿病教室資料作成
- 心臓血管センター内科、脳神経外科の救急外来受診患者情報登録

### 2024年度総括

2024年度は、事業・運営計画の「医師事務補助体制の強化」に則り、眼科を除く全診療科の外来診察を支援する体制とした。また医師事務作業補助者個々の質を高めるために、定期的な勉強会の開催や、ステップアップのための勉強会などを実施している。「安全な医療の提供」のために、患者の期待を把握し、それに応えるために医師事務作業補助者ができることを考え実践することが形になり始めた。

### 実績

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 医師からの業務依頼件数（新規） | 8件    |
| 医師からの業務依頼件数（継続） | 32件   |
| 術前スケジュールリング業務   | 1件    |
| 検査代行予約業務        | 6144件 |
| PET・RI検査予約業務    | 161件  |
| 診断書、証明書などの発行件数  | 8530件 |
| 入院予約の変更など       | 4件    |
| 検査予約変更など        | 1049件 |

## 腎臓・高血圧内科

部長：眞弓 健吾

## 人員構成

主任医長 眞弓 健吾（2008年）  
 医長 大石 真理子（2011年）  
 医員 内田 木香（2014年）  
 医員 野田 翔平（2015年）

## 2024年度総括

2024年度は常勤医4人で診療を継続し、外来患者数、入院患者数ともに昨年度に比べ増加傾向であった。

入院患者数は199例、血液透析導入件数18例、内シャント造設術14例、カフ型カテーテル留置術2例、カフ型カテーテル抜去術1例、経皮的血管拡張術（シャントPTA）20例、経皮的腎生検は大きく件数を伸ばし17例であった。血液透析導入となった18例のうち、10例が当院の維持透析外来へ通院することとなり、外来維持透析患者数の維持に繋がった（2023年度末維持透析患者数51名、2024年度末維持透析患者数50名）。2022年度から再開した腹膜透析外来は、2023年8月に他院からの腹膜透析患者の紹介を受け、現在2名が通院中である。

2025年2月に腎臓病教室を開催し、患者とその家族12名に対し、看護師、管理栄養士、理学療法士より慢性腎臓病（CKD）とその療養について講義をおこなった。今後も定期的な腎臓病教室開催を予定している。また2024年度からはCKD教育入院を開始した。11名が教育入院をおこない、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士による集中的な指導を行い、外来への診療につなげている。

今後も新規紹介患者、外来患者数を増やすことで、腎生検、バスキュラーアクセス関連手術、腹膜透析を含む透析導入といった専門領域での入院症例確保や当院維持透析患者数の確保にも繋げていきたい。また、慢性腎臓病、透析患者の周術期を含めた併診など他科との連携にも力を入れるとともに、慢性腎臓病看護外来をはじめ多職種連携も推進し、当地域の腎臓・高血圧診療の向上に寄与できる診療科を目指したい。

## 実績

|              | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 入院患者数        | 7      | 118    | 137    | 158    | 199    |
| 経皮的腎生検       | 0      | 5      | 7      | 4      | 17     |
| 腎教育入院        | 0      | 0      | 0      | 0      | 11     |
| 血液透析導入       | 1      | 18     | 21     | 17     | 18     |
| 腹膜透析導入       | 0      | 0      | 1      | 0      | 0      |
| 内シャント造設術     | 2      | 11     | 18     | 13     | 14     |
| カフ型カテーテル留置術  | 0      | 2      | 3      | 2      | 2      |
| カフ型カテーテル抜去術  | 0      | 0      | 0      | 2      | 1      |
| 経皮的血管拡張術     | 8      | 8      | 17     | 23     | 20     |
| 腹膜透析カテーテル留置術 | 0      | 0      | 1      | 0      | 0      |

|                  | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 外来受診患者数<br>（人/月） | 155.4  | 266.9  | 343.8  | 360.5  | 367.6  |
| 紹介患者数（人/月）       | 7.8    | 15     | 16.3   | 18.5   | 16.8   |

# アレルギー内科

科長：渡邊 直人

## 人員構成

科長 渡邊直人

## 2024年度総括

2021年4月より、アレルギー科（アレルギー内科）を新設し、3年が経ちました。毎年外来患者数及び収益の増加傾向でしたが、病院側からの指示により、2024年5月からジョブシェア制度を当科に対して導入され、火曜日午後外来を閉鎖することになり、その分今年度（2024年）は昨年度（2023年）より外来患者数を大幅に減少させないように外来診療に取り組んできました。入院に関しては、睡眠時無呼吸症候群の精密PSG検査から撤退して耳鼻咽喉科にお任せすることになりました。それゆえ、睡眠時無呼吸症候群疑いの新規患者さんの外来患者数は激減しました。禁煙外来に関しては、未だ本邦では経口薬の処方はず、貼付薬（ニコチンパッチ：ニコチネルTTS）による治療を継続して、患者数は横ばいでした。しかしながらアレルギー診療に関しては、当科は他施設ではなかなか行えない診断や治療を取り入れており、検査（DLSTなどの特殊血液検査、プリックテスト・皮内テスト・パッチテストなどの皮膚試験、経口や静注負荷試験など）や治療（特異的・非特異的免疫療法、生物学的製剤導入およびその自己注射など）に継続して力を注いできました。

各科との診療連携および各部署（看護部、地域連携・患者支援センター、医療情報管理課、薬剤科、検査科、栄養科など）との連携を試み、他科からのご依頼や他院よりのご紹介などで協力し合いながら、患者1人1人にとってのより良い検査や治療を心掛けています。特に、小児科、皮膚科、耳鼻科との連携を強化し、小児アレルギー外来からの相談や協力にも努めてきました。

近隣の医師会からの協力連携にもできる限り応じて、ご期待に添えるように努力して参りました。さらに、地域連携を含めた講演会の座長や演者として

講演会も担ってきました。

このようにアレルギー内科に関連する種々スタッフの協力もあり、2023年度は1日平均15.0人まで増加させた患者数を13.5人と外来コマ数を減らした割には大幅に減少させずに済みました。具体的な診療内容は、気管支喘息をはじめ、慢性咳嗽、食物アレルギー、薬物過敏症の診断・治療やアレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、慢性蕁麻疹に対する免疫療法や生物学的製剤治療を行っています。また、コロナワクチンをはじめ、インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチン、带状疱疹ワクチン、RSウイルスワクチンなど各種ワクチン接種後の副反応の対応や、副反応を心配されてのワクチン接種相談に來られた患者も少なくなく、そのような不安を抱えた一般市民の患者を含め、当科に通院加療中の患者（食物アレルギー、薬剤過敏症、アスピリン喘息など）には、アレルギー性の副反応を発症させないように、個人個人にあった対応方法を指導し、また接種も行いました。インフルエンザワクチンにおいては、フルービックというチメロサル（殺菌作用のある水銀を含む防腐剤）を含まないものも利用しております。

入院においては、主には食物経口負荷試験や局所麻酔薬の精査、アレルゲン（スギ・ダニ）の急速皮下免疫療法を目的に入院された患者です。

一方、今年度は2人の研修医が当科での研修を希望され、各々1ヶ月間の研修・教育指導を行いました。当科は2021年度に、日本アレルギー学会認定の専門医教育研修施設に認定されております。

その他、日本咳嗽学会からの研究調査「難治性慢性咳嗽例に対する gefapixant の使用実態」および消費者庁主導の「即時型食物アレルギーによる健康被害に関する全国実態調査」や、キャノンメディカルダイアグノスティック株式会社からの依頼によりアレルゲン多項目検査である「MAST」のリーフレット4種の監修も致しました。さらに難治性慢性咳嗽治療薬リフヌアの市販後調査にも協力致しました。

院外での活動としては、日本咳嗽学会の啓発・広報委員会委員、日本温泉気候物理医学会の保険委員会の委員を務め、日本アレルギー学会代議員、日本温泉気候物理医学会評議員、国際喘息学会日本・北アジア部会評議員、日本職業・環境アレルギー学会評議員、日本咳嗽学会評議員、臨床アレルギー研究会幹事、西横浜喘息・COPD懇話会発起人として委

員会や会議への参加ないし講演会を実施してきました。そして2024年8月31日にTKPガーデンシティ御茶ノ水において、第90回臨床アレルギー研究会を会長として開催致しました。

以上のように昨年度同様、アレルギー疾患・喘息関連学会・研究会、講演会において、座長や当院所属での演題発表を数多く活動し、当院におけるアレルギー科の存在を、継続して全国にアピールしております。

### 実績

|                | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|
| 外来平均患者数<br>(人) | 7.6    | 10.8   | 15.0   | 13.2   |
| 入院平均患者数<br>(人) | 0.6    | 0.8    | 0.7    | 0.4    |

## 呼吸器内科

部長：小西 建治

### 人員構成

部長 小西 建治 (2001年)

### 2024年度総括

2024年度のスタッフは2023年度に続き常勤1名で入院業務を行い、外来は非常勤スタッフに対応していただき、時間外や救急対応は他科の協力のもと可能な範囲で対応した。

気管支鏡検査もまだ再開していないため、胸部異常陰影での肺がん疑いの症例は、CTなどで外来にて評価したうえで、手術適応があれば呼吸器外科へ紹介しつつ、精査加療が必要な場合は他院に紹介の方針とした。

疾患としては、誤嚥性肺炎やCOPDを背景とした肺炎、肺化膿症などの他、器質性肺炎をはじめとした非特異的な間質性肺炎も多く、高齢で精密検査のリスクが高い症例などは社会背景も考慮しながらの治療を選択してきた。

間質性肺炎については2023年から間質性肺炎外来を開設し、院内も含め多くの先生方から症例をご紹介いただけるようになっている。

その他、ARDSをはじめとした人工呼吸器管理を必要とする症例だけでなく、外科の術後などの人工呼吸器管理も含めて対応しており、入院患者数に対して重症度が高いことから、救急対応が困難な時期も続き平均患者数は横ばいとなっている。

他科に入院中の患者の呼吸器症状対応も多く、現状を保ちながら必要なときに入院対応ができるように今後も可能な範囲で続けていきたい。

### 実績

|    |         | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 外来 | 延患者数    | 6,060  | 6,748  | 6,487  | 7,525  | 8,697  |
|    | 1日平均患者数 | 22.7   | 25.4   | 24.4   | 28.3   | 32.3   |
|    | 初来院患者数  | 15.3   | 15.0   | 12.3   | 17.5   | 22.5   |
| 入院 | 延患者数    | 3,567  | 4,748  | 3,718  | 3,727  | 4,106  |
|    | 1日平均患者数 | 9.8    | 13.0   | 10.2   | 10.2   | 11.3   |

| 疾患名              | 件数 |
|------------------|----|
| 肺炎               | 25 |
| COPD急性増悪         | 22 |
| 肺がん がん性胸膜炎など     | 15 |
| 誤嚥性肺炎            | 18 |
| 肺化膿症・膿胸          | 11 |
| 喘息発作             | 9  |
| COVID-19 インフルエンザ | 7  |
| 肺結核              | 6  |
| 肺非結核性抗酸菌症        | 2  |
| ニューモシスチス肺炎       | 1  |

| 疾患名               | 件数 |
|-------------------|----|
| 間質性肺炎急性増悪         | 19 |
| 器質性肺炎             | 10 |
| 間質性肺炎(リハビリ・HOT導入) | 5  |
| 石綿肺               | 2  |
| 薬剤性肺炎             | 1  |
| 喀血・血痰             | 4  |
| 気胸                | 4  |
| 血胸                | 1  |
| 心不全               | 3  |
| その他               | 3  |

## 消化器内科

部長：吹田 洋將

### 人員構成

部長 吹田 洋將 (1987年)  
 医長 豊水 道史 (2010年)  
 医員 佐藤 育也 (2015年)  
 医員 江澤 将敬 (2020年)  
 医員 瀧澤 祐子 (2021年)  
 医員 笠間 瑞希 (2023年)

### 2024年度総括

#### ①外来業務

2024年度の外来患者数は、総患者数：8,663名  
 1日平均：32.6名であった。

初診（予約外診察）においては、待ち時間が長くなっているが、電子カルテの入力を医師事務に代行してもらうなど待ち時間の短縮化を図っている。外来の混雑の緩和や業務の効率化のために、内服のみで病状の落ち着いた患者は地域の先生方に逆紹介させて頂き、内視鏡治療・入院加療が必要な患者を積極的に受け入れたいと考えている。今後も地域の先生方と連携を密にして外来業務を継続していきたい。

#### ②検査業務

2024年度の内視鏡検査件数は、上部消化管内視鏡検査は1,546件、下部内視鏡検査は1,324件であった。治療内視鏡では早期胃がんESD13件、上部消化管内視鏡止血術23件、内視鏡的胃瘻造設術17件、大腸ポリープ切除術387件、早期大腸がんESD26件、内視鏡的十二指腸乳頭切開術36件、内視鏡的胆管ステント留置術48件などであった。

内視鏡検査は当院の内視鏡センターで行っている。内視鏡センターでは患者が安全、快適かつ迅速に内視鏡検査や内視鏡治療を受けられるように、専用の待合室、更衣室、リクライニングシートを兼ね備えたりカバリールームを完備している。また待ち時間や検査時間を短縮し、苦痛や不安のない検査・治療を実践することを目指して、安全で効率的なセンター運営を行っている。

| 項目            | 件数     |
|---------------|--------|
| 上部消化管内視鏡検査    | 1,546件 |
| うち内視鏡治療       | 67件    |
| 早期胃癌ESD       | 13件    |
| 経皮的内視鏡下胃瘻造設術  | 17件    |
| 内視鏡的止血術       | 23件    |
| 下部消化管内視鏡検査    | 1,324件 |
| うち内視鏡治療       | 440件   |
| 早期大腸癌ESD      | 14件    |
| 大腸ステント留置術     | 26件    |
| 内視鏡的大腸ポリープ切除術 | 387件   |
| 経乳頭的胆管膵管造影    | 99件    |

#### ③病棟業務

2024年度の延べ入院患者数は5,491人であり、1日平均15.0人、平均在院日数は9.8日であった。今後も地域の開業医の先生からの紹介患者をいつでも受け入れることのできる体制を構築し、内視鏡による検査・処置目的の入院も含め入院患者数の増加に対応できるようにしたい。そして、何より患者一人ひとりの病態や状況に即したきめ細やかな診療業務をより一層行っていきたい。

---

---

## 内分泌・糖尿病内科

部長：升田 雄史

---

---

### 人員構成

主任医長 升田 雄史 (1998)

### 2024年度総括

新型コロナウイルス感染症が5類になった影響もあってか、外来診療も入院診療も他院から紹介症例が前年度より増加した。他科からのコンサルテーションも含めて積極的に受け入れた。人員不足を感じることもあったが、非常勤医師・特定行為看護師・CDEJとのチーム内で分業しりシステムを構築に成功した。

## 膠原病・リウマチ内科

センター長 兼 部長：山田 秀裕

### 人員構成

膠原病・リウマチセンター センター長 兼 部長  
 山田 秀裕 (1981年)  
 主任医長 児島 希典 (2014年)  
 医員 松下 広美 (2008年)  
 非常勤医 吉田 雅伸 (2000年)  
 非常勤医 花岡 洋成 (2003年)

### 業務内容

膠原病やリウマチ性疾患を対象に、多職種連携診療チームによる最先端かつ安全性の高い診療を提供する。関節リウマチ患者を対象としたリウマチ包括ケアを推進する。

### 2024年度総括

今年度は、入院・外来診療とも、診療患者数が昨年度より減少した。紹介患者数の減少が主因と考えられる。入院診療では、スタッフの減少と総合診療からの入院減少も要因と考えられる。外来診療では、安定した患者を3ヶ月毎の診療に延長したことが影響しており、逆に診療単価が増え、医療費合計は2021年以降安定している。

関節リウマチと診断された患者に対し、看護師、薬剤師、リハビリテーション療法士とともに、関節保護や関節の運動療法、薬物療法、感染症などの合併症予防対策、口腔ケア、気道ケア、消化管ケアなど、包括的指導を目指したリウマチ包括ケア外来が、予想外に少なかった。外来リハビリの算定が困難なこと、金曜午後だけでは、需要が満たされないことが要因と考えられた。次年度から、曜日を指定せずに行う体制を整えた。

リウマチ看護外来では、感染症予防や足病変などのセルフケア指導を行い、問後面談331症、バイオ導入指導78例、JAK阻害薬導入指導20例、自己注射指導77例、電話相談99例のケアを行った。装具外来も一コマ増やして継続し、計24件と増加した。

感染症入院は12例、足病変の入院は1例見られた。

### 実績

表1. 2024年度に外来診療を受けた患者の疾患内訳

|                        |       |
|------------------------|-------|
| 膠原病                    | 341   |
| 全身性エリテマトーデス (SLE)      | 64    |
| 全身性強皮症 (SSc)           | 78    |
| 抗合成酵素抗体症候群 (ARS)       | 20    |
| 皮膚筋炎 (DM)              | 17    |
| 多発性筋炎 (PM)             | 5     |
| 混合性結合組織病 (MCTD)        | 19    |
| 抗核抗体陽性 (ANA)           | 24    |
| 分類不能膠原病 (UCTD)         | 17    |
| 抗リン脂質抗体症候群 (APS)       | 16    |
| レイノー病                  | 9     |
| シェーグレン症候群 (SjS)        | 72    |
| 全身性血管炎                 | 84    |
| 顕微鏡的多発血管炎 (MPA)        | 35    |
| 多発血管炎性肉芽種症 (GPA)       | 7     |
| 好酸球性多発血管炎性肉芽種症 (EGPA)  | 5     |
| IgA血管炎                 | 2     |
| 結節性多発動脈炎 (PAN)         | 6     |
| 巨細胞性動脈炎 (GCA)          | 24    |
| 高安病 (TKA)              | 5     |
| 膠原病類縁疾患                | 64    |
| 間質性肺炎                  | 22    |
| ベーチェット病                | 18    |
| IgG4関連疾患               | 10    |
| サルコイドシス                | 6     |
| 結節性紅斑症候群               | 3     |
| 家族性地中海熱                | 3     |
| 原発性胆汁性胆管炎              | 2     |
| 関節リウマチ                 | 683   |
| 他のリウマチ性疾患              | 257   |
| リウマチ性多発筋痛症 (PMR)       | 47    |
| 関節炎                    | 36    |
| 変形性関節症 (OA)            | 35    |
| 乾癬性関節炎 (PsA)           | 33    |
| 乾癬 (PSO)               | 6     |
| ピロリン酸カルシウム結晶沈着症 (CPPD) | 22    |
| SAPHO症候群               | 19    |
| 末梢性脊椎関節炎 (perSpA)      | 19    |
| 体軸性脊椎関節炎 (axSpA)       | 4     |
| 腱鞘滑膜炎 (tenosynovitis)  | 12    |
| 成人スティル病 (AOSD)         | 11    |
| RS3PE症候群               | 5     |
| 反応性関節炎 (ReA)           | 4     |
| 再発性多軟骨炎 (RPC)          | 2     |
| 若年性特発性関節炎 (JIA)        | 2     |
| 総合計                    | 1,429 |

表2. 2024年度に入院診療を受けた患者の疾患内訳

|                          |     |
|--------------------------|-----|
| 膠原病                      | 53  |
| 全身性エリテマトーデス (SLE)        | 8   |
| 全身性強皮症 (SSc)             | 6   |
| 抗合成酵素抗体関連間質性肺炎 (ARS-ILD) | 11  |
| 皮膚筋炎 (DM)                | 19  |
| 免疫介在性壊死性ミオパチー (IMNM)     | 1   |
| 混合性結合組織病 (MCTD)          | 6   |
| 抗リン脂質抗体症候群 (APS)         | 1   |
| シェーグレン症候群 (SjS)          | 1   |
| 全身性血管炎                   | 34  |
| 顕微鏡的多発血管炎 (MPA)          | 24  |
| 多発血管炎性肉芽種症 (GPA)         | 2   |
| 好酸球性多発血管炎性肉芽種症 (EGPA)    | 1   |
| 結節性多発動脈炎 (PAN)           | 2   |
| 巨細胞動脈炎 (GCA)             | 5   |
| 膠原病類縁疾患                  | 2   |
| 間質性肺炎                    | 1   |
| 家族性地中海熱                  | 1   |
| 関節リウマチ                   | 28  |
| 他のリウマチ性疾患                | 6   |
| リウマチ性多発筋痛症 (PMR)         | 4   |
| 乾癬性関節炎 (PsA)             | 1   |
| RS3PE症候群                 | 1   |
| その他総合内科疾患                | 18  |
| 合計                       | 141 |

図1. 月毎の診療患者数の推移 (2016年4月～)

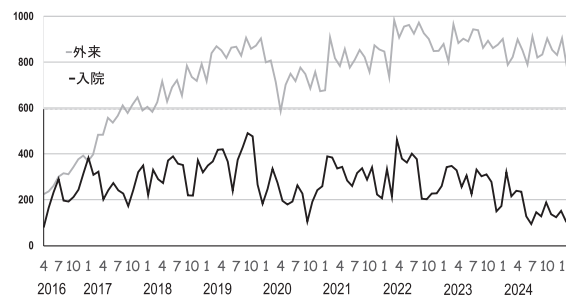
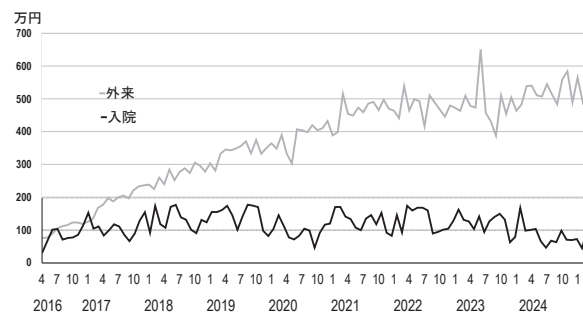


図2. 月毎の医療費合計の推移 (2016年4月～)



## 心血管センター内科・ 心血管センター外科

心血管センター長：芦田 和博  
 心血管センター内科 部長：新村 剛透  
 心血管センター外科 主任医長：乗松 東吾

### 人員構成

|                |                |
|----------------|----------------|
| 心臓血管センター長      | 芦田 和博 (1997年)  |
| 心臓血管センター内科部長   | 新村 剛透 (2005年)  |
| 心臓血管センター内科主任医長 | 河合 慧 (2009年)   |
| 心臓血管センター内科医長   | 中島 啓介 (2003年)  |
| 心臓血管センター内科医員   | 仙波 貴之 (2014年)  |
| 心臓血管センター内科医員   | 長谷川 和喜 (2020年) |
| 心臓血管センター外科主任医長 | 乗松 東吾 (2003年)  |
| 心臓血管センター外科医長   | 清原 久貴 (2023年)  |

### 2024年度総括 心血管センター内科

2015年の当科開設以来、地域の循環器急性期医療に貢献すべく行っている断らない救急診療を2024年度も継続できた。24時間365日体制でオンコールを担っている当科医師全員のみならず、満床に近い状態でも入院ベッドをコントロールいただいている看護部、夜間休日の緊急治療にも迅速に対応いただいている医療技術部門、患者受け入れ準備や家族の案内などをスムーズに進めていただいている事務部門など全ての医療スタッフの協力により達成できていることであり、この場を借りて深く感謝申し上げます。

心臓血管センター外科とタッグを組み、幅広い循環器疾患に迅速な対応が取れる体制を整えている。

また、慢性心不全患者の教育入院に力を入れており、メディカルスタッフの心不全療養指導士（日本循環器学会認定）の取得率は横浜市内でも有数である。

2023年度より心大血管疾患リハビリテーションを開始しており入院・外来とも心臓リハビリテーションを積極的に実施している。

### 2024年度総括 心血管センター外科

心臓血管センター内科と情報を共有し、入院患者と外来患者において、内科・外科に関わらず循環器疾患の治療基準は標準化され、どの曜日で受診をしたとしても治療方針にばらつきのない体制が取れている。

成人先天性心疾患から成人心臓、末梢血管疾患まで幅広く対応可能となった。

また医師だけでなく医療スタッフとのカンファレンスや超音波読影などを定期的に行うことで、チームとしての専門性を高く保つ体制を整えている。

### 実績

| 疾患名           | 件数  |
|---------------|-----|
| 冠動脈造影         | 406 |
| PCI           | 293 |
| (うち緊急PCI)     | 115 |
| 末梢血管インターベンション | 39  |
| カテーテルアブレーション  | 67  |
| ペースメーカ植え込み手術  | 25  |

---

---

## 脳血管内治療科・脳神経外科

センター長 兼 部長：佐々木 亮

---

---

### 人員構成

脳神経血管・高次脳機能センター長 兼  
脳血管内治療科部長 佐々木 亮 (2001)  
脳神経外科部長 青井 瑞穂 (1992)

### 2024年度総括

2016年からセンターが稼働、2018年8月には脳卒中ケアユニット（SCU）開設、2020年7月から回復期リハビリテーション病棟オープン、その後SCU9床への増床を行い、「急性期治療から機能回復まで一貫した治療体制」という当センターの目標の継続が維持され、患者満足度も向上に寄与している。

2024年度はSCUの運営維持を行いつつ、昨年度より開始したSCUにおける早期栄養介入管理加算を継続出来ている状況である。

また2024年7月より地域クリニックからの依頼もあった抗アミロイドβ薬の外来投与を開始し、現在はレカネマブに加えドナネマブの投与も可能となっている。

病病連携に関しては、市大センター病院脳神経外科、救命救急センターとも連携し、人工呼吸器管理を行っている重症患者も含めた、急性期からの転院受け入れも開始している。

今後は、引き続き急性期から慢性期と包括的脳卒中診療を軸として、周辺の病院・クリニックなどの医療機関、救急隊などとの関係性を向上、より地域の為に貢献できるセンター形成を目標とする。

## 外科・消化器外科

部長：野澤 聡志・永井 啓之

### 人員構成

|            |               |
|------------|---------------|
| 副院長 兼 外科部長 | 野澤 聡志 (1990年) |
| 消化器外科部長    | 永井 啓之 (1998年) |
| 外科主任医長     | 齋藤 徹 (1998年)  |
| 外科主任医長     | 横山 元昭 (2003年) |
| 外科医員       | 飯田 文子 (1999年) |
| 外科医員       | 青木 優 (2011年)  |

### 2024年度総括

胃癌・大腸癌・肝胆膵領域癌を中心とした消化器がんに対する手術・化学療法を積極的に行った。また胆石胆嚢炎・胆嚢結石症などに対する腹腔鏡下胆嚢摘出術、単径ヘルニアを中心とした各ヘルニア疾患に対しヘルニア修復術、穿孔性腹膜炎・イレウス・急性虫垂炎・急性胆嚢炎など急性腹症を積極的に受け入れ緊急対応し、各科と連携して近隣医療機関や地域のニーズに応えられるよう努めた。年々手術患者は高齢化しているが、当院でも85才以上の超高齢者に対しても安全に手術を行っている。地域連携室を通して横浜市立大学附属市民医療センター・高度救命センター、横浜市立市民病院、みなと赤十字病院など急性期病院での治療を終えた患者に対し、継続治療・退院調整などのための入院受け入れを積極的しており効率的な病床の利用を行った。

2024年度は昨年度に引き続き6人体制で診療を継続している。今後は手術件数の増加に対応できるよう、医療機関の要望に応えられる状況をつくることを目標に努力したい。

### ○消化器悪性腫瘍の集学的治療

胃癌、結腸直腸癌、肝癌、膵癌、胆道癌などに対し、1.手術治療、2.化学療法（外来化学療法を含む）を軸として積極的に治癒を目指して治療している。低侵襲と考えられる腹腔鏡下手術（結腸直腸切除術、胃切除術）も積極的に採用している。一方、大腸癌イレウスなど準緊急手術を要する症例に対しても消化器内科との連携により安全に根治性を保つ治療（ス

テント留置など先行し待機手術へ）を行うなど、病状に応じて患者のニーズに幅広く対応している。

肝細胞癌・転移性肝癌に対する肝切除術、胆膵領域がんの膵切除術など高難易度の治療を安全に施行した。栄養管理や術前リハビリテーションを積極的に導入するなどにより、超高齢者における大手術も安全に施行している。

### ○一般外科領域の手術

腹腔鏡下虫垂切除術や、急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術、腹腔鏡下ヘルニア手術等、鏡視下手術の比率が上昇した。

### ○「National Clinical Database」(NCD) への手術症例登録

2011年1月から運用された外科系の専門医制度と連携したデータベース事業「National Clinical Database」に継続参加している。

### 実績

#### ○2024年度の主な手術実績

|                 |      |
|-----------------|------|
| 胃癌              | 11例  |
| 結腸癌             | 50例  |
| 直腸癌             | 5例   |
| 肝切除術            | 7例   |
| 膵手術（膵頭十二指腸切除など） | 4例   |
| 胆石症             | 82例  |
| 虫垂炎             | 22例  |
| 腹膜炎（穿孔性など）      | 3例   |
| 腸閉塞手術           | 5例   |
| ヘルニア            | 104例 |

#### ○2023年度の化学療法実績

2024年度は胃癌、大腸癌、膵癌、胆道癌の各疾患に対して入院化学療法 53件、外来化学療法 423件を実施した。

## 乳腺科（乳腺センター）

センター長 兼 部長：徳田 裕

### 人員構成

乳腺センター長／乳腺科部長 徳田 裕（1978年）

### 業務内容

当科は乳腺の悪性疾患から乳腺症、乳腺炎、乳腺膿瘍、乳腺線維腺腫、葉状腫瘍、女性化乳房症などの良性疾患まで対応し、乳がんを中心に診療している。特に、初回の受診時にマンモグラフィ・乳房超音波検査、必要に応じて受診当日に細胞診や組織診を実施し迅速な診断を行ってきた。また、遺伝カウンセリング外来を設置し、東海大学医学部遺伝子診療科と連携するとともに、BRCA1/2 遺伝子検査の実施施設の認定を受けている。

乳がんを発症した症例については、標準的な乳房部分切除術、乳房切除術、腋窩リンパ節郭清術、センチネルリンパ節生検、一期的乳房再建術が実施可能である。また、術後の再発予防のための薬物療法や進行・再発症例での薬物療法も実施している。さらに、BRCA1/2 陽性症例でのリスク低減乳房切除、両側卵巣切除も連携している東海大学医学部付属病院で実施可能となっている。

転移再発症例や、局所進行乳がん症例に対する薬物療法の選択に関して、市大センター病院あるいは、東海大学医学部付属病院のがんゲノム診療科と連携し、がんゲノムパネル検査を実施し、有効な薬剤の選択を積極的に行っている。

### 2024年度総括

#### 乳腺セカンドオピニオン外来

2020年度より、セカンドオピニオン外来を毎週火曜日午後、完全予約制にて開始した。予約の窓口はすべて地域医療連携室に集約し、あらかじめ紹介状、画像等の資料を入手し担当医に提示したうえで予約日時を決定し依頼者に返信する。また、受診の同意書、費用に関する覚書も作成した。2024年度は、

受診者は2名であった。

#### 遺伝カウンセリング外来

がんゲノム医療拠点病院である東海大学医学部付属病院遺伝子診療科と連携するとともに、同科所属の臨床遺伝専門医高橋千果先生を非常勤医師として招請し、遺伝カウンセリング外来を実施している。

遺伝子検査の同意説明文書の作成、医療スタッフ育成のための勉強会等を実施し、BRCA 検査の保険適応のための施設認定を獲得した。2024年度のBRCA1/2 検査数は31例であった。

#### センチネルリンパ節生検用RI注射の依頼

センチネルリンパ節生検実施症例数の増加にともない、新たにみなと赤十字病院にRI注射を委託し、本格的に運用を開始した。2024年度の症例数は、市大センター病院21例 みなと赤十字病院11例であった。

#### ステレオマンモトーム生検

マンモグラフィで発見されたカテゴリ3以上の微細石灰化巣に対するステレオマンモトーム生検を2020年2月13日より開始し、第2、4火曜日午後各2例の予約で継続している。2024年度の実績は22例実施し、悪性5例であった。

### 実績

2024年度の主な治療実績（2024年4月1日—2025年3月31日）

|             |     |
|-------------|-----|
| 乳がん手術症例     | 39例 |
| 乳房部分切除術     | 33例 |
| センチネルリンパ節生検 | 25例 |
| 腋窩リンパ節郭清    | 0例  |
| 乳房切除術       | 6例  |
| センチネルリンパ節生検 | 7例  |
| 腋窩リンパ節郭清    | 0例  |

## 呼吸器外科

部長：竹内 健

### 人員構成

院長 大内 基史 (1987年)  
部長 竹内 健 (1996年)

### 2024年度総括

呼吸器外科では、全国的にも数少ない炎症性肺疾患に対する外科的治療を最大の特徴として掲げ、日々診療に取り組んでいる。治療が難しいとされる非結核性抗酸菌症や肺アスペルギルス症などの難治性炎症性肺疾患に対して、豊富な経験と高度な技術に基づいた外科的アプローチを提供し、多くの患者さんに新たな治療を届けられている。内科的治療では限界のあるこれらの疾患に対し、的確な手術適応の判断と繊細な手術手技により、治療成績の向上に貢献している。

また、肺悪性腫瘍に対しては低侵襲手術技術と免疫チェックポイント阻害剤など薬物療法を組み合わせた集学的治療を展開し、さらに様々な職種とのチーム医療によって、患者さん一人ひとりに寄り添った切れ目のない医療の提供ができています。2024年度は当科の全手術症例の中で80%にあたる42例で胸腔鏡手術を実施し、これにより患者の術後疼痛軽減と早期回復を促進している。

### 地域医療

当科では在宅医療との橋渡し役を積極的に果たしてきた。高齢者肺炎や器質化肺炎などの急性期治療を行った後も、往診医や近隣の開業医と連携して退院後のケアを円滑に行うことで、再入院の防止や患者さんの生活の質（QOL）向上に努めた。また、地域の医療機関からの緊急応需や転院患者の受け入れを迅速に対応し、地域全体の呼吸器疾患治療の中核としての役割を果たしてきた。こうした多職種・多施設との連携強化により、患者さん一人ひとりに最適かつ継続的な医療提供ができた。

### 実績

①手術：全53例（42例が胸腔鏡を使用している。）  
肺悪性腫瘍 胸腔鏡手術13例  
非結核性抗酸菌手術 9例（両側同時手術3例）  
肺アスペルギルス症 3例

②抗癌剤 件数  
化学療法 59件  
（内訳 30件免疫チェックポイント阻害剤）

③地域医療  
在宅医療からの入院治療  
→ レスパイト入院：1例、緊急応需：13例  
転院からの入院治療 → 9例

## 整形外科・関節外科

部長：天野 景治・竹下 宗徳

### 人員構成

|          |               |
|----------|---------------|
| 整形外科部長   | 天野 景治 (1993年) |
| 関節外科部長   | 竹下 宗徳 (2003年) |
| 整形外科主任医長 | 山田 寛明 (1997年) |
| 整形外科主任医長 | 大田 光俊 (2006年) |
| 整形外科医長   | 横谷 純子 (2000年) |
| 整形外科医員   | 大崎 裕斗 (2019年) |
| 整形外科医員   | 金田 知訓 (2021年) |
| 整形外科医員   | 照屋 善太 (2021年) |

### 2024年度総括

月100件前後の当科への紹介・逆紹介での地域連携を軸に、特に手術に力を入れている。

年間約870件の整形手術の内訳は、変形性股関節症や特発性大腿骨頭壊死症等の変性疾患に対する、早期復帰が望める徹底した最小侵襲手術（MIS）での人工股関節置換術（THA）等が186件と最多で、他にも、人工膝関節置換術（TKA・UKA）や、リバー型人工肩関節置換術（RSA）、そして特殊な保存治療として再生医療も人工関節センターで行っている。

脊椎外科専門医による椎体骨折等の骨脆弱性骨折や、頸から腰までの変性疾患への手術にも力を入れている。特殊な保存治療としてはヘルニア治療も行っている。

一方で、老若男女の非常に多種多様な四肢の骨折への手術も多い。

手根管症候群や肩腱板損傷等、当科OBの手外科や肩外科非常勤医による手術も行っている。

多職種で構成する骨粗鬆症リエゾンサービス（OLS）を骨折入院の一部に運用している。

人事としては、2024年度末に天野医師が退職した。

整形外科は、千葉大医局の関連病院であり、一方で、2019年度からは新たに北里大医局からの派遣も頂いている。これまでの千葉大医局の常勤専門医に加え、2024年度の専攻医は、千葉大医局からは照屋医師、北里大医局からは大崎医師と金田医師が、それぞれ一年間、希望で派遣された。

外来は初診・予約外来に加え、膝股関節専門外来（竹下）、再生医療外来（竹下）、肩専門外来（佐々木）、手外科専門外来（木内）を設け診療にあたった。

一方、手術は、月曜から金曜の午前・午後と2～3並列で組み、時間外受付や救急も基本受入れた。

入院はメインの西2病棟が一年中整形で満床のため、調整に過去苦慮したことから、整形疾患別に西1と西2病棟に区分しての試験運用を開始した。慢性期に至った場合や保存入院は東4病棟、東1病棟も利用した。

一丁目一番地である治療成績や患者満足度を高く維持するためには個々が常に高いレベルを維持する必要がある。「聖隷は主治医の先生も、皆さん（多職種）も本当に良かったわ、聖隷で手術受けてほんとはよかった、聖隷に紹介してくれて先生ありがとうね！」と紹介元の医院へ、患者が退院の報告に受診頂けるよう、今後も個々が、そして多職種ワチームで精進することで、聖隷ファンを増やしたい。

そんな背景もあって、看護（各病棟・外来・手術室）、リハ、事務ほか多職種からなる整形運営会議を年度末、試験運用開始した。あらためてここで多職種に感謝し、次年度に繋げたい。

### 実績

| 疾患名           | 手術名               | 件数  |
|---------------|-------------------|-----|
| 変形性股関節症       | 人工股関節置換術（THA）     | 121 |
| 変形性膝関節症       | 人工膝関節置換術（TKA・UKA） | 50  |
| 変形性肩関節症・肩腱板損傷 | リバー型人工肩関節置換術      | 18  |
| 手根管症候群etc.    | 手根管開放術etc.        | 20  |
| 頸椎            | 前後合併固定            | 1   |
|               | 前方除圧固定            | 7   |
|               | 脊柱管拡大術            | 12  |
|               | 後方（除圧）固定術         | 3   |
| 胸腰椎           | 前後合併固定            | 4   |
|               | 後方固定              | 41  |
|               | 後方除圧              | 24  |
|               | 後方除圧固定            | 29  |
|               | 経皮的椎体形成術          | 15  |
|               | 脆弱性骨盤             | 7   |
| 四肢骨折etc.      | 骨折手術etc.          | 620 |
| 合計            |                   | 972 |

## 泌尿器科

部長：波多野 孝史

### 人員構成

部長 波多野 孝史（1987年）

### 業務内容

常勤医師1名、非常勤医師4名が診療に従事している。

外来診療：毎日終日診療を行っている。

手術：水曜日午後、金曜日午前

オンライン診療：火曜日午前

排尿ケアチームラウンド：金曜日午後

検査：尿路内視鏡検査、造影検査、エコー検査、  
ウロダイナミック検査を毎日行っている。

### 2024年度総括

#### ①排尿ケアチーム活動

今年は排尿ケアチームが結成されてから2年目となる。毎週金曜日14時より院内ラウンドと多職種カンファレンスを開催している。排尿ケアチームは排尿障害を有する患者に対して、病棟スタッフと合同カンファレンスを行い、患者の排尿自立に向けた問題点を共有し、改善策を立案、実行している。月に1回排尿ケアチーム運営委員会を開催し、治療介入した患者の振り返りを行っている。

2024年4月から2025年3月までの排尿ケアチーム介入延べ症例数は710名、ラウンド回数51回、ラウンド1回当たりの平均介入患者数15名（11～20名）、ラウンド所用時間60分（50～90分）であった。介入患者一人当たりの平均ラウンド回数は4.8回であった。

2024年2月より、外来患者排尿自立支援も開始した。これにより入院から退院後の外来通院においても、切れ目のない排尿自立支援を行っている。

#### 排尿ケアチーム勉強会

2024年5月14日 「最適な排尿ケアの実現 Dfree

の取り扱いについて」 大会議室

2025年1月14日 「多職種チームで取り組む排尿ケアの挑戦」 大会議室

#### 宿場祭りへの参加

排尿ケアチームは2024年10月13、14日に開催された保土ヶ谷宿場祭りに出展した

来場された市民の方に排尿管理の重要性や尿路閉塞性疾患に対する啓蒙活動を行った

当日排尿ケアチームのブースへは38名の方が来場された



4名のスタッフが参加した

#### ②オンライン診療の推進

当科では泌尿器科疾患に関するオンライン診療を推進している。特に聖隷福祉事業団関連施設であるエデンの園と連携し、入所者のオンライン診療を行い、泌尿器科疾患の早期発見、早期治療を行っている。

2024年度は藤沢エデンの園、横浜エデンの園、松山エデンの園、油壺エデンの園で講演を行い、希望された入所者に対し、定期的にオンライン診療を行っている。

オンライン診療は自分の部屋から受診することができ、通常の外来診療に比べ、身体的、経済的、時間的負担が軽減される。また医療者にとっても患者の自宅や部屋での様子を観察でき、双方にメリットのある診療形態である。今後オンライン診療はさらに拡張する分野であり、当科でも積極的な普及活動を進めている。

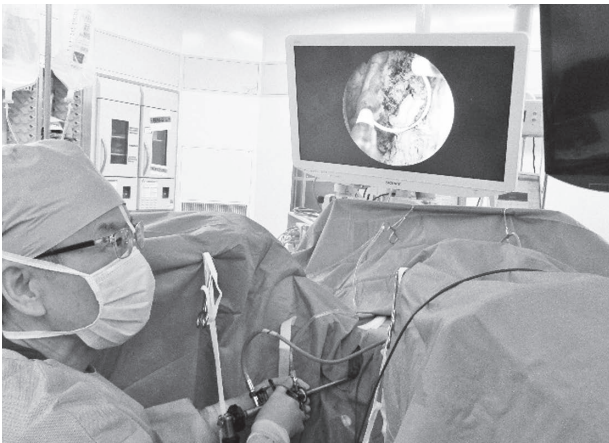


2024年11月1日松山エデンの園でオンライン診療の講演を行った

### ③泌尿器科診療の特徴

当科では膀胱の内視鏡的手術や前立腺針生検を積極的に行っている。最近の手術件数を以下に示す。また当科では小児仮性包茎、亀頭包皮灸、停留精巣などの小児泌尿器科疾患に対しても積極的に治療を行っている。

結節性硬化症や常染色体優勢多発性嚢胞腎などの希少遺伝性疾患に対しては、専門外来を開設し、複数の診療科による連携診療体制を構築している。



経尿道的膀胱腫瘍切除術

## 実績

平均外来患者数：29人

平均入院患者数：7人

### 主な手術件数

| 手術名         | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|
| 経尿道的膀胱腫瘍切除術 | 29    | 28    | 17    | 28    |
| 経尿道的止血術     | 3     | 2     | 1     | 1     |
| 経皮的腎瘻造設術    | 4     | 4     | 1     | 1     |
| 経皮的膀胱瘻造設術   | 2     | 1     | 0     | 1     |
| 尿管ステント留置術   | 19    | 30    | 27    | 29    |
| 尿管拡張術       | 0     | 2     | 0     | 0     |
| 膀胱結石破碎術     | 0     | 2     | 1     | 2     |
| 膀胱穿孔修復術     | 0     | 0     | 0     | 1     |
| 高位精巣摘除術     | 0     | 0     | 0     | 2     |
| 精巣水腫根治術     | 0     | 1     | 0     | 2     |
| 尿道狭窄切開拡張術   | 4     | 3     | 0     | 1     |
| 尿道腫瘍切除術     | 0     | 0     | 1     | 0     |
| 環状切除術       | 3     | 2     | 4     | 2     |
| 経直腸前立腺針生検   | 44    | 47    | 52    | 51    |

## 麻酔科・ペインクリニック・緩和ケア

部長：木下 真弓

### 人員構成

|            |               |
|------------|---------------|
| 麻酔科部長・手術室長 | 木下 真弓 (1987年) |
| 主任医長       | 千葉 桃子 (1990年) |
| 医長         | 佐藤 理恵 (2000年) |
| 医長         | 桑原沙代子 (2011年) |
| 医員         | 山田 淳子 (2006年) |
| 医員         | 黒木 洋子 (2007年) |
| 医員         | 村田 志乃 (2008年) |

### 2024年度総括

当院麻酔科は【手術麻酔】【ペインクリニック】【緩和医療】の3本立てで業務を行っています。

#### 【手術麻酔】

術前診察を行い、患者の状態を把握し、手術中の全身管理と痛みのマネジメントを専門に行っています。また、術後疼痛管理チームを発足し、術後患者の疼痛軽減、合併症予防、早期離床を目指して活動しています。

#### 【ペインクリニック】

「痛み」を専門に治療しており、薬物療法だけでなく神経ブロック、理学療法など複合的な治療を行っています。2022年度は1,145件のブロック治療を施

行しました。

頭痛、帯状疱疹後神経痛や三叉神経痛など各種神経痛、整形外科疾患による痛み、顔面神経麻痺、突発性難聴、複合性局所疼痛症候群、膠原病、閉塞性動脈硬化症などによる難治性潰瘍がんによる痛み等が対象です。

#### 【緩和医療】

緩和ケア外来でがん患者の苦痛症状の緩和ケアを行っています。ペインクリニックの治療を駆使し、神経ブロックを用いての治療も行っています。2020年からは緩和ケア病棟で年間350名ほどのがん患者の緩和ケアを提供しています。がんによる身体のだらさ（疼痛や呼吸困難感など）、心ののだらさ、スピリチュアルペインに

ついて総合的に医療やケアを行います。医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法や作業療法士、医療ソーシャルワーカー、福祉関係者、ボランティアなどがサポートします。

また、緩和ケア外来の通院や緩和ケア病棟での入院が可能ですので、がんになったその時から病気の治療に寄り添い、終末期にはその人らしく過ごせる様にサポートします。命を脅かす病気、心不全や呼吸不全、腎不全の末期の方の緩和ケアも行っており、一般病棟や横浜エデンの園でケアや治療を行っています。

がん以外にも心不全、呼吸不全、腎不全の末期の患者の緩和ケアも行っております。

### 実績

|         | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 手術件数    | 1,640  | 2,130  | 2,471  | 2,333  | 2,471  |
| 麻酔科管理症例 | 1,103  | 1,270  | 1,445  | 1,309  | 1,373  |

● 診療部 ●

| 透視下ブロック |               | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|---------|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 頸部      | 硬膜外洗浄（頸部）     | 0      | 3      | 0      | 0      | 1      | 0      |
|         | 神経根パルス（頸部）    | 14     | 4      | 10     | 8      | 10     | 6      |
|         | C2ガングリオンブロック  | 1      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
|         | 神経根ブロック（頸部）   | 5      | 11     | 7      | 5      | 2      | 3      |
| 胸部      | 神経根パルス（胸部）    | 14     | 16     | 7      | 6      | 15     | 16     |
|         | 神経根ブロック（胸部）   | 20     | 19     | 13     | 19     | 9      | 14     |
|         | 持続硬膜外カテーテル挿入  | 0      | 0      | 1      | 0      | 1      | 2      |
| 腰部      | 腰交サーモ         | 0      | 1      | 0      | 0      | 0      | 0      |
|         | 神経根パルス（腰部）    | 44     | 49     | 43     | 42     | 32     | 29     |
|         | 神経根ブロック（腰部）   | 25     | 18     | 21     | 17     | 16     | 9      |
|         | 椎間関節サーモ（腰部）   | 0      | 1      | 0      | 1      | 1      | 2      |
|         | 椎間関節ブロック（腰）   | 7      | 6      | 5      | 9      | 11     | 13     |
|         | 硬膜外洗浄（腰部）     | 1      | 0      | 0      | 0      | 1      | 1      |
|         | 脊髄刺激装置埋め込み術   | 1      | 0      | 1      | 0      | 0      | 0      |
|         | 脊髄刺激装置トリアル    | 0      | 1      | 1      | 1      | 2      | 0      |
|         | 仙腸関節ブロック      | 0      | 0      | 3      | 2      | 0      | 2      |
|         | 硬膜外カテーテル埋め込み術 | 0      | 0      | 3      | 0      | 0      | 0      |
|         | 腰部持続硬膜外カテーテル  | 0      | 0      | 4      | 0      | 3      | 2      |
| 合計      | 132           | 129    | 119    | 110    | 104    | 99     |        |

| 緩和ケア入棟外来 | 2023年度 | 2024年度 |
|----------|--------|--------|
| 人数       | 400    | 478    |

| 外来神経ブロック            | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 星状神経節ブロック           | 417    | 352    | 155    | 166    | 30     | 48     |
| 胸部硬膜外ブロック           | 1      | 9      | 17     | 0      | 0      | 6      |
| 眼窩上神経ブロック           | 30     | 12     | 22     | 19     | 7      | 42     |
| 眼窩下神経ブロック           | 4      | 4      | 22     | 15     | 27     | 8      |
| おとがい神経ブロック          | 3      | 2      | 9      | 9      | 5      | 8      |
| 大腿神経ブロック            | 3      | 1      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 肩甲上神経ブロック           | 3      | 6      | 20     | 14     | 4      | 2      |
| 肋間神経ブロック            | 146    | 130    | 123    | 141    | 70     | 89     |
| 仙骨部硬膜外ブロック          | 163    | 127    | 104    | 71     | 60     | 101    |
| 腕神経叢ブロック            | 78     | 67     | 82     | 71     | 124    | 111    |
| 腰部硬膜外ブロック           | 283    | 328    | 246    | 212    | 217    | 224    |
| 胸部硬膜外ブロック           | 0      | 0      | 0      | 1      | 1      | 1      |
| 肩甲背神経ブロック           | 14     | 3      | 2      | 4      | 2      | 2      |
| 浅頸神経叢ブロック           | 32     | 38     | 51     | 44     | 29     | 34     |
| 椎間関節ブロック            | 169    | 82     | 104    | 137    | 187    | 175    |
| トリガーポイント注射          | 475    | 300    | 287    | 274    | 347    | 449    |
| 硬膜外ブロック持続注入         | 16     | 6      | 98     | 5      | 8      | 59     |
| 腓骨神経ブロック            | 2      | 1      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 後頭神経ブロック            | 0      | 1      | 4      | 1      | 3      | 7      |
| 仙腸関節枝神経ブロック         | 0      | 2      | 0      | 6      | 10     | 28     |
| 関節腔内ブロック            | 0      | 0      | 0      | 2      | 19     | 20     |
| 経仙骨孔神経ブロック          | 0      | 0      | 0      | 0      | 2      | 0      |
| 坐骨神経ブロック            | 1      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 三叉神経ブロック高周波熱凝固神経破壊薬 | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 8      |
| ボツリヌス毒素神経ブロック       | 0      | 0      | 10     | 0      | 0      | 3      |
| 大腰筋溝ブロック            | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 11     |
| 合計                  | 1,840  | 1,471  | 1,356  | 1,192  | 1,152  | 1,436  |

## 小児科

主任医長：北村 勝彦

### 人員構成

主任医長 北村 勝彦（1982年）

### 2024年度総括

今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の流行の波が小児科外来大きな影響をもたらした。流行の波が訪れる度にその変異速度が早まるにつれ感染性が強くなり、加えて小児へのワクチン接種率が異常に低いこともあって小児科感染症の疾病構造が大きく変化した。

小児慢性疾患とくにアレルギー性疾患の需要は増え続け、月2回の小児アレルギー外来受診者は毎回予約があふれる状態となり時間内の診療が困難な状態にある。新型コロナウイルス感染によるアレルギー免疫系への影響も報告されており、今後アレルギー疾患への需要は増えると考ええる。

さらに新型コロナウイルス感染の後遺症と疑われる小児心身症受診も年々増加傾向にあり、不定愁訴を訴える初診患者の受診も後を絶たない。小児心身症専門医が圧倒的に不足している現状では当院のような小回りのきく検査診断体制を有した小児科は大変貴重な存在となるため、保土ヶ谷区以外の市内各地からも心身症、発達障害疑いの患児が訪れる。さらに当科では夜尿症への啓蒙を従来から行っており、専門医の不足も手伝って当科での対応がされている。

当科は常勤医師1名であることから入院対応は行っていないため、横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜市立市民病院、横浜みなと赤十字病院、県立こども医療センターなどのご協力を得て入院対応を行っている。

なお、2024年5月より当科が園医を担当している院内保育園（ひだまり保育園）において病児保育を開設し職員確保や安心して職務に専念できるという利点で高い評価を得ている。

### 実績

#### 年度別診療科別年間外来患者数

| 診療科 | 年度 | 2020  | 2021  | 2022  | 2023  | 2024  |
|-----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 小児科 |    | 2,333 | 2,347 | 2,811 | 3,435 | 3,503 |

#### 年度別診療科別1日平均外来患者数

| 診療科 | 年度 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|-----|----|------|------|------|------|------|
| 小児科 |    | 17.5 | 15.6 | 8.7  | 12.9 | 13.2 |

#### 疾患別延べ患者数、実患者数（2024年度）

| 疾患名                   | 延べ患者数 | 実患者数 |
|-----------------------|-------|------|
| 急性上気道炎                | 690   | 100  |
| 急性下気道炎<br>(肺炎、気管支炎など) | 29    | 8    |
| 急性胃腸炎                 | 577   | 72   |
| 慢性胃腸炎                 | 0     | 0    |
| 便秘症                   | 1,046 | 138  |
| 夜尿                    | 81    | 17   |
| 心身症                   | 76    | 15   |
| 発達障害                  | 73    | 9    |
| アレルギー性疾患<br>(食物アレルギー) | 249   | 30   |
| 川崎病                   | 2     | 1    |
| 膠原病                   | 0     | 0    |
| 不明熱                   | 52    | 6    |

## 放射線診断科

部長：新美 浩

### 人員構成

部長 兼 画像診断センター長 新美 浩 (1985年)  
主任医長 石川 牧子 (1990年)

### 概要

- 当科は画像診断専門医による画像診断や臨床各科とのコンサルティングを主とする診療科で、特に地域医療機関との連携やモダリティの相互利用に最も注力していることを特色とする
- 日本医学放射線学会・放射線科専門医修練機関（画像診断・IVR部門）
- 画像診断管理加算2、及び冠動脈CT、心臓MRI施設基準、乳房MRI施設基準
- 聖マリアンナ医科大学放射線医学講座 教育関連病院

### 2024年度総括

1. 2024度の診療体制においても放射線診断専門医による読影体制（常勤医2名・非常勤医10名）を維持し、毎月計約2300件に及ぶCT・MRI検査の約90%の迅速読影とコンサルティングに対応し、画像診断管理加算2の体制を維持した。2024度も非常勤医派遣元は引き続き聖マリアンナ医科大学病院及び同横浜市西部病院放射線科からと、医局出身者が主体である。
2. 地域医療機関から依頼された全てのCT・MRI検査の読影診断を行い、地域の画像診断基幹施設の一つとして貢献している。

設の一つとして貢献している。

画像診断の紹介数は、2023年度に比して特にCT件数の大幅な増加を認め、CT/MRIの合計は毎月約280～300件で、コロナ禍の減少傾向から一転、2023年度、2024年度は紹介件数の大幅な増加を得ている。

3. 2017年にオンラインでの画像検査予約と画像レポート閲覧のシステム導入開始して以来、利用医療機関も順調に増加し、現在ではすっかり定着している。2024年度現在、地域医療機関とのオンライン接続は24医療機関に達している。
4. 2019年に超高精細CTの導入（Precision）と3テスラMRIの増設を行い、外来診療は256スライスCTと160列の超高分解能CT、及び2019年導入以降にさらに機能強化した3TMRIによる三台体制で診療を行っている。また、2023年度末に導入した256スライスのdual energy CT（Philips Spectral CT 7500）により、整形外科領域、心臓大血管領域、救急領域など様々な領域の診断精度を向上させ、多くの診療現場で診断プロセスやマネジメントに大きな影響を与えている。
5. 最近5年間、特に3年間の画像診断実績推移（表）をみると、CT検査MRI検査ともに検査総数は2024年度はコロナ禍前までの状態に回復基調を認め、特にCTの紹介患者数は2023年度、2024年度と急速な増加傾向を認めている。しかし、MRIの総検査件数は20021年度を境に漸減傾向を認め、これは脳神経外科診療体制の縮小の影響が大きいと考えるが、紹介件数自体は漸増傾向にある。

## 実績

画像診断実績：最近5年間の推移（2020-2024）

|     |       | 2020年<br>月平均 | 2021年<br>月平均 | 2022年<br>月平均 | 2023年<br>月平均 | 2024年<br>月平均 | 対前年度比 (%)<br>2024/2023 |
|-----|-------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------------------|
| CT  | 件数    | 1,742        | 1,831        | 1,617        | 1,637        | 1,798        | △9.8                   |
|     | 紹介件数  | 172          | 159          | 159          | 204          | 266          | △30.4                  |
|     | 心臓CT  | 92           | 79           | 73           | 76           | 77           | △1.3                   |
|     | 造影率   | 18.0%        | 16.6%        | 20.8%        | 21.0%        | 20.2%        | ▼3.8                   |
|     | 紹介率   | 9.9%         | 8.7%         | 9.8%         | 12.5%        | 14.8%        | △18.4                  |
| MRI | 件数    | 531          | 549          | 530          | 513          | 517          | △3.2                   |
|     | 紹介件数  | 17           | 15           | 14           | 18           | 22           | △22.2                  |
|     | 心臓MRI | 4            | 4            | 5            | 5            | 4            | △0.0                   |
|     | 造影率   | 5.10%        | 5.00%        | 5.20%        | 5.40%        | 5.1%         | ▼5.6                   |
|     | 紹介率   | 3.20%        | 2.80%        | 2.70%        | 3.50%        | 3.5%         | △0.0                   |

## 救急科(ER) / キズ・やけど外来

部長：入江 康仁

### 人員構成

部長 入江 康仁 (2008年)

### 2024年度総括

2024年度はいまだSARS-CoV2感染症でのベッド制限を受けつつも、年間救急車受け入れ台数は4690台（うち入院件数：1702例）となった。救急科単独での平均患者数は8.7人/日、平均在院日数は11.7日であった。

入院症例の内訳は、やはり高齢者の方の搬送が多くを占める。社会背景が複雑な症例もあり、救急搬送とともに医療ソーシャルワーカーの方々の協力を得て、地域の福祉関係の方とのコミュニケーションを依頼する症例も多い。さらに入院の契機となった救急疾患が治癒してもご帰宅できない症例が散見される状況が続いている。このような退院困難な症例は院内の地域回復期ケア病棟への転棟を促しつつ、また繁忙期となると外科にも状態の安定した患者を転科させるなどの処置を行うことで、救急科としての慢性期医療に対する仕事量の軽減を図っている。また本年から総合診療科ができ、急性期の入院対応振り分けなどを協力し合い、また高齢者の内科疾患による入院が短期間に重なった際には、一般内科にも振り分けをするシステムを構築するなど、救急車受け入れのハードルを下げよう努力している。

研修医教育に関しては患者のバイタルを安定化しながら、身体所見をしっかりと取ることを重視しつつ、当院の診断機器を駆使して診断する方法を教授している。当院は診断機器に恵まれているため画像診断に頼る傾向が生じてしまうが、今後の医師としての成長のため診断機器がない医療施設でも対応できるよう病態把握や身体所見をしっかりと取りながら患者の重症度、緊急性を判断するよう努めている。研修医には画像は身体所見などの答え合わせのつもりで検査を行うように指導を行った。また、不定期ではあるが、研修医対象の教育セミナーを3回開催して、

特にERでの判断に必要な知識スキルを講義した。

当院に救急搬送された重症症例に関しては当院で提供できる医療は当院で行い、対応困難な疾患に関しては当院で診断を行ったうえでより高次の施設に依頼する形をとっている。2024年度も高次医療機関の医療体制は逼迫しているが、急性期を乗り切った患者を高次医療機関から積極的に受け入れるなど良好な関係構築を図っている。（転院搬送先例：横浜市立みなと赤十字病院、横浜市立市民病院、横浜市立大学市民総合医療センター、聖マリアンナ大学附属病院、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、湘南鎌倉総合病院、済生会横浜市南部病院、横浜労災病院）

当院は輪番病院であるが、輪番日は積極的に救急患者を受け入れる方針の一方で、発熱患者のベッド確保が困難であった、吐下血の緊急処置対応ができないことなどから、受け入れができなかった救急要請があり、今後の課題となろう。

対外的には横浜市消防局を対象に救急セミナーを開催して、当院における創傷・熱傷治療の現状と、治療に必要な知識を共有し、横浜市内でも対応が限られると思われる熱傷患者搬送の解決策としての当院の意義を説明した。また、救急医学会学術集会はもちろんのこと、関連学会に積極的に参加、発表、教育講演などを行い、学術活動も積極的に行った。ただ、本年は英文論文を2本発表した。

### 2025年への展望

2次病院としての救急科の在り方として、単に救急疾患を見るだけではなく、総合診療的な要素を取り入れ、救急総合診療としての体制を整えていく。

また侵襲性溶連菌感染症においては当科が初診として受け入れることも多い傾向にあり、感染管理の立場からも院内への情報共有を迅速に行っていきたい。

輪番病院であるため、夜間も日勤帯と同様の受け入れ体制を維持することはできないが、聖マリアンナ医科大学救急医学講座からの重厚なサポート体制の下、日勤帯の受け入れ率の増加を目指す。また働き方改革の影響で、勤務時間の制限がある中、16時以降の受け入れが厳しくなってくるが、宿直医とも連携し、できるだけ受け入れをできるように努力す

る。

また、いわゆるレスパイト入院となる患者受け入れも積極的に行っており、地域包括ケア病棟への直接入院率を増加させるようにする。

キズ・やけど外来での外傷後のfollowも当科で行っていくことで、夜間外科当直医の負担軽減にも貢献する。

当科の入院期間は入院後の診療・精査を順次行っていくことで、転科後の各専門化科や慢性期医療を

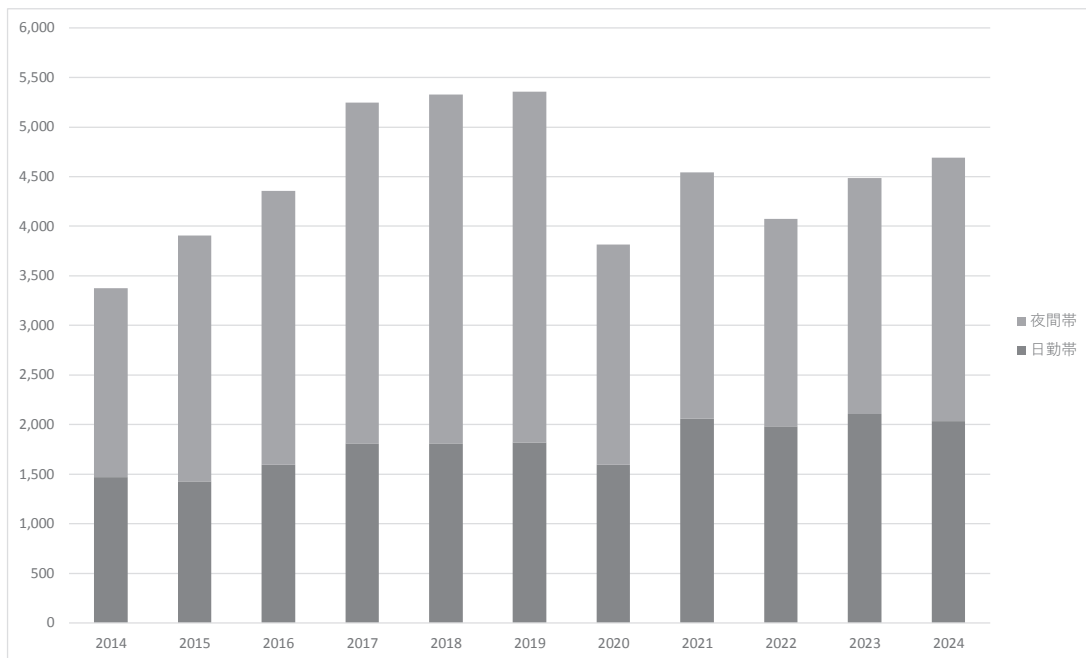
担う科に負担軽減を図りつつ、短縮を心掛けていく。

また、学術的な業績も対外・対内向けに発信していけるよう、学術集会への参加、発表、論文執筆などを積極的に行っていく。

研修医教育に関しても、働き方改革で制限を受けることになるが、できるだけかわりを持ち、また彼らにも医師としての基本的な医療者としての気質、態度を身につけてもらえるように心がけていく。

## 実績

2014年度 - 2024年度救急車受入台数



## 漢方科

部長：入江 康仁

### 人員構成

部長 入江 康仁 (2008年)

### 2024年度総括

当院初の漢方専門外来を開設して2年目を迎えた。救急科（ER）と並行した診療を行っているため、月曜日午後のみとなっている。

豊富な専門科・専門外来がある現代においても、西洋医学的に診断に至らない症状や、治療に難渋するケースが数多く存在する。所見上では異常がみられないが症状が継続している、治療を行っているのに症状が緩和されないなど、具体的には、のぼせ、ほてり、冷え症、生理痛、湿疹、めまい・頭痛、神経痛、倦怠感、慢性下痢、便秘症、打撲傷・骨折痛、慢性気管支炎、頻尿・排尿困難、咽頭違和感等の症状に対して、救急総合診療を基盤とした西洋医学と東洋医学を合わせた診療を行う専門外来である。当外来は漢方エキス剤を用いた保険診療を行っており、

湯薬治療は行っていない。

開設当初はその認知度が低かったこともあり、しばらく患者の来なかった時期もあったが、患者が増えていき、初診患者8人、のべ患者数は252人となった。

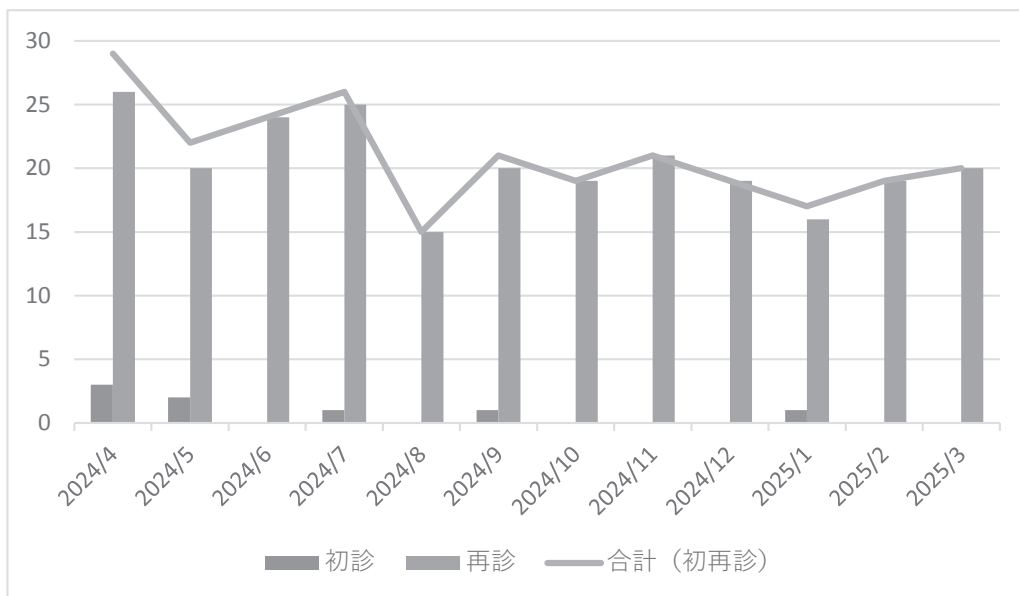
また対外的には東洋医学会学術集会はもちろんのこと、関連学会に積極的に参加、発表、教育講演などを行い、学術活動も積極的に行った。さらに、「救急漢方フェス！」という初心者向けセミナーを他院講師も招聘・開催し、約40人の参加者となる盛会となった。また本年は1本英文論文を発表した。

### 2025年への展望

当院は教育関連施設にもなっていない状況であり、5年後を見据えて実績を上げていきたいと考えている。そのためには、いま以上に外来患者を増やしていくと共に、院内の宣伝活動や勉強会を開催しつつ、スタッフの中で「漢方外来で何か解決できるかも」と思ってもらえることで、患者と当科の連携を繋げることができるようになることは、現実的な路線となろうと考えている。

また、院内外向けの勉強会を定期的で開催することで、院外からの患者獲得にも貢献したいと思う。

### 実績



# リハビリテーション科

部長：内川 研

## 人員構成

部長 内川 研（1992年）

## 2024年度総括

### 多職種連携による総合的なアプローチ：

多職種がチームを組み、患者一人ひとりに合わせた個別のリハビリテーションプランを作成する体制を整えている。総合的なアプローチにより、身体機能の向上と生活の質の改善が期待できる。

### リハビリテーション技術と設備：

電気刺激療法、促通反復療法、経頭蓋静的磁気刺激など多様な手法を駆使した治療を実施。

適切な歩行用装具と低周波治療を用いることにより歩行能力の向上を図ることが可能である。

### 退院支援・地域連携：

退院時には家屋評価を行い、退院後の訪問リハビリテーションやデイサービスなどの提案し、退院後の維持期のリハビリテーションの継続を依頼し、安定した在宅生活の継続が可能なように支援している。

## 実績

| 疾患名    | 件数 |
|--------|----|
| 脳出血    | 23 |
| 脳梗塞    | 53 |
| 頭部外傷   | 8  |
| 脳腫瘍    | 1  |
| クモ膜下出血 | 2  |
| 頸髄関連   | 4  |

## 病理診断科

部長：末松 直美

### 人員構成

|            |                |
|------------|----------------|
| 病理専門医研修指導医 | 末松 直美 (1978年)  |
| 臨床検査技師     | 日比野智博 (2010年)  |
|            | 細胞検査士2013年     |
|            | 二級病理検査士 2016年  |
|            | 認定病理検査技師 2024年 |
|            | 牧田 佳奈 (2019年)  |
|            | 二級病理検査士 2021年  |
|            | 上野 貴博 (2021年)  |
|            | 門田 華苗 (2023年)  |
| 医師事務作業補助者  | 柴崎 修一          |

### 概要

病院における病理診断科の役割は、日頃の診断業務を正確かつ誠意を持って果たすことで医療の質を担保することであると考えてきた。病理を初めて半世紀、何とかやってきたつもりであったが、医療を取り巻く近年の急激な社会の変化、特に利益を求めるあまり、医療機関としてのコンプライアンスに対する意識が低下してきていることに強い危惧を感じざるを得ない。

### 2024年度総括

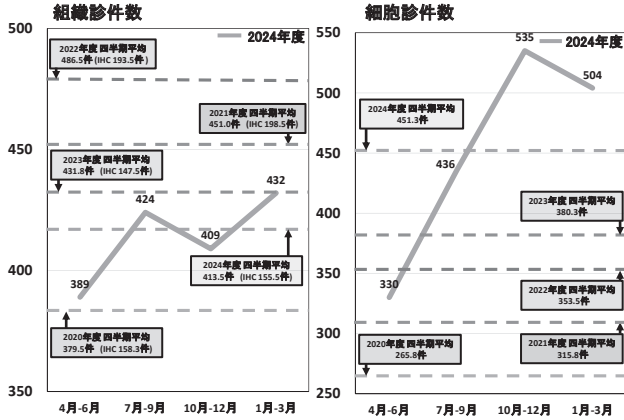
- ・組織診は、コロナ禍後、2022年までは順調に回復していると思われたが、2023年度には大きく下回り、今年度は四半期平均が413.5件とさらに減少している。この2年に亘る組織診減少の原因は、耳鼻科の縮小が大きな要因で、2022年度の耳鼻科検体数が215件であったものが、2024年16件と激減しており、その減少率は93%である。現在、耳鼻科の体制が徐々に整備されつつあるので、来年度には増加するものと期待される。
- ・細胞診は、婦人科健診の検体が順調に伸びたこともあって、四半期平均 451.3 件と、2023年度四半期平均380.3件を大きく上回った。今年度は、全細胞診件数に占める婦人科系の件数の割合は67.1%である (1285件/1915件)。
- ・「図2」には、2014年度からの遺伝子検査件数の推移を示す。2024年度に院内で実施された遺伝子検査件数はRAS/BRAF: 43 (56) 件、UGT1A1: 5 (3) 件、IDH1/2: 0 (2) 件で、計 48 (61) 件である (カッコ内は昨年度値)。次世代シーケンサーによる遺伝子検査の集中化により、多くの項目を一括して外注せざるを得ない状況があり、このため、院内で実施できる遺伝子検査の件数は減少傾向であるが、必要とされている対象検体は依然存在する。
- ・「表1」に剖検症例一覧を示す。2024年度は3例と、昨年度より4例減少した。剖検は、医療を検証する唯一の手段であり、医療の現場にあってこそ、死亡例という負の結果から学ぶ姿勢を絶やすべきではない。今後の剖検件数の増加を願う。
- ・「表2」に今年度年度開催されたC.P.C.の一覧を示す。C.P.C.の司会の労は、引き続き小児科部長北村 勝彦先生にお願いしており、C.P.C.前の2回の検討会にもご出席いただき、初期研修医の指導にも尽力されている。
- ・C.P.C.で明らかになった事実を、その後の医療に役立てることが、公開C.P.C.の真の目的であり、臨床に携わる面々は、その事実を真摯に受け止めて役立ててほしい。
- ・C.P.C.後の、ご遺族との面談も回を重ねるごとに、その持つ重みに感じ入るばかりである。しかしながら、情報公開とは名ばかりで、ご遺族に事実を伝えることを阻むような院内からの圧力があることに危惧している。
- ・日臨技が主催する、臨床検査技師の卒後資格である認定病理検査技師資格試験に、日比野 智博が合格し、2024年4月1日をもって認定証を授与された。今後は5年毎に更新の手続きがあるとのこと、引き続き研鑽・努力されたい。
- ・上野 貴博と門田 華苗は、二級病理検査士取得に向けて、引き続き技術向上に励まされたい。
- ・医師事務作業補助者 宇治野 綾香は、保育士の資格を取得し転職された。ご自分の子育てと両立できる新しい仕事に踏み出されたことを祝福したい。
- ・「図1」に、2024年度の組織診件数、細胞診件数の四半期ごとの推移を折れ線グラフで示した。また比較のため、過去4年の年度別四半期平均値を入れた。

・「表3」には、臨床科とのカンファレンスの開催状況を示す。週もしくは隔週1回の頻度で、日々の症例に対し、臨床医との間で共通の認識を持ち、

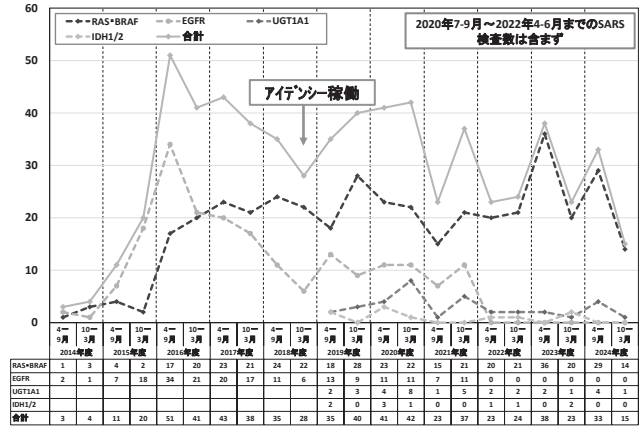
相互に連携して医療に当たることは大きな意味があると考えている。

実績

[図1] 2024年度 四半期ごとの検体数の推移および過去4年間の四半期平均



[図2] 遺伝子検査件数の半年毎の推移



[表1] 2024年度 C.P.C開催の一覧

| 剖検番号 | 死亡月日  | 剖検月日  | 執刀医 | 出所 | 担当医 | 患者年齢 | 患者性別 | 臨床診断                  |
|------|-------|-------|-----|----|-----|------|------|-----------------------|
| 0100 | 07/18 | 07/18 | 末松  | 心血 | 新村  | 81   | F    | 後腹膜出血 狭心症 末期腎不全 (透析)  |
| 0101 | 08/23 | 08/26 | 末松  | 外科 | 飯田  | 83   | M    | 急性胆嚢炎 (沈静化状態) 高血圧 認知症 |
| 0102 | 11/16 | 11/18 | 末松  | 呼内 | 小西  | 81   | M    | 誤嚥性肺炎 間質性肺炎急性増悪       |

[表2] 2024年度 剖検症例一覧

| 開催回   | 開催月日  | 剖検番号 | 患者年齢 | 患者性別 | 臨床診断   | 病理診断   |
|-------|-------|------|------|------|--|--|
| 第136回 | 6/25  | 0095 | 83   | M    | 十二指腸乳頭部癌<br>心房細動<br>慢性心不全<br>高血圧<br>肺高血圧   | 十二指腸乳頭部癌に対し膵頭十二指腸切除術施行後29日の状態<br>嚢胞化した組織融解性の誤嚥性肺炎 (多量の胃内容誤嚥によると思われる)<br>膵逸脱酵素による血管内凝固異常と諸臓器の斑状壊死 |
| 第137回 | 7/23  | 0096 | 87   | F    | 絞扼性腸閉塞術後<br>非閉塞性腸管虚血症<br>敗血症性ショック  | 腸閉塞 絞扼部解除術後2日の状態 Enterococcus sp.による敗血症<br>非閉塞性腸間膜虚血症<br>腎の急性尿細管壊死<br>肝・脾・副腎に多発する不完全梗塞           |
| 第138回 | 9/24  | 0097 | 93   | F    | 高齢発症関節リウマチ疑い<br>薬剤性再生不良性貧血 疑い<br>非定型肺炎疑い<br>肺胞出血疑い<br>上部消化管出血<br>甲状腺機能低下症<br>慢性腎不全 | SASPによる再生不良性貧血 (Aplastic anemia)<br>Thrombotic microangiopathy (TMA) (肺・腎・脾・肝・副腎周辺の小動脈)          |
| 第139回 | 11/26 | 0098 | 76   | M    | 右重症下肢虚血バイパス術後<br>糖尿病<br>高血圧<br>胃潰瘍   | 右重症下肢虚血バイパス術後42日の状態<br>心の急激な機能低下<br>直腸の閉塞性大腸炎<br>肝の多発胆管細胞腺腫                                      |
| 第140回 | 1/28  | 0100 | 81   | F    | 後腹膜出血<br>狭心症<br>末期腎不全 (透析)   | PCI施行後の腸骨動脈周囲から後腹膜への出血<br>びまん性慢性腎盂腎炎により萎縮した透析腎   |

[表3] 2024年度 臨床科とのカンファレンス開催状況

|                  | 開催回数/年 | 定例開催頻度           |
|------------------|--------|------------------|
| 外科 術前朝カンファレンス    | 48     | 週1回 木曜日 8時~      |
| 消化器内科 内視鏡カンファレンス | 18     | 月2回 第2, 4水曜日 8時~ |
| 乳腺科 朝カンファレンス     | 48     | 週1回 火曜日 8時~      |

## 総合診療科

医長：窪田 泰輔

### 人員構成

医長：窪田 泰輔

### 2024年度総括

2024年2月より当院に赴任した。心臓血管センター内科芦田部長と相談し、既存の総合診療科から本来のプライマリケア科として日本専門医機構にて標榜されている総合診療科として立ち上げを担う事になった。勤務形態としては外来業務と病棟業務と当直業務がメインである。

外来に関しては2024年2月-3月までは月・水・木・金の午前・午後の総合診療科外来を担当した。4月より月-金（金午前は外勤日のため除く）の週5回毎日の外来を担当した。メリットとして、患者支援の初診問診にて総合診療科に振り分け可能なこと・地域連携からの転院・受診相談を一括して受け入れ可能なことなどが主要なメリットであった。詳しいデータなどは地域連携にて記録されており、本文書では言及できないものの昨年度と比較して外来患者の増患に成功した。また他科へのコンサルトも円滑に可能であり診療科間の連携も良好であると言える。

病棟に関しては、2-3月は西3病棟・東2病棟での勤務が中心であったが、4月より総合診療科の当該病棟は東2階病棟になった。平均して5-10人程度の患者を主担当医として管理した。病棟カンファレンスを導入することで入院から退院調整まで円滑に他職種と連携ができるようになった。夏のコロナの流行、冬のインフル流行などで患者数も激増して15人程度になることもあったが、病棟管理の永井医師の強力の下他科の先生に振り分けしていただくことで急性期疾患の患者を診療する体制を継続することが可能であった。

当直に関しては輪番日の水曜日を中心に月3回程度勤務を行い、患者を積極的に受け入れた。当科としては当直業務中に入院する患者が多く患者数を維持する上での重要な業務のために今後も継続してい

くことが望ましいと考えている。

以上簡潔ではあるが他科診療科・看護師・コメディカル・地域連携室などあらゆる職種の体制が構築された中での業務であったために、業務過多にもならず比較的円滑に診療を継続することが可能であった。以上として1年間の総括とさせていただきます。

## 内科

部長：山口 裕之

### 人員構成

部長 山口 裕之（1993年）

### 2024年度総括

内科という診療科名となっているが内科疾患に限定されず、近隣の急性期病院で受け入れた症例の亜急性期から慢性期の症例のリハビリテーション、社会調整、急性期治療の継続を行っている。また介護休暇の一種であるレスパイト入院に関しては龍みなみ医師が担当し、患者さん家族の計画的な介護休暇

の調整を行っている。

当科で対応する症例としては、脳出血、脳梗塞などの脳血管系疾患、パーキンソン病などの神経疾患、大腿骨骨折、椎体骨折など整形外科的な外傷、高齢患者さんの感染症（肺炎、尿路感染症、蜂窩織炎など）による廃用症候群の症例が多い。

横浜市大、横浜市立市民病院、横浜市立みなと赤十字病院などをはじめとする急性期病院からの転院が多いがどこの病院でも高齢者救急の対応に苦慮している姿がうかがわれる。

また短期間の急性期病院の入院期間中には判明しなかった疾患が転院後に顕在化することもあることから横断的に患者さんを診断、治療する必要がある。医師のみの力では対応困難であり他部署の協力が欠かせず、多くのスタッフの観察により成立出来る仕事と考えている。

### 実績

|              | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 転院<br>(地域包括) | 13 | 5  | 7  | 7  | 6  | 4  | 13  | 8   | 8   | 11 | 11 | 7  |
| レスパイト<br>入院  | 3  | 6  | 5  | 10 | 8  | 12 | 8   | 11  | 6   | 6  | 9  | 6  |

## ドック・健診科

室長：平野 進

### 人員構成

室長 平野 進 (1991年)  
部長 龍 みなみ (1994年)

### 2024年度総括

地域への認知度の上昇に伴い、2016年1月の当科開設以来順調に受検者数が増加し、業務内容や人員も大幅に拡充されてきた。2024年4月から龍みなみ部長が乳腺外科より当科に移籍し、これまで要望の高かった女性医師指定診察が可能となり好評を得た。水曜と金曜の婦人科検診と合わせ女性のドックが増加したこともあり、今年度の受検者は昨年度の6087名を超え、6565名の方が当科を受検した。昨年からは保健師は3名体制となり136名の保健指導をおこなった。

インフルエンザの出張集団接種事業も引き続き行った、1校10社の合計1,021名に対して実施した。昨年度より開始した聖隷関連施設の「油壺エデンの園」の出張健診も継続実施した。

受検者からの改善要求が最も多かった電話が繋がりにくいという問題に関しては、電話回線の増設、ヘッドセットの導入、事務員の増員を行うと共に、WEBでの予約取得を開始し、HP等で周知を行い徐々に周知された。

当科における健診では異常所見を認めた場合には、速やかに当該専門科に受診依頼して午前中に専門診察を受けていただけるというのが最大の特徴である。次年度も引き続き、この病院で行う健診のメリットを受検される方々に提供しつづける所存である。

### 実績

※出張インフルエンザ予防接種を除く

|     | 4月     | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計  | 前年比   |      |
|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|------|
| 実人数 | 2020年度 | 217 | 5   | 309 | 620 | 536 | 333 | 492 | 413 | 364 | 532 | 456 | 408 | 4,685 | —    |
|     | 2021年度 | 425 | 476 | 265 | 243 | 314 | 295 | 742 | 388 | 372 | 277 | 348 | 444 | 4,589 | 98%  |
|     | 2022年度 | 449 | 505 | 314 | 315 | 357 | 358 | 738 | 427 | 370 | 281 | 398 | 480 | 4,992 | 109% |
|     | 2023年度 | 458 | 527 | 456 | 426 | 358 | 373 | 939 | 773 | 428 | 386 | 439 | 524 | 6,087 | 122% |
|     | 2024年度 | 520 | 480 | 660 | 470 | 446 | 409 | 863 | 707 | 520 | 410 | 491 | 589 | 6,565 | 108% |

・関係各課へ検査枠の増枠の協力をお願いした。なかでもエコー検査では、前年比143%と大きく受診者数を伸ばすことが出来た。

## 看護管理室

総看護部長：兼子 友里

### 人員構成

|       |        |
|-------|--------|
| 看護師   | 329.7名 |
| 助産師   | 0.8名   |
| 准看護師  | 1.8名   |
| 救急救命士 | 7名     |
| 看護助手  | 45名    |
| 看護事務  | 10名    |

### 運営方針・目標

聖隷ファンをつくろう！（利用者から、働く仲間から）

1. 育成・活用・定着 人的リソース！
2. DXの積極的活用
3. “私”の看護力向上と専門チームの活用・推進・拡大
4. みんなが主役！円滑な入退院支援の実践
5. 実践的な災害看護の習得

### 2024年度総括

#### ・はじめに

少子高齢化の進展、生産年齢人口の減少は、労働力不足や医療・介護費の増大といった深刻な社会課題を引き起こしている。このような状況下で、当院もまた、看護職員の確保と定着に課題を抱えていた。2024年度の当院看護師の離職率は15.3%となり、近年の神奈川県平均の約14%を上回る結果であった。看護師と看護補助者の欠員補充は困難を極め、採用活動を有料職業紹介事業に大きく依存せざるを得なかった。看護職員が安心して働き続けられる組織を目指し、今後は、労働環境の改善、教育・キャリア支援の強化、そして心理的安全性の高い職場づくりを推進していく必要がある。

#### ・2024年度の取り組みと成果

2024年度は、看護課長と係長のリーダーシップのもと、掲げた運営方針・目標は概ね達成された。

特に、身体的拘束の低減と看護DXの積極的な活用は、次年度以降も引き続き強化していく。

#### 1. 身体的拘束の低減と患者の安全確保

当院の身体的拘束率は2.4%と、全国平均の約10%と比較して非常に低い水準を維持している。患者の尊厳と人権を尊重する観点からこの取り組みを高く評価している。しかし、その一方で、転倒や転落といった有害事象がその後の治療やリハビリに影響を及ぼすケースも発生している。患者の尊厳と安全性のバランスを慎重に検討し、実践することで、有害事象件数のさらなる減少を目指す。

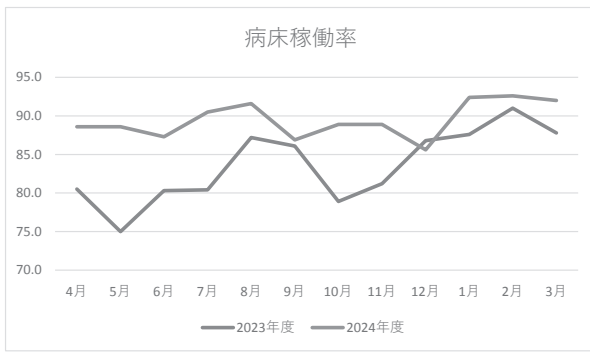
#### 2. 看護業務におけるDXの活用

看護DXの第一歩として、入院案内や検査・手術のオリエンテーション動画を作成した。これは看護師の業務効率化と負担軽減だけでなく、患者の理解度や安心感の向上にもつながっている。視覚的に分かりやすいツールとして、今後も患者とご家族への情報提供に積極的に活用していく。

#### ・今後の展望

地域に必要とされる病院であり続けるために、私たちは「隣人愛」の精神に基づき、看護ケアを提供していく使命がある。これは、当院の看護部理念である「看護の対象者となる人々を自立した生活者として尊重し、専門職業人として倫理性と資質を高め続ける」ことにも通じるものである。看護管理者として、看護職員がやりがいを感じながら働き続けられる職場環境を構築し、看護の質向上と持続可能な人員確保に挑み、病院理念の実現を目指す。

実績



看護必要度

【一般急性期病棟】

4月～10月 必要度1：①19.0%／②27.29%

11月～3月 必要度2：25.66%

【地域包括ケア病棟】

17.03%

【急性期ケアユニット】

①52.2%／②97.57%

## 血液浄化センター看護室

課長：岩瀬 猛之

### 人員構成

看護師 8名  
看護助手 1名  
クラーク 1名

### 運営方針

腎不全患者のその人らしい生活を支援する看護を  
実践する

### 2024年度総括

職員の人員配置の変更に伴い午前・午後共に透析の入室時間およびスタッフの勤務形態の見直し変更を実施した。より安全な人員配置での透析治療環境を整えることができた。急変シミュレーションおよび定期的な防災訓練を実施し、より患者安全を意識した行動が取れるスタッフの育成を行った。病棟のカンファレンスに参加し退院支援の学習や、透析見合わせ事例についてのカンファレンスを開催し倫理的視点の向上に努めることができた。リーダーの育成および宅直の導入の強化など、より能力の高いチームと慣れるようベテランナースを中心にOJTを実施した。

### 実績

| 項目         | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 維持透析件数     | 6,293  | 5,806  | 6,992  | 7,929  | 6,705  |
| 入院透析件数     | 276    | 980    | 1,299  | 1,555  | 1,427  |
| 出張透析件数     | 73     | 142    | 232    | 214    | 93     |
| 合計         | 6,642  | 6,928  | 8,523  | 9,698  | 8,225  |
| 3月末外来維持患者数 | 40     | 44     | 50     | 49     | 50     |
| 新規導入件数     | 1      | 18     | 23     | 16     | 19     |

### フットケア2024年度

|                           |      |         |
|---------------------------|------|---------|
| 糖尿病疾患加算（170点）             | 268件 | 45,560点 |
| 爪切り<br>／胼胝・鶏眼削り（60点／170点） | 35件  | 2,650点  |
| 下肢末梢動脈加算（100点）            | 522件 | 52,200点 |

## 手術室・中央材料室

職場長：小林明日香

### 人員構成

|      |     |
|------|-----|
| 看護師  | 15名 |
| 准看護師 | 1名  |
| 看護助手 | 1名  |
| クラーク | 1名  |

### 運営方針

ひとりひとり（患者・スタッフ）を大切にし、看護の価値を高めよう！

### 2024年度総括

1. やりたい看護を叶えるための人材育成
2. 多職種と協働し安全な手術環境を提供する
3. ひらめきを形にできる職場づくり

看護係長会と協働して、手術室の院内留学の受け入れを行った。また、手術室からも興味のある分野へ1名送り出し、自己研鑽する機会の提供を行った。

術前訪問は2024年度も継続的に実施。麻酔科管理症例1354件／年に対し、予定手術1049件の92%を実施することが出来た。また、手術看護外来を麻酔科と協働してプレ導入を開始。2名に増員して、月10件程度の介入を行うことができた。術後疼痛管理加算取得に向けては、術後管理チームの活動に2名参加し、234件取得することができた。

手術室内での緊急時対応ができるよう、手術室アクションプランに基づいた防災訓練と講義形式での急変シミュレーションを実施した。

2024年度、手術で使用する借用器械の運用見直しを行ったが、器械納品量は調整中であり、器械受け取り時間の短縮までは及んでいない。安全に手術が進行し、ベッドサイドケアの時間を確保できるように、器械の受け取り時間を短縮していくことが今後の課題である。

### 実績

#### 2024年度手術件数

|           | 2024年度 | 前年度比較 |
|-----------|--------|-------|
| 総件数       | 1910件  | 60件   |
| *アンギオ室を除く | 1887件  | 66件   |
| 予定手術      | 1480件  | 23件   |
| 準緊急手術     | 343件   | 70件   |
| 緊急手術      | 87件    | -33件  |

## 外来

課長：亀井 由紀

### 人員構成

|       |     |
|-------|-----|
| 看護師   | 27名 |
| 助産師   | 1名  |
| 准看護師  | 1名  |
| 看護助手  | 2名  |
| クラーク  | 10名 |
| 救急救命士 | 7名  |
| 視能訓練士 | 3名  |

### 運営方針

地域に選ばれる病院を目指し、質の高い安全な医療と看護を提供します

地域とともにある救急外来を目指しチーム医療を実践します

### 2024年度総括

#### 1. 安全な医療を提供する

2024年度は1日平均外来患者数575.8人であり、多くの患者を迎え入れているため、患者が安心して受診ができるよう心がけている。特に患者誤認には細心の注意を払い、多職種で誤認防止に努めてきた。また、感染対策を踏まえた環境を整備し、勉強会を開催するなど物品管理に対する意識を高めた。

#### 2. 看護の質を上げ、地域住民の暮らしを支える看護を実践する

患者が住み慣れた場所で自分らしく生活できるようサポートしていくことを目指し、看護外来を継続している。2024年度は心不全外来開始に伴い、看護外来でも心不全療養指導士が活躍してきた。ACPや救急外来での記録の充実を図り、疾患や障害を抱えながら自宅で安心して暮らせるようMSWや訪問看護師と協働できた。4名の認定看護師を中心に、各分野で療養指導や自己注射指導を実施し、患者や家族の自己管理能力の向上の支

援に繋がった。

救急救命士による救命処置の健康講習をケアプラザや中学校で開催し、地域住民の救命技能の維持・向上に貢献できた。

#### 3. チームワークを発揮し、働きやすい職場環境を整える

外来は診療科が30科あり、幅広い知識と高い専門性が要求される。救急外来を含め、全科でお互いが助け合えるよう良好なコミュニケーションを心がけてきた。多職種で協働しているため、相互理解を深め連携の強化に努めた。

#### 4. 実践的な防災対策の習得

救急救命士を中心に防災物品やアクションカードを配置できた。診察室のバックヤードの整備を行ない、避難経路の確保を行なった。

### 実績

|           | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|
| 糖尿病看護外来   | 878   | 1107  | 1379  | 1536  |
| 慢性腎不全看護外来 | 381   | 358   | 279   | 327   |
| リウマチ看護外来  | 1702  | 734   | 408   | 431   |
| ストマ看護外来   | 316   | 297   | 340   | 225   |
| がん看護相談    | 34    | 57    | 44    | 48    |
| 心不全看護外来   | 0     | 0     | 0     | 287   |

## 画像診断・内視鏡センター

課長：平川 聡恵

### 人員構成

看護師 15名  
助産師 1名

### 運営方針

患者を中心につなごう

### 職場目標

1. 専門性を高め、安心/安全なケアを提供しよう
2. 個々の力を高め、次世代を育成しよう
3. 日常的に防災と感染対策に取り組もう
4. 多職種/他職場とつながろう

### 2024年度総括

病理検体の患者間違えが1件あったため、検体取り扱いマニュアルを見直し、医師を含めた多職種でダブルチェックを実施する運用に変更した。同意書がある全ての検査において、多職種でのタイムアウト実施を目差し、内視鏡検査でのタイムアウトを導入、実施状況を評価・修正しながら定着してきている。その他、日々の5S活動や多職種での急変対応シミュレーションの継続、リスク感性を高めるためのヒヤリハットの推進、減災を意識した環境整備に取り組んだ。

看護部ラダーと看護協会の内視鏡ラダーを参考に、内視鏡センターでのラダーに応じた共有計画を作成、次年度以降の人材育成に活用していく。

### 実績

| 項目                       | 2023年度 | 2024年度 |
|--------------------------|--------|--------|
| 上部消化管内視鏡検査(内視鏡治療含)       | 3,115件 | 3,333件 |
| 下部消化管内視鏡検査(内視鏡治療含)       | 1,466件 | 1,668件 |
| 経乳頭の胆管膵管造影(内視鏡治療含)       | 211件   | 177件   |
| カテーテル検査・治療(心臓内科)         | 535件   | 535件   |
| アブレーション                  | 74件    | 65件    |
| ペースメーカー移植・交換(体外ペースメーカー含) | 43件    | 48件    |
| 脳血管造影検査(血管内治療含)          | 254件   | 107件   |
| CT造影検査                   | 4,015件 | 4,345件 |
| MRI造影検査                  | 335件   | 308件   |

## B3病棟

課長：小林 明日香

### 人員構成

|      |     |
|------|-----|
| 看護師  | 16名 |
| 看護助手 | 2名  |
| クラーク | 1名  |

### 主な担当科

麻酔科（緩和ケア）

### 運営方針

患者とスタッフの「今」を大切にしよう！

### 2024年度総括

#### 1. 緩和ケア病棟として、看護の質向上を目指す

- ・保清時の保湿ケアの徹底やラウンドごとの環境整備

・インターネットによる遺族調査では、全体的に全国平均を若干上回る結果となる。特に評価が高かったのは、人として大切にされていた、穏やかな気持ちで過ごせた、尊厳を大切にし、親身にケアしてもらえた、など質に関する項目が多かった。

#### 2. ポジティブに働き続けられる職場づくり

- ・チェックリストやテンプレート見直し
- ・業務のペア制を導入し情報共有、補完しあう関係の構築
- ・カンファレンスでのオープンなコミュニケーションを促進

#### 3. もっと院内外で緩和ケア病棟を知ってもらおう

- ・院内の転科転棟が増加
- ・院外周知としてSNSの活用。デスクネットで院内イベントの様子を配信。今年は、近隣高校吹奏楽部による演奏会を開催

#### 4. 円滑な入退院支援の実践

- ・入棟面談担当者育成し4名へ増員。退院前に必要な薬剤・物品の準備フローチャート作成。

### 実績

2024年度 緩和ケア入棟人数と病床稼働率

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 入棟人数 | 25 | 25 | 24 | 24 | 27 | 27 | 23  | 26  | 31  | 27 | 25 | 31 | 26 |
| 稼働率  | 78 | 79 | 86 | 95 | 90 | 90 | 92  | 89  | 90  | 89 | 83 | 83 | 87 |

## 東1病棟 (回復期リハビリテーション病棟)

課長：鹿野 佐緒里

### 人員構成

看護師 16名  
看護助手 6名  
クラーク 1名

### 主な担当科

リハビリテーション科、整形外科

### 運営方針

多職種チームで患者の持てる力を引き出し、共に喜べる  
～専門性を高め合い患者に向き合う～

### 2024年度総括

- 多職種と協働しながらケアの質を向上させる
- ポジティブな職場感情をはぐくみ、強みを活か  
し補完し合うチームづくり(チームビルディング)
  - FIM勉強会開催、e-ラーニング作成
  - FIMの共有の話し合い、早期離床
  - 退院支援カンファレンス導入
  - 目標カレンダーでのゴールの明確化
  - 在宅復帰率99% (基準値70%以上)
  - 各グループ会で自らアクションプランを設定、  
実施、評価による役割の明確化と成果の言語化  
による看護の質の向上
  - 急性期、リハビリテーション、訪問看護のシャ  
ドーイングを実施による役割理解
  - 訪問看護の一日留学での退院後の患者の生活に  
触れたことによる退院支援の強化
  - 看護、リハビリテーション、看護補助者対象の  
ワークショップによる自分・他者の価値、相互  
理解によるチームの構築
  - 対象患者を、脳血管疾患、大腿骨・脊椎骨折か  
ら靭帯損傷や股関節置換に広げ、リハビリ提供  
単位と単価の高いの血管疾患を15名から17名  
平均としたことによる、年間3000万以上の増  
収

### 実績

| 2024年   | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 平均   |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 稼働率 (%) | 88.9 | 85.3 | 82.1 | 92.6 | 91.9 | 88.5 | 85.1 | 83.2 | 84.0 | 85.6 | 89.8 | 86.6 | 87.0 |

## 東2病棟

課長：小川 実花

### 人員構成

看護師 26名  
看護助手 5名  
クラーク 1名

### 主な担当科

呼吸器内科  
呼吸器外科  
乳腺  
総合診療科

### 運営方針

さまざまな疾患をもつ患者の急性期・慢性期・終末期によりそう

### 2024年度総括

総合診療科を迎え、多くの緊急入院患者に対応出来るよう受け入れ体制を整え、病床稼働率の上昇に繋がった。

#### 1. 働き続けたいと思える職場づくり

リーダー1人1人の意見を取り入れた教育のあり方を検討、看護師・助手間で意見を出し合って業務改善を行い、職場環境の改善に努めた。退職者は新人看護師も含めて6人であった。

#### 2. 安全な医療の提供

ローカルルールの再検討や医師からの指示については医師との連携を通して、環境改善に努めた。

#### 3. 患者のQOLを高める看護力向上

呼吸器ケアについて、動画を活用しながら、効率的にスタッフ全委員が学べる教育方法を工夫した。アセスメント強化や治療方法の検討により、後期は身体拘束ゼロを実現した。

### 実績

|            |                        |
|------------|------------------------|
| 平均在院日数     | 18.3日                  |
| 病床稼働率 53床・ | 63.8% (2023年度実績 54.3%) |
| 病床稼働率      | 93.9% (2023年度実績 79.9%) |

## 東3病棟

課長：伊東 路子

### 人員構成

|      |     |
|------|-----|
| 看護師  | 28名 |
| 看護助手 | 5名  |
| クラーク | 1名  |

### 主な担当科

消化器外科・消化器内科・泌尿器科

### 運営方針

お互いを思いやり・支え合い、チームでケアを実践しよう

### 2024年度総括

2024年度は、外科の周術期管理から消化器・泌尿器科の急性期治療の受け入れ、病床稼働率94%を維持することができた。また、排尿ケアチームのラウンドも定着し、ICTを活用した排尿ケアの実践や介入患者は倍増することができた。

#### 1. 安全な医療の提供

特定看護師によるPICC挿入件数が増加した。それに伴い、自己抜去件数も10件へと増加した。

転倒転落件数は、年間で64件であり、うち有害事象の発生率が10%であった。早期のリスクマネジメントの強化や対策が課題である。また、看護師のみならず、医師や薬剤師、リハビリを含む多職種でのアプローチが今後必要になってくる。

#### 2. ケアの専門性を向上し、患者の早期回復を促進する

2023年に結成した排尿ケアチームの活動も軌道に乗り、2024年度は、202名の患者のラウンドを行った。また、排尿ケア予測デバイスを使用した排尿ケアの実践により、根拠に基づいたケアの実践ができた。

#### 3. メンバー主体の退院支援活動を行ない、DPCⅢ期以内の退院支援の実践

退院支援カンファレンスの情報共有方法をシステム化し、スタッフ全てが情報を共有できる体制とした。毎週火曜日に多職種カンファレンスを行い、早期の退院支援に繋げることが出来た。

入院患者の53%がDPCⅢ期で退院している。

緩和ケア病棟とも連携を図り、終末期においてスムーズな緩和ケアへの移行が実践できた。

#### 4. 働き続けたいと思える職場体制の整備

職場満足度調査を実施し、職場内の相互援助を強化するための業務改善を行った。

職員の動線を重視した、2チーム制を導入し、業務の効率化を目指した。

お互いが協力し合い、働きやすい職場をスタッフ自身が作っていくよう業務の検討を現在も継続している。

## 東4病棟

課長：佐藤 典子

### 人員構成

看護師 30名  
看護助手 11名  
クラーク 1名

### 主な担当科

総合診療科、内分泌内科他

### 運営方針

飛竜乗雲 ～私たちの上昇気流で遙かな高みへ～

### 2024年度総括

診療報酬の改訂に伴い、直接入院率をどう維持していくか、地域包括ケア病棟として考えて行かなくてはならない状況であった。平日の緊急入院の受け入れを強化し、直接入院35%以上を維持する事ができた。

#### 1. 東4病棟働き方改革

スタッフの大切にしていることを確認し、院内留学制度を活用していく事が出来た。

スタッフの「やりたい」を支援していく機会となり、急性期看護を知るとともに、実践でのアウトプットにつなげることができている。

多様なワークシフトの推進として、業務の明確化と整理を行う事が出来た。これにより、様々な時間で働くスタッフにとっても働きやすい環境を作ることができた。

#### 2. 看護力の向上

スタッフが主体となり、1回/月の勉強会を実施していく事ができた。また、カンファレンスの定着化（倫理・KYT・環境調整）を図り、地域包括ケア病棟ならではのリスクに着目したカンファレンスを開催することができた。2024年度は褥瘡発生率が上昇してしまったこともあり、ケアの方法などの

見直しとアセスメント力を向上に向けて今後も取り組んでいく必要がある。

#### 3. 入退院支援の実践

ACP記録の記載件数は増加しているが、今後も引き続き質の向上を図りつつ実践していきたい。

プライマリー制度の導入を実施し、退院支援の強化をしていく事に力を入れ活動した。

#### 4. 実践的な災害看護の習得

救命士の協力のもと、患者参加型の防災訓練を開催することができた。

### 実績

|           |       |
|-----------|-------|
| 病床稼働率（平均） | 91.7% |
|-----------|-------|

## 西1病棟

課長：野上 智子

ンファレンスを行うことにより自宅退院を見据えたサービスの調整や円滑な地域包括ケア病棟の活用を実現できた。

### 人員構成

|      |     |
|------|-----|
| 看護師  | 23名 |
| 看護助手 | 5名  |
| クラーク | 1名  |

### 主な担当科

脳神経外科・整形外科

### 運営方針

一人一人の持っている力を職場に還元し、継続できる看護を実践しよう

### 2024年度総括

4月から整形外科（上肢・椎体）の受け入れを開始し、脳神経外科に加え整形外科の周術期管理に力を入れた。また脳卒中ケアユニットと連携しチームとして協働することを意識した一年であった。

#### 1. やりがいを持って働ける職場づくり

日勤看護体制を効率的に業務が実施できるよう一部機能別へ変更した。また、スタッフのキャリア支援を行い骨粗鬆症リエゾンマネジャーや摂食嚥下院内認定コースの資格者を輩出することができた。職場内ではチーム力を高めるために心理的安全性の勉強会を実施した。

#### 2. 患者の病期に合わせた看護実践が出来る人材の育成

術後の安静や脳疾患によりベッド上で過ごす患者が多いため、褥瘡ケアに力を注ぎ実践したことで褥瘡発生件数は0件であった。2024年度は中途採用者が多かったため、リーダーや重症患者の看護を実践できるスタッフの育成をおこなった。

#### 3. 退院支援システムの構築

ACPについての勉強会を実施しACP記録としては342件と昨年を上回った。リハビリ見学や拡大カ

## 西2病棟

課長：利根川 綾

### 人員構成

|      |     |
|------|-----|
| 看護師  | 32名 |
| 看護助手 | 5名  |
| クラーク | 1名  |

### 主な担当科

整形外科・膠原リウマチ内科・内分泌糖尿病内科・耳鼻咽喉科・麻酔科

### 運営方針

患者のために「自ら考え行動できる」チームになる

### 2024年度総括

整形外科は院内で90人を超えることが多く、単一病棟での病床管理は難しい状況が続いていた。そのため2024年度は、整形外科を部位・疾患別で病棟をわけ西1病棟・西2病棟で急性期管理、地域包括ケア病棟・回復期リハビリ病棟でその後の管理を継続するなどの病床管理を行った。

病床管理により、整形外科以外の診療科も受け入れ、病床稼働を90%以上維持する事ができた。

#### 1. いきいきと働き続けられる人材の定着と育成

ワークシェア・時短等の様々な勤務形態のスタッフがいる中で、遅番・フリーを活用しそれぞれが働きやすく効率よく働ける職場作りを行った。

#### 2. ケアミックス病院の特性を活かした効率的な病床管理と退院支援の実践

リハビリが長期化しやすい整形外科の病床管理をする上で対象疾患は回復期リハビリ病棟、その他疾患でリハビリに時間を要する場合には地域包括ケア病棟の利用と分けしながらか病床コントロールする事ができた。また、他職種と連携して入院早期から

退院支援を開始し入院期間の短縮に努めることができた。

#### 3. 専門チームを活用し看護実践能力を向上して患者ケアにつなげる

OLSリエゾンチームの活動開始、その他排尿ケア・褥瘡・認知症ケア等の専門チームと協働し日々の看護に必要なケアを話し合い実践することができた。

## 西3病棟

課長：内野 友美

### 人員構成

看護師 28名  
看護助手 5名  
クラーク 1名

### 主な担当科

心臓血管センター内科・血管外科、  
腎臓・高血圧内科、救急科、アレルギー科、内科

### 運営方針

患者のニーズを捉えた看護をチームで実践しよう！

### 2024年度総括

#### 療養生活を支える看護の質の向上

・慢性疾患を抱え生活している患者さまの日常を支えるため、2021年より心不全教育入院を開始している。2024年度は、入院期間だけの介入とならないよう看護外来と協同しカンファレンスを実施、70名／年を越える患者の情報を共有し継続した看護提供に努めた。

また、慢性腎臓病を患う患者さまに対し慢性腎臓病教育入院PJを発足。

受け入れを7月より開始した。年間12名の患者さまに対しそら豆チームと協同し介入できた。

#### 安全で安心な看護の提供

・毎月、病棟で起きたインシデントに対しKYT実施を継続して行なっている。

・ペアリング制度を導入し、朝の申し送り後ウォーキングカンファレンスを実施している。

ペアとリーダーで患者のスケジュールや療養環境をチェックし安全に安心した入院生活が送れるよう努めた。

#### 働き続けたいと思える職場づくり

・ワークショップを6月に開催しチーム力向上に一

助となった

- ・慢性腎臓病療養指導士 2名 合格、ケアマネ講習受講者 1名
- ・看護補助者、クラークの業務整理を行い、業務委譲を図った

### 実績

#### 教育入院

|                         |       |
|-------------------------|-------|
| 心不全共育入院（加療後教育へ切り替え）     | 4名／年  |
| 慢性腎臓病教育入院（7月より受け入れスタート） | 12名／年 |

---

---

## 急性期ケアユニット

課長：向井 久絵

---

---

### 人員構成

看護師 11名  
看護助手 1名

### 主な担当科

全診療科（ハイケアユニット運用規定の入室基準に則った患者）

### 運営方針

「命を守るため」質の高い医療・看護の提供  
「患者の未来のため」チームで実践する急性期看護

### 2024年度総括

ハイケアユニット入院加算の算定可能な全科の重症患者の受け入れを行ない、チーム医療を実践している。

看護必要基準①15%、基準②80%以上を維持。

病床稼働率95.0%（2023年度84.8%）

院内留学後、異動1名。

ACP記載66件。緊急ACP講義を定期的に開催依頼し、受講している。

#### 1. 安全な医療・看護の提供

有害事象のKYT実施

#### 2. 一人一人が働きやすい職場環境を整える

数人の既卒者の入職が数年続いている為、受け入れ体制の構築。本人の進捗の見える化を行い、スタッフ全員で教育の実践ができている。

# SCU

係長：森谷 のり子

## 人員構成

看護師 15名

## 主な担当科

脳神経外科

## 運営方針

一人一人の持っている力を職場に還元し、継続できる看護を実践しよう

## 2024年度総括

1. やりがいを持って働ける職場作り
2. 患者の病気に合わせた看護実践ができる人材の育成
3. 退院支援システムの構築…病棟患者のサマリー記載率100%達成
4. 災害時に自ら行動できるスタッフの育成…トリアージの勉強会の実施・防災訓練の実施
5. 早期からのリハビリテーションを計画的かつ組織的に提供する

SCUは上記目標5にあるように、集中的な治療と早期からのリハビリテーションを計画的かつ組織的に提供することが求められている。個別性のあるリハビリを、看護ケアの中でも取り入れ継続的に患者へリハビリを提供している。

前年度開始した、脳卒中早期栄養加算を機に栄養士のカンファレンスへの参加が定着し、以前にまして患者をチームで共有し適切な栄養管理ができています。また、栄養士を含め連携を取り、自助具の運用を開始。患者に適した自助具の選定のアルゴリズムを作成、早期に自己摂取ができる事で患者の自己有能感の回復や組織的にリハビリを提供できた。

SCUという脳卒中に特化した病棟であり、教育

プログラムを実施したことで若いスタッフが重症患者を受け持ちできるようになった。また、新しい取り組みをはじめ、必要な看護ケアが提供できた事で、スタッフがやりがいを感じる一助になっている。

## 実績

|        |       |
|--------|-------|
| 実病床稼働率 | 95.5% |
| 平均在棟日数 | 13.4日 |

| 疾患 | 総数   | 脳梗塞  | 脳出血 | くも膜下出血 | その他 |
|----|------|------|-----|--------|-----|
| 人数 | 237人 | 187人 | 43人 | 7人     | 0人  |

| 転帰先 | 自宅   | 回復期 | その他 |
|-----|------|-----|-----|
| 人数  | 110人 | 62人 | 65人 |

在宅復帰率 46% (SCUから直接在宅復帰)、回復期経由を含め総数人・72%

---

---

## 看護相談室

課長：根岸 恵

---

---

### 人員構成

看護師 2名  
〈がん看護専門看護師 1名、  
精神看護専門看護師 1名（非常勤）〉

### 運営方針

- ・エンドオブライフケアの質向上
- ・多様な人材育成に向けたキャリア支援

### 2024年度総括

がん看護専門看護師の活動件数は619件。緩和ケア病棟関連の面談がほとんどを占めた。ACPに関しては、年間で3,112件の事前指示書が提出され、2,318件のもしもの話し合いが診療録に記載されていた。質の高いもしもの話し合いをまとめた「ACP Letter」を毎月発信し、啓発活動を行った。

精神看護専門看護師は非常勤であるが、看護部だけでなく、全部署新入職員対象の体験カウンセリングや復職支援、メンタルヘルス支援に取り組んだ。

# せいれい 訪問看護ステーション横浜

所長：酒井 志乃

## 人員構成

|       |      |       |
|-------|------|-------|
| 看護師   | 常勤6名 | 非常勤2名 |
| 理学療法士 | 常勤0名 | 非常勤2名 |
| 作業療法士 | 常勤1名 | 非常勤1名 |
| 事務    | 常勤1名 |       |

## 運営方針

住み慣れた地域で自分らしく生きることを支援する

## 目標

1. チーム力を強化し職員が生き活きと働ける職場づくり
  - 1) 人材確保・定着
  - 2) ポジティブな職場環境づくり（働きやすい）
2. 安定した事業運営
  - 1) 病院とのシームレスな連携強化
  - 2) 質の高いサービスの提供
  - 3) 無駄のない物品管理・環境整備（適量の請求）
  - 4) 防災訓練実施

## 2024年度総括

職員数に変動がある中で、訪問件数を増やして安定した事業運営につなげるための予算に対し実績は未達であった。その中でもできることとして、病院からの職員異動もあり、今まで以上に病院と地域をつなぐ力は確実に向上し、シームレスな連携がとれるようになっている。皮膚・排泄ケア認定看護師も新たに加わり、より専門的なケアを提供することもできている。引き続き病院との連携を強化し、地域住民が安心して生活できるよう支援していく。

## 実績

|    | 収入 (千円) | 支出 (千円) | 介護訪問件数 | 医療訪問件数 |
|----|---------|---------|--------|--------|
| 実績 | 63,204  | 72,012  | 4,987  | 936    |

看護部委員会 2024年度 実績報告 (年報用)

| 委員会名称                   | 開催回数 | 年間活動目標 (大項目のみ)  | 活動実績  |
|-------------------------|------|---|---|
| NQG<br>(看護ケア質向上)<br>委員会 | 11回  | <ol style="list-style-type: none"> <li>重症度医療・看護必要度Ⅱの適切な取得に向けた対策および教育を行う</li> <li>学研メディカルサポートの手順書を広め、標準化した看護の提供・業務の遂行につなげる</li> <li>口腔ケアラウンドを継続し、看護の質向上に向けたケアの提供を行う</li> </ol> | <p>年に2回必要度の監査を実施し、各職場の傾向と対策を立て改善を図った。</p> <p>看護必要度院内指導者6名取得。</p> <p>検査行為基準の見直しおよび、技術手順書の追加を実施し、各部署での学研の活用を促した。</p> <p>毎週金曜の歯科往診にリンクナースも関わり、各部署で口腔ケアの質向上につなげた</p>  |
| 看護<br>リスクマネジメント<br>委員会  | 12回  | <ol style="list-style-type: none"> <li>転倒転落リスクのアセスメントと評価を行い、有害事象が昨年度より減少する</li> <li>全てのスタッフがルールを遵守する</li> <li>医療事故、危険予知、気づき力、対応力の向上</li> </ol>                                | <ol style="list-style-type: none"> <li>2023年度の有害事象の分析を行い、発生要因の一部を知ることができた</li> <li>転倒転落説明書の改訂も行なったが完成には至らず、2025年度に引き継ぐ方針とした</li> <li>病棟ラウンドにて、患者確認が正しく実践されているかについて、監査をした(2024年度看護部 患者誤認関連報告46件)</li> <li>委員のインシデントの分析力の向上のため、委員会内で事例検討やKYTカンファレンスを行なった<br/>各職場での実践に向けてのトレーニングに繋がった</li> </ol>   |
| 認知症ケア<br>向上委員会          | 10回  | <ol style="list-style-type: none"> <li>認知症・せん妄ケアの知識・技術を普及し各職場のケア向上を図る</li> <li>認知症・高齢者にむけた院内レクリエーション活動と地域住民との交流</li> <li>せん妄予防や認知症症状の悪化防止に向け身体行動制限の適正使用を働きかける</li> </ol>      | <ol style="list-style-type: none"> <li>院内法定研修企画・運営2回/年</li> <li>看護部研修の企画・運営2回/年</li> <li>認知症・せん妄ケアの事例を委員会内で共有</li> <li>院内秋祭りを10月に開催</li> <li>保土ヶ谷地域ケアプラザにて市民講座実施</li> <li>身体行動制限の記録の監査</li> <li>ラウンドを実施し適正使用の評価</li> </ol>  |
| 看護パス・記録監査<br>委員会        | 9回   | <ol style="list-style-type: none"> <li>看護記録の質の向上を図る</li> <li>看護記録の整備</li> <li>クリニカルパス運用マニュアルの修正と整備</li> </ol>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>毎月各病棟2症例ずつ記録監査を実施<br/>事例検討会1回/年実施</li> <li>短期入院基礎データ作成、運用開始<br/>マニュアルの改訂実施</li> <li>院内クリニカルパス委員会と協働し現在使用していないパスの洗い出しを行い、削除依頼を行なった</li> </ol>   |
| 看護感染予防<br>委員会           | 11回  | <ol style="list-style-type: none"> <li>職場の特性を踏まえた感染対策に取り組む</li> <li>感染予防委員としての知識・技術の習得</li> </ol>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>手指消毒遵守率の調査開始、針捨てBOXの破棄内容の見直しなど、要因の分析を活かした感染対策に取り組んだ</li> <li>職場目標に則した目標立案・評価、職場での問題の共有を行い、委員1人1人の感染委員としてのリーダーシップを促した</li> </ol>  |
| 褥瘡予防委員会                 | 11回  | <ol style="list-style-type: none"> <li>褥瘡予防ケアの知識と技術をみにつけ褥瘡対策周知活動を実践する</li> <li>褥瘡診療計画書の監査を実施し、正しい記録を周知する</li> <li>体交枕の見直し・定数管理</li> <li>看護部・院内研修の実施</li> </ol>                | <ol style="list-style-type: none"> <li>院内の傾向と対策の共有をしてみたが、目標の達成には繋がらず<br/>・推定褥瘡発生率1.7% (前年度1.49%)<br/>・ステージ3以上の褥瘡発生1件 (前年度0件)<br/>・院内褥瘡発生数91人 (前年度81人)</li> <li>毎月の記入結果を基に、各職場でのフィードバックと共有を実施した</li> <li>院内で使用する用具の統一と各職場での定数管理を徹底。職場の特殊性を踏まえ、必要数を確認し増数することが出来た</li> <li>看護補助者1回/年・新人研修2回/年・院内研修としてe-ラーニングを使用し、1回/年の研修を実施した</li> </ol> |
| 共育委員会                   | 12回  | <ol style="list-style-type: none"> <li>習得した知識・技術を患者理解につなげる力を育む (研修の学びをOJTに!)</li> <li>やりがいを見つけ、支援する研修作り</li> <li>新クリニカルリーダーの活用と評価</li> </ol>                                  | <ol style="list-style-type: none"> <li>研修を通して技術やアセスメント力だけでなく看護論や看護倫理など看護感を育むように、ねらいを明確にしたうえで研修を実施した<br/>また、研修で学んだ事をそれぞれの現場で実践できるよう研修後に行う実践機会を設けた</li> <li>研修を通して自身のやりがいをみつけていけるよう各職場長と相談・調整し参加してもらうことで意欲的に研修参加する事ができていた</li> <li>2024年度から改訂後のクリニカルリーダー運用を開始、運用継続し今後使用後の評価を行っていく</li> </ol>  |

## 薬剤課

課長代行：高岡 雄一

### 人員構成

薬剤師：25名

|                 |     |
|-----------------|-----|
| うち 日病薬病院薬学認定薬剤師 | 13名 |
| NST 専門療養士       | 4名  |
| 心不全療養指導士        | 3名  |
| 骨粗鬆症マネージャー      | 2名  |
| 外来がん治療認定薬剤師     | 1名  |
| 糖尿病療養指導士        | 2名  |
| 感染制御認定薬剤師       | 2名  |
| 抗菌化学療法認定薬剤師     | 1名  |
| 周術期管理チーム薬剤師     | 2名  |
| 老年薬学認定薬剤師       | 1名  |
| リウマチ財団登録薬剤師     | 2名  |
| スポーツファーマシスト     | 5名  |

薬剤助手：4名

### 業務内容

調剤業務、製剤業務、病棟業務、薬剤管理指導業務、医薬品情報業務、手術室業務、外来業務、医薬品購入管理業務、抗癌剤混注業務、高カロリー輸液混注業務、持参薬鑑別業務、薬薬連携、各種委員会・運営会議・多職種連携チームへの参加

### 2024年度総括

テーマ：質の高い医療の提供と安全文化の醸成

- 業務の効率化の検討
    - 指導記録時間の短縮のため、指導記録のテンプレートを作成した。
    - 当直業務の見直しを行い、一部業務を日勤帯に実施することで当直者の負担軽減をはかった。
  - 外来薬剤師業務の見直し
    - 多職種が関わる化学療法計画書のレイアウト見直しを行った。
  - 院外薬局との連携継続
    - 地域薬局連絡会を年6回開催し院外保険薬局との連携をはかった。また、地域に向けて当院薬剤課主催の勉強会を1回実施した。
- ①2025年2月：「当院での悪心嘔吐と末梢神経

障害の対応～症例を交えて～」

- 薬剤師の育成
  - 病棟勉強会および資格取得者による専門勉強会を毎月開催した。
- 薬剤課内の安全文化の醸成
  - ニアミスを集計、IAの共有を行い、継続的に発信した。
  - KYTの手法を用いた事例検討を年3回実施し、安全対策の立案を行った。

### 実績

| 項目        |             | 2023年度  | 2024年度  | 前年度比(%) |
|-----------|-------------|---------|---------|---------|
| 外来        | 院内処方箋枚数     | 1,660   | 1,762   | 106.1   |
|           | 院外処方箋枚数     | 77,591  | 78,803  | 101.6   |
|           | 注射箋枚数       | 22,647  | 22,842  | 100.9   |
| 入院        | 処方箋枚数       | 57,429  | 61,762  | 107.5   |
|           | 注射箋枚数       | 112,699 | 127,785 | 113.4   |
| 薬剤管理指導    | 薬剤管理指導料1    | 1,959   | 1,539   | 78.6    |
|           | 薬剤管理指導料2    | 4,366   | 4,125   | 94.5    |
|           | 薬剤管理指導料<合計> | 6,325   | 5,664   | 89.5    |
|           | 退院時薬剤情報提供料  | 2,716   | 2,459   | 90.5    |
| 病棟薬剤業務    | 病棟薬剤業務実施加算1 | 12,338  | 13,084  | 106.0   |
|           | 病棟薬剤業務実施加算2 | 2,142   | 2,290   | 106.9   |
| 外来抗癌剤調製件数 |             | 991     | 906     | 91.4    |
| 入院抗癌剤調製件数 |             | 135     | 125     | 92.6    |
| TDM解析報告件数 |             | 194     | 256     | 132.0   |

## 検査課

課長：小林 彩子

### 人員構成

|                          |     |
|--------------------------|-----|
| 臨床検査技師                   | 23名 |
| うち 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師 | 1名  |
| 医療情報技師                   | 1名  |
| 栄養サポートチーム専門療法士           | 1名  |
| 日本不整脈心電学会認定心電図専門士        | 2名  |
| 心血管インターベンション技師           | 1名  |
| 超音波検査士（消化器）              | 3名  |
| 超音波検査士（体表臓器）             | 3名  |
| 超音波検査士（循環器）              | 3名  |
| 超音波検査士（血管）               | 2名  |
| 超音波検査士（泌尿器）              | 1名  |
| 乳房超音波検査講習会認定             | 2名  |
| 聴力測定技術講習認定（一般）           | 3名  |
| 聴力測定技術講習認定（中級）           | 2名  |
| 緊急臨床検査士                  | 4名  |
| 二級臨床検査士（呼吸生理学）           | 1名  |
| 二級臨床検査士（微生物学）            | 1名  |
| 二級臨床検査士（病理学）             | 1名  |
| 二級臨床検査士（臨床化学）            | 1名  |
| 二級臨床検査士（血液学）             | 1名  |
| 細胞検査士                    | 2名  |
| 認定病理検査技師                 | 1名  |
| ピンクリボンアドバイザー（初級）         | 1名  |
| 有機溶剤作業主任者                | 2名  |
| 特定化学物質及び四アルキル鉛作業主任者      | 2名  |
| 毒劇物取扱者                   | 3名  |
| 受付事務                     | 4名  |

### 運営方針

専門性を高め、新しいことにチャレンジする。  
 精度と迅速性を追求した臨床検査情報を提供する。  
 知識・技術を常に高め、地域医療に貢献する。  
 医療人として広い視野を持ち、バランスのとれた行動思考を持つ人材を育成する。  
 医療情勢を知り変化に迅速に対応する。  
 多職種と協働しチーム医療に貢献する。

### 業務内容

1. 外来患者採血、他検体採取
2. 検体検査（一般・血液・生化学・免疫・微生物）

3. 生体検査（呼吸循環機能・脳波・神経・筋・超音波検査）
4. 耳鼻咽喉科学的検査
5. 輸血検査
6. 病理検査
7. チーム医療への参画（NST・ICT・AST・SMBG指導等）

### 2024年度総括

- ・ドック健診業務の拡充や外来診療体制の変更に合わせ、エコーの予約枠を前年度のおよそ2倍に増枠した。
- ・血液培養装置を導入し、血液培養陽性/陰性を従来より24時間早く報告できるようにした。適切かつ速やかな薬剤選択に貢献できるよう、血液培養検査の他の項目についても院内化を進めていく。

### 実績

| 検査件数  | 2023年度(件) | 2024年度(件) | 前年度比(%) |
|-------|-----------|-----------|---------|
| 外来採血  | 39,272    | 40,932    | 104     |
| 検体検査  | 1,581,983 | 1,684,236 | 106     |
| 生理検査  | 17,714    | 18,471    | 104     |
| 超音波検査 | 10,924    | 11,324    | 104     |
| 耳鼻科検査 | 6,869     | 5,947     | 87      |
| 輸血検査  | 3,323     | 3,424     | 103     |

| チーム医療参加回数         | 回数   |
|-------------------|------|
| NST（栄養サポートチーム）    | 345回 |
| ICT（感染制御チーム）      | 50回  |
| AST（抗菌薬適正使用支援チーム） | 50回  |
| SMBG（自己血糖測定）指導    | 26回  |

# 栄養課

課長：仲戸川 豊

## 人員構成

|             |    |
|-------------|----|
| 管理栄養士       | 8名 |
| 内 NST 専門療法士 | 2名 |
| 日本糖尿病療養指導士  | 1名 |
| 心不全療養指導士    | 2名 |
| 腎臓病療養指導士    | 2名 |
| 調理師         | 4名 |
| 内 製菓衛生士     | 1名 |
| 介護食士        | 1名 |

## 業務内容

1. 残食量前年度比5%削減
2. 災害時でも滞りなく食事提供出来る体制作り
3. アレルギー、禁止食材の誤提供防止
4. 栄養課収支前年度比+6%

## 2024年度総括

### 1. 残食量の削減

残食量の分析から献立の改善、食器や盛り付けの見直しを行い、2022年度と同等、2021年度比で8%削減出来た。

### 2. 災害時でも滞りなく食事提供出来る体制作り

藤沢ウェルフェアタウンとの非常時食事提供について協定締結。(株)クックデリとの法人契約により非常時の食事確保がより可能となった。消費期限の迫った備蓄を使用した調理訓練を実施。

### 3. アレルギー、禁止食材の誤提供防止

アレルギーに関するPCシステムの整備と患者本人を巻き込んだ確認方法により、誤提供は3件まで減少(2022年度6件、2021年度9件)

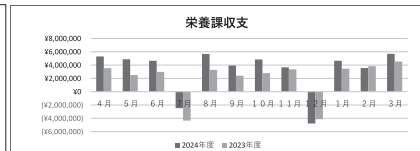
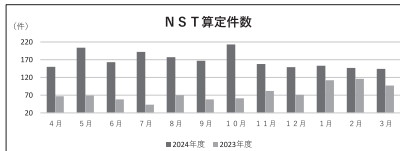
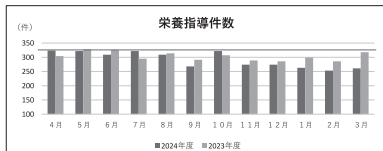
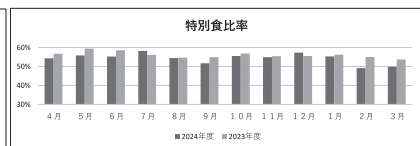
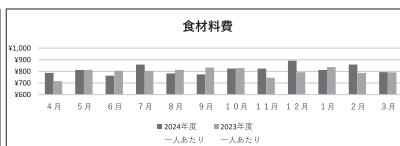
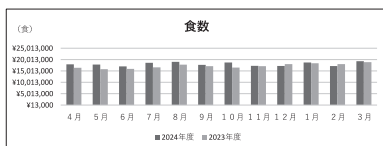
### 4. 栄養課収支向上

前年度比+37%達成、食材料費は増加傾向だが、人員配置の調整や栄養指導件数の増加などが寄与。

## 実績

### 2024年度 栄養課成果抜粋

|         | 4月          | 5月          | 6月          | 7月          | 8月          | 9月          | 10月         | 11月         | 12月         | 1月          | 2月          | 3月          | 合計          | 平均           |             |
|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|
| 収益      | 2024年度      | ¥19,447,467 | ¥19,448,171 | ¥18,564,034 | ¥20,054,134 | ¥20,543,757 | ¥19,090,245 | ¥20,532,211 | ¥18,703,767 | ¥18,638,817 | ¥20,201,675 | ¥18,675,600 | ¥20,908,201 | ¥234,808,079 | ¥36,124,320 |
|         | 2023年度      | ¥16,385,683 | ¥15,804,722 | ¥15,944,084 | ¥16,589,638 | ¥17,792,301 | ¥17,111,470 | ¥16,494,010 | ¥17,132,411 | ¥18,032,840 | ¥18,388,652 | ¥18,026,264 | ¥18,869,827 | ¥206,571,902 | ¥31,780,293 |
|         | (昨年度差)      | ¥3,061,784  | ¥3,643,449  | ¥2,619,950  | ¥3,464,496  | ¥2,751,456  | ¥1,978,775  | ¥4,038,201  | ¥1,571,356  | ¥605,977    | ¥1,813,023  | ¥649,336    | ¥2,038,374  | ¥28,236,177  | ¥4,344,027  |
| 食事療養費   | 2024年度      | ¥17,937,267 | ¥17,819,771 | ¥17,017,434 | ¥18,579,134 | ¥19,032,357 | ¥17,686,045 | ¥18,731,211 | ¥17,273,867 | ¥17,201,417 | ¥18,750,275 | ¥17,172,800 | ¥19,301,001 | ¥216,502,579 | ¥18,041,882 |
|         | 2023年度      | ¥16,385,683 | ¥15,804,722 | ¥15,944,084 | ¥16,589,638 | ¥17,792,301 | ¥17,111,470 | ¥16,494,010 | ¥17,132,411 | ¥18,032,840 | ¥18,388,652 | ¥18,026,264 | ¥18,869,827 | ¥206,571,902 | ¥17,214,325 |
|         | 2024年度      | 54.3%       | 55.8%       | 55.2%       | 58.2%       | 54.4%       | 51.7%       | 55.5%       | 57.3%       | 55.3%       | 55.3%       | 49.1%       | 49.8%       |              | 54.3%       |
| 特別食比率   | 2023年度      | 56.7%       | 59.4%       | 58.5%       | 56.1%       | 54.6%       | 54.9%       | 56.8%       | 55.4%       | 55.5%       | 56.2%       | 55.0%       | 53.7%       |              | 56.1%       |
|         | 2024年度      | 324         | 322         | 309         | 322         | 309         | 268         | 322         | 274         | 274         | 263         | 261         | 3501        | 292          |             |
|         | 2023年度      | 304         | 328         | 326         | 295         | 314         | 291         | 307         | 289         | 286         | 299         | 286         | 318         | 3643         | 304         |
| 栄養指導件数  | 目標達成率(320件) | 101%        | 101%        | 97%         | 101%        | 97%         | 84%         | 101%        | 86%         | 86%         | 82%         | 79%         | 82%         | 91%          |             |
|         | 2024年度      | 150         | 204         | 163         | 192         | 177         | 167         | 213         | 158         | 149         | 153         | 147         | 144         | 2017         | 168.1       |
|         | 2023年度      | 67          | 69          | 58          | 43          | 70          | 58          | 61          | 82          | 71          | 112         | 116         | 97          | 904          | 75.3        |
| NST算定件数 | 2024年度      | 126         | 121         | 131         | 90          | 117         | 119         | 164         | 112         | 130         | 140         | 161         | 181         | 1592         | 132.7       |
|         | 2023年度      | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 164         | 125         | 190         | 125         | 135         | 649          | 54.1        |
|         | 2024年度      | ¥13,481,513 | ¥13,813,947 | ¥13,282,928 | ¥22,522,822 | ¥14,864,344 | ¥15,159,567 | ¥15,685,397 | ¥15,041,077 | ¥23,416,535 | ¥15,560,088 | ¥15,120,975 | ¥15,224,633 | ¥193,173,825 | ¥16,097,819 |
| 費用      | 2023年度      | ¥12,841,974 | ¥13,297,044 | ¥12,970,949 | ¥20,924,702 | ¥14,503,967 | ¥14,712,801 | ¥13,698,713 | ¥13,771,295 | ¥22,157,188 | ¥14,938,797 | ¥14,212,990 | ¥14,367,212 | ¥182,397,632 | ¥15,199,803 |
|         | (昨年度差)      | ¥639,538    | ¥516,903    | ¥311,979    | ¥1,598,120  | ¥360,377    | ¥446,766    | ¥1,986,685  | ¥1,269,782  | ¥1,259,347  | ¥621,291    | ¥907,984    | ¥857,421    | ¥10,776,193  | ¥898,016    |
|         | 2024年度      | ¥6,775,956  | ¥6,813,405  | ¥6,694,501  | ¥13,908,178 | ¥6,702,004  | ¥7,142,757  | ¥7,219,290  | ¥7,313,085  | ¥14,682,323 | ¥7,520,303  | ¥7,569,582  | ¥7,123,389  | ¥99,464,773  | ¥8,288,731  |
| 人件費     | 2023年度      | ¥6,477,277  | ¥6,534,093  | ¥6,259,644  | ¥12,681,323 | ¥6,732,725  | ¥6,781,462  | ¥6,449,377  | ¥6,602,344  | ¥14,432,593 | ¥6,681,467  | ¥6,658,353  | ¥6,494,970  | ¥92,785,628  | ¥7,732,136  |
|         | 2024年度      | ¥6,531,103  | ¥6,593,624  | ¥5,982,458  | ¥7,372,407  | ¥6,967,208  | ¥6,415,450  | ¥7,221,745  | ¥5,560,832  | ¥7,042,424  | ¥6,937,160  | ¥6,868,344  | ¥6,913,274  | ¥81,406,029  | ¥6,783,836  |
|         | 一人あたり       | ¥787        | ¥812        | ¥763        | ¥859        | ¥782        | ¥774        | ¥824        | ¥824        | ¥892        | ¥812        | ¥859        | ¥794        |              | ¥815        |
| 食材料費    | 2023年度      | ¥5,340,072  | ¥5,710,711  | ¥5,686,457  | ¥6,053,450  | ¥6,764,646  | ¥6,568,537  | ¥6,185,992  | ¥5,652,709  | ¥6,355,816  | ¥6,877,705  | ¥6,330,212  | ¥6,681,803  | ¥74,208,110  | ¥6,184,009  |
|         | 一人あたり       | ¥716        | ¥812        | ¥805        | ¥804        | ¥813        | ¥833        | ¥828        | ¥745        | ¥793        | ¥837        | ¥787        | ¥792        |              | ¥797        |
|         | 2024年度      | ¥844,885    | ¥1,165,171  | ¥1,240,459  | ¥1,242,237  | ¥1,195,132  | ¥1,601,360  | ¥1,244,362  | ¥1,167,143  | ¥1,691,788  | ¥1,102,625  | ¥992,469    | ¥1,187,970  | ¥14,675,600  | ¥1,222,967  |
| その他     | 2024年度      | ¥5,295,523  | ¥4,875,971  | ¥4,646,616  | ¥-2,468,688 | ¥5,679,413  | ¥3,930,678  | ¥4,846,814  | ¥3,662,690  | ¥-4,777,718 | ¥4,641,587  | ¥3,554,625  | ¥5,683,568  | ¥39,571,079  | ¥3,297,590  |
|         | 2023年度      | ¥3,543,709  | ¥2,507,678  | ¥2,973,135  | ¥-4,335,064 | ¥3,288,334  | ¥2,398,669  | ¥2,795,297  | ¥3,361,116  | ¥-4,124,348 | ¥3,467,855  | ¥3,832,774  | ¥4,528,115  | ¥24,237,270  | ¥2,019,773  |
|         | (昨年度差)      | ¥1,751,814  | ¥2,368,293  | ¥1,673,481  | ¥1,866,376  | ¥2,391,079  | ¥1,532,009  | ¥2,051,517  | ¥301,574    | ¥(¥653,370) | ¥1,173,732  | ¥(¥278,149) | ¥1,155,453  | ¥15,333,809  | ¥1,277,817  |



## リハビリテーション課

課長：中村 和美

### 人員構成

理学療法士30名、作業療法士13名、言語聴覚士5名  
(アルバイト1名含む)、リハビリ助手1名

### 運営方針

地域住民のために急性期を中心としたリハビリテーション・サービスを提供し、健康と自己実現に貢献する。

### 2024年度総括

回復期リハビリ病棟病床稼働・その他病床稼働増大に対応すべくPT3名、ST1名の新卒職員が入職した。新入職員には初期から担当患者を多く設定するのではなく、先輩療法士と同時介入するなどOJT時間を増やすこと、また代行を通して先輩療法士とディスカッションをすることで、より早期から多くの経験を積むことができ、結果例年より早く担当患者数を増やすことができた。

2023年度に立ち上げた心大血管疾患リハビリは、対応できるスタッフ数の増加、外来の対応枠の増加・機器の増設によって、大幅に提供単位数を増やすことができた。

2024年5月には、部門システムの入れ替えを実施した。

### 実績

|        | 理学療法   | 作業療法  | 言語聴覚  |
|--------|--------|-------|-------|
| 脳血管疾患  | 11,770 | 4,240 | 4,225 |
| 廃用症候群  | 10,128 | 940   | 25    |
| 運動器疾患  | 16,517 | 2,906 | 0     |
| 呼吸器疾患  | 3,463  | 70    | 666   |
| 心大血管疾患 | 4,391  | 0     | 0     |
| がん     | 2,376  | 1,257 | 0     |
| 合計     | 48,645 | 9,413 | 4,916 |

(2024年度の件数)

## 臨床工学室

課長：物江 浩樹

### 人員構成

臨床工学技士 22名

主な保有資格：臨床工学技士、認定血液浄化臨床工学技士、認定集中治療臨床工学技士、認定医療機器管理臨床工学技士、透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士、臨床ME専門認定士、消化器内視鏡技師、臨床検査技師、心血管インターベンション技師など

### 業務内容

血液浄化センター、手術室、内視鏡センター、カテーテル室、ME管理室等での医療機器操作および管理業務、検査・治療時の臨床補助業務

### 2024年度総括

新型コロナウイルスの影響でオンライン開催としていた医療機器研修の一部を対面での集合研修に戻し、実機を用いた実践的な研修を再開した。また他法人の臨床工学部門と合同で勉強会を開催、区内の地域団体への講演を実施し、地域交流を図った。

業務面では人手不足が喫緊の課題となり、大幅な業務見直しが必要となった。関連する様々な分野で他部門の協力を得ながら業務の効率化、スリム化を進めた。

### 実績

臨床工学室立ち会い件数

#### 1. カテーテル室業務

|              |       |
|--------------|-------|
| アブレーション      | 65    |
| ペースメーカ新規植え込み | 28    |
| ペースメーカ交換     | 5     |
| ペースメーカチェック   | 2,304 |
| 心カテ件数        | 456   |
| 脳カテ件数        | 106   |
| その他カテ件数      | 14    |
| 清潔介助業務件数     | 540   |
| 時間外緊急        | 89    |

#### 2. 手術室業務

|            |     |
|------------|-----|
| 手術立ち会い     | 577 |
| ナビゲーション    | 10  |
| 術中誘発モニタリング | 114 |

#### 3. 呼吸療法業務

|         |       |
|---------|-------|
| 人工呼吸器導入 | 97    |
| 使用中点検   | 1,105 |

#### 4. 血液透析業務

|           |       |
|-----------|-------|
| 外来維持透析    | 6,712 |
| 入院維持透析    | 1,388 |
| CHDF      | 37    |
| 血漿交換      | 28    |
| 吸着式血液浄化療法 | 4     |
| シャントエコー件数 | 71    |

#### 5. 内視鏡業務

|       |    |       |
|-------|----|-------|
| 上部内視鏡 | 検査 | 2,535 |
|       | 治療 | 38    |
| 下部内視鏡 | 検査 | 534   |
|       | 治療 | 267   |
| ERCP  | 検査 | 10    |
|       | 治療 | 151   |
| 時間外緊急 | 治療 | 44    |

## 放射線課

課長：釜谷 秀美

## 人員構成

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 診療放射線技師            | 19名 |
| 内訳                 |     |
| マンモグラフィ認定技師        | 6名  |
| 血管撮影・インターベンション専門技師 | 4名  |
| 磁気共鳴専門技術者          | 3名  |
| X線CT認定技師           | 5名  |
| 救急撮影認定技師           | 1名  |
| 第一種放射線取扱主任者        | 3名  |
| 放射線管理士             | 2名  |
| 放射線機器管理士           | 2名  |
| 医用画像情報精度管理士        | 1名  |
| Ai認定診療放射線技師        | 1名  |
| 衛生工学衛生管理者          | 1名  |
| 肺がんCT検診認定技師        | 1名  |
| 事務兼検査補助員           | 3名  |

## [業務内容]

- 単純撮影装置、乳房撮影装置、骨密度測定装置、X線テレビ装置、血管撮影装置、CT装置、MRI装置を用いた診断目的画像撮影
- 各装置を用いた放射線診断技術の治療的応用(IVR)時の機器操作
- 放射線機器の保守管理業務
- 撮影画像管理業務
- 高精細モニタ管理業務
- 放射線被ばく低減のための管理業務
- 放射線検査に対する相談窓口業務
- 撮影技術等の学術研究
- 画像診断読影報告書の未読防止メール送付

## 2024年度総括

- ・院外からの紹介検査(実績)  
CT:年間3,192件(対前年比130.2%)  
MRI:年間260件(対前年比123.8%)
- ・専門資格の取得  
血管撮影・インターベンション専門技師、磁気共鳴専門技術者、X線CT認定技師の認定取得者増員
- ・マンモグラフィ検診施設・画像認定更新
- ・被ばく低減施設認定更新に向け、書類審査受審

## 実績

(月平均件数)

|       |       | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 前年度比(%) |
|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 一般撮影  | 胸部・腹部 | 1,754  | 1,956  | 1,949  | 1,994  | 2,136  | 107.1   |
|       | 骨     | 1,056  | 1,224  | 1,197  | 1,152  | 1,229  | 106.7   |
|       | マンマ軟線 | 127    | 148    | 167    | 186    | 206    | 110.8   |
|       | ポータブル | 566    | 670    | 687    | 698    | 794    | 113.8   |
|       | 骨塩定量  | 53     | 69     | 95     | 107    | 148    | 138.3   |
|       | 小計    | 3,556  | 4,067  | 4,095  | 4,137  | 4,513  | 109.1   |
| 造影    | GI    | 42     | 47     | 52     | 58     | 63     | 108.6   |
|       | 注腸    | 6      | 3      | 6      | 5      | 5      | 100     |
|       | ブロック  | 11     | 9      | 10     | 9      | 9      | 100     |
|       | TVその他 | 69     | 76     | 72     | 61     | 55     | 90.2    |
|       | 小計    | 128    | 135    | 140    | 133    | 132    | 99.2    |
| CT    | 件数    | 1,742  | 1,831  | 1,618  | 1,637  | 1,798  | 109.8   |
|       | 造影率   | 18.0%  | 16.6%  | 20.8%  | 21.0%  | 20.2%  | 96.2    |
| MRI   | 件数    | 531    | 549    | 530    | 513    | 517    | 100.8   |
|       | 造影率   | 5.1%   | 5.0%   | 5.2%   | 5.4%   | 5.1%   | 94.4    |
| ANGIO | 循環器   | 54     | 54     | 54     | 55     | 48     | 87.3    |
|       | 頭頸部   | 17     | 18     | 12     | 12     | 10     | 83.3    |
|       | 体幹部   | 2      | 1      | 1      | 1      | 2      | 200     |
|       | 四肢    | 4      | 0      | 1      | 1      | 0      | 0       |
|       | 小計    | 77     | 73     | 68     | 69     | 60     | 87      |

事務部 2024年度 実績報告

| 職場名称    | 人員構成(2024年4月 時点)  | 業務内容  | 2024年度総括   |
|---------|---|---|--|
| 医療情報管理課 | <ul style="list-style-type: none"> <li>課長 1名</li> <li>課長補佐 1名</li> <li>外来医事 5名</li> <li>入院医事係 6.5名</li> <li>情報システム係 3名</li> <li>診療録管理室 3.5名</li> <li>エルダー 1名<br/>(委託・派遣除く)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来医事係：外来受付、外来会計計算・外来診療報酬請求、予約変更受付等の業務</li> <li>・入院医事係：入院受付、DPC分類コーディング、入院会計計算・入院診療報酬請求等の業務</li> <li>・情報システム係：電子カルテ等の各種システム保守管理、データ抽出等の業務</li> <li>・診療録管理室：診療録の管理・点検、がん登録業務、DPCデータ作成管理、スキャナーセンター運営等の業務</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテ更改対応</li> <li>・2024年度診療報酬改定対応</li> <li>・施設基準管理&amp;監査</li> <li>・実習生受入れ</li> <li>・医事業務 査定・返戻適正化</li> </ul>   |
| 経理課     | <ul style="list-style-type: none"> <li>一般会計 3名</li> <li>支払窓口<br/>(内訳) 4名</li> <li>常勤職員 4名</li> <li>非常勤職員 3名</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出納業務</li> <li>・月次、年次決算業務</li> <li>・原価計算業務</li> <li>・予算管理</li> <li>・患者自己負担金の授受</li> <li>・資金調達事務</li> <li>・資産保全業務（登記事務）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年4月から4か月間新入事務職員（計2名）の職場研修を実施</li> <li>・2024年7月からの新紙幣対応のため自動支払機を1台更新</li> <li>・患者自己負担金の未収金督促を顧問弁護士法人とも共同し未収金回収に注力した</li> <li>・外来料金後払いの機種選定及び運用検討を行った</li> <li>・旅費精算を現金支給だけでなく給与支給を取り入れた</li> </ul>                                  |
| 施設資材管理課 | <ul style="list-style-type: none"> <li>課長 1名</li> <li>課長補佐 1名</li> <li>係長 1名</li> <li>資材係 3名</li> <li>施設係 1名</li> <li>パート 1名</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資材係<br/>院内のあらゆる『もの』に関する管理全般（予算管理、購入管理、在庫管理）</li> <li>・施設係<br/>施設管理業務<br/>建築物、電気、空調設備、給排水<br/>防災、医療ガス、環境設備管理業務<br/>増改築・改修工事計画に関わる業務</li> <li>・工程、予算、図面、既存改修調整</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な備品整備実績<br/>肩関節位体固定具、超音波診断装置 VscanAir、エンサイトX EPシステム、他</li> <li>・主な施設管理実績<br/>○エネルギー使用量前年度比<br/>電気 98.3% ガス 67.8%<br/>灯油 102.6% 水道 95.7%</li> <li>・改修・修繕工事等実績<br/>○冷温水発生器 高温再生器 修理<br/>○コージェネシステム電装部品 修理<br/>○害鳥駆除用 ネット敷設工事</li> </ul> |
| 総合企画室   | <ul style="list-style-type: none"> <li>室長 1名</li> <li>課員 2名</li> <li>臨床研修 2名</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療経営情報、分析に関する業務<br/>入退院予定数、平均患者数・稼働率、KPI、各種指標による他病院とのベンチマーク<br/>その他経営企画に関する業務</li> <li>・各診療科および各部門の診療状況の把握と対策</li> <li>・補助金に関する業務</li> <li>・行政、学会等からのアンケート調査対応</li> <li>・職務分掌に該当しない業務の実施</li> <li>・臨床研修室</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療部長と患者数増加のための重要指標を設定し、達成のために関連部署とともに様々なアクションを実行した</li> <li>・毎週火曜日の幹部連絡会にて他院とのベンチマークを行いアクションプランの作成を行った<br/>その情報を元に病院と診療科で経営に対する意識のすり合わせを行った</li> <li>・事業計画BSCの導入を行った</li> <li>・本部総合企画室と連携をとり、経営改善策を立案した</li> </ul>                     |
| 総務課     | <ul style="list-style-type: none"> <li>課長 1名</li> <li>課長補佐 1名</li> <li>係長 0名</li> <li>課員 9名</li> <li>非常勤 10名</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人事（採用活動、実習受け入れ）</li> <li>・労務（給与全般、社会保険）</li> <li>・庶務（補助金、施設基準、免許管理、院内保育園管理など）</li> <li>・広報（対外的な広報、患者サービス、イベントに関する業務）</li> <li>・医局事務、電話交換、事務日当直</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師働き方改革への対応</li> <li>・医療機能評価の受審準備、当日対応</li> <li>・法人本部の住所変更に伴う各種届出を実施</li> <li>・医療情報管理課と連携した施設基準届出と管理</li> <li>・病児保育開始の準備</li> <li>・YouTubeを利用した病院広報（オンライン市民公開講座：1本、栄養レシピ：2本）</li> </ul>  |

## 医師臨床研修委員会

委員長名：新村 剛透

### 開催実績

開催回数：年12回

定例開催日：毎月第2週水曜日

### 目標・開催目的

初期臨床研修医の研修内容をさらに向上し、より優秀かつチーム医療を大切にする人材の確保および育成を図る。

初期臨床研修人気地区である横浜において、選ばれ続ける病院となり、募集定員の充足を継続する。

### 2024年度総括

#### ●医師臨床研修委員会（院内会議）

12回開催

2024年4月3日

2024年5月8日（書面会議）

2024年6月12日

2024年7月10日（書面会議）

2024年8月14日

2024年9月11日

2024年10月9日

2024年11月13日（書面会議）

2024年12月11日

2025年1月8日（書面会議）

2025年2月12日

2025年3月12日

#### ●医師卒後臨床研修管理委員会（外部委員招聘の拡大会議）

3回開催

2024年6月12日（期首・ハイブリッド会議）

2024年10月9日（中間・ハイブリッド会議）

2025年3月12日（期末・ハイブリッド会議）

#### ●研修全般

各学会への参加・発表および院内外の勉強会に積極的に参加した。

院内では、研修医のリクエストに応え、検査技師によるエコー勉強会を開催した。これにより、研修医は診療科の基礎から専門的な知識まで幅広く学ぶことができた。外部委員を招集する管理委員会は、移動時間を考慮しハイブリッド形式で開催した。Web会議を併用したことで、各外部委員から貴重なご意見をいただくことができた。

各科担当医の協力で年間3件の剖検を実施できた。また、病理診断科の末松医師にご協力いただき、CPC（臨床病理検討会）を5回開催した。これにより、2023年度採用の研修医5名全員が、修了要件である病理症例を経験することができた。その結果、2024年度も5名全員が無事に初期臨床研修を修了した。

#### ●採用活動

2024年度は108名の見学者を受け入れ、採用試験には38名が受験した。その結果、募集定員5名をマッチングで充足することができた。

### 2025年度目標

#### ●研修医向け勉強会参加の継続と参加率増加

臨床・病理症例検討会を、内科系だけでなく、外科系やその他の診療科の医師にも協力していただき、広く症例が報告でき、院内の診療科や年代などの垣根を超えた教育の場として活用できるよう病院の公式行事としていく。

また、初期・後期研修医向けの内科各科のクルズスや勉強会をさらに充実できるよう、協力を呼びかけていく。

#### ●後期研修までイメージできる広報の刷新

初期研修医あるいは採用試験を控えた医学生に当院の後期研修まで視野に入れた研修先として選択してもらえよう、ホームページや各メディアに掲載している情報の充実を図る。

また、保安講習の受講率向上に向け職員への案内強化を図る

## 医療ガス設備安全委員会

委員長名：木下 真弓

### 開催実績

開催回数：年1回  
定例開催日：不定期

### 目標・開催目的

医療で供するガス及びガス設備の安全を確保し、医療ガスの安全な取り扱いと、正しい基礎知識の普及活動の実践

### 2024年度総括

#### 保安講習

医療ガス設備やボンベの安全な取り扱い等の保安講習を関連職員対象に実施

医療ガス設備取り扱い講義（対象：研修医）

実施日：2024年4月5日（金）

内容：医療ガス取り扱い方法

医療ガス設備講習会の開催（全職員対象：アンケート機能）

期間：2025年3月17日（月）～3月31日（月）

内容：医療ガス取り扱い方法

参加率：（2023年度40% 2024年度40%）

#### 医療ガス設備定期保守点検について

##### 点検実施日

4月10日～12日 [12ヶ月点検]

7月17日～20日 [3か月点検]

10月23日～25日 [6か月点検]

1月8日～10日 [3か月点検]

### 2025年度目標

医療ガス設備の安全管理と患者の安全を確保する  
保安体制強化の為、医療ガス設備を使用する職員向けに保安講習を実施する

# 衛生委員会

委員長名：兼子 友里

## 目標・開催目的

- ①職員健診受診率100%の維持
- ②職員本人の健康意識向上のための取り組み
- ③メンタルヘルスケアへの取り組みの継続
- ④労働環境改善のための活動
- ④時間外労働の上限規制に対応した取り組み
- ⑥年次有給休暇の確実な取得に係る取り組み

## 開催実績

開催回数：年12回

定例開催日：毎月第1週水曜日

## 2024年度総括

### ① (1) 職員健康診断・特殊健康診断の実施

\* 長期休職者・病欠者を除く

| 時期     | 対象者数 | 受診者数 | 受診率  | 有所見者 | 未受診者 | 受診者 | 受診率 |
|--------|------|------|------|------|------|-----|-----|
| 春期4-6月 | 715名 | 715名 | 100% | 124名 | 39名  | 85名 | 68% |
| 秋季10月  | 389名 | 389名 | 100% | 63名  | 25名  | 38名 | 60% |

### (2) 特定保健指導対象者人数と実施率

| 対象者 | 実施  | 未実施 | 実施率 |
|-----|-----|-----|-----|
| 31人 | 27人 | 4人  | 87% |

| B型肝炎    | 麻疹・風疹   | 水痘    | 流行性耳下腺炎 | インフルエンザ         |
|---------|---------|-------|---------|-----------------|
| 18名/23名 | 43名/47名 | 2名/3名 | 12名/13名 | 645名 (接種率86.2%) |

### ②職員に対する予防接種の実施

○ T-spot 検査：医師・研修医・看護師の新入職員全員に対して実施 受検者：58名

### ③メンタルヘルスケア

- (1) メンタルヘルスケア担当者を置き、部会実施。職員のメンタルヘルスを推進。
- (2) 新卒入職者対象のストレスマネジメント研修、体験カウンセリングの実施。

|              | 実施状況          | 備考         |
|--------------|---------------|------------|
| ストレスマネジメント研修 | 出席：29名、欠席：10名 | リハビリスタッフ欠席 |
| 体験カウンセリング    | 参加：43名        | 1人15分      |
| 産業医による面接指導実施 | 実施：13名        |            |

### ③職場巡視：衛生管理者とメンバーで週1回職場巡視を実施。33職場、3ラウンド実施。

(労働環境について巡視：設備、休憩、有休管理、No残業DAYの実施について等)

| 職場巡視時の問題点 | 合計件数 | 解決件数 | 未解決件数 |
|-----------|------|------|-------|
| 設備関連      | 31   | 13   | 18    |
| 備品関連      | 4    | 4    | 0     |
| 人員関連      | 9    | 6    | 3     |

### ⑤ノー残業デイ・時間外労働についての取り組み

- (1) 毎月末に各職場より提出されるノー残業デイ報告書の取りまとめと報告の実施。
- (2) 36協定特別条項違反の該当者なし。月45時間以上が年6回を超えた職員が17名。  
職場長と共に原因と今後の対処について確認し合い、委員会でも共有を実施

### ⑥年次有給休暇取得への取り組み：有休消化状況の把握。年間取得数5日未満の該当者なし

## 2025年度目標

- ①職員の健康保持促進への取り組み。健康意識向上に向けての活動。  
(職員健診受診率100%の維持、有所見者受診率70%、特定保健指導の実施率75%)
- ②メンタルヘルスケアへの取り組みの継続  
(精神専門看護師によるカウンセリング・産業医面談・ストレスチェック結果の活用)
- ③衛生ラウンドを活用した職場環境の改善
- ④時間外労働の上限規制に対応した取り組み (各職員が毎月1日以上設ける)
- ⑤年次有給休暇の確実な取得に係る取り組み (各職員年間取得数5日以上)

## 栄養委員会

委員長名：永井 啓之

### 開催実績

開催回数：年6回

定例開催日：奇数月第4週木曜日

### 目標・開催目的

個々の適切な栄養管理と食事提供のために、食事療養の内容及び安全な食事の提供方法について検討を行う。

### 2024年度総括

1. 食事・栄養関連実績報告
2. 栄養課内発生のIAレポート報告と分析
3. 嗜好調査の結果報告  
対象献立  
【普通食】親子煮、海老アボカドサラダ  
日程：2024年8月29日(金) 昼食
4. 残食量調査の結果報告
5. 検食を実施し、意見を反映した食事の提供
6. 食器を新規購入
7. 内部監査での指摘事項の報告
8. 嚥下障害患者向けに「ペースト食の作り方基礎編・応用編」動画を作成

### 2025年度目標

- ・他部署と連携し、食事提供における安全性を保持
- ・IAレポートの分析と対策検討
- ・検食簿の意見を反映した食事提供
- ・より良い食事サービス提供につながる嗜好調査の実施

# 化学療法委員会

委員長名：野澤 聡志

## 開催実績

開催回数：年11回

定例開催日：毎月第2火曜日

## 目標・開催目的

化学療法を安全かつ適正に推進することを目的とし、レジメンの妥当性の評価や承認、治療計画書の作成、化学療法運用方法の検討、スタッフへの啓発・教育などを行う。

## 2024年度総括

申請レジメンの検討や承認、血管外漏出の発生報告・検討について年間を通し行った。化学療法を施行した診療科は外科、乳腺科、呼吸器外科、消化器内科、脳神経外科、泌尿器科、膠原病・リウマチ内科の計7科であった。

その他に下記の取り組みを行った。

- ・研修医向けに化学療法勉強会開催した。
- ・化学療法計画書の改訂を行った。
- ・看護部にてケモ投与ルート図の作成を行った。

<レジメン承認件数> ( ) は前年度値

| 通常申請    | 患者限定申請 | 既存レジメン改訂 |
|---------|--------|----------|
| 7件 (20) | 0件 (0) | 7件 (20)  |

<化学療法施行件数>

|        | 2023年度 | 2024年度 | 前年比    |
|--------|--------|--------|--------|
| 入院     | 149件   | 157件   | 105.4% |
| 外来     | 1684件  | 1575件  | 93.5%  |
| 入院外来合計 | 1833件  | 1732件  | 94.5%  |

## 2025年度目標

- ・化学療法マニュアル2025年度改訂版を完成する。
- ・化学療法計画書の改訂を継続する。
- ・化学療法導入時の安全な運用フローを作成する。

## 感染対策委員会

委員長名：野澤 聡志

### 開催実績

開催回数：年12回

定例開催日：毎月第4週水曜日

### 目標・開催目的

院内感染予防及び感染防止対策の充実と強化を図る

### 2024年度総括

- ①職員対象院内感染対策勉強会開催  
第1回：「災害時の感染対策」(受講率100%)  
第2回：「耐性菌 つくらない ふやさない ひろげない～CRE～」(受講率99.8%)  
第3回：「『院内培養』はじめました！～血液培養とは～」(受講率99.3%)
- ②月毎の検出菌分離状況・耐性菌検出状況・結核陽性患者の把握
- ③特殊抗菌薬使用状況
  - 1) 想定される感染症に対して必要な培養を採取している 87.8%
  - 2) 培養の結果に基づいて適切な抗菌薬が選択されている 95.1%
  - 3) 抗菌薬投与中に、継続の妥当性について評価が行われている 96.4%
- ④針刺し切創及び血液体液曝露状況の把握と対策  
・針刺し切創 15件、皮膚粘膜曝露 4件
- ⑤手指衛生実施回数 7.93回/患者日(病棟)、18.74回/患者日(急性期ケアユニット)
- ⑥ICT/ASTラウンドの実施(週1回)
  - ・環境ラウンド
  - ・抗菌薬適正使用ラウンド 617件
  - ・特殊抗菌薬使用者数 591件 うちAST介入件数 183件(28.5%)
  - ・全抗菌薬に対してASTが介入を行い、カルテに記載した件数34件

⑦血液培養2セット率87.4%

⑧感染対策向上加算1取得

- ・第1回合同カンファレンス(於 聖隷横浜病院)
- ・第2回合同カンファレンス及び相互ラウンド(於 聖隷横浜病院)
- ・第3回合同カンファレンス、新興感染症訓練(於 横浜保土ケ谷中央病院)
- ・第4回合同カンファレンス及び相互ラウンド(於 横浜保土ケ谷中央病院)

⑨新型コロナウイルス感染症対策

各所と情報共有を図り、連携して感染防止に努めた。

⑩感染対策マニュアルの改訂 5項目

### 2025年度目標

- ・院内感染防止対策の徹底及び推進
- ・抗菌薬適性使用支援チーム(AST)活動の充実～外来抗菌薬の使用状況介入～
- ・地域との連携を図り、感染対策向上加算1取得の継続
- ・サーベイランス還元情報の活用
- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・手指衛生実施強化

## 緩和ケア委員会

委員長名：木下 真弓

### 開催実績

年12回 毎月第2週月曜日

### 目標・開催目的

- ①急性期病棟から緩和ケア病棟へのスムーズな移行
- ②市民・医療者への緩和ケアセミナーの開催

### 2024年度総括

2024年度は100件の依頼があり、10年ぶりに100件を超えた。介入依頼の半数以上が緩和ケア病棟の申込であり、一般病棟で緩和ケアチームが介入した後、57名の患者が緩和ケア病棟に入棟した。非がん患者の緩和ケアも昨年に比べて増加しており、疾患を問わず、緩和ケアを提供できている。

### 2025年度目標

- 非がん緩和ケア推進のためのハートサポートチームやそらまめチームとの連携
- 一般市民・医療者への緩和ケアセミナー開催

## 実績

### 入院患者緩和ケアコンサルテーション実績

|           |               |        |
|-----------|---------------|--------|
| 依頼件数      |               | 100    |
| 区分        | がん            | 93     |
|           | 非がん           | 7      |
| がん患者について  |               |        |
| 依頼の時期     | 診断から初期治療前     | 3      |
|           | がん治療中         | 17     |
|           | 積極的がん治療終了後    | 73     |
| 依頼時のPS    | 0             | 0      |
|           | 1             | 10     |
|           | 2             | 17     |
|           | 3             | 27     |
|           | 4             | 39     |
| 転帰        | 終了（生存）        | 0      |
|           | 退院（うち在宅ケア導入）  | 21(16) |
|           | 死亡退院          | 11     |
|           | 緩和ケア病棟転院      | 57     |
|           | その他の転院        | 4      |
|           | 入院中           | 0      |
| 非がん患者について |               |        |
| 病名        | 神経疾患          | 0      |
|           | 呼吸器疾患         | 4      |
|           | 循環器疾患         | 1      |
|           | 腎疾患           | 1      |
|           | 消化器疾患         | 0      |
|           | 膠原病・免疫疾患      | 1      |
|           | 内分泌・代謝・血液疾患   | 0      |
|           | 感染性疾患         | 0      |
|           | 慢性疼痛          | 0      |
|           | その他           | 0      |
|           | がん患者・非がん患者の症状 |        |
| 依頼内容      | 疼痛            | 59     |
|           | 疼痛以外の身体症状     | 59     |
|           | 精神症状          | 1      |
|           | 家族ケア          | 2      |
|           | 意思決定支援        | 14     |
|           | 地域との連携/退院支援   | 24     |
|           | その他（緩和ケア病棟依頼） | 56     |

## 救急委員会

委員長名：芦田 和博

### 開催実績

開催回数：年12回

定例開催日：毎月第4週月曜日

### 目標・開催目的

聖隷横浜病院における、救急患者の受入強化、院内急変対応の強化等、救急業務全般の効率化を検討することを目的として開催する。

### 2024年度総括

救急委員会が現場に直結する委員会であることを鑑み、診療現場に対する問題点には迅速に改善するよう取り組んだ。

#### ○救急車受入強化対策

- 1) 各救急隊へ定期訪問およびGoogleフォームを活用した意見箱を作成して、当院に対する意見・要望を把握し委員会の議題に取り上げ改善を行った。
- 2) 救急車の受入状況について月次で情報分析を図った。

3) オンラインおよび出張にて教育講演会の実施。

#### ○院内急変対応の強化

救急救命士の業務拡充

CPR コーチ（急変対応時の質の管理役）

診療・処置介助、患者の間診実施。

BLS 講習の実施（院内17回・院外3回）

防災・搬送訓練、急変対応勉強会の開催。

救急カートの管理・点検。

救急要請時の応需対応（夜間・休日を除く）

#### ○ICLS講習会

2回開催し院内より13名が受講。

#### ○救急フォーラム

2回開催（オンラインおよび消防署へ出張）し、延べ138名の隊員が受講。

#### ○緊急コール(コードブルー／ドクターハート) 対応

11件の要請があり、各々事例について報告を行い適切な対応を検討した。

### 2025年度目標

救急診療体制の充実

- ①救急医療の体制を充実し地域医療への貢献 救急車受け入れ：年間5,000件
- ②救急患者の円滑な入院体制の構築
- ③入院・外来に通じた救急救命士のさらなる業務拡大
- ④かかりつけ患者の救急受入れ

### 実績

#### ■救急車受入実績

| 年度     | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 年度合計  |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 2019年度 | 430 | 396 | 387 | 452 | 536 | 484 | 462 | 479 | 521 | 526 | 360 | 324 | 5,357 |
| 2020年度 | 279 | 274 | 261 | 254 | 325 | 285 | 334 | 339 | 397 | 366 | 357 | 343 | 3,814 |
| 2021年度 | 308 | 330 | 318 | 377 | 404 | 346 | 381 | 356 | 394 | 459 | 418 | 453 | 4,544 |
| 2022年度 | 312 | 365 | 362 | 494 | 331 | 296 | 298 | 313 | 343 | 406 | 280 | 272 | 4,072 |
| 2023年度 | 278 | 291 | 351 | 380 | 462 | 324 | 354 | 386 | 477 | 414 | 374 | 393 | 4,484 |
| 2024年度 | 376 | 386 | 337 | 497 | 395 | 323 | 342 | 398 | 432 | 432 | 375 | 397 | 4,690 |

## クリニカルパス委員会

委員長名：永井 啓之

### 開催実績

開催回数：年6回

定例開催日：偶数月第3週月曜日

### 目標・開催目的

疾患に対して科学的根拠に基づいた質の高い水準で保たれた医療を提供できるクリニカルパスの作成を行っていくとともに、情報を共有化しチーム医療を実現、患者および家族と医療を提供していく中で問題点の共有、診療報酬の適正化を図っていくためにクリニカルパスの審査や普及に向けた取り組みを行う。

### 2024年度総括

1. クリニカルパスの導入支援。膠原病リウマチ内科に運用開始の支援を行い、新たに1種類のクリニカルパスの運用を開始している。
2. 長期間使用していないパス関連文書について、関係部署に確認後、電子カルテから削除し、文書整理を行った。
3. バリエーションの集計を実施した。クリニカルパスの精度を高めるために3ヶ月に1回バリエーションの集計結果を報告している。また、集計結果は院内で共有されている。
4. 年間のクリニカルパス使用率推移比較、クリニカルパス使用傾向分析等を行った。使用状況分析から、パス使用率の減少した診療科に働きかけを行なった。
5. 2024年度は、クリニカルパス使用患者数1957名（入院患者数5801名）使用率33.7%であった。（参考: 22年度42.7%、23年度39.0%）  
パス使用率が減少傾向にあるため、次年度は新規パス作成推進について重点的に取り組んでいく。

### 2025年度目標

1. パスの分析・使用状況把握  
バリエーションやパスの集計結果、使用頻度等を分析し、精度を高める。
2. 新規パス作成の推進  
DPCデータ等を基に新規パス作成の支援を行う。
3. 既存パスの整理・見直し  
DPC期間Ⅱを意識したパスの見直しを行う。
4. パスの使用率向上に向けた取り組み  
パス使用率を向上させるための対策を検討する。

# 血液浄化センター委員会

委員長名：物江 浩樹

## 開催実績

開催回数：年12回

定例開催日：毎月第2週火曜日

## 目標・開催目的

- ・維持透析患者数52名／年間平均
- ・透析治療の質の向上と患者獲得に向けた検討
- ・透析機器安全管理の報告および共有
- ・血液浄化センターの実績の共有

## 実績

| 項目         | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 外来維持透析件数   | 6,293  | 5,806  | 6,992  | 7,929  | 6,705  |
| 入院透析件数     | 276    | 980    | 1,299  | 1,555  | 1,427  |
| 出張透析件数     | 73     | 142    | 232    | 214    | 93     |
| 合計         | 6,642  | 6,928  | 8,523  | 9,698  | 8,225  |
| 3月末外来維持患者数 | 40     | 44     | 50     | 49     | 50     |
| 平均外来維持患者数  | 41.6   | 39.4   | 47.2   | 50.5   | 46.3   |
| 新規透析導入件数   | 1      | 18     | 23     | 16     | 19     |

## 2025年度目標

入院・外来患者含めて30人／日平均

維持透析患者数52名／年間平均

透析治療の質の向上および患者獲得および増収に向けた検討を行う。

## 2024年度総括

コンソールおよびRO水の毎月の定期点検実施。生菌およびエンドトキシンの検出は認められなかった。職員の人員配置の変更に伴い午前・午後共に透析の入室時間を早め、より安全な人員配置での透析治療の提供について内容の共有および検討を実施した。

9月に神奈川県での被災を想定した透析災害訓練に参加した。横浜市の災害時の透析医療の課題が確認できた。

Covid陽性患者への対応に関して、入退室時の曝露防止についての検討を実施し、より安全な方法で入退室できるよう改善した。

午前患者の増加に伴い、午後クールでの入院患者対応について検討し受け入れ体制を整備した。

## 研修委員会

委員長名：田淵かおり

### 開催実績

開催回数：年12回

定例開催日：毎月第4週火曜日

### 目標・開催目的

病院理念を基盤に、職員ひとり一人がチーム及び組織の中で自己の役割を、責任をもって遂行し、よりよい医療を提供できるようになることを目的に人材育成を行う。

### 2024年度総括

#### <新人職員研修>

2024年6月21日・10月30日に研修生37名、ファシリテータ9名で開催した。

前年度までは、6月開催1回のみであったが10月に第2回を開催した。第2回は離職やリアリティショックを予防するためのリフレッシュ研修とした。結果、ねらいは達成できたと評価する。

#### <2年目職員研修>

第1回を2024年8月16日に研修生29名、ファシリテータ9名で開催した。第2回は、2025年2月21日に研修生27名、ファシリテータ8名で開催した。第1回がお盆期間であったため参加できない職員が複数名いた。後日伝達講習をおこない第2回に参加してもらった。

#### <中堅職員研修>

第1回を2024年7月9日に、第2回を2024年8月9日、第3回を2024年10月2日、第4回を2024年11月に、第5回を2025年1月30日に研修生12名、ファシリテータ9名で開催した。e-learningを活用し自己学習時間を導入し、研修全体の構成や時間配分を検討しながら実施した。

#### <アドバンス研修>

2024年11月15日に研修生14名、ファシリテータ9名で開催した。

前年度に引き続き、事前学習にe-learningを活用し、集合研修はグループ討議などを中心に行った。

### 2025年度目標

病院理念に基づいた“育てたい人材”のイメージを大切にしつつ、研修生の特性や様々な社会状況に柔軟に対応した研修内容や学習方法を検討していく。併せて、研修委員自身の研鑽も取り組んでいく。

## 減免・無料低額診療委員会

委員長名：山本 功二

### 開催実績

開催回数：年7回  
定例開催日：毎月第2週火曜日

### 目標・開催目的

生活困窮者の医療費の一部または全額を免除し、必要な医療を受け自立した日常生活を営めるよう支援する。

### 2024年度総括

2024年度の減免率は12.1%だった。そのうち、ソーシャルワーカーが介入し、無料低額診療事業の対象になったのは5件あった。入院をきっかけに仕事復帰することが困難であり、生活保護制度につながるまでの医療費を減免するケースが多くあった。患者の社会背景に合わせて、必要な制度につながることで継続して医療にかかることができていた。

昨年度に目標としていた、院内外に対する無料低額診療事業の周知活動を行うことができなかったため、今年度に引き続き委員会で検討していきたい。

### 2025年度目標

- ・無料低額診療事業を行うための条件となる基準を全て満たし、当該事業における減免実績が患者総数の10%以上となるよう努める
- ・院内外に対する「無料低額診療事業」について周知方法について検討していく

## 広報委員会

委員長名：齋藤 徹

### 開催実績

開催回数：年12回  
定例開催日：毎月第2週金曜日

### 目標・開催目的

利用者および職員に当院を理解していただき、また当院と利用者および職員をつなぐものとしての広報活動を目的とし広報委員会を開催する。

### 2024年度総括

- ・季刊誌「聖隷よこはま」(No.145～147)を年4回、各2,500部発行
- ・外来診療担当表を毎月1日に3,000部発行
- ・季刊誌および外来診療担当表の企画立案・執筆・校正作業
- ・2024年度年報（第15号）PDFデータ作成、HP公開のみ
- ・ホームページの「聖隷よこはま～スタッフブログ～」の継続更新、アクセス解析及びモバイル利用件数の把握（毎月）
- ・社内報「SEIREI」の企画立案・執筆
- ・院内掲示管理（年1回）

### 2025年度目標

- ・広報活動を通し聖隷横浜病院のファンを院内・院外に増やすし、「集患」へつなげる

## 購入委員会

委員長名：山本 功二

### 2025年度目標

経年劣化が進んでいる備品類の更新検討や新規購入を計画的に行い、購入の価値分析（必要性、効用性、費用対効果、使用満足度、廉価性、標準化）に基づいた審議を引き続き行っていく。

### 開催実績

開催回数：年12回

定例開催日：毎月第4週木曜日

### 目標・開催目的

3千円以上20万円未満の医療消耗備品・消耗備品の購買及び設備修繕における妥当性・必要性・公平性・汎用性等を、多職種からの考察をもって適正に判断するために行う。

### 2024年度総括

#### ○医療消耗備品の部

申請総数136件のうち新規は19件、増数は23件、消耗交換は93件、紛失は1件の申請であった。新規のうち約5割が、眼科オペ再開に伴い必要な器材・鋼製小物等の購入であった。また、組合共同購入品として、病棟共通で使用する「衝撃吸収マット」のまとめ購入を行った。

増数・消耗交換では、約3割が手術室で使用する消耗器具類で、増加傾向がある整形外科手術器材の購入が目立った。

#### ○消耗備品の部

申請件数66件のうち新規は20件、増数は5件、消耗交換は41件の申請であった。新規のうち、約3割が院内託児所病児保育の新規運用開始に伴い必要な備品の購入であった。

消耗交換では、4割が什器、生活家電等であり、新規購入から7~8年程度経過しているものの交換が多くみられた。

# NST委員会

委員長名：永井 啓之

## 開催実績

開催回数：年6回

定例開催日：奇数月第4週木曜日

## 目標・開催目的

当委員会はNST（栄養サポートチーム）の活動、運営に関する事項の審議や養成セミナー、合同カンファレンスの企画開催など、NST全体のマネジメントを行う。

## 2024年度総括

1. NST加算算定病棟での積極的な栄養介入（東3病棟・西1病棟）
2. 9月より東2病棟がNST加算算定病棟となる
3. NSTセミナーを年1回開催、商品説明等の勉強会

## 【第1回】

アボットジャパン製品紹介（グルセルナREX）

## 【第2回】

大塚製薬工場製品紹介（イノラス）

## 【第3回】

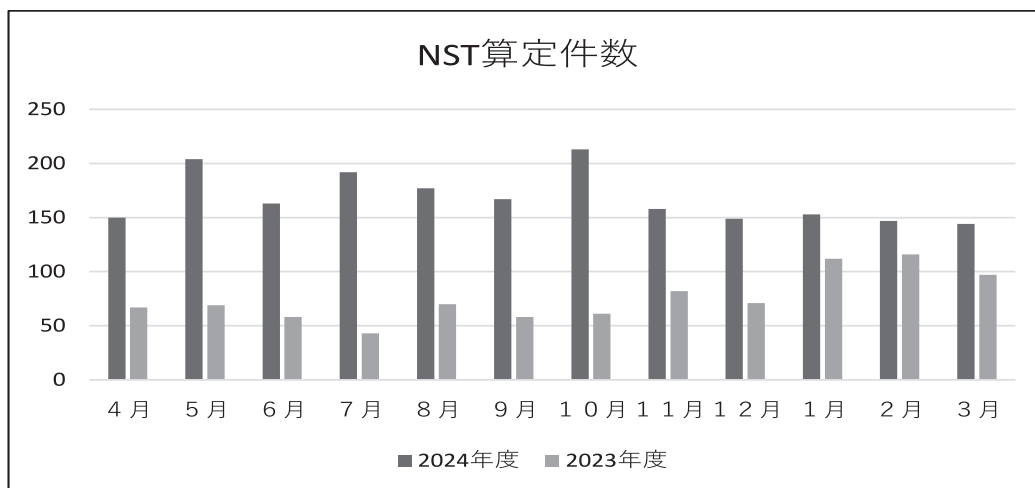
- ・『重症病態での早期栄養管理の重要性に関して』1症例
  - ・ニュートリー(株)より、経腸栄養剤の合併症対策についての説明会とマーメッドの製品紹介
4. 経腸栄養剤の使用実績と内容の検討
  5. 栄養管理体制の改訂

診療報酬改定でGLIM基準を入院時やNSTで用いることとなり、栄養管理計画書やNST管理記録をテンプレートでの作成に変更

## 2025年度目標

- ・栄養管理にかかわる所定の研修を修了した、常勤医師・看護師・管理栄養士・薬剤師の拡大と各病棟への配置
- ・NST加算病棟の拡大
- ・栄養管理における最先端の知識の普及
- ・より実践に活かしやすい内容の勉強会実施

## 実績



| NST算定件数 | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計   |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 2024年度  | 150 | 204 | 163 | 192 | 177 | 167 | 213 | 158 | 149 | 153 | 147 | 144 | 2017 |
| 2023年度  | 67  | 69  | 58  | 43  | 70  | 58  | 61  | 82  | 71  | 112 | 116 | 97  | 904  |

## 褥瘡対策委員会

委員長名：齋藤 徹

### 開催実績

開催回数：年6回

定例開催日：偶数月第4週水曜日

### 目標・開催目的

推定褥瘡発生率1.2%未満、ステージ3以上の褥瘡発生ゼロ、院内褥瘡発生患者数80名以下

### 2024年度総括

2024年度の推定褥瘡発生率は1.7%、褥瘡発生患者数は91名、ステージ3以上の褥瘡発生は1名だった。褥瘡発生部位としては、踵部に一番多く発生し、次いで仙骨、尾骨の順に多かった。NPUAP分類ではステージ1とステージ2の褥瘡が全体の81%を占めており浅い段階で発見できていたと考える。しかしステージ4の褥瘡が1名発生した。麻痺側の左腓骨骨折で装具固定し保存的治療を行っていたが左下肢が外旋していることが多く、疼痛などの感覚もなく左下腿に発生した。当院の褥瘡発生の要因は自力体位変換が困難で、骨突出があり、栄養状態は低く、呼吸困難感や疼痛により得手体位がある患者の発生が多かった。また自力体位変換ができない患者に体位変換やポジショニングを行っているが、その際に踵まで減圧ケアを徹底することが大切であった。医療関連機器圧迫創傷（MDRPU）による褥瘡は11名発生しており、発生の原因となった医療機器は弾性ストッキング・弾性包帯、非侵襲性陽圧換気マスク、介達牽引、尿道カテーテルだった。MDRPUの予防は、医療機器の装着部位の保護と皮膚の観察を行っていくことが大切であると考えます。

### 2025年度目標

「推定褥瘡発生率1.2%未満、ステージ3以上の褥瘡発生ゼロ、院内褥瘡発生患者数80名以下」入院時の褥瘡診療計画書で自力体位変換困難、骨突出あり、栄養状態の低下、体圧ケア不足、湿潤やずれがある患者は褥瘡予防の看護計画の立案、実施、評価を行っていく。

## 役割分担推進委員会

委員長名：野澤 聡志

### 開催実績

開催回数：年7回

定例開催日：毎月第3週木曜日

### 目標・開催目的

医師および看護職員の負担軽減等を目的として、多職種による役割分担を推進・調整する。

### 2024年度総括

診療体制の変更や業務整理を進めていく中で生じる課題について、タスクシェア・タスクシフトの視点を含めて多職種で検討し、安全な医療サービスの提供に努めてきた。また医師・医療従事者の負担軽減計画や看護職の負担軽減計画を策定し、目標達成に向けた活動を推進してきた。

- ・ 新任常勤医師オリエンテーションの実施（1回）
- ・ 病院勤務医、看護師の負担軽減計画の立案と評価、次年度計画の検討
- ・ 特定看護師による末梢挿入型中心静脈カテーテル抜針、血糖コントロールの実施
- ・ 薬剤課による定期内服処方代理入力の拡大
- ・ 検査課による外来での気道可逆性検査時のサポート（ネブライザー運搬と、検査説明・実施）
- ・ 放射線課スタッフによる造影剤ルートの抜針
- ・ リハビリテーション課で気管チューブ内の吸引技術を学ぶための勉強会・講習会開催
- ・ 臨床工学室（CE）による内視鏡処置（内視鏡的逆行性胆道膵管造影）の補助拡大
- ・ 医師事務作業補助者増員による予診聴取の診療科拡大
- ・ 多職種カンファレンスでの書記の役割分担拡大
- ・ 病棟と医事課の退院会計時の流れを見直したことによる業務の簡略化

### 2025年度目標

医師の働き方改革を軸に始まった多職種でのタスクシフト・タスクシェアはおおむね落ち着いてきた。一方で、それぞれの職種の人員不足も目立ってきており、単にタスクシフト・タスクシェアの思考では業務遂行が難しい場面も増えてきた。提供するサービスを「線」でつなぐために、困っている場の状況を踏まえ、職種にとらわれない様々な視点から業務を検討していく。

## 個人情報管理委員会

委員長名：平野 進

### 開催実績

開催回数：年12回

定例開催日：毎月第2週木曜日

### 目標・開催目的

個人情報保護法と厚生労働省のガイドラインに基づき定められた聖隷横浜病院個人情報保護方針に従って、個人情報の正しい管理と運用を行うことを目標とする。

### 2024年度総括

個人情報管理委員会では、個人情報の提供（診療情報の開示）に関する審査を随時実施し、個人情報の適正な管理のため、院内システムのセキュリティ対策について検討を行っている。

以下に2024年度の主な活動内容を挙げる。

- ・個人情報提供（診療情報の開示）審査
- ・個人情報の取扱いに関するインシデントの報告と対策検討
- ・入職者への個人情報取扱いに関するオリエンテーションの実施
- ・全職員を対象とした個人情報・院内セキュリティ勉強会（e-learning）の実施  
2024年12月9日～2024年12月20日開催『2024年度・個人情報プライバシー勉強会・サイバー攻撃の今と日常の心構え』
- ・迷惑メール、インターネット利用における注意喚起
- ・職員への個人情報保護に対する注意喚起
- ・標的型攻撃メール訓練の実施
- ・貸出USBメモリ棚卸し

### 2025年度目標

2025年度も、多発するサイバー攻撃への対策を講じるため厚生労働省発行の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第6.0版」へ準拠した院内規程やマニュアル等の見直しを行う。また有事の際速やかな対応ができるよう、サイバー攻撃および個人情報インシデント発生時の対応手順の作成・院内周知を行う。

## 診療情報管理委員会

委員長名：平野 進

### 開催実績

開催回数：年12回

定例開催日：毎月第2週木曜日

### 目標・開催目的

診療情報管理業務の効率的な運用のために、診療録に関する事項を検討、討議する活動を行い、質の高い診療録の管理及び診療記録を用いた適切なインフォームドコンセントを達成することを目標とする。

### 2024年度総括

- ・新規診療記録審査。
- ・診療記録の量的監査実施と結果報告。
- ・診療記録の質的監査実施と結果報告。
- ・診療録管理体制加算1の算定に向けた取り組み。
- ・退院サマリーの退院後14日以内記入に向けた取り組み。
- ・死亡解剖統計報告。
- ・ICD分類別疾病統計表の作成・報告。

### 2025年度目標

- ・診療録管理体制加算1の算定条件である退院後14日以内の退院サマリー記入率90%以上の継続に向けた取り組みを行う。
- ・診療記録の量的・質的監査を実施し、各診療科へ結果報告を行い診療録の規定に基づいた診療記録の質向上を図る。
- ・同意書の代筆・代諾の区別を明確にするための運用・同意書の整備を行う。
- ・院内保管規定10年を過ぎた外来・入院診療記録の廃棄と院内カルテ庫の整理。

## 図書委員会

委員長名：河合 慧

### 開催実績

開催回数：年6回  
定例開催日：偶数月第3週水曜日

### 目標・開催目的

- ・ 図書利用の周知
- ・ 定期購読雑誌の継続確認
- ・ 各部署の図書管理
- ・ 図書の整理

### 2024年度総括

- ・ 古書の清掃
- ・ 電子ジャーナルの入れ替えと更新
- ・ ジャーナル以外の書籍の検討

### 2025年度目標

- ・ 図書室の利用促進
- ・ 新書の購入

## 診療報酬適正化委員会

委員長名：波多野 孝史

### 開催実績

開催回数：年12回  
定例開催日：毎月第4週金曜日

### 目標・開催目的

診療報酬請求の適正化を目的として、以下の取組を行う。

- ・ 毎月の返戻・減点・再審査請求の傾向分析
- ・ DPC 出来高差上位・下位事例からの傾向分析
- ・ 適切なDPCコーディングの理解
- ・ 診療報酬制度のより深い理解と適正な請求を推進するための勉強会を開催

### 2024年度総括

- ・ 査定事例を毎月報告・検討し、最新の査定傾向を理解するとともに、多職種視点で査定対策を行い当該診療科に指導および助言を行った。
- ・ 再審査請求事例の検討を強化し、再審査請求件数・復活率の増加につなげた。  
(再審査提出件数：2023年度55件→2024年度80件)  
(再審査復活率：2023年度4.3%→2024年度41.3%)  
※2025年7月現在
- ・ DPC コーディング確認の取組みを継続し、部位不明コードについて、10%未満を維持した。
- ・ 保険診療に関する講習会を、下記期間・内容にて対面形式とe-Learning上で実施した。  
第1回 2024年6月28日「2024年度診療報酬改定」(対面開催)  
第2回 2025年2月20日～3月21日「DPCとDPC制度」(e-Learning開催)

### 2025年度目標

- ・ 査定・返戻傾向を分析し、適正な診療報酬請求を多職種間で検討する。
- ・ 積極的な再審査請求に取り組み、請求復活率のさらなる向上を目指す。
- ・ 令和8年度診療報酬改定の動向を踏まえた保険請求勉強会を開催する。
- ・ DPC制度と傷病名コーディングについて、事例を元に検討し理解を深める。

## 接遇委員会

委員長名：竹下 宗徳

### 2025年度目標

接遇だよりを再開し、改訂した「接遇マニュアル」を紹介する。利用者の声の確認、話し合いを継続していく。全職員が全ての利用者・患者に対する接遇、及び職員同士の接遇への理解を深め、相手の立場に立った行動ができるよう、接遇のスキルを身につけ向上するよう推進していく。

### 開催実績

開催回数：年11回

定例開催日：毎月第2週金曜日

### 目標・開催目的

職員の接遇マナーを向上させることで、利用して下さる方々の安心感・満足感につなげる。また、職員の快適な職場環境の形成を目的として聖隷横浜病院接遇委員会（以下、委員会）を開催する。

### 2024年度総括

#### 1. 利用者の声の確認

利用者の声やグーグルの口コミを確認、その中で気になった内容について話し合いや時にはロールプレイをし、相手の立場になり何を求めているか、どのような対応がいいかを考えることや知ることができた。

#### 2. 接遇マニュアルの見直しと修正

2025年の改訂に向け2024年度に見直しと修正を行った。

#### 3. 接遇勉強会の実施

委員会内だけでなく、希望部署への勉強会を行い、接遇に関して学んでもらう。

#### 4. あいさつの取り組み

前年度より継続し、ポスター掲示や接遇委員が積極的にあいさつを行い職員の挨拶に対する意識を高めることが出来た。

## 病院安全管理委員会

委員長名：波多野 孝史

### 開催実績

開催回数：年12回

定例開催日：毎月第3週水曜日

### 目標・開催目的

当院利用者の安全性の確保および向上を図るため、医療行為、その他業務における危険性の認知、分析と対策、実行を統合して行う。

### 2024年度総括

#### 1. 安全管理体制の評価と職員間での共有

- ・14件の事例検討を行いマニュアルの運用方法や再発防止策などを決定、職員へ周知した。
- ・医療安全マニュアルについて、6のマニュアル・指針について策定、改定、廃止を行い、セーフティマネージャーと共有した。
- ・医療安全標語の募集を行い、職員へ医療安全への関心を高める取り組みをした。

#### 2. 研修実施

e-ラーニング SafetyPlusにて研修を実施し、未受講者に対して資料及び確認テストを配布し伝達講習を実施した。

- ・職員医療安全研修：「患者を正しく識別する」受講率100%  
(対象職員719名、受講者719名)
- ・医薬品安全管理セミナー：「せん妄ケアアルゴリズムについて」受講率93.2%  
(対象職員695名、受講者648名)

#### 3. 医療安全推進週間の取り組み

11月24日～30日を当院の医療安全推進週間とし、職員の安全意識向上に努めた。

- ・厚生労働省より公開されている他医療機関や医療関係団体等における医療安全の取り組み動画を視聴

- ・職場での医療安全の取り組みを共有
- ・職場ラウンド
- ・「患者安全GoodJobアワード」を開催し、良い取り組みを表彰

#### 4. 他施設との連携

横浜保土ヶ谷中央病院（加算1連携病院）、育生会横浜病院（加算2連携病院）との相互ラウンドを全3回実施した。

### 2025年度目標

1. 患者誤認事例削減（全IAレポートの2.0%以下）
2. 転倒転落による患者影響レベル3b以上の件数削減（入院延べ患者数の0.20%以下）
3. 医師のIA報告件数の増加（年間30件以上）
4. 医療安全管理体制の拡充
5. 職員医療安全研修の継続
6. 医療安全対策地域連携加算1取得継続

## 防災委員会

委員長名：青井 瑞穂

### 開催実績

開催回数：年6回  
定例開催日：奇数月第2週木曜日

### 目標・開催目的

火災予防及び防災対策の強化を図るとともに職員の防災意識、知識の向上を図る。

### 2024年度総括

#### ○地域防災活動

- ・保土ヶ谷区火災予防協会連絡会
- ・保土ヶ谷区・南区通信訓練
- ・南区のぼり旗掲出訓練
- ・神奈川県広域災害医療（EMIS）訓練
- ・保土ヶ谷区自衛消防隊技術訓練会
- ・神奈川県大規模地震時医療活動訓練

#### ○防災訓練

- ・地震訓練  
開催日程：10月24日(木)  
開催時間：14：00～14：30  
訓練内容：地震発生時の初動対応訓練

- ・火災訓練

開催日程：2月27日(木)  
開催時間：14：00～14：30  
訓練内容：夜間想定火災訓練（初期消火・通報・避難誘導訓練）

#### ○防災巡視の実施

防災意識の向上を目的に病棟の防災巡視を実施し、避難経路上・消火設備前の物品放置などを中心に巡視を実施した。

### 2025年度目標

定期的な訓練を通じて、災害発生時の適切な行動の習得及び周知を行い、災害発生時の被害を最小限に抑え、患者や職員利用者の安全を確保する。

## 安全運転委員会

委員長名：青井 瑞穂

### 開催実績

開催回数：年3回  
定例開催日：奇数月第2週木曜日

### 目標・開催目的

交通ルールの遵守と正しい交通マナーの周知により安全運転意識の推進を図り交通事故防止の徹底を図る。

### 2024年度総括

#### ○交通安全クイズの実施

期間：2024年1月6日(月)～1月31日(金)

#### ○交通安全講習会の開催

開催日時：2025年3月24日(月)16：00～16：40

開催場所：A棟4階 大会議室

講演内容：・近年の交通事故事情

- ・交通事故を防ぐには
- ・交通事故を起こしてしまった際の行動

#### ○業務用車両運転前の酒気帯び確認

- ・公用車使用前後の酒気帯び確認の実施
- ・飲酒運転撲滅運動の周知

### 2025年度目標

交通安全関連の法令・マナーに関する情報の発信や安全運転講習会などにより、職員の安全運転意識の向上に努め、ハイリスク事故0件を目指す。

## 薬事（治験）委員会

委員長名：高岡 雄一

### 開催実績

開催回数：年6回

定例開催日：偶数月第4週火曜日

### 目標・開催目的

医薬品等選択の審議決定を通し、医薬品の適正使用及び薬剤管理の合理的運営に資する。

### 2024年度総括

- ・ 隔月（偶数月）の第4火曜日に計6回（第129～第134回）開催され、各薬剤の採用・中止などについて審議・決定された。
- ・ DPC対策として、経済性、安全性、安定供給、情報提供の充実度などを総合的に考慮した結果、第130回委員会において2薬剤を、第131回委員会において2薬剤を、第133回委員会において6種7薬剤を後発品へ変更した。

この結果、2025年3月度の後発使用の数量割合は基準値の90%を超え、後発品使用体制加算1を算定している。

- ・ 2025年3月31日現在、後発医薬品採用品目率（院外限定を除く）が23.18%となり、中核的医療機関として使用促進を図った。
- ・ 使用期限切迫薬剤及び使用期限切れ薬剤の削減のため採用区分変更検討を行い、第129回で2剤、第130回で1剤、第132回で2剤、第134回で1剤の採用区分変更が承認された。
- ・ すでに運用されている「保険薬局薬剤師との連携による院外処方箋に関する疑義照会簡素化プロトコル」が問題なく運用されていることが第131回委員会で報告され、第134回委員会において介入項目2つの追加が承認された。
- ・ 医薬品による健康被害情報報告書作成の報告は1件、医薬品安全性情報報告書作成は1件であった。

### 2025年度目標

- ・ DPC対策として、後発医薬品採用品目・使用率の増加検討、フォーミュラリー策定と活用を検討。
- ・ 医薬品の適正使用、安全使用のための対策を検討。

### 実績

2024年3月31日現在の採用薬剤数

|                 | 内服     | 外用     | 注射     | 計      |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|
| 採用薬剤数           | 1060   | 409    | 547    | 2016   |
| 院外限定            | 541    | 181    | 23     | 745    |
| 用時購入            | 68     | 22     | 164    | 254    |
| その他採用区分         | 451    | 206    | 360    | 1017   |
| 後発品目数           | 181    | 45     | 121    | 347    |
| 後発品目数<br>(院外限定) | 50     | 13     | 1      | 64     |
| 後発品比率<br>(院内)   | 25.24% | 14.04% | 22.90% | 22.27% |

2025年3月31日現在の採用薬剤数

|                 | 内服     | 外用     | 注射     | 計      |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|
| 採用薬剤数           | 1073   | 424    | 553    | 2050   |
| 院外限定            | 559    | 196    | 18     | 773    |
| 用時購入            | 68     | 23     | 165    | 256    |
| その他採用区分         | 446    | 205    | 370    | 1021   |
| 後発品目数           | 188    | 48     | 124    | 360    |
| 後発品目数<br>(院外限定) | 50     | 13     | 1      | 64     |
| 後発品比率<br>(院内)   | 26.85% | 15.35% | 22.99% | 23.18% |

## 輸血療法委員会

委員長名：永井 啓之

### 開催実績

開催回数：年6回

定例開催日：奇数月第4週金曜日

### 目標・開催目的

1. 輸血運用について検討し、必要に応じて改善する
2. 輸血マニュアルを最新の情報に基づき作成・改訂し、随時更新および啓発することで安全な輸血療法実施を推進する
3. 血液製剤及び血漿分画製剤の適正使用を推進し、適正使用加算の算定継続を目指す
4. 安全な輸血療法実施を目的とした輸血勉強会を、年1回以上開催する
5. 輸血療法の説明および同意書の取得・輸血実施時の3点認証の徹底を推進する
6. 同意書の取得漏れ及び内容不備件数の減少

### 2024年度総括

1. 院内における血液製剤及び血漿分画製剤の使用状況と輸血副作用の把握
2. 輸血適正使用加算の算定基準達成
3. 輸血同意書、血漿分画製剤同意書の取得状況及び記載内容不備件数の把握
4. 輸血管理料Ⅱおよび適正使用加算取得状況の把握
5. 輸血マニュアルの改訂
6. 輸血副作用の種類と副作用発生時の対応についての輸血療法勉強会を開催

### 2025年度目標

1. 輸血運用について検討し、必要に応じて改善する
2. 輸血マニュアルを最新の情報に基づき作成・改訂し、随時更新および啓発することで安全な輸血療法実施を推進する
3. 血液製剤及び血漿分画製剤の適正使用を推進し、適正使用加算の算定継続を目指す
4. 安全な輸血療法実施を目的とした輸血勉強会を、年1回以上開催する
5. 輸血療法の説明および同意書の取得・輸血実施時の3点認証の徹底を推進する
6. 同意書の取得漏れ及び内容不備件数の減少

## 臨床検査適正化委員会

委員長名：横山 元昭

### 開催実績

開催回数：年6回

定例開催日：偶数月第4週金曜日

### 目標・開催目的

1. 外部精度管理調査に参加し、検査精度の向上に努める
2. 医療安全と検査効率を考慮した運用方法を検討する
3. 新規検査項目導入や測定方法の変更などを検討し、関係部署への迅速な啓発を行う
4. 検査依頼件数および診療報酬査定状況をふまえ、臨床検査の適正化を図る

### 2024年度総括

1. 検査室運営状況報告として以下5点を定例報告し、委員会で情報共有した
  - (ア)検査件数及び診療報酬請求点数  
共に昨年度を上回る実績となった。
  - (イ)内部・外部精度管理調査報告  
概ね良好な結果であった。一部のCおよびD評価項目については、担当者へフィードバックを行った。
  - (ウ)COVID-19抗原・インフルエンザ抗原検査件数  
12月は、院内クラスター発生およびインフルエンザの流行により、過去5年間で最高件数となった。
  - (エ)ポータブル検査件数  
年々ポータブル心電図の依頼件数が増加している。
  - (オ)採血室の時間毎の患者数及び待ち時間報告  
火曜日と水曜日の待ち時間が増加傾向であるが、金曜日の待ち時間が減少しており、平均化されてきている。

2. 院内実施検査項目及び外部委託検査項目の内容変更について検討、周知した
3. 血液培養装置の導入および培養ボトルのラベル貼付方法について周知した
4. 検体採取容器（嫌気ポーター）の変更について周知した
5. 採血管の値上げに対応するため、より安価な他メーカーの採血管へ変更した

### 2025年度目標

1. 外部精度管理調査に参加し、検査精度の向上に努める
2. 医療安全と検査効率を考慮した運用方法を検討する
3. 新規検査項目導入や測定方法の変更などを検討し、関係部署への迅速な啓発を行う
4. 検査依頼件数および診療報酬査定状況をふまえ、臨床検査の適正化を図る

# 倫理・臨床研究審査委員会

委員長名：兼子 友里

## 開催実績

開催回数：年12回

定例開催日：毎月第3週火曜日

## 目標・開催目的

聖隷横浜病院において行う医療行為及び医学研究の実施にあたり、「リスボン宣言」「ヘルシンキ宣言」の趣旨に沿った倫理上の指針を尊重し倫理的配慮を図る。

## 2024年度総括

2024年度は当院の倫理指針に基づき26件の審議検討を行った。

第1回：2024年5月10日（回覧審査）

- ・ペディクルスクリューシステム刺入方法における固定性・術後変化に関する調査（症例数追加）
- ・症例報告（膠原病・リウマチ内科）
- ・排尿障害患者に対する排尿ケアチームの治療内容および予後に関する研究

第2回：2024年6月7日（回覧審査）

- ・エンハーツ点滴静注用100mg 特定使用成績調査（乳癌）患者を登録対象としたトラスツズマブデルクステカン中止後の後治療に関するコホート研究（研究計画内容変更）
- ・自施設の脳血管内治療における手技ごとの造影剤使用量について（オプトアウト追加）
- ・上腹部における位相R-L方向に設定したDWIのCS-SENSEとSENSEの違いにおけるADC値の比較検討
- ・下肢MRAにおけるAI-Compressed Senseの臨床使用条件の検討
- ・症例報告（膠原病・リウマチ内科）

第3回：2024年8月5日（回覧審査）

- ・多職種連携によって心不全増悪を抑制することが可能となった複数回の入院歴を要する心不全

の一例

- ・変化する病状・ADL・患者の希望に応じて意志決定支援を病院・地域・多職種で施行できた一例
- ・多職種介入による心不全教育入院は患者セルフケア能力の向上に寄与する
- ・多職種連携による心不全教育入院の有効性について
- ・当院における心臓リハビリテーション実施までの取り組みと現状について

第4回：2024年9月3日（回覧審査）

- ・SAPHO症候群に伴う下顎骨骨髄炎に対しJAK阻害薬が有用だった一例
- ・急性心不全患者を対象としたエンパグリフロジン製剤の有効性を検討する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験
- ・緩和ケア病棟で死亡した90歳以上の超高齢がん患者の実態調査
- ・緩和ケア病棟におけるがん患者の母親を持つ未成年の子どもへの関わりについて
- ・カルシウム抑制画像カラー表示の有用性
- ・Dual Energyを活用した微少出血の検出

第5回：2024年11月21日（開催審査）

- ・脳卒中重度片麻痺患者に対する神経筋電気刺激治療と経頭蓋静磁場刺激治療の併用効果の比較

第6回：2024年12月25日（回覧審査）

- ・重症喘息における臨床的寛解に関する多施設共同研究

Japanese Prospective Cohort Evaluating Features of Patients with Uncontrolled Asthma Achieving Clinical REmission (J-CIRCLE)

第7回：2025年2月12日（回覧審査）

- ・当院救急外来においてフルマゼニルを使用した意識障害患者に関する後ろ向き観察研究
- ・大腸癌肝転移に対する肝切除術の評価
- ・症例報告（膠原病・リウマチ内科）
- ・SCUにおける早期栄養介入管理加算への取り組みに関する研究

第8回：2025年3月6日（回覧審査）

- ・腰椎側面仰臥位撮影で使用する自作補助具の使用感調査報告

## 2025年度目標

病院として検討すべき臨床倫理に関する課題及び臨床研究に関する事項について、2名の外部委員を加え、リスボン宣言やヘルシンキ宣言に示された倫理規範や、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、改定個人情報保護法等を踏まえた審議を引き続き実施する。

また、新たに立ち上げた「倫理コンサルテーションチーム」を活用して、院内で起きている倫理的課題に対して、スピーディな対応ができる組織的な体制づくりを目指す。

## 医療の質改善委員会

委員長名：平野 進

### 開催実績

開催回数：年7回

定例開催日：偶数月第1週木曜

### 目標・開催目的

#### 【目的】

病院機能評価を受けて、改善した機能を維持し更新する

#### 【目標】

1. 身体拘束最小化チームの立ち上げ
2. 包括同意としての書式作成、運用開始

### 2024年度総括

#### 1. 身体拘束最小化チームの立ち上げ

病院機能評価での指摘事項への改善策として、身体行動制限を不要とするためのアセスメントや記録等の運用を整理し院内へ周知した。認知機能低下や鎮静下以外での行動制限は不要とし、術後4点柵での身体行動制限を不要とした。また、診療報酬改訂による対応として、身体拘束最小化チームを立ち上げた。

#### 2. 包括同意としての書式作成、運用開始

患者及び患者家族の負担軽減や迅速化、記録の一元管理を目的に包括同意としての書式を作成し、「手術・治療・検査等に関連する一括同意書」として2025年2月より運用を開始した。

### 2025年度目標

1. 包括同意での問題点や課題を抽出し、より良い運用へ見直しを図る
2. 病院機能評価受審後の機能維持及び改善対策を実行し、期中の確認に対応する
3. 次回病院機能評価受審に向けて、継続的な改善活動を図る

## 特定行為管理委員会

委員長名：野澤 聡志

### 開催実績

開催回数：年2回  
定例開催日：不定期

### 目標・開催目的

看護師による特定行為についての実践状況や、安全管理上の問題・有害事象の有無などを院内で把握する。

### 2024年度総括

クリティカルケア関連に関しては、末梢留置型中心静脈栄養カテーテル（PICC）挿入や動脈血採血などを安全にタイムリーに実施。特にPICCに関しては430件実施し、研修医にも指導するなどタスクシフトを図れている。

血糖コントロール関連では、年間429件と前年度より3倍ほど件数増加。医師と手順書を交わしインスリン投与量の調整を実施。周術期などでタスクシフトを担い、現場の看護師と医師との架け橋になっている。

創傷処置関連では、褥瘡等に対する処置はほぼ特定行為者が担うなどタスクシフトが推進され、患者に最適な皮膚ケアについて助言し現場の信頼を得ている。新たに1名特定行為者が増え、今後は在宅分野でも実践できるように検討の予定。

創部ドレーン関連では、対象となる疾患の手術症例数が少ないため件数は増えず。2025年度は動脈採血を追加で研修し実践する予定。

人工呼吸器関連では、患者の状況に左右されるが、現場で医師と協働し調整が必要な患者に適切な人工呼吸器設定調整を行っている。動脈採血や挿管チューブの位置調整など新たに追加で研修開始。

また、今年度は新たに胸腔ドレーン関連で1名特定行為研修を終えている。胸腔ドレーン抜去やその管理、PICC挿入など指導者と実践中。

### 実績

2024年度 特定行為者 実践件数

|   | 坂田    | 平田    | 渡邊 | 武良 | 名倉 | 木浦 | 高橋  |
|---|-------|-------|----|----|----|----|-----|
| 計 | 1,015 | 2,657 | 69 | 4  | 46 | 11 | 187 |

### 2025年度目標

2025年度も引き続き、現場のニーズに合った特定行為をどうすれば増やしていけるか、各個人の目標値をもち、達成するための対策を練って、よりタイムリーに、安全に、実践できるよう全員で考え実践する。

---

---

## 外来運営会議

委員長名：山田 秀裕

---

---

### 開催実績

開催回数：年12回

定例開催日：毎月第1週木曜日

### 目標・開催目的

- ・外来運営に関する現状を共有し、問題点の解消、新規事項の検討を行う

### 2024年度総括

#### ○外来満足度調査の実施

実施期間：2024年12月9日(月)～12月13日(金)

回答数（合計）583枚

うち 初診：148枚 再診435枚

調査結果を会議にて共有し、接遇等の改善を促した。

#### ○患者待ち時間調査の実施

実施期間：2024年10月7日(月)～10月11日(金)

- ・外来受付エリアに到着してから診察開始までの時間を調査し、結果を院内全体へ配信した。

#### ○看護部外来健康講座実施について

毎月テーマを決めて資料を配布し、啓発を行った。

#### ○紹介患者問診廃止について

紹介患者の問診を廃止し、待ち時間の削減に寄与した。

### 2025年度目標

- ・外来運営に関する問題点の共有や新規運用についての検討
- ・外来患者増加に向けた取り組み

# 手術室運営委員会

委員長名：木下 真弓

## 開催実績

開催回数：年8回

定例開催日：毎月第1週水曜日

## 目標・開催目的

1. 手術室感染対策の強化
2. 手術枠の効率的で安全な運用の検討
3. 手術における問題の共有と対策の検討

## 2024年度総括

手術件数推移・ME機器の破損修理状況共有、術後の手術器械管理検討、手術枠の有効活用一括同意書の運用検討開始、患者情報共有検討、インチャージ制度の導入、IA共有、術後ベッド4点柵廃止、術前検査検討、など

## 2025年度目標

1. 手術枠の効率的で安全な運用の検討
2. 手術における問題の共有と対策の検討
3. 手術室感染対策の強化

## 実績

2024年度手術件数1910件（2023年度1850件）

|         | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 外科      | 25  | 36  | 29  | 33  | 29  | 20  | 31  | 30  | 31  | 24  | 23  | 23  |
| 眼科      | 17  | 22  | 23  | 28  | 12  | 18  | 30  | 30  | 20  | 28  | 21  | 21  |
| 呼吸器外科   | 7   | 5   | 3   | 7   | 6   | 5   | 2   | 6   | 4   |     | 2   | 5   |
| 心臓内科    | 7   | 7   | 11  | 6   | 7   | 7   | 2   | 11  | 3   | 3   | 9   | 7   |
| 腎・高血圧内科 | 6   | 2   |     | 3   | 2   | 2   | 3   | 4   | 4   | 5   | 4   | 3   |
| 整形外科    | 65  | 78  | 68  | 83  | 71  | 51  | 69  | 75  | 72  | 72  | 77  | 90  |
| 乳腺科     | 4   | 5   | 3   | 3   | 5   | 4   | 3   | 3   | 2   | 7   | 4   | 7   |
| 脳神経外科   | 5   | 8   | 4   | 6   | 6   | 5   | 5   | 7   | 5   | 8   | 11  | 7   |
| 泌尿器科    | 13  | 14  | 10  | 12  | 10  | 9   | 9   | 12  | 13  | 13  | 11  | 8   |
| 麻酔科     |     |     | 1   |     | 1   |     |     |     |     |     |     | 2   |
| 合計      | 149 | 177 | 152 | 181 | 149 | 121 | 154 | 178 | 154 | 160 | 162 | 173 |

## セーフティマネージャー運営会議

委員長名：田口 和美

### 開催実績

開催回数：年6回

定例開催日：奇数月最終週月曜日

### 目標・開催目的

1. セーフティマネージャーの役割に基づき、医療事故および利用者からの苦情・クレーム防止活動を行う
2. 患者および職員・病院を守るとともに医療安全管理および患者サポート体制の充実・改善・強化を目指す

### 2024年度総括

- ・ 2023年度IAレポート年間報告
- ・ 2024年度運営会議の年間計画周知、医療安全管理室重点施策の共有
- ・ ワーキンググループ活動  
患者誤認0、転倒転落に伴う有害事象発生予防対策、タイムアウト・CV認定制度、手術・検査前  
の中止薬指示統一、院内セキュリティ体制の再構築の5グループにて、活動計画を策定し取り組んだ。結果として、各種マニュアルの改定および周知、課題の気づき等、セーフティマネージャーの役割に基づいた活動が実践できた。
- ・ 患者安全管理活動の実施  
各職場の安全に関する目標を「患者安全管理活動計画書」を活用して安全管理室と共有し、共に活動した。

## 糖尿病療養運営会議

委員長名：升田 雅史

### 開催実績

開催回数：年9回

定例開催日：奇数月第1週金曜日

### 目標・開催目的

院内外の糖尿病療養指導を担うスタッフの指導力の刷新や向上を目指す

糖尿病患者に関わる各部署のスタッフが統一した内容で指導できるシステム作り

患者にとってよりよい指導・療養環境となるような環境作りを行う

スタッフの症例・実績報告や治療や指導の疑問点について医師らと話し合い、能力向上を図る場となる最新の治療や機器、薬剤に関する勉強会を開催

### 2024年度総括

5月の糖尿病学会に運営会議委員皆で参加し、SMBG機器の新機種への変更を検討した。

アボット社のリブレ1終売に伴い必然的にリブレ2に交換の形となった。

教育テキストについて、コストと当院の高齢糖尿病患者が見やすく記憶に残りやすいテキストの選定を行い、三和化学の教材とカードシステムの教材を使用する事に決定した。

新薬勉強会開催（アウイクリ注、パルモディア、インスリン付属機器エコーペン）

院内の糖尿病指導について、テキスト変更に伴い、CDEJや特定行為看護師以外のスタッフの指導可能部分とスタッフで可能な部分と区別して実施するようにし、テキストの有効性の評価を行えるようにした。スタッフの指導にかかる時間の軽減にもなったと思われる。

災害時のための患者指導マニュアルの作成は次年度に以降。準備の必要性の啓蒙として、スペシャリスト会の実施する外来患者用パンフレットを内容検討し、災害時の血糖管理として原案を提出した。

### 2025年度目標

SMBG機器交換実施

院内患者指導システムの構築

リブレセンサー事故に対する対策案の検討を放射線科と行う

各部門が介入している症例の検討会

## ボランティア運営会議

委員長名：兼子 友里

### 開催実績

開催回数：年4回  
定例開催日：3ヶ月毎の最終月曜日

### 目標・開催目的

ボランティアの募集、受け入れ、活動支援を行い、ボランティア個人のモチベーションの維持、活性化を促すと共に、職員全体でサポートできる体制の強化を図る。

### 2024年度総括

2024年度も引き続き、総合案内と縫製で活動を進めている。全体的には、夏の熱中症や台風など天候状況等により体調を優先しての活動や、新型コロナウイルス感染状況にも配慮して頑張っていた。

昨年度は、新型コロナウイルス感染以降久しぶりに「ボランティアランチ会」が開催され、ボランティアの方と職員の交流も出来たが、今年度は感染状況が落ち着かず開催することが出来なかったのは残念である。次年度は新規登録者の方もいるので、開催の方向でボランティア個人のモチベーションの維持や活性化に繋げていきたい。

### 2025年度目標

2025年度も総合案内を中心に、安全でやりがいのあるボランティア活動の強化と拡大を目指していく。

## リハビリテーション課運営会議

委員長名：内川 研

### 開催実績

開催回数：年6回  
定例開催日：奇数月第4週水曜日

### 目標・開催目的

- ①回復期病棟病床稼働向上に対する職員配置の検討
- ②急性期リハビリ運用（365日運用）の検討  
②については、6月頃、しばらくは回りハ病床稼働増にさらに対応する方針をとったため、回りハと地域包括ケア病棟のみのシミュレーションとなり急性期病棟365日シミュレーションは断念。

### 2024年度総括

以下について、関連医師および病棟スタッフと情報交換・意見交換を行った。

#### ①リハビリテーション実績報告

配置療法士人数の変化による影響や、コロナによる病棟アウトブレイクに対応した療法士配置状況などを含め、各月ごとの単位提供数の実績報告を行った。

医師から病棟別の一患者あたりへの提供単位数の状況の要請もあり、データを提示。地域包括ケア病棟患者への単位提供数が低いことなど情報を共有できた。

#### ②リハビリテーション課ヒアリング内容共有

#### ③回復期リハビリテーション病棟（以下、回復期リハ病棟）の休日リハビリ介入体制報告

#### ④採用状況報告 新人4名

### 2025年度目標

- ①各病棟におけるリハ職員配置の検討継続（回復期病棟稼働向上検証）
- ②リハビリ介入頻度を含めた稼働運用について検討

## ドック・健診室運営会議

委員長名：平野 進

### 開催実績

開催回数：年12回  
定例開催日：毎月第3週金曜日

### 目標・開催目的

私たちは、隣人愛の精神のもと、安全で良質な医療を提供し、地域に貢献し続けることを理念とし、利用者の方々が安心して選び続けられる施設である様、関係各課の代表者により円滑な運営の検討を行う。

### 2024年度総括

- ・ 聖隷横浜病院職員健診の運用調整
- ・ 運用確認と改善案の検討
- ・ 日曜乳がん・婦人科検診の運用調整
- ・ 出張インフルエンザワクチン接種運用調整
- ・ エコー検査枠の増枠調整
- ・ 聖隷関連施設の出張定期健診の運用調整
- ・ 聖隷関係施設向け出張予約の実施
- ・ WEB予約の開始
- ・ 更衣室の増設
- ・ 女性医師による診察の開始
- ・ 企業巡回健康診断の開始へ向けた運用調整
- ・ 受診者アンケートの実施
- ・ 紹介状の発行、精密検査受入れ体制の調整

### 2025年度目標

- ・ 当施設の特徴である健診と病院医療が連携できるメリットを活かしながら、予防医療を推進し、ご利用者様に永続的に選び続けていただけるドック・健診室を目指す。

## 地域連携・患者支援センター運営会議

委員長名：山田 秀裕

### 開催実績

開催回数：年12回  
定例開催日：毎月第3週木曜日

### 目標・開催目的

地域住民、近隣医療機関・介護の医療ニーズに貢献するため、院内関連部署と連携・情報共有を図り活動していくこと

### 2024年度総括

- ・ 紹介、逆紹介件数報告、検討
- ・ 紹介元への返信状況の報告、検討  
<2024年度 即日返信実績>  
上半期：99.9%、下半期：99.9%
- ・ 時間外紹介患者受入れに関する件数報告、検討
- ・ 地域連携に携わる訪問活動・各行事の報告、検討
- ・ 各月毎のテーマについて、地域連携における課題を検討し、改善に向け活動を行った
- ・ 「2025年度 診療のご案内」作成
- ・ 市民健康講話 2回開催（六ツ川一丁目コミュニティハウス）
  - ①2024年10月4日  
「あなたの骨は大丈夫？  
～知っておこう骨粗しょう症のはなし～」
  - ②2024年3月7日  
「今からできる誤嚥予防」

### 2025年度目標

地域住民・近隣医療機関・福祉・介護施設の医療ニーズを把握し、必要な医療に貢献できる様、院内関連部署と連携・情報共有し、紹介件数増加を目指し戦略的に計画を立て活動を行っていく

# 病床管理センター

委員長名：永井 啓之

## 開催実績

開催回数：年12回

定例開催日：毎月第4週水曜日

## 目標・開催目的

経営状況を踏まえ患者入退院をコントロールすることを目的とする。

数値目標は病棟稼働率86.6%、平均患者数318名以上

### 【業務内容】

1. 入院しやすい病棟稼働への支援
2. 空床に関する情報収集と提供
3. 適正な平均在院日数への支援
4. 患者の治療状況に応じた病床環境の支援
5. 地域連携・患者支援センターと連携し、長期に渡る入院患者の転棟・転院等の支援
6. 医療・看護必要度管理の安定的な基準達成に向けた取り組み

## 2024年度総括

- ・各月入院患者数報告
- ・診療科別入院経路報告
- ・入退院支援状況報告
- ・他院からの転院の受入調整
- ・随時判定会の実施
- ・特定入院料病棟の安定稼働
- ・地域包括ケア病棟の院内転棟率管理
- ・転棟対象情報の提供
- ・GWや年末年始等の連休対応（相談体制構築）
- ・重症度、医療・看護必要度と患者数検討
- ・感染症流行時の病床運用
- ・退院支援部門における退院支援運用調整
- ・重度訪問介護サービス利用調整

## 2025年度目標

病院理念に基づき、以下をふまえて効果的な病床管理に貢献するとともに、回復期病棟、緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟に焦点を立て、総合的に多様なニーズに合わせた病床管理を実践する。

1. 最後の一床まで活用し地域医療に貢献する
2. 地域住民のために急性期を中心とした医療提供と救急医療を提供する

## 実績

病棟別病床稼働率

：%

| 病棟   | 定床  | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 東1病棟 | 38  | 55.7   | 85.6   | 78.8   | 82.4   | 88.1   |
| 東2病棟 | 53  | 37.8   | 44.5   | 48.8   | 54.3   | 63.8   |
| 東3病棟 | 52  | 74.9   | 87.3   | 90.0   | 91.5   | 95.1   |
| 東4病棟 | 60  | 66.9   | 92.8   | 81.3   | 82.0   | 91.7   |
| 西1病棟 | 34  | 79.5   | 82.2   | 82.4   | 85.8   | 96.4   |
| 西2病棟 | 47  | 93.9   | 99.1   | 97.4   | 97.3   | 96.6   |
| 西3病棟 | 46  | 70.5   | 90.1   | 87.8   | 93.0   | 97.2   |
| ACU  | 8   | 72.7   | 82.0   | 73.4   | 88.7   | 95.3   |
| SCU  | 9   | 99.7   | 98.9   | 93.7   | 95.5   | 91.1   |
| B3病棟 | 20  | 59.2   | 82.2   | 80.7   | 82.1   | 86.9   |
| 全病棟  | 367 | 70.2   | 83.1   | 80.7   | 83.6   | 89.3   |

※東2病棟：新型コロナウイルス感染症回復後患者受入病棟

---

---

## 内視鏡センター運営委員会

委員長名：吹田 洋将

---

---

### 開催実績

開催回数：年6回

定例開催日：偶数月第1週金曜日

### 目標・開催目的

内視鏡センターにおける検査、治療を安全かつ円滑に施行するために、問題点の抽出・解決、関連部署の連携、設備・機器の検討を行なう

### 2024年度総括

- ・内視鏡検査枠及び業務の検討・整備
- ・内視鏡検査・治療におけるタイムアウトの導入
- ・内視鏡検査におけるIAの共有と対策の検討
- ・病理検体の取り扱いマニュアル見直しと改訂

### 2025年度目標

内視鏡センターにおける検査、治療を安全かつ円滑に施行するために、問題点の抽出・解決、関連部署の連携、設備・機器の検討を行なう

---

---

## 膠原病・リウマチ内科運営会議

委員長名：山田 秀裕

---

---

### 開催実績

開催回数：年4回

定例開催日：毎月第3週金曜日

### 目標・開催目的

- ・スタッフ間の連携を円滑に行い、入外患者の診療の質を高める。
- ・毎月第3金曜日にセンター運営会議を開催し、情報共有と今後の方針を相談する。
- ・関節リウマチ患者を対象としたリウマチ包括ケアを推進する。
- ・地域連携・患者支援センターや総務課と共同して広報活動やホームページ作成を行う。

### 2024年度総括

安定の年でした。

### 2025年度目標

- ・スタッフ間の連携を円滑に行い、入外患者の診療の質を高める。
- ・毎月第3金曜日にセンター運営会議を開催し、情報共有と今後の方針を相談する。
- ・関節リウマチ患者を対象としたリウマチ包括ケアを推進する。
- ・地域連携・患者支援センターや総務課と共同して広報活動やホームページ作成を行う。
- ・装具外来の患者を増やす。
- ・リハビリ処方をもっと増やす。
- ・ホームページの疾患内訳リストを毎年更新する。

## 乳腺センター運営会議

委員長名：徳田 裕

### 2025年度目標

転移再発、進行乳癌における、ガンゲノム解析を更に積極的に導入していく。

また、術後ハイリスク症例に対する、オンコタイプDXを更に推進していく。

### 開催実績

開催回数：年9回

定例開催日：毎月第4週火曜日

### 目標・開催目的

患者中心の最先端医療を提供するために、多職種のスタッフより構成されるセンターのシステム構築とその改良および発展を目標とする。

構成メンバーは、以下のとおりである。

化学療法担当看護師、病棟看護師、放射線課（マンモトームを含む）、検査課（遺伝子検査、超音波検査）、地域連携室（センチネルリンパ節生検用RI注射及びリンパ節スキャン）、医師事務作業補助者、医療情報管理課、ドック・健診科などのスタッフ

### 2024年度総括

2024年6月よりマンモグラフィーを全症例2方向から4方向（トモシンセシス）の撮影に変更した。これにより、乳癌の検出感度が上昇した。

また、2024年12月より横浜市立大学附属市民総合医療センター・がんゲノム診療科へ、遺伝子パネル検査の依頼を開始した。この検査で適応が認められると、トルカプなどの薬剤の使用が認められるため、治療の選択肢が増えた。

### 2024年度主要項目実績

乳がん感受性遺伝子（BRCA1/2）検査の施設認定を獲得しており、2024年度の検査数は、31例であった（前年度44例）。

センチネルリンパ節生検実施症例数の増加にともない、2021年よりみなと赤十字病院にRI注射を委託し、運用を開始しているが、2024年度の症例数は11例となり、従来の市大センター病院と合わせると合計34例であった。

## 緩和ケア病棟運営委員会

委員長名：木下 真弓

### 目標・開催目的

- 効果的な病床運用について
- 面会ルールの整備・修正
- 患者獲得へ向けての広報活動の検討など

### 開催実績

開催回数：年6回

定例開催日：偶数月不定期金曜日

### 2024年度総括

#### 2024年度 緩和ケア病棟 入退棟データ

|          | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月 | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 計    |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|
| 入棟相談外来件数 | 39   | 38   | 38   | 46   | 40   | 36   | 37   | 43  | 42   | 40   | 37   | 42   | 479  |
| 院内紹介     | 6    | 8    | 11   | 11   | 7    | 9    | 7    | 8   | 9    | 14   | 9    | 13   | 112  |
| 院外       | 33   | 30   | 27   | 35   | 33   | 27   | 30   | 35  | 33   | 26   | 28   | 29   | 356  |
| 入棟患者数    | 25   | 25   | 24   | 24   | 27   | 27   | 23   | 26  | 31   | 27   | 25   | 31   | 315  |
| 自宅からの入院  | 13   | 11   | 9    | 13   | 17   | 18   | 14   | 9   | 21   | 13   | 12   | 13   | 163  |
| 病院からの転院  | 7    | 8    | 6    | 7    | 4    | 3    | 4    | 5   | 5    | 6    | 9    | 9    | 73   |
| 当院→転棟    | 5    | 6    | 9    | 4    | 6    | 6    | 5    | 12  | 5    | 8    | 4    | 9    | 79   |
| 入棟待機日数   | 3.2  | 2.1  | 2.6  | 3.9  | 3.9  | 3.9  | 3.3  | 3   | 2.7  | 2.6  | 3    | 2.2  |      |
| 転帰       |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |
| 死亡退院     | 20   | 18   | 22   | 20   | 26   | 20   | 21   | 19  | 25   | 23   | 22   | 27   | 263  |
| 自宅退院     | 4    | 3    | 2    | 0    | 1    | 3    | 1    | 1   | 4    | 5    | 3    | 2    | 29   |
| 施設退院     | 3    | 1    | 1    | 0    | 1    | 0    | 1    | 4   | 1    | 0    | 0    | 2    | 14   |
| 転棟/転院    | 0    | 0    | 0    | 0    | 2    | 2    | 1    | 1   | 1    | 1    | 1    | 0    | 9    |
| 入棟日数     | 19.2 | 14.4 | 21.1 | 27.4 | 18.4 | 18.6 | 23.5 | 26  | 17.4 | 22.8 | 15.6 | 17.8 | 20.1 |

2024年度、入棟相談外来受診者は478名。院外からの紹介が減少しているが、院内紹介からの転棟が増え315名の入院を受け入れることができた。転院や近隣クリニックからの早期入棟に対応できるよう病床管理をおこない、待機日数の減少に繋がった。在宅からの入院が半数を占め、今後も近隣医療機関との連携を強化できるように、効果的な病床運用を行い、患者獲得へ向けて広報活動の検討を行った。

### 2025年度目標

- 患者の苦痛緩和のために、緩和ケアの質向上を行う
- 効果的な病床運用の継続（病床稼働率95%を目指すため）
- 患者獲得へ向けての広報活動の検討

## 情報システム運営会議

委員長名：平野 進

### 開催実績

開催回数：年11回

定例開催日：毎月第3週金曜日

### 目標・開催目的

本運営会議においては、病院の基幹システムである電子カルテを中心とした情報システムの導入や稼働に関わる運用の検討、周知を行っている。電子カルテをはじめとする院内の情報システムのユーザは他職種にまたがり、その運用も複雑となる。このため、本運営会議では医師・看護師・コメディカル・事務と各部署から代表者が集まり、職種間で議論し集約することにより、安全かつ効率的な運用を目指す。

### 2024年度総括

2024年度は電子カルテシステム等のシステム更新を実施した。システム更新においては老朽化したOA機器の更新ならびにランサムウェア等増加するセキュリティ脅威への対応など安定稼働への対応が行われた。当運営会議ではシステム更新で発生する運用停止等イベントでの業務影響の議論、停止時マニュアルの立案などを行った。また、稼働前後においては業務パッケージで改善可能な機能・運用を議論し、周知を実施した。

1. 情報システムのハードウェア更新に向けた検討・周知
  - ・更新にともなうシステム停止等各種イベント時の運用検討、周知
  - ・業務パッケージの改善点等の確認、周知
2. 障害発生状況と対応状況報告
3. 機器の取扱いや故障対応に関する注意喚起
4. 医療情報システム部門事業継続計画（BCP）への整備

### 2025年度目標

2025年度は、医療情報システムに求められる各種ガイドライン等への準拠など、システムの運用・規定の検討を行う。また、当事業団内でもDX推進としてAI、ロボットなどの検討が行われている。当院に関連するものがあれば当運営会議でも検討を行っていく。

---

---

## 整形外科運営会議

委員長名：竹下 宗徳

---

---

### 開催実績

開催回数：年1回

定例開催日：毎月第1週金曜日

### 目標・開催目的

- ・整形外科診療の管理、運営の適正化を図る
- ・整形外科診療に関わる利用者サービスの向上

### 2024年度総括

- ・整形外科診療における予算及び収益等実績の共有
- ・回復期リハビリテーション病棟への転棟運用の検討、実施
- ・装具に関する運用の検討、実施
- ・クリニカルパス使用状況の把握、使用率増加に向けた検討

### 2025年度目標

- ・整形外科診療の管理、運営の適正化
- ・整形外科診療に関わる利用者サービスの向上
- ・多職種連携による適切な診療及びケアの効率的な提供
- ・クリニカルパス使用率の向上

## 教育・症例検討・講演会実績・市民公開講座

### 病院学会

- ・第22回 聖隷横浜病院学会 開催日 2025年1月11日

### 職員研修

- ・新入職員研修  
開催日 2024年6月21日・10月30日
- ・2年目職員研修  
開催日 2024年8月16日・2025年2月21日
- ・中堅職員研修  
開催日 2024年7月9日・8月9日・10月2日・11月8日・  
2025年1月30日
- ・アドバンス研修  
開催日 2024年11月15日

### 委員会主催研修・講演会・e-learning

- ・病院医療安全管理委員会  
第1回 第1回職員医療安全研修【患者誤認】  
受講期間 2024年6月6日～6月28日
- ・安全運転委員会  
2024年度交通安全講習会  
開催日 2025年3月24日
- ・感染対策委員会  
第1回 感染対策勉強会「災害時の感染対策」  
受講期間 2024年6月24日～7月8日  
第2回 感染対策勉強会「耐性菌 つくらない ふやさない ひろげない～カルバペネム耐性腸内細菌科細菌～」  
受講期間 2024年10月16日～10月31日  
第3回 感染対策勉強会「『院内培養』はじめました！～血液培養とは～」  
受講期間 2025年2月6日～2月25日
- ・個人情報管理委員会  
2024年度 個人情報・プライバシー勉強会  
受講期間 2024年12月9日～12月20日

### 症例検討会

- ・第136回 CPC症例検討会  
症例 「十二指腸乳頭部癌に対する膵頭十二指腸切除術後、原因不明の嘔吐を来し窒息に至った症例」  
開催日 2024年6月25日 火曜日
- ・第136回 CPC症例検討会  
症例 「絞扼性腸閉塞の術後に急性腎障害とNOMI（非閉塞性腸管膜虚血症）を合併し、術後65時間で死亡した一例」  
開催日 2024年7月23日 火曜日
- ・第138回 CPC症例検討会  
症例 「著名な汎血球減少を認め急死した一例」 -剖検から血栓性微小血管障害症が疑われた1例-  
開催日 2024年9月24日 火曜日
- ・第139回 CPC症例検討会  
症例 「右重症下肢虚血バイパス術後、創部感染の治療中に突然死した1例」  
開催日 2024年11月26日 火曜日
- ・第140回 CPC症例検討会  
症例 「慢性完全閉塞に対するPCI術後に後腹膜血腫をきたし、止血処置を行うも死亡に至った一例」  
開催日 2025年1月28日 火曜日

### YouTube 動画配信記録

- ・管理栄養士が考える栄養レシピ  
管理栄養士監修！お家で作れる！ペースト食の作り方-基本編-  
配信日 2024年7月19日 金曜日  
管理栄養士監修！お家で作れる！ペースト食の作り方-応用編①-  
配信日 2026年10月18日 日曜日  
管理栄養士監修！お家で作れる！ペースト食の作り方-応用編②-  
配信日 2025年1月31日 金曜日

### 実習生受入

- ・看護部  
横浜市医師会聖灯看護専門学校  
横浜中央看護専門学校  
関東学院大学  
横浜未来看護専門学校  
神奈川県立保健福祉大学  
横浜市病院協会看護専門学校
- ・薬剤部  
星薬科大学
- ・検査課  
杏林大学
- ・栄養課  
神奈川工科大学  
関東学院大学  
鎌倉女子大学  
駒澤大学  
東京聖栄大学  
相模女子大学
- ・リハビリテーション課  
帝京科学大学  
文京学院大学  
東京工科大学  
帝京平成大学  
城西国際大学

## 2024年度 学術業績 講演会・学会発表

| 腎臓・高血圧内科     |  |
|--------------|--|
| 区分           | 学会発表   |
| 演題名          | G群連鎖球菌による Toxic Shock-like Syndrome (STSS) により緩徐進行性の腎機能障害を来した一例        |
| 演者・共同演者      | 眞弓健吾, 野田翔平, 内田木香, 大石真理子  |
| 学会名等         | 第69回日本透析医学会学術集会・総会 横浜 2024.6.7-9                                       |
| 区分           | 学会発表   |
| 演題名          | 血漿交換を併用し寛解維持できた抗MDA5抗体陽性の急速進行性間質性肺炎の一例                                 |
| 演者・共同演者      | 内田木香, 児島希典, 野田翔平, 大石真理子, 松下広美, 山田秀裕, 眞弓健吾                              |
| 学会名等         | 第69回日本透析医学会学術集会・総会 横浜 2024.6.7-9                                       |
| アレルギー内科      |  |
| 区分           | 講演会 (ハイブリッド)   |
| 演題名          | テゼスパイアが有効であった症例提示と自己注射の有用性について   |
| 演者・共同演者      | 渡邊直人   |
| 学会名等         | 第53回西横浜喘息・COPD懇話会、横浜 2024.5.9  |
| 区分           | 講演会 (ハイブリッド)   |
| 演題名          | Closing Remarks 喘息患者における生物学的製剤導入のポイント                                  |
| 演者・共同演者      | 渡邊直人   |
| 学会名等         | 第53回西横浜喘息・COPD懇話会、横浜 2024.5.9  |
| 区分           | 講演会 (WEB)  |
| 演題名          | RS ウイルスワクチンについて-喘息・COPD 患者におけるRS ウイルス感染症の予防意義を中心に-                     |
| 演者・共同演者      | 渡邊直人   |
| 学会名等         | アレックスビー-GSK Vaccine Web seminar、2024.5.21                              |
| 区分           | 討論会 (WEB)  |
| 演題名          | Clinical remission の意義と達成に向けた吸入療法                                      |
| ディスカッションメンバー | 渡邊直人   |
| 討論会名         | GSK Medical Scientific Workshop、2024.5.27                              |
| 区分           | 講演会 (ハイブリッド)   |
| 演題名          | 座長：特別講演2 “難治性”喘息に対する治療戦略   |
| 演者・共同演者      | 上出庸介先生 (独立行政法人国立病院機構相模原病院アレルギー科呼吸器内科医長、薬剤過敏症研究室長)                      |
| 学会名等         | 第54回西横浜喘息・COPD懇話会、横浜 2024.6.14   |
| 区分           | 講演会 (ハイブリッド)   |
| 演題名          | Closing Remarks 喘息患者における生物学的製剤在宅自己注射について                               |
| 演者・共同演者      | 渡邊直人   |
| 学会名等         | 第54回西横浜喘息・COPD懇話会、横浜 2024.6.14   |
| 区分           | 講演会 (WEB)  |
| 演題名          | 座長：特別講演2 補脾・補腎から考える呼吸器疾患の漢方治療  |
| 演者・共同演者      | 野上 達也先生 (東海大学東洋医学科診療科長)  |
| 学会名等         | 第55回西横浜喘息・COPD懇話会 横浜 2024.9.5  |
| 区分           | 講演会 (WEB)  |
| 演題名          | Closing Remarks 咳過敏症候群 (Cough hypersensitivity syndrome:CHS) とその有効な治療薬 |
| 演者・共同演者      | 渡邊直人   |
| 学会名等         | 第55回西横浜喘息・COPD懇話会 横浜 2024.9.5  |
| 区分           | 院内研修セミナー   |
| 演題名          | 種々の喘息について  |
| 演者・共同演者      | 渡邊直人   |
| 学会名等         | 内科専門医研修セミナー 横浜 2024.11.11  |
| 区分           | 学会発表：国内学会  |
| 演題名          | アンケート調査による禁煙外来を有する神奈川県内病院薬局職員の通勤途上における受動喫煙曝露実態                         |
| 演者・共同演者      | 渡邊直人, 荒井一徳   |
| 学会名等         | 第64回日本呼吸器学会総会 横浜 2024.4.5-7  |

● 教育・学術実績 ●

|                  |                  |   |
|------------------|------------------|---|
| 区<br>演<br>演<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会 | 学会発表<br>メボリズムマブからテゼベルマブに切り替えて、6ヶ月後に咳嗽症状が改善した重症咳優位型喘息症例<br>渡邊直人<br>第64回日本呼吸器学会総会 横浜 2024.4.5-7   |
| 区<br>演<br>演<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会 | 学会発表<br>Differences between the actual statuses of secondhand smoke exposure among male and female workers including pharmacists in dispensing pharmacies<br>Kazunori Arai, Naoto Watanabe<br>第64回日本呼吸器学会総会 横浜 2024.4.5-7 |
| 区<br>演<br>演<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会 | 学会発表<br>気管支喘息患者の増悪に関する外的因子についての検討<br>渡邊直人<br>第54回日本職業・環境アレルギー学会 東京 2024.5.25-26   |
| 区<br>演<br>演<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会 | 学会発表<br>同時多項目アレルギー検査のSiLISアレルギー45+1とView39とのデータ比較検証<br>渡邊直人、北村勝彦、増田敬、竹下郁伶、山本伸也、小田操<br>第54回日本職業・環境アレルギー学会 東京 2024.5.25-26  |
| 区<br>演<br>演<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会 | 学会発表<br>当院における同時多項目アレルギー検査のSiLISアレルギー45+1とView39とのデータ比較検証<br>渡邊直人、北村勝彦、増田敬、竹下郁伶、山本伸也、小田操<br>第11回日本アレルギー学会関東地方会 東京 2024.6.1  |
| 区<br>演<br>演<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会 | 学会発表<br>OA感作ホルモット摘出気管平滑筋標本におけるTRPV1受容体を介する収縮反応の変化<br>渡邊直人<br>第89回日本温泉気候物理医学会 南紀白浜 2024.6.1-2  |
| 区<br>演<br>演<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会 | 学会発表<br>座長：一般演題<br>渡邊直人<br>第5回日本喘息学会 大阪 2024.7.13-14  |
| 区<br>演<br>演<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会 | 学会発表<br>喘息診療実践ガイドラインにおける臨床的寛解の検討と考察<br>渡邊直人<br>第5回日本喘息学会 大阪 2024.7.13-14  |
| 区<br>演<br>演<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会 | 学会発表<br>質問紙法を用いたCOVID-19流行初期の休校／休園・外出自粛が小児に与えた影響の男女差の検討<br>荒井一徳、宮本学、吉原伸弥、寺師義英、吉原重美、寺田明彦、福田啓伸、渡邊直人<br>第40回日本小児臨床アレルギー学会 大阪 2024.7.13-14  |
| 区<br>演<br>演<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会 | 学会発表<br>喘息診療実践ガイドライン（PGAM）における臨床的寛解の検討<br>渡邊直人<br>第90回臨床アレルギー研究会 東京 2024.8.31   |
| 区<br>演<br>演<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会 | 学会発表<br>近年の5歳以下の小児における気管支拡張薬ないし抗アレルギー薬の事故数の検討<br>荒井一徳、山中龍宏、吉原重美、渡邊直人<br>第90回臨床アレルギー研究会 東京 2024.8.31   |
| 区<br>演<br>演<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会 | 学会発表<br>人頭模型を用いたマスク装着による花粉吸入予防の比較検討<br>白井秀治、渡邊直人<br>第90回臨床アレルギー研究会 東京 2024.8.31   |
| 区<br>演<br>演<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会 | 学会発表<br>特別講演座長：成人喘息の最新の治療と話題<br>永田真先生（埼玉医科大学呼吸器内科教授／アレルギーセンター長）<br>第90回臨床アレルギー研究会 東京 2024.8.31  |

|                                  |                       |   |
|----------------------------------|-----------------------|---|
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会<br>会 | 学会発表<br>座長：一般演題<br>渡邊直人<br>第73回日本アレルギー学会総会 京都 2024.10.18-20   |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会<br>会 | 学会発表<br>ヒスタミン加人免疫グロブリン療法が有効であった食物依存運動誘発アナフィラキシーの症例<br>渡邊直人、北村勝彦、増田敬、竹下郁伶、山本伸也、小田操<br>第73回日本アレルギー学会総会 京都 2024.10.18-20   |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会<br>会 | 学会発表<br>SiLISアレルギー-45+1とView39およびCap-RASTとのデータ比較検証<br>渡邊直人、北村勝彦、増田敬、竹下郁伶、山本伸也、小田操<br>第73回日本アレルギー学会総会 京都 2024.10.18-20   |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会<br>会 | 学会発表<br>気管支喘息患者の増悪に関する外的因子についての検討その1<br>渡邊直人<br>第73回日本アレルギー学会総会 京都 2024.10.18-20  |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会<br>会 | 学会発表<br>気管支喘息患者の増悪に関する外的因子についての検討その2<br>渡邊直人<br>第73回日本アレルギー学会総会 京都 2024.10.18-20  |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会<br>会 | 学会発表<br>オゾンによるスギ花粉アレルギー低減効果の検討<br>白井秀治、野崎淳夫、成田泰章、高橋久美子、上遠野光市、渡邊直人<br>第73回日本アレルギー学会総会 京都 2024.10.18-20                   |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会<br>会 | 学会発表<br>高校生におけるタバコ自動販売機の認識とタバコ対策意識との関係の検討<br>渡邊直人、荒井一徳、福田啓伸、宮本学、吉原重美<br>第18回日本禁煙学会 鳥取 2024.11.16-17                     |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会<br>会 | 学会発表<br>喘息診療実践ガイドライン（PGAM）における臨床的寛解の検討<br>渡邊直人<br>第12回日本アレルギー学会関東地方会 東京 2024.12.14                                      |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会<br>会 | 学会発表<br>ヒスタグロビン療法によって合併する食物アレルギーにも有効であった3症例<br>渡邊直人<br>第25回食物アレルギー研究会 横浜 2025.2.9                                       |
| 外科・消化器外科                         |                       |   |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会<br>会 | 学会発表<br>大腸癌術後感染性合併症予測因子の検討<br>青木優、齋藤徹、永井啓之、飯田文子、横山元昭、野澤聡志<br>第22回日本消化器外科学会大会 兵庫 2024.11.2                               |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会<br>会 | 学会発表<br>Abdominal cocoon内に腹腔鏡が迷入し開腹移行を要した1例<br>青木優、横山元昭、永井啓之、齋藤徹、飯田文子、野澤聡志<br>第1513回千葉医学会例会 千葉県 臓器制御外科学教室談話会 2024.11.24 |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>学 | 分<br>題<br>者<br>会<br>会 | 学会発表<br>横行結腸脂肪腫による成人腸重積症の一例<br>横山 元昭、青木 優、飯田 文子、齋藤 徹、永井 啓之、野澤 聡志、郷地 英二<br>第875回外科集談会 埼玉 2025.3.15                       |

| 呼吸器外科   |   |  |
|---------|---|--|
| 区       | 分 | 学会発表   |
| 演 題     | 名 | 後縦隔ミューラー管嚢胞の2切除例                                       |
| 演者・共同演者 |   | 竹内健、大内基史、末松直美  |
| 学 会 名 等 |   | 第41回日本呼吸器外科学会学術集会 軽井沢 2024.6.1                         |
| 区       | 分 | 学会発表   |
| 演 題     | 名 | 当院における Mycobacterium abscessus 肺感染症に対する外科治療の検討         |
| 演者・共同演者 |   | 竹内健、大内基史   |
| 学 会 名 等 |   | 第41回日本呼吸器外科学会学術集会 軽井沢 2024.6.1                         |
| 区       | 分 | 学会発表   |
| 演 題     | 名 | 肺癌との鑑別に苦慮した硬化性肺胞上皮腫の1切除例                               |
| 演者・共同演者 |   | 竹内健、小西建治、大内基史  |
| 学 会 名 等 |   | 第47回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 大阪 2024.6.27                        |
| 区       | 分 | 学会発表   |
| 演 題     | 名 | 検診で発見された両側多発性肺動静脈瘻の1切除例                                |
| 演者・共同演者 |   | 竹内健、小西建治、大内基史  |
| 学 会 名 等 |   | 第47回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 大阪 2024.6.28                        |
| 区       | 分 | 学会発表   |
| 演 題     | 名 | 胸部CTにて石灰化を認めた腸型肺腺癌の1切除例                                |
| 演者・共同演者 |   | 竹内健、小西建治   |
| 学 会 名 等 |   | 第65回日本肺癌学会学術集会 横浜 2024.10.31                           |
| 区       | 分 | 学会発表   |
| 演 題     | 名 | オシメルチニブの rechallenge が奏効した肺癌術後再発の1例                    |
| 演者・共同演者 |   | 竹内健、小西建治   |
| 学 会 名 等 |   | 第65回日本肺癌学会学術集会 横浜 2024.11.1                            |
| 泌尿器科    |   |  |
| 区       | 分 | 講演会  |
| 演 題     | 名 | 結節性硬化症 / 治療の現状   |
| 演者・共同演者 |   | 波多野 孝史   |
| 学 会 名 等 |   | TS つばさの会 東京 2024.11.23                                 |
| 区       | 分 | 学会発表   |
| 演 題     | 名 | 結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫 診療ガイドラインの改訂                           |
| 演者・共同演者 |   | 波多野 孝史   |
| 学 会 名 等 |   | 第12回日本結節性硬化症学会学術総会 愛知 2024.9.15                        |
| 区       | 分 | 学会発表 一般演題  |
| 演 題     | 名 | 当院での結節性硬化症患者の抗てんかん薬                                    |
| 演者・共同演者 |   | 青井瑞穂、波多野孝史   |
| 学 会 名 等 |   | 第12回日本結節性硬化症学会学術総会 愛知 2024.9.15                        |
| 区       | 分 | 学会発表 一般演題  |
| 演 題     | 名 | 当院における排尿ケアチームの活動と課題                                    |
| 演者・共同演者 |   | 井口美奈枝、波多野孝史  |
| 学 会 名 等 |   | 第42回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会 福島 2025.2.8                 |
| 麻酔科     |   |  |
| 区       | 分 | 学会発表   |
| 演 題     | 名 | 悪性胸膜中皮腫による強い呼吸苦のコントロールに難渋し最終的に鎮静を希望されたが各鎮静薬が効きづらかった一症例 |
| 演者・共同演者 |   | 山田淳子、木下真弓、佐藤理恵、黒木洋子                                    |
| 学 会 名 等 |   | 第29回日本緩和医療学会学術大会 兵庫 2024.6.14-15                       |
| 区       | 分 | 学会発表   |
| 演 題     | 名 | 難治性肛門及び会陰部痛に対し、仙骨硬膜外アルコールブロックが有効であった1例                 |
| 演者・共同演者 |   | 木下真弓、桑原沙代子   |
| 学 会 名 等 |   | 日本ペインクリニック学会第58回学術集会 栃木県 2024.7.18-20                  |

|         |   |
|---------|---|
| 小児科     |   |
| 区分      | 講演会   |
| 演題名     | 学校保健、食品衛生に関する公衆衛生学的感染症学的視点                                  |
| 演者・共同演者 | 北村 勝彦   |
| 学会名等    | 横浜市立大学医学部公衆衛生学特別講義 2025.6                                   |
| 救急科・漢方科 |   |
| 区分      | 講演会   |
| 演題名     | 「救急漢方医って何!？」(特別講義)  |
| 演者・共同演者 | 入江 康仁   |
| 学会名等    | 医学生のための漢方医学セミナー   |
| 区分      | 講演会 (WEB)   |
| 演題名     | 「救急漢方+1.0」(特別講演)  |
| 演者・共同演者 | 入江 康仁   |
| 学会名等    | 臨床漢方医会 第67回 漢方家庭医講習会 2024.6.30                              |
| 区分      | 講演会   |
| 演題名     | 「救急科における漢方のエビデンスと使用経験」(招聘講演)                                |
| 演者・共同演者 | 入江 康仁   |
| 学会名等    | 岐阜漢方ファーストレススン   |
| 区分      | 講演会   |
| 演題名     | 「救急外来・病棟で役立つ漢方薬」(招聘講演)                                      |
| 演者・共同演者 | 入江 康仁   |
| 学会名等    | ヨコヨコKAMPO講座 第6回 臨床漢方勉強会                                     |
| 区分      | 講演会   |
| 演題名     | 「熱傷の“むくみ”に対する漢方薬の使い方」(シンポジスト)                               |
| 演者・共同演者 | 入江 康仁   |
| 学会名等    | 急性期漢方アカデミア (AKA: Acute Kampo Academia) ～急性期の“むくみ”に対する治療を学ぶ～ |
| 区分      | 講演会   |
| 演題名     | 「救急医が実践する漢方治療—救急漢方の確立を目指して—」(特別講義)                          |
| 演者・共同演者 | 入江 康仁   |
| 学会名等    | 第11回 若手医師のための漢方医学セミナー                                       |
| 区分      | 学会発表  |
| 演題名     | 「GLP-1受容体作動薬によると思われる嘔吐・水様性下痢を来した1例」(ポスター)                   |
| 演者・共同演者 | 入江 康仁   |
| 学会名等    | 第46回 日本中毒学会総会・学術集会  |
| 区分      | 学会発表  |
| 演題名     | 「先生、救急の病気や外傷に漢方薬は効果があるんですか?—はい、あります!」(口演)                   |
| 演者・共同演者 | 入江 康仁   |
| 学会名等    | 第52回 日本救急医学会総会・学術集会   |
| 区分      | 学会発表  |
| 演題名     | 「当院におけるβ溶血性連鎖球菌感染症の3症例報告」(ミニオーラル)                           |
| 演者・共同演者 | 入江 康仁   |
| 学会名等    | 第52回 日本救急医学会総会・学術集会   |
| 区分      | 学会発表  |
| 演題名     | ワークショップ「初療医が身につけたい創傷の基本手技」(座長・演者)                           |
| 演者・共同演者 | 入江康仁、井上哲也   |
| 学会名等    | 第30回 病院総合診療学会学術総会   |
| 区分      | 学会発表  |
| 演題名     | 「梨状筋内血腫による坐骨神経痛に対して治打撲一方で改善に至った1例」(ポスター)                    |
| 演者・共同演者 | 入江 康仁   |
| 学会名等    | 第30回 病院総合診療学会学術総会   |

| 看護部         |  |
|-------------|--|
| 区分          | 講演会  |
| 演題名         | 感染症の対策や注意事項、最近の動向等の説明                            |
| 演者・共同演者     | 山下綾子   |
| 学会名等        | 聖隷藤沢ウェルフェアタウン 藤沢 2024.12.20                      |
| 区分          | 講演会  |
| 演題名         | 感染防止の基本的な知識についての座学                               |
| 演者・共同演者     | 山下綾子   |
| 学会名等        | 油壺エデンの園 三浦 2025.2.25                             |
| 区分          | 学会発表   |
| 演題名         | ケア・ミックス病院における遺伝外来の現状と課題                          |
| 演者・共同演者     | 鶴田華林、中川ちひろ、亀井由紀他                                 |
| 学会名等        | 第30回日本遺伝生腫瘍学会学術集会 宮城 2024.5.31-6.1               |
| 区分          | 学会発表   |
| 演題名         | 高流量酸素を必要とする独居男性の退院に向けたセルフケア支援                    |
| 演者・共同演者     | 小川実花   |
| 学会名等        | 第15回せいいい看護学会学術集会 静岡 2024.9.14                    |
| 区分          | 学会発表   |
| 演題名         | 他職種での歩行自立にむけた新しい取り組み<br>～患者に安全で安心な病棟生活を過ごしてもらおう～ |
| 演者・共同演者     | 近藤絢子、永井翔之介、佐野千夏、鹿野佐緒里他                           |
| 学会名等        | 第74回日本病院学会 三重 2024.7.4-5                         |
| 区分          | 学会発表   |
| 演題名         | 透析時運動指導等加算取得に向けたKST（腎臓サポートチーム）の取り組み              |
| 演者・共同演者     | 腎臓サポートチーム  |
| 学会名等        | 第55回日本看護学会学術集会 熊本 2024.9.27-29                   |
| 区分          | 学会発表   |
| 演題名         | 緩和ケア病棟における褥瘡発生減少に向けた取り組み                         |
| 演者・共同演者     | 菅井祥子、小林明日香、佐藤直                                   |
| 学会名等        | 第21回聖隷横浜病院病院学会 横浜 2024.1.13                      |
| 区分          | 学会ポスター発表   |
| 演題名         | 他職種介入による心不全教育入院は、患者セルフケア能力の向上に寄与する               |
| 演者・共同演者     | 竹野紗也加、春日賀南子、成岡理紗、佐藤亜紗美、伊東路子、内野友美                 |
| 学会名等        | 第28回日本心不全学会学術集会 埼玉 2024.10.4-6                   |
| 区分          | 学会ポスター発表   |
| 演題名         | 変化する病状や患者の希望に応じて、意思決定支援を病院・地域他職種で施行できた一例         |
| 演者・共同演者     | 長野加奈子  |
| 学会名等        | 第28回日本心不全学会学術集会 埼玉 2024.10.4-6                   |
| 区分          | 学会ポスター発表   |
| 演題名         | 他職種連携介入によって心不全憎悪を抑制することが可能となった、複数回の入院歴を要する心不全の一例 |
| 演者・共同演者     | 星野敦子   |
| 学会名等        | 第28回日本心不全学会学術集会 埼玉 2024.10.4-6                   |
| 区分          | 学会発表   |
| 演題名         | 緩和ケア病棟におけるがん患者の母親を持つ思春期の子どもへの関わりについて             |
| 演者・共同演者     | 木村ことは、シュレスタ聡美、菅井祥子、小林明日香                         |
| 学会名等        | 第39回日本がん看護学会学術集会 北海道 2025.2.22-23                |
| 血液浄化センター看護室 |  |
| 区分          | 学会発表   |
| 演題名         | 腎臓を守る食事について                                      |
| 演者・共同演者     | 渡邊和美   |
| 学会名等        | せいいい健康講座   |

● 教育・学術実績 ●

| 外来        |  |
|-----------|--|
| 区分        | 学会発表   |
| 演題名       | ケアミックス病院における遺伝外来の現状と課題   |
| 演者・共同演者   | 鶴田華林   |
| 学会名等      | 第31回日本遺伝性腫瘍学会学術集会  |
| 区分        | 学会発表   |
| 演題名       | 多職種介入による心不全教育入院は、患者セルフケア能力の向上に寄与する   |
| 演者・共同演者   | 演者：佐藤亜紗美 共同演者：竹野紗也加、成岡理紗、春日賀南子、内野友美  |
| 学会名等      | 第28回日本心不全学会学術集会 埼玉 2024.10.4-6   |
| 脳卒中ケアユニット |  |
| 区分        | 学会発表   |
| 演題名       | SCUにおける早期栄養介入管理加算への取り組みに関する研究  |
| 演者・共同演者   | 演者：瀬川左奈恵 森谷のり子   |
| 学会名等      | JASPEN 2024.2.14   |
| 区分        | 学会発表   |
| 演題名       | 急性期脳卒中事例の麻痺手に対する装具療法を併用した作業療法経験 -病棟と連携した24時間マネジメント-  |
| 演者・共同演者   | 木村亮太、大江珠祐、小林茉美、中野夕子、森谷のり子、佐々木亮   |
| 学会名等      | 第20回聖隷横浜病院病院学会 横浜 2023.2.25  |
| 区分        | 学会発表   |
| 演題名       | Combined occupational therapy and orthotic therapy is effective for paralyzed hands in acute stroke cases -24-hour management in collaborations with Stroke Care Unit- |
| 演者・共同演者   | RYOTA KIMURA MIYU OE MAMI KOBAYASHI YUKO NAKANO NORIKO MORIYA MAKOTO SASAKI  |
| 学会名等      | 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024  |
| 薬剤課       |  |
| 区分        | 講演会  |
| 演題名       | 病院でOLSは何をしているの！？～地域中核病院でのOLS改革～  |
| 演者・共同演者   | 土屋篤史   |
| 学会名等      | 第4回骨粗鬆症治療横浜中部地域連携セミナー 横浜 2024.11   |
| 区分        | 講演会  |
| 演題名       | 当院での悪心嘔吐と末梢神経障害の対応～症例を交えて～   |
| 演者・共同演者   | 小林大記   |
| 学会名等      | 第8回地域連携勉強会 2025.2  |
| 区分        | 講演会  |
| 演題名       | 薬剤師が動いて始めるOLS！～入院中より骨粗鬆症自己注射製剤を導入する取り組み～   |
| 演者・共同演者   | 土屋篤史   |
| 学会名等      | 神奈川県メディカルスタッフと考える骨粗鬆症2025 神奈川 2025.3   |
| 区分        | 学会発表   |
| 演題名       | 安全な医療提供のための化学療法計画書改定への取り組み   |
| 演者・共同演者   | 山崎詩乃   |
| 学会名等      | 2024年度薬剤部門学術発表会 2025.3   |
| 区分        | 学会発表   |
| 演題名       | 当院の規格IAに関する取り組みと課題   |
| 演者・共同演者   | 駒井凧  |
| 学会名等      | 2024年度薬剤部門学術発表会 2025.3   |

| 臨床工学室   |   |
|---------|---|
| 区 分     | 講演会   |
| 演 題 名   | 臨床から考える人工呼吸   |
| 演者・共同演者 | 田中馨   |
| 学 会 名 等 | 一般社団法人東京都臨床工学技士会 第9回 Yボード企画 東京都臨床工学入門セミナー WEB 2025.2.13       |
| 区 分     | 講演会   |
| 演 題 名   | 透析業務におけるCEと薬剤師の連携   |
| 演者・共同演者 | 工藤直樹  |
| 学 会 名 等 | 保土ヶ谷薬業会 9月学術研修会 横浜 2024.9.13                                  |
| 区 分     | 講演会   |
| 演 題 名   | 脳血管CEの歩き方ー覚えておきたいキホン血管  |
| 演者・共同演者 | 田中馨   |
| 学 会 名 等 | 公益社団法人日本臨床工学技士会 心・血管カテーテルミーティングVol.1 脳血管カテーテル治療WEB 2024.10.16 |
| 区 分     | 講演会   |
| 演 題 名   | 平凡な病院の平凡なCEが患者のためにできる Liberation from Mechanical Ventilation  |
| 演者・共同演者 | 森田斗南  |
| 学 会 名 等 | 第7回 神奈川県臨床工学会 横浜 2024.11.10                                   |
| 区 分     | 講演会   |
| 演 題 名   | 臨床から考える人工呼吸   |
| 演者・共同演者 | 田中馨   |
| 学 会 名 等 | 一般社団法人東京都臨床工学技士会 第9回 Yボード企画 東京都臨床工学入門セミナー WEB 2025.2.13       |
| 区 分     | 学会発表  |
| 演 題 名   | コメディカルが“一丸となって”取り組んだカテ室スタッフカンファレンスの5年の軌跡                      |
| 演者・共同演者 | 森田斗南  |
| 学 会 名 等 | 第34回日本臨床工学会 福井 2024.5.18-19                                   |
| 区 分     | 学会発表  |
| 演 題 名   | 急性虚血性脳卒中 (AIS) における緊急脳血管内血行再建術 (ENER) マネージメント                 |
| 演者・共同演者 | ～AIS マネージャーとしての臨床工学技士～  |
| 学 会 名 等 | 森田斗南  |
| 区 分     | 学会発表  |
| 演 題 名   | 血栓回収療法における職種の垣根を越えた患者抑制練習                                     |
| 演者・共同演者 | 田中馨   |
| 学 会 名 等 | 第40回日本脳神経血管内治療学会学術集会 熊本 2024.11.21-23                         |
| 区 分     | 学会発表  |
| 演 題 名   | 頸動脈ステント留置術における医療機器を介した臨床工学技士の目線                               |
| 演者・共同演者 | 田中馨   |
| 学 会 名 等 | 第40回日本脳神経血管内治療学会学術集会 熊本 2024.11.21-23                         |
| 放射線課    |   |
| 区 分     | Web講演会  |
| 演 題 名   | PCIに必要な知識・技術 (手技説明と技師の役割)                                     |
| 演者・共同演者 | 石毛良一  |
| 学 会 名 等 | 第17回心血管撮影技術基礎教育セミナー 2024.6.8                                  |
| 区 分     | 講演会   |
| 演 題 名   | Spectral CT 7500 で魅せる新たな世界                                    |
| 演者・共同演者 | 一木俊介  |
| 学 会 名 等 | 第18回中部マルチスライスCTシンポジウム 2024.10.5                               |
| 区 分     | 講演会   |
| 演 題 名   | 全国アンケート実態調査から見える現状と課題   |
| 演者・共同演者 | 石毛良一  |
| 学 会 名 等 | 日本放射線技術学会 第37回東京支部秋期学術大会 シンポジウム③ 東京 2024.11.23                |

● 教育・学術実績 ●

|                                      |   |   |
|--------------------------------------|---|---|
| 区<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 分<br>演<br>題<br>名<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 講演会<br>検査前情報から検査計画を立てる方法について<br>石毛良一<br>日本診療放射線技師会 診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース 「血管造影」 e-learning 2025.1                             |
| 区<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 分<br>演<br>題<br>名<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 講演会<br>造影剤注入条件および撮影タイミングについて<br>石毛良一<br>日本診療放射線技師会 診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース 「血管造影」 e-learning 2025.1                             |
| 区<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 分<br>演<br>題<br>名<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 講演会<br>CBCT撮影技術<br>石毛良一<br>日本診療放射線技師会 診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース 「血管造影」 e-learning 2025.1  |
| 区<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 分<br>演<br>題<br>名<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 講演会<br>頭頸部血管造影の画像処理<br>石毛良一<br>日本診療放射線技師会 診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース 「血管造影」 e-learning 2025.1                                      |
| 区<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 分<br>演<br>題<br>名<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | Web講演会<br>2024年度 第7次循環器撮影実態調査班 活動報告<br>石毛良一<br>第413回 循環器画像技術研究会 2025.3.15   |
| 区<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 分<br>演<br>題<br>名<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | Web講演会<br>骨折線がすべてじゃない...カルシウム抑制画像カラー表示の有用性<br>一木俊介<br>第7回 Philips Spectral CT User Meeting 2025.3.19                        |
| 区<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 分<br>演<br>題<br>名<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | Web講演会<br>Dual Energyを活用した微小出血の検出<br>町谷冬弥<br>第7回 Philips Spectral CT User Meeting 2025.3.19                                 |
| 区<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 分<br>演<br>題<br>名<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 学会発表<br>下肢MRAにおける TFE durationの違いによる血管描出能と AI-Compressed SENSEの有用性<br>鈴木駿太郎、渥美裕、釜谷秀美<br>第52回日本磁気共鳴医学会大会 千葉 2024.9.20-22     |
| 区<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 分<br>演<br>題<br>名<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 学会発表<br>上腹部における位相R-L方向に設定したEPI DWIのCompressed SENSEとSENSEの違いにおけるADC値の比較<br>渥美裕<br>第52回日本磁気共鳴医学会大会 千葉 2024.9.20-22           |
| 区<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 分<br>演<br>題<br>名<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 学会発表<br>防護教育や装着確認等の啓発活動が個人線量計および防護メガネの装着率に与える影響<br>浅川久、石毛良一、塩入知子、関口美雪、田邊頌章、吉野冬馬、石原樹大、石川栄二<br>第1回日本放射線医療技術学術大会 沖縄 2024.10.31 |
| 区<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 分<br>演<br>題<br>名<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 学会発表<br>血管造影領域における水晶体被ばくの線量評価と管理に関する全国実態調査<br>塩入知子、石毛良一、浅川久、関口美雪、石原樹大、三島里穂、田邊頌章、石川栄二<br>第1回日本放射線医療技術学術大会 沖縄 2024.10.31      |
| 区<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 分<br>演<br>題<br>名<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 学会発表<br>血管造影・IVRに携わる診療放射線技師の時間外労働に関する調査報告<br>関口美雪、石毛良一、吉野冬馬、石原樹大、浅川久、塩入知子、田邊頌章、石川栄二<br>第1回日本放射線医療技術学術大会 沖縄 2024.11.2        |
| 区<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 分<br>演<br>題<br>名<br>演<br>者・共同演者<br>学<br>会<br>名<br>等 | 学会発表<br>本邦におけるHybrid Operation Roomに関する実態調査報告<br>田邊頌章、石毛良一、三島里穂、関口美雪、吉野冬馬、浅川久、塩入知子、石川栄二<br>第1回日本放射線医療技術学術大会 沖縄 2024.11.2    |

## 2024年度 学術業績 その他（院外活動など）

| アレルギー内科   |  |
|-----------|--|
| 区分        | その他（院外活動等）：学会活動  |
| 学会名       | 日本アレルギー学会 代議員<br>国際喘息学会日本・北アジア部会 評議員<br>日本職業・環境アレルギー学会 評議員<br>日本咳嗽学会 評議員、啓発広報委員<br>日本温泉気候物理医学会 評議員、保険委員  |
| 研究会名      | 臨床アレルギー研究会 幹事<br>第90回臨床アレルギー研究会 会長<br>西横浜喘息・COPD懇話会 発起人<br>DMU-K総合臨床懇話会 事務局長   |
| 治験・研究調査協力 | 日本咳嗽学会からの研究調査「難治性慢性咳嗽例に対する gefapixant の使用実態」<br>杏林製薬株式会社「リフヌア市販後調査」<br>消費者庁「即時型食物アレルギーによる健康被害に関する全国実態調査」<br>キャノンメディカルダイアグノスティック株式会社からの依頼：アレルギー多項目検査である「MAST」のリーフレット4種の監修 |
| 小児科       |  |
| 区分        | 地域保健活動参加   |
| 演題名       | 横浜市における感染症動向の疫学的考察および提言  |
| 演者・共同演者   | 委員長 吉村幸浩（横浜市立横浜市民病院）他  |
| 学会名等      | 横浜市感染症動向委員会 委員   |
| 救急科・漢方科   |  |
| 区分        | その他（院外活動等）   |
| 演題名       | 救急漢方フェス！（ファシリテータ）  |
| 演者・共同演者   | 入江康仁、廣瀬薫   |
| 学会名等      | 救急漢方フェス！   |
| 看護管理室     |  |
| 区分        | その他（院外活動等）   |
| 演題名       | 「お悩み相談会」アドバイザー   |
| 演者・共同演者   | 根岸恵  |
| 学会名等      | 第26回神奈川県看護協会 横浜 2024.6.5   |
| 区分        | その他（院外活動等）   |
| 演題名       | 米国集中治療医学会FCCS6月オンラインコース  |
| 演者・共同演者   | 坂田稔  |
| 学会名等      | 米国集中治療医学会 WEB 2026.6.16  |
| 区分        | その他（院外活動等）   |
| 演題名       | 病院と地域をつなぐACPを推進しよう   |
| 演者・共同演者   | 根岸恵  |
| 学会名等      | 神奈川県看護協会湘南支部主催講演会 茅ヶ崎市 2024.6.22   |
| 区分        | その他（院外活動等）   |
| 演題名       | 職員のストマ管理、褥瘡管理の技術向上   |
| 演者・共同演者   | 渡邊純子   |
| 学会名等      | 明日見らいふ南大沢 2024.7.11  |
| 区分        | その他（院外活動等）   |
| 演題名       | がん薬物療法を受ける患者の看護～その人らしい生活を支援する～   |
| 演者・共同演者   | 根岸恵  |
| 学会名等      | 神奈川県ナースセンター 2024.7.24  |
| 区分        | その他（院外活動等）   |
| 演題名       | 嘔気・嘔吐、倦怠感、便秘などの諸症状への対応   |
| 演者・共同演者   | 根岸恵  |
| 学会名等      | 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター令和6年度がん患者支援講座 WEB 2024.9.7  |

● 教育・学術実績 ●

|   |                       |  |
|---|-----------------------|--|
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>会<br>会<br>名<br>名<br>等<br>等 | 分<br>題<br>者<br>名<br>等 | その他（院外活動等）<br>慢性腎不全患者の緩和ケア<br>根岸恵<br>一般社団法人戸塚区医師会 2024.10.18                                   |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>会<br>会<br>名<br>名<br>等<br>等 | 分<br>題<br>者<br>名<br>等 | その他（院外活動等）<br>アドバンスケアプランニング基礎編・実践編<br>根岸恵<br>社団法人三栄会中央林間病院 大和市 2024.6-2024.10 全4回              |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>会<br>会<br>名<br>名<br>等<br>等 | 分<br>題<br>者<br>名<br>等 | その他（院外活動等）<br>教育研修 意志決定支援<br>根岸恵<br>平塚市民病院 平塚市 2024.10.19                                      |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>会<br>会<br>名<br>名<br>等<br>等 | 分<br>題<br>者<br>名<br>等 | その他（院外活動等）<br>ACPについて<br>根岸恵<br>公益財団法人横浜勤労者福祉協会汐田総合病院 横浜 2024.10.30                            |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>会<br>会<br>名<br>名<br>等<br>等 | 分<br>題<br>者<br>名<br>等 | その他（院外活動等）<br>せいいい健康講座「感染を予防しよう」<br>小川実花<br>保土ヶ谷地域ケアプラザ 横浜 2024.11.20                          |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>会<br>会<br>名<br>名<br>等<br>等 | 分<br>題<br>者<br>名<br>等 | その他（院外活動等）<br>RA診療における患者教育EULARリコメンデーション<br>小川実花<br>アッヴィ合同会社 WEB 2024.11.23                    |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>会<br>会<br>名<br>名<br>等<br>等 | 分<br>題<br>者<br>名<br>等 | その他（院外活動等）<br>活用できるACP<br>根岸恵<br>一般社団法人TMG本部 埼玉 2024.11.20                                     |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>会<br>会<br>名<br>名<br>等<br>等 | 分<br>題<br>者<br>名<br>等 | その他（院外活動等）<br>2024年度特定行為研修指導者講習会ZOOMを用いたリアルタイム研修<br>坂田稔<br>公益社団法人日本看護協会 WEB 2024.9-2024.12 全4回 |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>会<br>会<br>名<br>名<br>等<br>等 | 分<br>題<br>者<br>名<br>等 | その他（院外活動等）<br>フィジカルアセスメント研修<br>坂田稔<br>浦安せいいいの里 千葉 WEB 2024.9-2024.12 全4回                       |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>会<br>会<br>名<br>名<br>等<br>等 | 分<br>題<br>者<br>名<br>等 | その他（院外活動等）<br>教育担当者研修Ⅱ<br>田淵かおり<br>公益社団法人神奈川県看護協会 横浜 2024.12.19                                |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>会<br>会<br>名<br>名<br>等<br>等 | 分<br>題<br>者<br>名<br>等 | その他（院外活動等）<br>手術看護技術Ⅰ<br>昭和大学認定看護師教育センター 東京 2025.1.9<br>渡邊怜治                                   |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>会<br>会<br>名<br>名<br>等<br>等 | 分<br>題<br>者<br>名<br>等 | その他（院外活動等）<br>コミュニケーション研修<br>田淵かおり<br>特別養護老人ホーム興寿園 横須賀 年間12回                                   |
| 薬剤課   |                       |  |
| 区<br>演<br>演者・共同演者<br>学<br>学<br>会<br>会<br>名<br>名<br>等<br>等 | 分<br>題<br>者<br>名<br>等 | その他（院外活動等）<br>抗MRSA薬でアレルギー！抗菌薬をどう選ぶ？<br>荒谷 佳子、本田 勝亮<br>日経DIコラム 抗菌薬はAST専従薬剤師にお任せを 2023.12.25    |

| 臨床工学室   |                                |
|---------|--------------------------------|
| 区 分     | その他（院外活動等）                     |
| 演 題 名   | 学術委員                           |
| 演者・共同演者 | 物江 浩樹                          |
| 学 会 名 等 | 神奈川県臨床工学技士会                    |
| 区 分     | その他（院外活動等）                     |
| 演 題 名   | 災害対策委員                         |
| 演者・共同演者 | 境野 可奈子                         |
| 学 会 名 等 | 神奈川県臨床工学技士会                    |
| 区 分     | その他（院外活動等）                     |
| 演 題 名   | ロジスティックス部会                     |
| 演者・共同演者 | 境野 可奈子                         |
| 学 会 名 等 | 神奈川県透析危機対策協議会                  |
| 放射線課    |                                |
| 区 分     | その他（院外活動等）                     |
| 演 題 名   | 誌面講座：外頸動脈系の塞栓術                 |
| 演者・共同演者 | 石毛良一                           |
| 学 会 名 等 | 循環器画像技術研究 No43-1 P48-51 2025.3 |

## 2024年度 学術業績 著書論文

| アレルギー内科     |   |
|-------------|---|
| 区分          | 著書論文  |
| 演題名         | Change of TRPV1 in Respiratory Tract of Bronchial Asthma  |
| 演者・共同演者     | Naoto WATANABE  |
| 学会名等        | J Balneol Climatol Phys Med 2024:87 (1) , 35  |
| 区分          | 著書論文  |
| 演題名         | Real-world usage and response to gefapixant in refractory chronic cough   |
| 演者・共同演者     | Hisako Matsumoto, Yoshihiro Kanemitsu, Motoki Ohe, Hiroshi Tanaka, Kunihiko Terada, Koichi Nishi, Ryo Atsuta, Johsuke Hara, Junpei Saito, Mitsuhide Ohmichi, Tamotsu Ishizuka, Teruaki Nishiuma, Hideki Inoue, Naoto Watanabe, Tatsuya Nagano, Tetsuya Ueda, Haruhiko Ogawa, Shigeru Endo18, Takeshi Suzuki, Toshiyuki Kita20, Katsuya Fujimori, Yoshihisa Ishiura, Masaki Fujimura, Akio Niimi |
| 学会名等        | ERJ Open Research 2025 01037-2024   |
| 呼吸器内科       |   |
| 区分          | 著書論文  |
| 演題名         | Biomarkers Identifying the Effectiveness of Biologic Agents in Moderate to Severe Asthma: A Systematic Review and Meta-Analysis biological agent  |
| 演者・共同演者     | Kenji Konishi, Ken Takeuchi, Nobutaka Hayakawa, Motofumi Oouchi   |
| 学会名等        | Journal of Clinical Question Vol. 1 (2) :31-41, 2024  |
| 乳腺センター（乳腺科） |   |
| 区分          | 著書論文  |
| 演題名         | 今日の治療指針 2025年版 乳腺症  |
| 演者・共同演者     | 徳田 裕  |
| 学会名等        | 医学書院  |
| 区分          | 著書論文  |
| 演題名         | ナーズの外科学 改訂8版 乳腺   |
| 演者・共同演者     | 徳田 裕  |
| 学会名等        | 中外医学社   |
| 呼吸器外科       |   |
| 区分          | 原著論文  |
| 演題名         | 肺癌術後多発脳転移に対してオンメルチニブが奏効し長期生存した高齢者腺癌の1例  |
| 演者・共同演者     | 竹内 健、早川 信崇、大内 基史  |
| 学会名等        | 癌と化学療法 (0385-0684) 50巻5号 Page631-633 (2023.05)  |
| 区分          | 原著論文  |
| 演題名         | Aspergillus感染と動脈瘤化した異常動脈を伴った肺葉内肺分画症の1例  |
| 演者・共同演者     | 竹内 健、早川 信崇、大内 基史、末松 直美  |
| 学会名等        | 胸部外科 (0021-5252) 76巻2号 Page172-175 (2023.02)  |
| 泌尿器科        |   |
| 区分          | 論文  |
| 演題名         | Effectiveness of everolimus for sporadic renal angiomyolipoma with inferior vena cava thrombus: A case report   |
| 演者・共同演者     | Iwatani K, Miki J, Hatano T et al.  |
| 学会名等        | Urology Case Reports 2024; 50: 1-3.   |
| 区分          | 論文  |
| 演題名         | Diagnostic flow analysis of tuberous sclerosis complex in Japan: a retrospective claims database study  |
| 演者・共同演者     | Okanishi T, Fujimori I, Hatano T et al.   |
| 学会名等        | Orphanet J Rare Dis. 2024 19: e00451  |
| 区分          | 論文  |
| 演題名         | Safety and Efficacy of Cryoablation for the Treatment of Renal Angiomyolipoma Related to Tuberous Sclerosis Complex: The Cryo-TSC Study   |
| 演者・共同演者     | Kashiwagi E, Hatano T, Shimizu K, et al.  |
| 学会名等        | J Urol Open Plus 2024 2: e00051   |

|             |        |   |
|-------------|--------|---|
| 区           | 分      | 論文  |
| 演           | 題      | 結節性硬化症診療ガイドライン2024  |
| 演           | 者・共同演者 | 金田眞理、水口雅、波多野孝史、瀬山邦明、樋野興夫、朝比奈昭彦  |
| 学           | 会名等    | 日本皮膚科学会雑誌 2024 134: 2237-2254   |
| 区           | 分      | 著書  |
| 演           | 題      | 結節性硬化症と腎腫瘍  |
| 演           | 者・共同演者 | 波多野孝史   |
| 学           | 会名等    | 臨床腎・泌尿器科癌 2024 76-81  |
| 区           | 分      | 著書  |
| 演           | 題      | 横浜エデンの園の進化する医療  |
| 演           | 者・共同演者 | 波多野孝史   |
| 学           | 会名等    | ゆかり通信 2024 129:1-6  |
| 区           | 分      | 著書  |
| 演           | 題      | Dfree 尿の貯まり具合を「見える化」  |
| 演           | 者・共同演者 | 波多野孝史   |
| 学           | 会名等    | あいらいふ 2024 172:102  |
| 麻酔科         |        |   |
| 区           | 分      | 著書論文  |
| 演           | 題      | デスノマブ投与による骨吸収抑制薬関連壊死のため上顎骨の広範囲にわたる脱落を来した乳癌患者の1例   |
| 演           | 者・共同演者 | 木下 紗緒梨、佐藤 理恵、木下 真弓  |
| 学           | 会名等    | がんと化学療法50 (7) 829-831、2023  |
| 救急科・漢方科     |        |   |
| 区           | 分      | 著書論文  |
| 演           | 題      | 「A case of conservative treatment for sciatica due to piriform hematoma with jidabokuippo」,p250-251 |
| 演           | 者・共同演者 | Yasuhito Irie   |
| 学           | 会名等    | Traditional & Kampo Medicine. clinical letter, Vol.8 No.3   |
| 区           | 分      | 著書論文  |
| 演           | 題      | 「第37巻第3号（2024; 37: 285-8）「半夏瀉心湯服用により薬剤性間質性肺炎をきたした1例」に関する意見」   |
| 演           | 者・共同演者 | 入江康仁  |
| 学           | 会名等    | The Japanese Journal of Clinical Toxicology. Letter to the Author, Vol.37 No.4                      |
| 区           | 分      | 著書論文  |
| 演           | 題      | 「Two cases of chemical conjunctivitis caused by creosote oil exposure」,p51-52                       |
| 演           | 者・共同演者 | Yasuhito Irie、Hajime Nakae  |
| 学           | 会名等    | The Japanese Journal of Clinical Toxicology. Short Report, Vol.38 No.1                              |
| 区           | 分      | 著書論文  |
| 演           | 題      | 「創傷・熱傷処置で使用する漢方薬の使い方」   |
| 演           | 者・共同演者 | 入江康仁  |
| 学           | 会名等    | 「薬局」2024年12月号   |
| 看護管理室       |        |   |
| 区           | 分      | 著書論文  |
| 演           | 題      | 筋力の観察・アセスメント／浮腫の観察・アセスメント   |
| 演           | 者・共同演者 | 田淵かおり・鈴木千澄勢   |
| 学           | 会名等    | 整形外科看護第30巻4号 p.75-p.80,p.81-86  |
| 血液浄化センター看護室 |        |   |
| 区           | 分      | 著書論文  |
| 演           | 題      | 透析室へようこそ。透析業務1日まるごとガイド  |
| 演           | 者・共同演者 | 渡邊和美  |
| 学           | 会名等    | 透析ケア メディカ出版   |
| 臨床工学室       |        |   |
| 区           | 分      | 著書論文  |
| 演           | 題      | 「人工呼吸器管理で役立つメカニカルサポート」  |
| 演           | 者・共同演者 | 森田斗南、田中馨  |
| 学           | 会名等    | ClinicalEngineeringVol.35 No.4 2024 臨床工学技士による呼吸療法の実践  |

● 教育・学術実績 ●

|         |   |   |
|---------|---|---|
| 区       | 分 | 著書論文  |
| 演       | 題 | 基礎セミナー「脳血管の発展」  |
| 演者・共同演者 |   | 森田斗南、田中馨  |
| 学 会 名 等 |   | 東京都臨床工学技士会誌第67号                                       |
| 放射線課    |   |   |
| 区       | 分 | 著書論文  |
| 演       | 題 | 血管造影・画像下治療（IVR）における診療放射線技師の清潔野補助行為に関する調査報告            |
| 演者・共同演者 |   | 石毛良一、関口美雪、田邊頌章、塩入知子、三島里穂、浅川久、吉野冬馬、石原樹大、今関雅晴、塩野谷純、石川栄二 |
| 学 会 名 等 |   | 日本放射線技術学会雑誌 81巻1号 2025.1                              |

## 第22回 聖隷横浜病院 病院学会

開催日：2025年1月11日（土） 場 所：聖隷横浜病院 A棟4階大会議室

### 第1群（座長：薬剤課 課長代行 高岡 雄一）

|   |   |                             |       |
|---|---|-----------------------------|-------|
| 1 | 大腿骨近位部骨折患者の東1病棟退院後における骨粗鬆症治療状況<br>－入院中から外来骨粗鬆症治療を見据えた体制の構築に向けて－ | リハビリテーション課<br>骨粗しょう症リエゾンチーム | 木村 航汰 |
| 2 | マンモトームによる確信度の高い乳癌診療を目指して  | 放射線課                        | 山下 瑞穂 |
| 3 | 厨房内食材廃棄量減少の取り組み<br>－食品ロスを減らす為に－                                 | 栄養課                         | 安武 花菜 |
| 4 | 悲願達成！！紹介件数月1,000件突破<br>－みんなで作った「地域連携のつどい」－                      | 地域連携・患者支援センター               | 橋本 紗知 |
| 5 | SCU入院中の脳卒中患者に対する食事場面での自助具提供の取り組み<br>－多部署での連携による急性期のADL支援－       | リハビリテーション課                  | 木村 亮太 |
| 6 | 地域包括ケア病棟におけるACPを活用した退院支援  | 東4病棟                        | 利根川 綾 |
| 6 | 心臓リハビリテーション開設から1年を振り返って   | ハートサポートチーム                  | 小峰 侑真 |
| 7 | 多職種チームで取り組む排尿ケアへの挑戦<br>－2年間の活動の実際と聖隷横浜病院にもたらした成果について－           | 排尿ケアチーム                     | 伊東 路子 |

### 第2群（座長：東3病棟 課長 伊東 路子）

|    |   |           |       |
|----|---|-----------|-------|
| 8  | NPPVマスクによる鼻根部のMDRPU予防・管理の取り組み                 | 急性期ケアユニット | 名倉 暁子 |
| 9  | プライマリー制度導入における効果と今後の課題                        | 東2病棟      | 小林 由依 |
| 10 | 地域包括ケア病棟におけるACPを活用した退院支援                      | 東4病棟      | 利根川 綾 |
| 11 | 「俺、やりたいことある」を多職種で支えた一例<br>－ACP実現が医療者へもたらしたこと－ | B3病棟・東3病棟 | 大沼 織絵 |
| 12 | 当院におけるアドバンス・ケア・プランニング普及の取り組み－6年間の軌跡－          | 看護相談室     | 根岸 恵  |
| 13 | 冠動脈肺動脈瘻を伴う最大径65mmの巨大冠動脈瘤に対して手術を施行した1例         | 臨床研修室     | 周 蓉   |

「2024年度 聖隷横浜病院 年報」 第18号 2025年12月1日

〒240-8521 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町125  
TEL : 045-715-3111 (代表) FAX : 045-715-3387  
URL : <https://www.seirei.or.jp/yokohama/>  
●発行者 大内 基史 ●編集責任 広報委員会

